はじめに

このたびは、「J-T010」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（☞15-6ページ）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

J-T010は、1.5GHzの周波数帯を利用し、J-フォンのネットワークに対応した仕様になっております。

J-T010は、日本国外ではご利用になれません。
This product is exclusively for use in Japan.

ご注意

・本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
・本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取替えいたします。

付属品・オプション品について

付 属 品 （オプション品としてもお取り扱いしています）	オプション品
■電池パック（TSBJ01） ■急速充電器（TSCJ01） ■卓上ホルダー（TSEK01） ■SDメモリカード 以降、本書では「メモリカード」と記載しています。	■シガーライター充電器（TSJF01） 充電時間は約110分です。

他に、ソフトケース、イヤホンマイク、室内用アンテナなどのオプション品、別売品が用意されています。

● 詳しくは、**お問い合わせ先**（☞15-6ページ）までご連絡ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

■表示の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
禁止	は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 撮影した画像データは、本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、変化または消失することがありますが、当社は、画像データの修復や生じた損害・逸失利益について責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 記憶装置（内部メモリ）に記録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。記憶内容の消失に伴う損害を最小限にするために、定期的にバックアップをお取りください。
- メモリカードに記録されたデータの変化・消失については、故障や障害の原因にかかわらず当社は一切責任を負いません。

⚠危　険

電話機・電池パック・充電用機器・メモリカードを分解・改造・修理しないこと

電話機・電池パック・充電用機器での火災・感電やメモリカードのデータ消失の原因となります。電話機の改造は電波法違反になります。

故障したときの修理は、最寄りの「**J-フォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞15-6ページ) までご連絡ください。

電話機・電池パック・メモリカードを火の中に入れたり、加熱しないこと

電池パックが発熱・破裂・発火やメモリカードのデータ消失の原因となります。なお、水にぬれた場合でも加熱用機器などで強制的に乾燥させないでください。

電話機・電池パック・メモリカードを火のそば、ストーブのそばなどの高温の場所で使用・放置しないこと

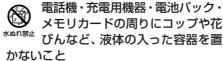
電池パックが発熱・破裂・発火やメモリカードのデータ消失の原因となります。

電話機・電池パック・メモリカードを水や汗、海水などでぬらさないこと

電池パックが発熱・破裂・発火やメモリカードのデータ消失の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、最寄りの「**J-フォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」(☞15-6ページ) までご連絡ください。

電話機・充電用機器・電池パック・メモリカードを屋外や浴室など、水がかかる場所に置かないこと

ぬれると、発熱・破裂・発火・データ消失の原因となります。

電話機・充電用機器・電池パック・メモリカードの周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと

液体がこぼれてぬれると、発熱・破裂・発火・データ消失の原因となります。

電話機・電池パック・メモリカードを落としたり、強い衝撃を与えないこと

電池パックが発熱・破裂・発火やメモリカードのデータ消失の原因となります。

電池パックの端子（金属部分）を針金などの金属で接続しないこと

電池パックが発熱・破裂・発火する原因となります。

電池パックを電話機・充電用機器に接続するときに、(+)(−)を逆にしたり、無理に接続しないこと

電池パックが漏液・発熱・破裂・発火する原因となります。

電池パックを金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないこと

電池パックがショート状態となり、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックはこの電話機だけに使用すること

電池パックが発熱・破裂・発火する原因となります。

電話機の電池を充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること

電池パックが発熱・破裂・発火する原因となります。

⚠ 警　告

禁止
ぬれた電池パックを充電しないこと
発熱・破裂・発火・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は、ただちに急速充電器のプラグを抜いてください。

禁止
自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・電話機内蔵のモバイルフラッシュなど）も使用しないこと
交通事故の原因となります。運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

禁止
引火ガスが発生する場所で使用しないこと
ガスに引火し、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では電話機の電源を切り、充電もしないでください。

禁止
ハンドストラップやアンテナなどを持って振り回さないこと
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示
高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること
電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医療用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

指示
長時間使用しない場合は、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

指示
航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
プチスケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切ること
電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。

指示
通話・メール・撮影などをするときは周囲の安全を確認すること
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指示
指定の電源・電圧で使用すること
誤った電圧で使用すると、火災の原因となります。
急速充電器：家庭用交流100V
シガーライター充電器（オプション品）：直流12V・24V（マイナスアース車専用）

指示
急速充電器にほこりが付着しているときは、急速充電器のプラグをコンセントから抜き、ふき取ること
そのまま放置すると、火災の原因となります。

指示
車載用機器などは運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならないように配線し、確実に取り付けること
コード類が足や運転装置にからむと、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下で驚いて急ブレーキや急ハンドルの操作による事故の原因となります。車載用機器の取扱説明書に従って設置してください。

指示
電池パック内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。

⚠ 警　告

雷鳴が聞こえた場合はただちに電話機の電源を切ること

指示

落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、ご使用を中止し、安全な場所へ移動してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること

指示

電池パックが発熱・破裂・発火する原因となります。最寄りの**「J-フォンショップ」**または**「お問い合わせ先」**（15-6ページ）まで修理をご依頼ください。

モバイルフラッシュの発光部を人の目に近づけて発光させないこと

禁止

視力障害の原因となります。

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

指示

1. 充電中であれば、充電用機器の急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を家庭用交流100Vコンセントまたはソケットから抜く
2. 冷えたのを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外す
   そのまま使用（充電）すると、電池パックが発熱・破裂・発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの**「J-フォンショップ」**または**「お問い合わせ先」**（15-6ページ）までご連絡ください。

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

指示

1. 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切るようにしてください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3. 医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には電話機を持ち込まない
   - 病棟内では、電話機の電源を切る
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う
   - プチスケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切る
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養等）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会「平成9年4月」）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

⚠ 注　意

電話機・電池パック・メモリカードを直射日光の強いところや炎天下の車内など、電池パックが高い温度になるところで使用・放置しないこと
電池パックが発熱・発火やメモリカードのデータ消失の原因となります。

電池パック・充電用機器・メモリカードを幼児の手の届く場所には置かないこと
けがなどの事故の原因となります。
また、幼児がメモリカードを誤って飲み込むと、窒息のおそれがあります。

充電用機器の端子（金属部分）を針金などの金属で接続しないこと
発熱し、やけどの原因となります。

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を家庭用交流100Vコンセントやソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと
コードの破損により発熱・発火・やけどの原因となります。
急速充電器やシガーライター充電器を持って抜いてください。

充電用機器のコード類を引っ張ったり、無理に曲げたり、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと
コード類の破損により発熱・発火・やけどの原因となります。

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと
感電の原因となります。

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

メモリカード挿入口に水などの液体、金属片、燃えやすいもの、など異物を入れないこと
火災・感電・故障の原因となります。

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと
自動車内で使用した場合、車種によりまれに車両電子機器に影響を与えるものがあります。安全走行を損うおそれがありますので、そのような場合は使用しないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと
落下して、けがや故障の原因となります。バイブレータ設定中は特に気をつけてください。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと
不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収に出すか、最寄りの**「J-フォンショップ」**にお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないこと
発熱・故障の原因となる場合があります。

人の混雑している場所では電話機を使用しないこと
アンテナが人にあたり、思わぬけがをしたり、周囲の方の迷惑になるおそれがあります。

シガーライター充電器（オプション品）は、自動車のエンジンを切った状態で使用しないこと
自動車用バッテリー消耗の原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、指定のヒューズと交換すること
指定以外のヒューズと交換すると、発熱・やけどの原因となります。
ヒューズの交換については、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。

⚠ 注　意

指示
電池パック内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

指示
皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること
本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用材料、表面処理
アンテナ	PC・ABS樹脂
	黄銅／クロムメッキ（下地：ニッケル）
	ナイロン
	PBT樹脂
	アルミ／ニッケルメッキ
ヒンジキャップ	ABS樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
外装ケース（受話部、ボタン操作部）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（アンテナ部、電池部、サブディスプレイ側）	PPE・PS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
マルチファンクションボタン、サイドキー	クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）／PC、ABS樹脂（2色成形）
ソフトキー	クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）／ABS樹脂
マルチファンクションボタン、ソフトキー、サイドキー以外のボタン	PC樹脂
ディスプレイパネル、サブディスプレイパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク 表面層：アクリル系樹脂
着信ランプ	アクリル系樹脂
モバイルカメラパネル	クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）／PC、ABS樹脂 アクリル系UV硬化塗装処理
モバイルフラッシュパネル	アクリル、ABS樹脂
メモリカードスロットキャップ	ポリエステルエラストマー樹脂
外部接続端子キャップ イヤホンマイク端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂
充電端子	ステンレス／金メッキ（下地：ニッケル）
ネジ	鉄／ニッケルメッキ（下地：銅）
ネジキャップ	ポリウレタン樹脂
ネジカバー（ディスプレイ上）	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク
ネジカバー（ディスプレイ下）	PPE・PS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

指示
スピーカーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること
けがなどの事故の原因となります。

⚠ 注　意

指示	**心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に気をつけること** 心臓に影響を与える可能性があります。
指示	**電話機を閉じるときは、手や物をはさまないように閉じること** けがやディスプレイ（液晶）などの破損の原因となります。
禁止	**メモリカードの端子部（接続面）に直接触れたり、金属をあてたり、ショートさせないこと** 静電気により内部データ消失、故障の原因となります。 端子部にゴミや異物がついた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
禁止	**メモリカードを腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないこと** 内部データ消失、故障の原因となります。
禁止	**メモリカードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、引き抜いたり、電話機の電源を切らないこと** 内部データ消失、故障の原因となります。
指示	**メモリカードを初期化するとき、メモリカード内部に必要とする情報（ファイル）がないことを確かめてから行うこと** 内部データ消失の原因となります。
禁止	**メモリカードを取り外す際に、必要以上に力を入れないこと** 手や指を傷つける可能性があります。
禁止	**メモリカードを曲げたり、重いものを載せたりしないこと** データ消失、故障の原因となります。

お願いとご注意

■ご利用にあたって

- J-T010は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- J-T010を公共の場所でご使用になるときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- J-T010は電波法に定められた無線局です。従って電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や画像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
- J-T010はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。従って、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- J-T010は国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出してのご使用はできません。
  This product is exclusively for use in Japan.
- 以下の場合、記録したデータが変化・消失することがあります。記録したデータの変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  ・誤った使い方をしたとき
  ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  ・動作中に電源を切ったとき
  ・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
  ・故障したり、修理に出したとき

■自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながらJ-T010をご使用になることは、法律で禁止されていますので、使用しないでください。
- J-T010をご使用になるために、禁止された場所へは駐停車しないでください。

■航空機内でのご使用について

- 航空機内では、ご使用にならないでください。
  電源も入れないでください（プチスケジュール、アクションアイテム、お知らせ君、目覚ましを設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください）。

■お取り扱いについて

- J-T010を極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- J-T010を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

- 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- J-T010は精密部品で作られた無線通信装置です。分解、改造はしないでください。
- ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。
- J-T010の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- J-T010のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
- イヤホンマイクはしっかりとイヤホンマイク端子に差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
- ハンドストラップなどをはさんだまま、J-T010を折りたたまないでください。故障や破損の原因となります。
- 一般に携帯電話のアンテナに触れると無線感度が弱まります。ご使用の際は、アンテナに触れないようにしてください。

■モバイルカメラについて

- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。

■モバイルフラッシュについて

- 湿気の多いところではご使用にならないでください。
- モバイルフラッシュには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減り、画像が暗くなってきます。
- 高温、低温下でのご使用は、モバイルフラッシュの寿命を短くすることがあります。

■メモリカードについて

- 指定されたメモリカード以外はお使いになれません。無理にご使用になると本体の故障の原因となります。
- メモリカードは不揮発性の半導体メモリ（NAND型フラッシュEEP-ROM）を内蔵しています。通常のご使用で記録したデータが変化・消失することはありませんが、誤った使い方をするとデータが変化・消失することがあります。
- メモリカードは著作権の保護を目的としたセキュリティ機能に対応しています。このセキュリティ機能を利用するには、対応した機器やソフトウェアが必要です。ご利用にあたっては、これらの機器の取扱説明書をご覧ください。
- メモリカードは著作者の権利を保護するSDMI（Secure Digital Music Initiative）規格に準拠した記録媒体です。メモリの一部をメモリカードの管理データ領域として使用するため、ご利用いただけるメモリ容量は、表示の容量より少なくなっています。
- メモリカードの使用機器への取り付け、取り外しかたは、使用機器の取扱説明書をご覧ください。
- メモリカードをフォーマットするときには、必ずJ-T010で行ってください。
  パソコンなどでフォーマットをされると、使用できなくなることがあります。
- 持ち運びや保管の際は、保護のために付属の専用ソフトケースに入れてください。
- 長時間お使いになったあと、取り外したメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- 強い静電気や電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管はさけてください。

■著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■肖像権等について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。従って、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

J-T010の便利な機能

は、お勧め機能です。

応答保留
かかってきた電話にすぐに出られないときは保留にすることができます。

P2-7

メモリダイヤル
よく電話をかける相手をここに登録すると便利です。また、メモリダイヤルごとに着信音などを変えることができます。

P4-2

シークレットモード
他人に知られたくないメモリダイヤルはシークレットメモリとして登録できます。

P4-30

着信音パターン
着信音をお好みのパターンに変えることができます。

P5-3

マナーモード
周囲に迷惑がかからないように音を設定することができます。

P5-8

オリジナル着信音
あなただけの着信音を作ることができます。
和音演奏も楽しめます。

P5-12

サイドキー誤動作防止
カバンやポケットの中での誤動作を防ぎます。

P6-15

言語選択／Language
画面上の表示を英語に切り替えることができます。

P7-4

壁紙／マイキャラクタ
待受画面上にアニメーションを表示させます。また、着信時などにイラストを表示させることができます。

P7-5/P7-7

3D待受キャラ
待受画面上でキャラクターが動きながらコメントを伝えてくれます。

P7-10

サブディスプレイ
J-T010を閉じた状態で日時を表示させます。また、着信時やメール受信時に相手を確認することができます。

P7-13

でか文字モード
着信時などに大きい文字で表示させることができます。

P7-23

モバイルカメラ

J-T010内蔵のカメラで写真やビデオを撮影することができます。

P8-2

データフォルダ

保存した画像やサウンドなどの各種ファイルを確認・編集することができます。

P9-2

ピクチャーつく～る

画像を編集したり、4分割壁紙を作成することができます。

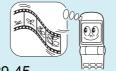
P9-20

ビデオつく～る

モバイルカメラで撮影したビデオを編集して、楽しむことができます。

P9-31

アニメつく～る

保存した画像を使ってアニメーションを作ることができます。

P9-45

メモリカード

各種データの保存や、パソコンなどとデータのやりとりができます。

P10-2

プチスケジュール

J-T010をスケジュール帳として利用することができます。

P11-2

プチメモ

忘れては困る内容などをメモすることができます。

P11-28

辞書機能

国語、英和、和英辞書を利用したり、言葉を使ったゲームもできます。

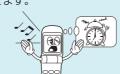
P11-30

ポケットデータベース

作成したデータをもとにオリジナルのデータベースを作成できます。

P11-34

目覚まし

J-T010を目覚まし時計として利用することができます。

P11-52

簡易電卓

10桁までの演算や、割り勘機能で計算することができます。

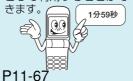
P11-57

ボイスメモ
音声を録音できます。また、着信用の音声も録音できます。

P11-60

サブ液晶アプリ

J-T010をストップウォッチやキッチンタイマーとして利用することができます。

P11-67

イルミネーション（お知らせランプ）

着信時または未読メールや新着のステーションなどがある場合、お知らせランプで確認することができます。

P12-4

ユーザー辞書登録

特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録することができます。

P12-12

簡易留守録

電話に出られないときに相手からのメッセージを録音することができます。

P12-14

音声メモ

通話中の相手の声を録音することができます。

P12-17

オプションサービス

かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P13-3

電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。

P13-5/P13-7/P13-9

通話中にかかってきた電話を受けることができます。

P13-22/P13-24

3人で同時に通話できます。また、相手を切り替えながら通話できます。

P13-25

目　次

13 オプションサービス

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

本書の見方

ディスプレイ表示について

- 本書で記載しているディスプレイ表示は、実際のディスプレイ表示と異なります。
- 操作によっては、ディスプレイ表示を省略している場合があります。
  あらかじめご了承ください。

例

（実際の表示）　（本書での記載）

お使いになる前に

各部の名称と機能

■本体

お買い上げ時はディスプレイなどの保護のため、ディスプレイ部分に保護フィルムが貼られています。保護フィルムは、必ずはがしてください。

レシーバー（受話器）

メニューボタン
マルチメニューを呼び出すときなどに使用します。

マルチファンクションボタン
機能設定メニューやメモリダイヤルを呼び出すときなどに使用します。また、カメラ利用時はシャッターボタンとして使用できます。

、ボタン
J-スカイのメール、ウェブ、ステーション、Java™やカメラを利用するときなどに使用します。

開始ボタン
電話をかけるときや受けるときに使用します。

スケジュール
文字、小文字ボタン
プチスケジュールの確認や文字を入力するときなどに使用します。

＊、記号、ボタン
＊や記号を入力するときに使用します。また、カメラ利用時は画像表示をディスプレイとサブディスプレイで切り替えるときに使用します。

マイク（送話器）

ディスプレイ
現在の状況やメッセージなどを表示します。

、
メールやビデオを利用するときなどに使用します。

電源、終了ボタン
電源のON/OFFや、通話を終了するとき、操作を終了し待受画面に戻るときに使用します。また、応答保留にするときにも使用します。

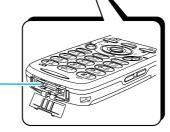
- は誤動作防止のため、他のボタンより低くなっています。

クリアボタン
入力した電話番号や文字を消去するときなどに使用します。

ショートカット
ショートカットメニューを呼び出すときに使用します。

ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときなどに使用します。

#、、マナーボタン
#を入力するときやマナーモードを設定するときなどに使用します。

外部接続端子
急速充電器や各種オプション類を接続するときに使用します。

着信ランプ
電話がかかってくると赤色に点滅します。また、充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。

サブディスプレイ
撮影した画像を表示したり、電話の着信やメール、ウェブ、ステーションの受信などをお知らせします。

モバイルフラッシュ
夜間および室内などでの撮影時のフラッシュとして、また待受時のライトとして使用します。

モバイルカメラ
ここから撮影した画像がディスプレイやサブディスプレイに表示されます。

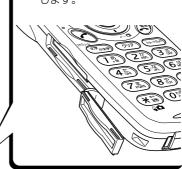
ハンドストラップ取り付け穴

背面スピーカー

充電端子
卓上ホルダーで充電するときに使用します。

イルミネーション（お知らせランプ）
未確認の不在着信履歴や未読のメールなどがある場合に点滅します（☞12-4ページ）。
また、カメラ撮影時などにも点滅します。

アンテナ

メモリカードスロット
メモリカードとの接続に使用します。

イヤホンマイク端子
イヤホンマイク、スイッチ付イヤホンマイク（オプション品）を差し込みます。

上サイドキー（ズーム／メモ）
カメラ・ビデオのズーム、簡易留守録の設定やメッセージを再生するときなどに使用します。

下サイドキー（シャッター／ペンライト機能）
カメラ・ビデオ撮影時やモバイルフラッシュを点灯させるときに使用します。また、カメラ起動などを設定することもできます（☞12-37ページ）。

ハンドストラップの取り付けかた

①ハンドストラップを取り付け穴に通します。
②反対側を図のように輪になっているところへ通します。

1 お使いになる前に

■ディスプレイの見方

ディスプレイには、以下のアイコンが表示されます。

(電波状態表示)
棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中
：弱　：微弱

(オフラインモードON表示)
オフラインモードをONにしているときに表示します（☞6-5ページ）。

(圏外表示)
この表示が出ている場所では通話できません。

(サイレントモード表示)
サイレントモードでマナーモードを設定しているときに表示します（☞5-8ページ）。

(メザマシモード表示)
メザマシモードでマナーモードを設定しているときに表示します（☞5-8ページ）。

(オリジナルマナー表示)
オリジナルマナーでマナーモードを設定しているときに表示します（☞5-8ページ）。

(バイブレータ／サイレント表示)
着信設定（音声着信）のバイブレータ（☞5-7ページ）がOFF以外に設定されているとき、着信設定（音声着信）の着信音量（☞5-6ページ）がサイレントに設定されているとき、マナーモード（※）を設定しているときに表示します。

(目覚まし表示)
目覚ましの機能を設定しているときに表示します。また、スヌーズ機能起動時は「」を表示します（☞11-52ページ）。

(メッセージお預かり表示)
留守番電話センターにメッセージが録音されているときに表示します（☞13-6、13-8、13-10ページ）。

※ オリジナルマナーでマナーモードを設定中の場合は、オリジナルマナー着信音（音声着信）のバイブレータがOFF以外に設定されているときや、オリジナルマナー着信音（音声着信）の着信音量がサイレントに設定されているときに表示されます。

（電池レベル表示）
：十分　：中位　：少ない　：残りわずか　：充電必要
充電中の場合は点滅表示します。

（通話中表示）
通話しているときに表示します。

（Java™表示）
Java™アプリ実行中に表示します。一時停止中のJava™アプリがあるときは「」を表示します（☞J-スカイ編）。

（メモリカード表示）
メモリカードが取り付けられているときに表示します（☞10-2ページ）。

（ロック表示）
シークレットモードをONに設定しているときに表示します（☞4-30ページ）。

（ウェブ表示）
未読の文字情報があるときに表示します（☞J-スカイ編）。

ミニ時計表示
ミニ時計を設定しているときに表示します。
AM PM（午前・午後表示）
12時間制に設定されているときに表示します（☞7-12ページ）。

（ステーション表示）
未読の情報があるときやメインリストを更新中に表示します（☞J-スカイ編）。

（メール、配信レポート表示）
未読のスカイメール、グリーティング、配信レポートがあるときに表示します。また、受信メッセージを保存するメモリがなくなったときは、「」を表示します（☞J-スカイ編）。

（ロングメール表示）
未読のロングメールがあるときに表示します。また、受信メッセージを保存するメモリがなくなったときは、「」を表示します（☞J-スカイ編）。

▶（お天気表示）
お天気アイコンを設定しているときに表示します（☞J-スカイ編）。

（サイドキー誤動作防止表示）
サイドキー誤動作防止を設定しているときに表示します（☞6-15ページ）。

（プチスケジュール表示）
待受画面に表示されている日付の当日にスケジュールを入れているときに表示します（☞11-2ページ）。

（不在着信表示）
かかってきた電話に出なかったときなどに表示します。

（簡易留守録表示）
簡易留守録を設定しているときに表示します。また、未確認のメッセージがあるときは、「」を表示し、録音できないときは、「」を表示します。

■サブディスプレイの見方

J-T010を閉じている場合でも、サブディスプレイ画面でさまざまな情報を確認することができます。

- （メッセージお預かり表示）留守番電話センターにメッセージが録音されています。
- （メモリカード表示）メモリカードが取り付けられているときに表示します。
- （マナーモード設定表示）マナーモードが設定されているときに表示します。
- （簡易留守録表示）未確認のメッセージがあるときに表示します。
- （不在着信表示）かかってきた電話に出なかったときなどに表示します。
- （Java™表示）Java™アプリ実行中に表示します。
- （目覚まし表示）目覚ましの機能を設定しているときに表示します。
- （電池レベル表示）
- （電波状態表示）
- **不在着信件数** 不在着信の件数を表示します。
- （オフラインモードON表示）オフラインモードをONにしているときに表示します。
- （サイドキー誤動作防止表示）サイドキー誤動作防止を設定しているときに表示します。
- （圏外表示）この表示が出ている場所では通話できません。
- ▷（お天気表示）お天気アイコンを設定しているときに表示します。
- （ステーション表示）未読の情報があるときに表示します。
- （ロングメール表示）未読のロングメールがあるときに表示します。
- （配信レポート表示）未読の配信レポートがあるときに表示します。
- （メール表示）未読のスカイメール、グリーティングがあるときに表示します。
- **時刻表示**
- AM PM（午前・午後表示）12時間制に設定されているときに表示します。
- **未読メール件数** ロングメールとスカイメールのトータル未読件数を表示します。

9／ 1 （月）
12：30

待受中のとき

- 通常の待受画面の場合

9／ 1 （月）
12：30

- 不在着信などの情報がある場合

1
2
9／ 1 12：30
メール未読

電話がかかってきたとき（着信）

- メモリダイヤルに登録されていない場合

- メモリダイヤルに登録されている場合

- 着信表示設定がOFFの場合（☞7-16ページ）

- 電話番号を通知していない相手からの場合

非通知設定

- 公衆電話からの場合

公衆電話

- 通知が不可能な場合

発番通知不可

■マルチファンクションボタンの使いかた

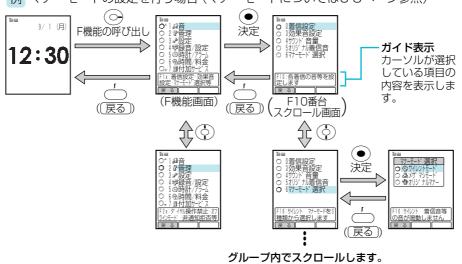
マルチファンクションボタンは、上下左右、中央を押すことにより、メモリダイヤルの検索などが行えます。

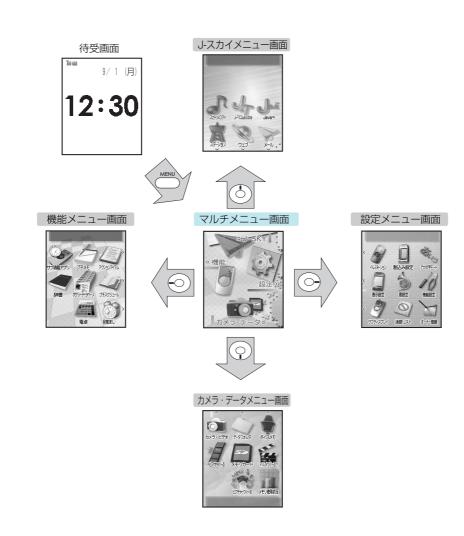
操作		本書での表記		
	● F機能のメニューを呼び出すとき ● カーソルを右に移動させるとき ● 選択している項目を決定・実行するとき	右を押すとき	左右を押すとき	上下左右を押すとき
	● メモリダイヤルの検索画面を呼び出すとき ● カーソルを左に移動させるとき ● 1つ前の画面に戻るとき	左を押すとき		
	● 着信履歴を呼び出すとき ● カーソルを上に移動させるとき ● 音量を大きくするとき	上を押すとき	上下を押すとき	
	● リダイヤルを呼び出すとき ● カーソルを下に移動させるとき ● 音量を小さくするとき	下を押すとき		
	● 選択している項目を決定・実行するとき ● 撮影・録画・録音するとき	中央を押すとき		

カーソルについて

カーソルとは、文字入力画面で表示される「 」または「 」やF機能のメニュー画面などで表示される「 」をいいます。

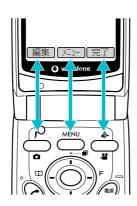
マルチファンクションボタンの操作の流れ

例 マナーモードの設定を行う場合（マナーモードについては5-8ページ参照）

■マルチメニューの使いかた

待受画面でMENUを押すと、マルチメニュー画面が表示されます。
このあと、で目的のアイコンを選択しを押すと、各操作画面を表示させることができます。

画　面	アイコン	機　能　名	参照ページ
J-スカイメニュー画面		スカイメロディ	J-スカイ編
		J-T ClubSite	J-スカイ編
		Java™	J-スカイ編
		ステーション	J-スカイ編
		ウェブ	J-スカイ編
		メール	J-スカイ編
機能メニュー画面		サブ液晶アプリ	11-67
		プチメモ	11-28
		アクションアイテム	11-21
		辞書	11-30
		ポケットデータベース	11-34
		プチスケジュール	11-2
		電卓	11-57
		目覚まし	11-52
設定メニュー画面		イルミネーション	12-4
		割込み設定	J-スカイ編
		でか文字モード	7-23
		表示設定	2-3、7章、12-26
		音設定	5章
		機能設定	15-2
		サブディスプレイ	7-13
		迷惑リスト	6-9、J-スカイ編
		オーナー登録	12-10
カメラ･データメニュー画面		カメラ・ビデオ	8章
		データフォルダ	9章
		ボイスメモ	11-60
		ビデオつく～る	9-31
		メモリカード	10章
		アニメつく～る	9-45
		ピクチャーつく～る	9-20
		メモリ使用状況	4-15、J-スカイ編

■ソフトキーの使いかた

ディスプレイの最下段に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタン（ソフトキー）を押してください。

例 メモリダイヤル登録中の場合

・編集の操作を行う場合は、を押します。

・メニューの操作を行う場合は、MENUを押します。

・完了の操作を行う場合は、を押します。

ディスプレイに表示される内容は、利用する機能によって異なります。また、本書ではソフトキーを押す場合の操作を（完了）などと記載しています。

こんなときはご利用になれません

● 「（圏外）」の表示が出ているとき

サービスエリア外か電波の届かない場所にいます。「」の表示が消える場所へ移動してください。

● 「」の表示が出ているとき

オフラインモードが設定されています。オフラインモードを解除してください（☞6-5ページ）。

● 「電池交換充電」のメッセージが出ているとき

電池がほとんどありません。電池パックを充電するか予備の電池パックと交換してください（☞1-13～16ページ）。

● 「ダイヤル操作禁止」のメッセージが出ているとき

ダイヤル操作禁止がかかっています。操作用暗証番号を入力して、ダイヤル操作禁止を解除してください（☞6-2ページ）。

● 「着信禁止」のメッセージが出ているとき

着信禁止が設定されています。着信禁止を解除してください（☞6-4ページ）。

● 発信時に「ダイヤル禁止が設定されています」のメッセージが出るとき

ダイヤル禁止が設定されています。ダイヤル禁止を解除してください（☞6-4ページ）。

● 発信時に「現在電話がかかりにくくなっております」のメッセージが出るとき

しばらくたってから、再度かけ直してください。

暗証番号について

J-T010のご使用にあたっては、「操作用暗証番号」と「交換機用暗証番号」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の番号で、以下の機能を使用するときに必要です。

- 迷惑リストの登録
- 累積通話料金表示のリセット
- 累積通話時間表示のリセット
- シークレットモード
- ダイヤル操作禁止
- ダイヤル操作禁止の解除
- 簡易ロック
- 禁止設定
- オールリセット
- 非通知拒否
- メモリオールクリア
- 操作用暗証番号の変更
- 設定リセット
- 本体（データフォルダ）のフォルダ消去
- フォルダ内に作成したフォルダの消去
- データフォルダのセキュリティ設定
- メモリカードのデジタルカメラフォルダのフォルダ消去
- メモリカード（データフォルダ）のフォルダ消去
- メモリカードの引っ越し機能
- メモリカードのフォーマット
- 迷惑リストの利用
- シークレット設定されたスケジュールの確認
- シークレット設定されたアクションアイテムの確認
- スケジュールロックの設定／解除
- データベースファイルのセキュリティ設定
- ユーザー辞書の登録語句の全消去
- 国際ショートコードの変更
- プライベートモード時のメモリオールクリア

- 「操作用暗証番号」は、お忘れにならないようご注意ください。
- 事故の原因となりますので、「操作用暗証番号」は他人に知られないようご注意ください。

- 「操作用暗証番号」はJ-T010の操作で変更することができます（☞6-12ページ）。
- 入力した操作用暗証番号は「 ＊ 」で表示されます。
- 「プライベートモード起動用暗証番号」については、12-38ページを参照してください。

交換機用暗証番号

お客様が加入の申し込みをされたときにお決めいただいた4桁の番号です。オプションサービスの一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）をご利用になる場合に必要な番号です。

交換機用暗証番号は、お忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先（☞15-6ページ）までご連絡ください。なお、交換機用暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

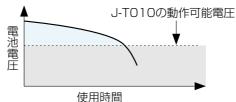
充電しましょう

■電池パックについて

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

■リチウムイオン電池の豆知識

リチウムイオン電池は次の注意事項を守っていただき安全にお使いください

危険な「金属リチウム」は使用していません。
非常に安定した化合物イオンとしてリチウムを利用しています。

使用時間に従って上図のように徐々に電圧が下がる特性があります。

高温・低温下では性能を十分発揮できません

・高温環境や低温環境では容量が低下し、使用時間が短くなります。
　また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
・低温下での充電は、十分な容量が得られません。
　充電は5℃～35℃の場所で行ってください。

保管する場合は次のことを守ってください

電池パック単体で保管する場合は、電池パックのコネクタがショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しい所で保管してください。
このとき、電池残量を無しの状態にする必要はありません。

電池パックは自然放電します

電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。

注意事項

- **指定の急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器を使用して電池パックを充電してください**
- **衝撃を与えたり、落としたりしないでください**
- **充電端子および電池パックのコネクタなどを時々乾いた綿棒などで清掃してください**
  汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

■電池パックの取り付けかた・取り外しかた

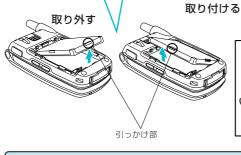
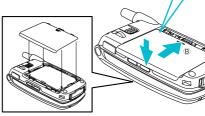
1 図のように電池カバーの「⊜」を押しながらⒶの方へスライドさせる

2 電池カバーを外す

3 電池パックを取り付ける、または取り外す

取り付ける場合は、図のように、J-T010と電池パックの下部を合わせて取り付けます。
取り外す場合は、電池パック上部の引っかけ部に爪をかけて持ち上げます。

4 電池カバーを取り付ける

J-T010と電池カバーを図の位置に合わせてからⒷの方へカチッと音がするまでスライドさせます。

重要

- 必ず、電池パックおよび電池カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。
- 電池パックを取り外す場合は、引っかけ部以外のところから持ち上げて外さないようにしてください。
- 電池パックには寿命があります。充電、放電を繰り返すうち、使用可能時間が短くなります。使用可能時間が短くなってきたら、新しい電池パックをお買い求めください。
- 環境保護のため、不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに端子にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収に出すか、最寄りの**J-フォンショップ**にお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。
- 電池パックのお取扱いについては1-13ページを参照してください。

■急速充電器のみを使って充電する

充電時間	約110分

1 J-T010に急速充電器のコネクタを取り付ける

J-T010下部の外部接続端子キャップを開け、コネクタのラベルを上にして外部接続端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントに差し込む

装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、着信ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 着信ランプが消灯したら急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントから抜く

充電が終了すると電池レベル表示が点灯し、着信ランプが消灯します。

4 J-T010から急速充電器のコネクタを取り外す

J-T010からコネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるロックボタンを押しながら引き抜きます。

- 着信ランプが赤く点滅（遅い点滅）したときは、J-T010と急速充電器のコネクタを取り付け直し、急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントへ接続し直してください。それでも赤く点滅し続けるときは、電池パック、急速充電器の不良が考えられます。直ちに充電を中止し、家庭用交流100Vコンセントからプラグを抜いて、最寄りの**J-フォンショップ**または**お問い合わせ先**（☞15-6ページ）までご連絡ください。
- J-T010を充電する際は、必ずJ-T010に電池パックを取り付けた状態で行ってください。
- 電源をONにした状態でも充電することができます。このとき、ディスプレイに表示される電池レベルは、実際の電池レベルより高く表示されます。また、充電時間が長くなります。
- 充電中にJ-T010が温かくなることがありますが、故障ではありません。
- 湿気の多いところではご使用にならないでください。
- 電池パックのお取扱いについては1-13ページを参照してください。

充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信時と同様に着信音やバイブレータ、着信ランプとイルミネーション（お知らせランプ）の点滅でお知らせします。

■卓上ホルダーを使って充電する

充電時間	約110分

1 急速充電器のコネクタを卓上ホルダーに取り付ける

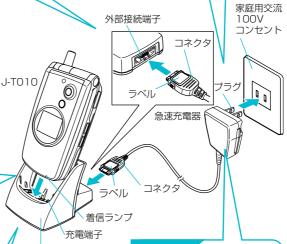
急速充電器のコネクタのラベルを上にして、卓上ホルダー背面の外部接続端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントに差し込む

3 J-T010を卓上ホルダーにセットする

装着時にイルミネーション（お知らせランプ）が約2秒間点灯します。
電池レベル表示が点滅し、着信ランプが赤く点灯して充電を開始します。

4 着信ランプが消灯したらJ-T010を卓上ホルダーから取り外す

充電が終了すると電池レベル表示が点灯し、着信ランプが消灯します。

5 急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントから抜く

着信ランプが赤く点滅（遅い点滅）したときは、卓上ホルダーと急速充電器のコネクタを取り付け直し、急速充電器のプラグを家庭用交流100Vコンセントへ接続し直してください。また、外部接続端子および充電端子を乾いた綿棒などで清掃し、J-T010をセットし直してください。それでも赤く点滅し続けるときは、電池パック、急速充電器または卓上ホルダーの不良が考えられます。直ちに充電を中止し、家庭用交流100Vコンセントからプラグを抜いて、最寄りの**J-フォンショップ**または**お問い合わせ先**（☞15-6ページ）までご連絡ください。

簡単に使いましょう

電源ON／OFF

■電源ONのしかた

1 電源を押す（約2秒以上）

2 ディスプレイに待受画面が表示される

9/ 1 (月)
12:30

この画面を待受画面といいます。

● アンテナを伸ばさないと十分な性能を発揮できません。
● 電源は誤動作防止のため、他のボタンより低くなっています。

● 電源を入れると、以下の動作を行います。
・ウェイクアップ音が鳴ります（☞5-23ページ）。
・ウェイクアップ画面が表示されます（☞7-8ページ）。
・着信ランプが点滅します。
・ディスプレイ、サブディスプレイが点灯します。
・ダイヤルボタンなどが点灯します。
・イルミネーション（お知らせランプ）が点灯します（☞12-4ページ）。
● 初めてお使いになるときは、J-T010内蔵の時計を合わせてください（☞2-3ページ）。

■電源OFFのしかた

電源を切る場合は、待受画面で電源を長く（約1秒以上）押してください。

電源を切ると、パワーオフ画面（☞7-8ページ）が表示されます。

日付・時刻を合わせる

待受画面に表示される日付・時刻を設定します。時計表示は変更することができます(☞7-11ページ)。[時計設定]

補足

- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は24時間制で入力してください。
- 時計の設定を行うと自動的に曜日が設定されます。また、12h/24h設定により表示を12時間制にすることができます(☞7-12ページ)。
- 入力できる日付は、2000年1月1日から2099年12月31日までです。
- 日付、時刻の入力中に◎を押すと、カーソルを移動することができます。また、◎を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げたりすることができます。
- 時報(117番)を背面スピーカー(☞5-22ページ)から聞きながら時刻を設定することができます。

電話をかける

間違えてダイヤルしたときは

（電源）を押すか、（クリア）を長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。（クリア）を短く押すと、右端から1桁ずつ消すことができます。

相手がお話し中のときは

「プープー…」という話中音が聞こえます。
（電源）を押して電話を切り、しばらくたってから再度かけ直してください。

国際電話の使い方

J-T010から、国際電話サービスがご利用になれます。
詳しくはJ-フォンサービスガイドブックを参照してください。また、操作方法については12-32ページを参照してください。

- F24「オフラインモード」（）が設定されていると電話をかけることができません。設定を解除してください（☞6-5ページ）。
- 一般に携帯電話のアンテナに触れますと無線感度が弱まります。ご使用の際は、アンテナに触れないようにご注意ください。

リダイヤルからかける

以前にかけた電話の日時や電話番号を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。

1 を押す

最後にかけた相手の電話番号と日付・時刻が表示されます。

リダイヤル
リダイヤル01 9/ 1(月) 15:30 田中 03123XXXX2
リダイヤル02 9/ 1(月) 15:15 山本 090392XXXX2
発信 メニュー 表示

2 ▶ 電話番号を検索

リダイヤル
リダイヤル01 9/ 1(月) 15:30 田中 03123XXXX2
リダイヤル02 9/ 1(月) 15:15 山本 090392XXXX2
発信 メニュー 表示

3 電話番号を確認 ▶ を押す

通話時間 1秒

録音 メニュー スピーカー

相手につながると通話できます。通話中は、通話時間の目安が表示されます。

4 を押す

通話時間 1分23秒

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。J-T010を閉じても通話が終了します。

重要

- シークレットメモリ（4-30ページ）で電話をかけた場合、リダイヤルには記憶されません。
- F24「オフラインモード」（ ）が設定されていると電話をかけることができません。設定を解除してください（6-5ページ）。

補足

- 操作2で（発信）を押しても電話をかけることができます。
- メモリダイヤルに登録されている相手に電話をかけると、ディスプレイには名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（4-30ページ）に登録している相手の場合は、シークレットモード中でなければ名前は表示されません。
- リダイヤルの電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作1、2の画面で（表示）を押すと、選択している相手の電話番号を全桁確認できます。
- リダイヤルの内容は電源を切っても消えません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- リダイヤルの件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中にリダイヤルを確認する場合は、を長く（約1秒以上）押します。
- リダイヤルを表示中に（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - **新規メモリダイヤル／メモリダイヤル追加／メモリダイヤル呼出／メール作成／184発信／186発信／1件消去／全件消去**

電話を受ける

1 電源を入れておく

2 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信ランプとイルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

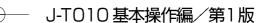
3 アンテナを伸ばし、J-T010を開く ▶ を押す

電話がつながり通話できます。

4 を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。J-T010を閉じても通話が終了します。

F24「オフラインモード」（）が設定されていると電話を受けることができません。設定を解除してください（☞6-5ページ）。

- の他、0～9、＊、＃のいずれかのボタンを押しても電話が受けられます。［エニーキーアンサー］
- メモリダイヤルに登録されている相手から電話がかかってきた場合、ディスプレイには名前が表示されます［発信者名表示］。ただし、シークレットメモリ（☞4-30ページ）に登録している相手の場合は、シークレットモード中でなければ、名前は表示されません。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は「**?非通知設定**」、公衆電話からかかってきた場合は「**公衆電話**」、通知が不可能な電話からかかってきた場合は「**?発番通知不可**」と表示されます。
- かかってきた電話に出なかった場合は、お知らせ一発メニューが表示されます（☞12-2ページ）。

かかってきた電話を保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、その電話を保留にすることができます。[応答保留]

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信ランプとイルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

2 電源 を押す

「ピーッ」という応答保留音が鳴り、相手には現在電話に出られないことをアナウンスでお知らせします。

3 電話に出られるようになったら を押す

電話がつながり通話できます。

4 電源 を押す

通話が終了し、通話時間の目安が表示されます。
J-T010を閉じても通話が終了します。

重要

- 応答保留中でも電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に 電源 を押すと、保留中の通話が終了します。
- 通話中の相手に対し保留にすることはできません。

補足

- 操作 1 の画面で （保留）を押しても保留にすることができます。
- 保留中の相手には「まもなく電話に出ますので、そのままお待ちになるか、しばらくたってからもう一度おかけ直しください。」などのアナウンスが流れます。
- 応答保留中は の他、（応答）、0〜9、＊、＃のいずれかのボタンを押しても電話が受けられます。[エニーキーアンサー]
- メモリダイヤルに登録されている相手から電話がかかってきた場合、ディスプレイには名前が表示されます［発信者名表示］。ただし、シークレットメモリ（☞4-30ページ）に登録している相手の場合は、シークレットモード中でなければ、名前は表示されません。

2 簡単に使いましょう

かかってきた電話を拒否する

かかってきた電話を拒否することができます。[着信拒否]

補足

- 通話中に割込みの電話がかかってきたときも、同様の操作で着信拒否を行うことができます。ただし以下の場合に限ります。
  - ・関東・甲信／東海／関西地域で割込通話サービスをお申し込みで、ONに設定している場合（☞13-22ページ）。
  - ・北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域で割込通話サービスをお申し込みの場合（☞13-24ページ）。
- 着信拒否を行うと、相手には話中音（プープー…）を返します。
- かかってきた電話を自動的に拒否することもできます（☞6-4、6-7ページ）。

かかってきた電話の履歴を確認する

かかってきた電話の日時や電話番号を最新の20件まで記憶します。[着信履歴]

■記録内容を確認する

1 ◯を押す

最後に受けた相手の電話番号と日付・時刻が表示されます。

2 ◯▶ 履歴を確認

着信履歴
不在01 呼出15秒
9/ 1(月) 15:30
田中
03123XXXX2
着信02 呼出10秒
9/ 1(月) 14:00
090392XXXX4
発 信 / メニュー / 表 示

補足

- 相手の電話番号が表示されているときに◯または◯（発信）を押すと、相手に電話をかけることができます。
- かかってきた電話に出なかったときは、着信履歴に「**不在**」と表示されます。[不在着信表示] また、F26「非通知拒否」（☞6-7ページ）を設定中に相手が電話番号を通知してこなかったときは、「**非通知拒否**」と表示されます。
- かかってきた電話を拒否したとき（☞2-8ページ）は、着信履歴に「**着信拒否**」と表示されます。
- メモリダイヤルに登録されている相手から電話がかかってきた場合、ディスプレイには名前が表示されます。[発信者名表示] ただし、シークレットメモリ（☞4-30ページ）に登録している相手の場合は、シークレットモード中でなければ、名前は表示されません。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合は「**?非通知設定**」、公衆電話からかかってきた場合は「**公衆電話**」、通知が不可能な電話からかかってきた場合は「**?発番通知不可**」と表示されます。
- 着信履歴の電話番号は20桁まで表示されます。電話番号が20桁を超える場合は、操作**2**の画面で◯（表示）を押すと、24桁まで確認できます。
- 着信履歴の内容は電源を切っても消えません。
- 着信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に消去されます。
- 通話中に着信履歴を確認する場合は、◯を長く（約1秒以上）押します。
- 着信履歴を表示中にMENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**新規メモリダイヤル**／**メモリダイヤル追加**／**メモリダイヤル呼出**／**メール作成**／**184発信**／**186発信**／**迷惑リスト追加**／**1件消去**／**全件消去**

■着信履歴から迷惑リストに登録する

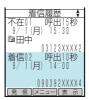
着信履歴から、受けたくない電話番号を選択して、拒否電話リストに登録することができます（最大20件）。拒否電話リストに登録し、**指定No.拒否**（☞6-9ページ）を設定すると、登録した相手からの電話を拒否することができます。

例 拒否電話リストに「**着信02**」の電話番号を登録する場合

1 を押す

最後に受けた相手の電話番号と日時が表示されます。

2 を押す

電話を受けたくない電話番号を選択します。

3 MENU（メニュー）▶ を押す

「**迷惑リスト追加**」を選択します。

4 を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

5 暗証番号を入力

拒否電話リストに登録されます。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

補足 相手が電話番号を通知してこなかった場合など、電話番号が表示されないときは登録できません。

通話料金と通話時間を確認する

■通話料金を表示する

前回電話をかけたときの通話料金を確認することができます。

- 表示される通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話料金はリセットされます。
- 三者通話サービス（☞13-25ページ）を行った場合は、両者を合わせた通話料金が表示されます。
- 電波が弱くなって通話が切断したり、国際電話をかけた場合は、通話料金は表示されません。

■累積通話料金を表示する

現在までの通話料金の合計を確認することができます。

1 6 0 を押す

累積通話料金が表示されます。
待受画面に戻るときは、電源を押してください。

- 表示される累積通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 累積通話料金では、電話をかけたとき（発信時）の通話料金のみが加算され、メールやウェブ（☞J-スカイ編）の通信料金は含まれません。

つづく▶

補足 操作1の画面で MENU（メニュー）を押して、累積通話料金のリセットを行うことができます。

■通話時間を表示する

前回通話したときの通話時間を確認することができます。

1 （6）（3）を押す

前回通話したときの通話時間が表示されます。
待受画面に戻るときは、（電源）を押してください。

重要
- 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 電源を切ると通話時間はリセットされます。

補足 発信、着信のどちらの場合でも表示されます。

■累積通話時間を表示する

現在までの通話時間の合計を確認することができます。

1 （6）（2）を押す

累積通話時間が表示されます。
待受画面に戻るときは、（電源）を押してください。

重要
- 表示される累積通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 累積通話時間では、電話をかけたとき（発信時）の通話時間のみが加算され、メールやウェブ（☞J-スカイ編）の通信時間は含まれません。

補足
- 累積通話時間が999時間59分59秒を超えた場合、それ以上は加算されませんので累積通話時間をリセットしてください。
- 操作1の画面で MENU（メニュー）を押して、累積通話時間のリセットを行うことができます。

自分の電話番号を確認する

お客様のJ-T010の電話番号やF46「オーナー登録」（☞12-10ページ）で登録した名前、Eメールアドレスを確認することができます。［自局電話番号表示］

- 名前やEメールアドレスは、F46「オーナー登録」（☞12-10ページ）で登録している場合に表示されます。登録がない場合、操作2は行えません。
- 通話中に○-0わをんを押しても、電話番号や名前、Eメールアドレスを確認することができます。

文字の入力のしかた

文字の入力について

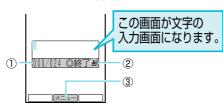
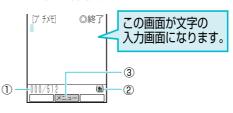
J-T010では、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。
文字入力の方式には標準方式（あらかじめ設定されています）とポケベル方式（☞3-6ページ）の2種類があります。本書では主に標準方式での入力を例にとり、記載しています。

■文字の入力画面と入力モードについて

文字の入力画面

文字の入力画面は、ポップアップ入力画面と通常入力画面の2種類があります。
ポップアップ入力画面：1つ前の操作画面の上に文字の入力画面が表示されます。
通常入力画面　　　　：文字の入力画面が1画面で表示されます。

- 入力画面の種類は、機能により異なります。
- どちらの画面でも基本的な操作方法は同じですが、通常入力画面でのみ、入力予測（☞3-9ページ）、文書確認（☞3-22ページ）を使用することができます。

ポップアップ入力画面

通常入力画面

①は、入力文字数／登録可能文字数が表示されます。登録可能文字数は、機能により異なります。各機能のページを参照してください。
②は、現在の入力モードが表示されます（☞3-3ページ）。
③が表示されているとき MENU（メニュー）を押すとエディタメニューの画面が表示され、入力画面での各操作や設定を行うことができます（☞3-15ページ）。

入力モードの使い方

入力モードには9種類のモードと「**アドレス**」、「**絵文字**」、「**顔文字**」があり、文字の入力画面で(文字小文字)を押したあと、(↑↓←→)を押して入力モードを切り替えることにより漢字や英字などの入力が行えます。

(あ)	全角かな（漢字変換）入力モード	あいうアイウ阿伊宇…
(A)	全角英大入力モード	ＡＢＣ１２３…
(a)	全角英小入力モード	ａｂｃ１２３…
(A)	半角英大入力モード	ABC123…
(a)	半角英小入力モード	abc123…
(0)	全角数字入力モード	０１２３４５…
(0)	半角数字入力モード	012345…
(ｱ)	半角カタカナ入力モード	ｱｲｳ…（半角カタカナのみ）
(あ)	全角ひらがな入力モード	あいう…（全角ひらがなのみ）
アドレス	アドレスライブラリの入力	.ne.jp .co.jp…
絵文字	絵文字の入力	(絵文字)…
顔文字	顔文字の入力	笑う（(^-^) (^-^)v (o^-^)b…） あいさつ／おこる／驚く・あせ／ 泣く・眠い／なかま／うごき／ こうげき／遊び・動物／かざり

・入力できないモードは表示されません。
・■は以下の場合に有効です。
(ｱ)（半角カタカナ入力モード）は、メモリダイヤルのヨミガナ入力時
(あ)（全角ひらがな入力モード）は、ユーザー辞書の読みがな入力時
・かな入力方式（☞3-32ページ）で標準方式とポケベル方式の切り替えができます。ポケベル方式に設定した場合はアイコンの表示が「(あ)」→「(あ)」のように変わります。
・「**顔文字**」のカテゴリーは10種類あり、各カテゴリーには10個ずつの顔文字があります。

3

文字の入力のしかた

ボタン割当一覧表（標準方式）

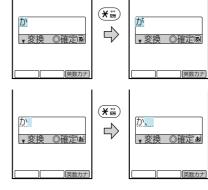
ボタン	文字の入力					電話番号の入力
	全角かな（漢字変換）入力モード 全角ひらがな入力モード	半角カタカナ入力モード	全角英大入力モード 半角英大入力モード	全角英小入力モード 半角英小入力モード	全角数字入力モード 半角数字入力モード	
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.@―＿1	.@―＿1	1	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC2	abc2	2	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF3	def3	3	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI4	ghi4	4	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL5	jkl5	5	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO6	mno6	6	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS7	pqrs7	7	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV8	tuv8	8	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ9	wxyz9	9	9
0	わをんー	ﾜｦﾝｰ	～／？！0	～／？！0	0	0
＊	注（1）、（2）、（3）					＊
＃	注（4）				―――	＃
●	入力中の文字を確定				―――	
方向キー	カーソルの移動／上下で未確定の文字を変換（全角ひらがな入力モードを除く）	カーソルの移動				
文字/小文字	注（5）				―――	―/・
クリア	短く押す……カーソル位置から1文字消去 長く押す（約1秒以上）……カーソル位置から続けて消去					

注（1）

濁点や句読点の入力のしかた

全角かな（漢字変換）入力モード、全角ひらがな入力モードでは＊を押すと、カーソル上の文字（未確定）を濁音や半濁音に変えることができます。

例 →か → が→　→は → ば → ぱ→

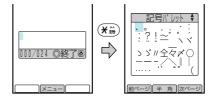
濁音や半濁音に対応していない文字または、右画面のように、カーソルが文字（未確定）の右側にある場合＊を押すと、読点や句点、長音を入力することができます。

半角カタカナ入力モードではカーソル上に文字（未確定）があるときに＊を押すと、文字の右側に以下の記号を入力することができます。

ﾞ	ﾟ	､	｡	ｰ

● 「ﾞ」や「ﾟ」の入力は濁音や半濁音に対応している文字の場合のみ有効です。

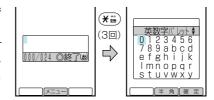
注（2）

記号の入力のしかた

各入力モードでは（＊）を押すと、記号（全角147種類、半角41種類）を入力することができます。（方向キー）で入力する記号を選択し、（●）を押すと、その記号が確定します。
また、MENU（半角）を押すと、全角記号と半角記号を切り替えることができます。

- プチメモや定型文の入力時、メール（☞J-スカイ編）の文字入力時などでは、最後の「○」に続いて「↵」が表示されます。ただし、半角入力時も「↵」は全角で表示されます。

注（3）

英数字の入力のしかた

文字が確定済みのとき、全角の各入力モードで（＊）を3回（半角入力時は2回）押すと、英数字（0～9、a～z、A～Z、. @ー＿／：）を入力することができます。（方向キー）で入力したい英数字を選択し、（●）を押すとその英数字が入力されます。（確定）を押すと、入力した英数字が確定されます。

- 半角入力時は「~」も入力することができます。

注（4）

文字を逆順で表示する

各入力モード（数字入力モードは除く）で、文字が未確定のとき（＃）を押すと、カーソル上の文字がボタン割当一覧表とは逆の順番で表示されます。

例 か→こ→け→く→き

注（5）

小文字の入力のしかた

各入力モード（数字入力モードは除く）では（文字小文字）を押すと、カーソル上の文字（未確定）を大文字または小文字に変えることができます。
ただし、各入力モードで文字が未入力または確定済みの場合は、入力モードの切り替えになります。

- 対応している文字の場合のみ有効です。

例 あ→ぁ　ア→ァ　A→a

ボタン割当一覧表（ポケベル方式）

文字の入力方式（☞3-32ページ）を「**ポケベル方式**」に変更したときの文字の入力方法です。

例 「**よしお**」と入力する場合、8 5 3 2 1 5と入力します。
漢字やカタカナへの変換のしかたは、「**標準方式**」で入力した場合と同じです。

		後に押すボタン									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
先に押すボタン	1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
	2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
	3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
	4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
	5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
	6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
	7	ま	み	む	め	も	¥	&			
	8	や	(	ゆ	)	よ	¥	#			
	9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
	0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

・ は入力後に文字/小文字を押すと、大文字↔小文字と切り替わります。
・Ap、ap、アpの場合はすべて半角文字になります。
・Ap、Ap、ap、ap、アpの場合、ひらがなはカタカナになります。
・ap、apの場合、英字は小文字で入力されます。

■文字の変換機能について

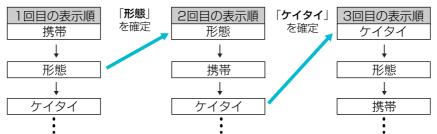
J-T010では、前後の言葉の関係を判断して変換を行うAI変換に対応したモバイル ルポ™を搭載しています。
また、モバイル ルポ™では学習機能や入力予測機能、パーソナル辞書機能を搭載しています。

● モバイル ルポ™は、株式会社 東芝の商標です。

学習機能について

全角かな（漢字変換）入力モードで一度変換してから確定した文字は、次回の変換時に優先して表示されます。

例「けいたい」を変換する場合

変換する内容によっては、学習機能の対象とならない場合があります。その場合は、変換したい内容をF43「ユーザー辞書」（☞12-12ページ）に登録してから変換の操作を行ってください。

入力予測機能について

文字の入力画面が通常入力画面で全角かな（漢字変換）入力モードを利用しているときは、入力した文字から予測される変換候補が表示されますので、変換したい文字をすべて入力しなくても漢字変換などが簡単に行えます。

● 入力予測機能を利用して文字を入力する方法については、3-9ページを参照してください。
● 入力予測機能で学習した内容は、リセットすることができます（☞3-31ページ）。

パーソナル辞書について

パーソナル辞書とは、メールのメッセージ作成時に利用できる辞書機能です。
通常、文字の変換を行うと学習機能や入力予測機能で学習した内容は一般辞書へ自動的に保存されますが、パーソナル辞書を設定すると学習した内容は一般辞書とは別の辞書（辞書1～5）に自動的に保存されるようになります。
また、各辞書に保存された変換候補はメッセージの作成時に反映されていきますので、送信する相手によってよく利用する文字の変換候補を使い分けることができます。

パーソナル辞書の利用方法について

準備1 パーソナル辞書（辞書1～5）の使い分けを決めて、辞書の名称を変更しておきます（☞3-30ページ）。

例 「**辞書1**」は「**友達**」、「**辞書2**」は「**会社**」など

準備2 メモリダイヤルに相手を登録します（☞4-2ページ）。
このとき、「**オプション**」の「**パーソナル辞書**」に 準備1 で決めたパーソナル辞書（辞書1～5）を設定しておきます（☞4-12ページ）。

メールの作成画面を呼び出し、「**アドレス**」に 準備2 で登録した相手を設定してからメッセージを作成すると、パーソナル辞書で学習した文字の変換候補が表示されます。

例 「**お**」を入力した場合の変換候補の表示例

パーソナル辞書を設定していない場合（一般辞書の場合）

辞書1に設定して学習していた場合

辞書2に設定して学習していた場合

- 以下の場合は一般辞書で学習した文字の変換候補が表示され、パーソナル辞書で学習した文字の変換候補は表示されません。
  ・パーソナル辞書を設定していない相手宛にメールのメッセージを作成した場合
  ・メールのアドレスを設定する前にメッセージを作成した場合
- パーソナル辞書や一般辞書はユーザー辞書（☞12-12ページ）とは異なり、お客様が変換候補を登録することはできません。

- パーソナル辞書（辞書1～5）はメモリダイヤルごとに設定できます。
- パーソナル辞書や一般辞書で学習した内容は、辞書別にリセットすることができます（☞3-31ページ）。

■文字の入力方法

入力予測機能を利用して文字を入力する

文字の入力画面が通常入力画面の場合で全角かな（漢字変換）入力モードを利用しているときは、入力予測機能を利用して文字を入力することができます。

例 プチメモで「**来週から**」を入力する場合

1 文字の入力画面（通常入力画面）を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2 を押す

予測エリアに「**ら**」から予測される変換候補のリストが表示されます。

- 変換候補は最大10件表示されます。また、変換候補がない場合は、予測エリアは表示されません。

3 を押す

「**来週から**」を選択します。

- 再度、ショートカットを押すと、操作**2**の画面に戻ります。
- 「**02／08**」の「**08**」は候補数を表し、「**ら**」の入力予測として8種類の変換候補があることを表しています。

4 を押す

「**来週から**」が確定されます。

- 文字の入力を終了するときは、もう一度●を押します。

入力予測は通常入力画面を使用する機能でのみ使用することができ、ポップアップ入力画面では使用できません（☞3-2ページ）。

- 予測エリアに変換候補が1件のみの場合は、操作**2**の画面でショートカットを押すと、その候補が確定されます。
- 入力予測の設定は解除することもできます（☞3-29ページ）。

3 文字の入力のしかた

全角かな（漢字変換）入力モードで入力する

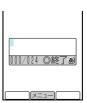
入力予測機能で表示されない文字を変換する場合や入力予測機能を利用しないで文字を変換する場合、ポップアップ入力画面で文字を変換する場合の変換方法です。

例 新規メモリダイヤルの登録で名前に「**須々木**」を入力する場合

1 文字小文字を押す

「**メモリダイヤル（名前）**」を選択します。

2 ●を押す

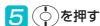
文字の入力画面になります。

3 「すずき」を入力

- 入力のしかたは以下の通りです。
  3（3回）：「**す**」を入力
  ○→：カーソルを右に移動
  3（3回）▶ ＊：「**ず**」を入力
  2（2回）：「**き**」を入力
- 一度に変換できる文字数は、最大40文字です。
- 英字、数字、カタカナに変換できるときは「英数カナ」が表示されます（☞3-13ページ）。

4 ○を押す

「**鈴木**」に変換されます。

- 「**001／006**」の「**006**」は候補数を表し、「**すずき**」に対して6種類の変換候補があることを表しています。
- 単漢字の候補があるときは「単漢」が表示されます（☞3-12ページ）。

5 を押す

「**須々木**」を選択します。

- 付属のメモリカードを取り付けている場合、「意味」が表示されます。（意味）を押すと選択している単語の意味を参照することができます。

6 ●を押す

「**須々木**」が確定されます。

- 文字の入力を終了するときは、もう一度●を押します。

- メモリダイヤルの名前登録時は、名前が優先して変換候補に表示されます。そのため、プチメモ（☞11-28ページ）などの登録時と、変換候補の表示される順番が異なる場合があります。
- 確定した文字が登録可能文字数を超えると「オーバー」が表示されます。クリアを押して「オーバー」が消えるまで文字を消去してください（登録可能文字数は、機能により異なります）。

- 全角かな（漢字変換）入力モードでは、入力した文字が単語や熟語、文節単位で変換されますが、目的の漢字に変換されない場合は、◁▷で文字の範囲を再度指定してから▽で変換します。例えば「**こみやまさとし**」と入力して▽で変換すると、「**込山敏**」が表示されます。「**こみや**」と「**まさとし**」の組み合わせにするときは、右の画面で◁▷を押し、カーソルを「**こみや**」に指定してから▽を押し、△▽で変換します。

込山敏
001/006 ◎確定あ

- 文字モード変更（☞3-3ページ）から顔文字を入力する以外に、漢字変換入力モードで「かお」と入力し、△▽で変換を繰り返しても以下のような顔文字を入力することができます。

＼(^o^)／	(T$_0$T)	m(_ _)m	(^0^)v	(>_<)	(^0^)/
(^^ゞ	(#^0^#)	(^_^;)	(-_-;)	(^-^)／~~	0o。(^0^)y-°°

- **入力した文字を修正する場合は…**
  ◁▷でカーソルを修正する文字の上に移動し、修正する文字をクリアで消去したあと、正しい文字を入力してください。
  ・クリアを短く押す：カーソル位置から1文字消去
  ・クリアを長く押す（約1秒以上）：カーソル位置から続けて消去

3 文字の入力のしかた

単漢字で変換する

全角かな（漢字変換）入力モード（☞3-10ページ）で目的の漢字が表示されない場合、同じ読みの漢字（1文字単位）の変換候補を表示させてから、選択することができます。

例 「鱸」（すずき）を入力する場合

1 3-10ページの操作4より

「単漢」が表示されます。

- 入力画面に「単漢」が表示されていない場合は行えません。

2 （単漢）を押す

「鱸」が表示されます。

- 変換候補が複数ある場合は、を押して目的の漢字を検索します。また、変換候補が1画面で表示しきれない場合は、（前ページ）、（次ページ）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。

すずき
鱸

3 ●を押す

「鱸」が確定されます。

補足 全角かな（漢字変換）入力モードにて、以下の表に示す「読み」をひらがなで入力し、で変換してから（単漢）で単漢字変換に切り替えると、表にある特殊な文字を表示することができます。

読み	文字（記号）
いっぱん	＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
がくじゅつ	＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀√∫
かっこ	‘’ “” （） 〔〕 ［］ ｛｝ 〈〉 《》 「」 『』 【】
ぎりしゃ	ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζ ηθικλμνξοπρστυφχψω
たんい	°′″℃￥＄￠￡％
ろしあ	АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬ ЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщ ъыьэюя
きじゅつ	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／ ＼～‖｜…‥
きごう	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／ ＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－ ±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆★○ ●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔ ∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
けいせん	─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷ ┿┝┰┥┸╂

英字、数字、カタカナに変換する

全角かな（漢字変換）入力モードから入力モードを変更しなくても、そのボタンに割り当てられている英字や数字、カタカナに変換することができます。

例 全角かな（漢字変換）入力モードで「TOM（半角）」と入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

3-10ページを参照してください。

2 8（1回）▶ 6（3回）▶ ◯ ▶ 6（1回）を押す

「やふは」と表示されます。

- 入力画面に「英数カナ」が表示されていない場合は行えません。

3 （英数カナ）▶ ◯ を押す

「TOM」を選択します。

- 入力した文字の中に対応する英字が割り当てられていない場合（☞下記）は、数字とカタカナのみの変換となります。

4 ● を押す

「TOM」が確定されます。

補足

- 英数カナ変換は、全角かな（漢字変換）入力モードでのみ行えます。
- 入力した文字に対応している英字は以下の通りです。

ボタン ＼ 回数	押す回数			
	1回	2回	3回	4回
1	対応していません			
2	か→A	き→B	く→C	
3	さ→D	し→E	す→F	
4	た→G	ち→H	つ→I	
5	な→J	に→K	ぬ→L	
6	は→M	ひ→N	ふ→O	
7	ま→P	み→Q	む→R	め→S
8	や→T	ゆ→U	よ→V	——
9	ら→W	り→X	る→Y	れ→Z
0	対応していません			

3 文字の入力のしかた

絵文字を入力する

全角の各入力モードでは文字が未入力または確定済みのときに、絵文字を入力することができます。

例「😐」を入力する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

3-10ページを参照してください。

3 文字の入力のしかた

2 ＊(2回) ▶ ◎を押す

「😐」を選択します。

- （前ページ）、（次ページ）を押すと1画面ずつ表示を切り替えることができます。
- 絵文字を連続して入力する場合は、◎で絵文字を選択したあと（連続）を押します。◎（連続）を繰り返して絵文字を入力し、最後の絵文字を選択したあと操作3を行います。

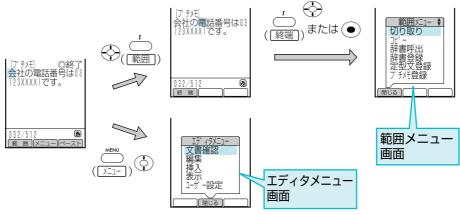
3 ●を押す

「😐」が確定されます。

補足

- 絵文字は半角入力モードでは表示されません。
- 絵文字一覧については、J-スカイ編を参照してください。

文字入力中の便利な機能

メモリダイヤル、プチメモやロングメール、スカイメール（☞J-スカイ編）などの文字入力画面から範囲メニュー画面やエディタメニュー画面を呼び出すことにより、以下の各操作を行うことができます。

■範囲メニューの項目（操作のしかたは、3-17〜22ページ参照）

切り取り	範囲指定（※1）した文字を切り取り（画面上から消去）、クリップボード（※2）に記憶する。
コピー	範囲指定した文字をコピー（画面上に残す）し、クリップボードに記憶する。
辞書登録	範囲指定した文字や絵文字をユーザー辞書（☞12-12ページ）に登録する。
定型文登録	範囲指定した文字を定型文（☞12-11ページ）に登録する。
プチメモ登録	範囲指定した文字をプチメモ（☞11-28ページ）に登録する。
新規メモリダイヤル	範囲指定した数字や英字をメモリダイヤル（☞4-2ページ）に新規登録する。
メモリダイヤル追加	範囲指定した数字や英字をメモリダイヤル（☞4-2ページ）に追加登録する。
一括変換	一度確定した文字を漢字などに再変換する。
置き換え	範囲指定した文字をクリップボードの内容に置き換える。
削除	範囲指定した文字を削除する。
辞書呼出	範囲指定した文字の意味を表示する（※3）。

※1 範囲指定とは、（範囲）を押したあと、を押して文字範囲をカーソルで指定し、
（終端）を押すことをいいます（☞3-17ページ）。

※2 **クリップボードについて**

・クリップボードとは、文字の切り取りやコピー（☞上記、9-17ページ）を行った内容や画像、メロディのコピー（☞J-スカイ編）を行った内容をファイル形式として一時的に記憶しておく場所です。クリップボードに記憶された文字データは、それぞれの文字入力画面で使用することができます。また、クリップボードに記憶されたファイルは、フォルダ内に貼り付けることができます。

・クリップボードには最大20件または最大100Kバイトのデータを記憶することができます。

※3 メモリカードを取り付けていなかったり、メモリカードに辞書データがない場合は、「**辞書呼出**」を行うことはできません。

つづく▶

3 文字の入力のしかた

■エディタメニュー「文書確認」の項目（操作のしかたは、3-22～23ページ参照）

文書確認	入力した内容を確認する。

■エディタメニュー「編集」の項目（操作のしかたは、3-23～25ページ参照）

元に戻す		1つ前の画面（操作）に戻す。
コピー		カーソルの位置からコピーする範囲を指定し、クリップボードに記憶する。
削除	**全文削除**	文字入力画面上にある文字をすべて削除する。
	カーソル以降	文字入力画面上にあるカーソル以降の文字をすべて削除する。
	カーソル以前	文字入力画面上にあるカーソル以前の文字をすべて削除する。

■エディタメニュー「挿入」の項目（操作のしかたは、3-26ページ参照）

定型文	定型文（☞12-11ページ）に登録しているメッセージを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メール定型文	メールの定型文（☞J-スカイ編）を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
プチメモ	プチメモ（☞11-28ページ）に登録している内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
署名	署名（☞J-スカイ編）に登録している内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メールボックス	メールボックス（☞J-スカイ編）に登録しているメッセージを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
メモリダイヤル	メモリダイヤル（☞4-2ページ）に登録している相手先の名前や電話番号、Eメールアドレスなどを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
アドレス送信履歴	アドレス送信履歴（☞J-スカイ編）に登録されている内容を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
オーナー情報	オーナー登録（☞12-10ページ）に登録している名前や電話番号、Eメールアドレスなどを文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
電話番号	お客様の電話番号を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。
位置情報	お客様の位置情報を文字入力画面のカーソルの前に貼り付ける。

■エディタメニュー「表示」の項目（操作のしかたは、3-27ページ参照）

最後へジャンプ	カーソルを最後の文字の右に移動する。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の文字に移動する。

■エディタメニュー「ユーザー設定」の項目（操作のしかたは、3-28～33ページ参照）

辞書登録			ユーザー辞書登録（☞12-12ページ）の画面を呼び出す。
入力予測	ON/OFF		入力された文字から予測される変換候補をリスト表示させる設定（初期値は「**ON**」）。
辞書学習設定	**名称編集**		パーソナル辞書の名称を変更する（初期値は「**辞書1～5**」）。
	辞書学習リセット	**予測辞書**	入力した文字から予測される変換候補をお買い上げ時の状態に戻す（☞3-31ページ）。
		パーソナル辞書	
かな入力方式	**標準方式**		文字を入力するときの方式を選択する（初期値は「**標準方式**」）。
	ポケベル方式		
文字のサイズ	**大きい文字**		文字入力画面で表示される文字のサイズを選択する（初期値は「**大きい文字**」）。
	小さい文字		
改行制御	ON/OFF		入力した文字を「↵」の位置で改行して表示させる設定（初期値は「**ON**」）。

■範囲メニューの使いかた

指定した文字の範囲を切り取りやコピーなどに利用することができます。

範囲を指定する

例 プチメモに入力した内容を呼び出し、「**電話**」を範囲指定する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2 (十字キー)を押す

範囲指定したい先頭または最後の文字にカーソルを移動します。

3 (範囲)▶(十字キー)を押す

「**電話**」を選択します。

● (範囲)を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。

4 (終端)を押す

「**電話**」が範囲指定され、範囲メニュー画面になります。

● (●)でも同様の操作が行えます。

3 文字の入力のしかた

切り取り／コピー／貼り付けをする

範囲指定した文字、絵文字を切り取ったり、コピーしてクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容は文字入力画面でカーソル位置の前に貼り付けること（ペースト）ができます。

● クリップボードについては3-15ページを参照してください。

例 プチメモに入力した内容「**会社の電話番号**」を「**電話会社の番号**」に変更する場合

1 3-17ページの操作4より

「**切り取り**」を選択します。

2 ●を押す

範囲指定した文字「**電話**」が画面上から消去され、クリップボードに記憶されます。

- 「**コピー**」を選択した場合は、「**電話**」を画面上に残してクリップボードに記憶します。
- クリップボードに貼り付け可能なデータがある場合、「ペースト」が表示されます。

3 ◆を押す

貼り付ける位置を選択します。

4 （ペースト）を押す

貼り付け可能なクリップボードのデータが表示されます。
「**電話**」を選択します。

- （表示）を押すと、選択している内容を確認することができます。

5 ●を押す

「**電話**」が貼り付けられます。

- 文字をコピーする場合は、操作1で「**コピー**」を選択してください。
- 「**コピー**」の操作は、エディタメニューの「**編集**」からでも行えます（☞3-24ページ）。

ユーザー辞書に登録する（辞書登録）

範囲指定した文字、絵文字をユーザー辞書（☞12-12ページ）に登録することができます。

1 3-17ページの操作4より、◎を押す

「**辞書登録**」を選択します。

2 ●を押す

範囲指定した内容が登録語句に入力されます。
このあと、12-12ページの操作5以降を行います。

定型文／プチメモに登録する

範囲指定した文字を定型文（☞12-11ページ）やプチメモ（☞11-28ページ）に登録することができます。

例 範囲指定した文字を定型文に登録する場合

1 3-17ページの操作4より、◎を押す

「**定型文登録**」を選択します。

2 ●を押す

未登録の項目にカーソルがあたります。
- 登録されている内容を上書きする場合は、◎で上書きする項目を選択します。

3 ●を押す

範囲指定した内容が定型文に登録されます。

プチメモに登録する場合は、操作1で「**プチメモ登録**」を選択してください。

メモリダイヤルに登録する

範囲指定した数字や英字をメモリダイヤルに登録することができます。

例 プチメモの内容を呼び出し、「03123XXXX1」をメモリダイヤルに新規登録する場合

1 文字の入力画面を呼び出し、◎を押す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。
範囲指定したい先頭または最後の文字にカーソルを移動します。

2 （範囲）▶ ◎を押す

「03123XXXX1」を選択します。

- （範囲）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。

3 （終端）▶ ◎を押す

「**新規メモリダイヤル**」を選択します。

4 ●を押す

「03123XXXX1」が電話番号に入力されます。

- 範囲指定した内容が数字のときは、電話番号に入力され、@を含む半角英数字のときは、Eメールアドレスに入力されます。
- 範囲指定した数字の間に「－・（　）」が含まれていても、電話番号として認識されます。ただし、「－」などの記号は電話番号として入力されません。
- 電話番号（数字）とEメールアドレス（@を含む半角英数字）以外の文字を範囲指定しても、本機能で登録することはできません。

メモリダイヤルに追加登録する場合…
操作3の画面で「**メモリダイヤル追加**」を選択したあと、4-14ページの操作3以降を行います。

確定した文字を再変換する（一括変換）

一度確定した文字を範囲指定して漢字などに再変換することができます。

例 半角文字の「03123XXXX1」を全角文字に変換する場合

1 3-20ページの操作3より、を押す

「**一括変換**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**全角変換**」を選択します。

3 を押す

全角に変換されます。

- 漢字、絵文字は、一括変換できません。
- 「**かな漢字変換**」はひらがなでのみ行えます。
- 「**全角変換**」「**半角変換**」はカタカナ、英字、数字、記号でのみ行えます。
- 「**大文字変換**」「**小文字変換**」は英字でのみ行えます。

クリップボードの内容に置き換える

範囲指定した文字をクリップボードの内容に置き換えることができます。

- 置き換えを選択するにはあらかじめ、切り取りやコピーを行い、クリップボードに文字を記憶する必要があります（☞3-18ページ）。

例 「**会社の電話番号**」の「**電話**」をクリップボードに記憶している内容「**FAX**」に置き換える場合

1 3-17ページの操作4より、を押す

「**置き換え**」を選択します。

2 を押す

クリップボードが表示されます。
「**FAX**」を選択します。

- （表示）を押すと、選択している内容を確認することができます。

つづく▶

3 文字の入力のしかた

3 ●を押す

「**会社の電話番号**」の「**電話**」が「**FAX**」（クリップボードの内容）に置き換えられます。

- クリップボードに貼り付け可能なデータがある場合、「ペースト」が表示されます。

削除する

範囲指定した文字を削除することができます。

1 3-17ページの操作4より、を押す

「**削除**」を選択します。

2 ●を押す

範囲指定した文字が削除されます。

辞書を呼び出す

範囲指定した文字の意味検索（☞11-30ページ）を行うことができます。
辞書を呼び出す場合はあらかじめ付属のメモリカードを取り付けてください。

1 3-17ページの操作4より、を押す

「**辞書呼出**」を選択します。

2 ●を押す

候補の文字が表示されます。

エディタからの文字入力変換時（3-10ページの操作5の画面）に（意味）を押すと、単語の意味を参照することができます。

■エディタメニューの「文書確認」の使いかた

入力した内容を全角12文字×10行で表示させて確認することができます。

1 文字の入力画面を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2 MENU（メニュー）**を押す**

「**文書確認**」を選択します。

3

内容が確認できます。

- 長いメッセージの場合は「↕」などが表示されますので、 を押して確認してください。
- 文字入力画面に戻る場合は、（編集）を押します。

重要 文書確認中は文字の入力はできません。

補足 文書確認中に を押すと、文字の入力を終了します。

■エディタメニューの「編集」の使いかた

元に戻す

一度確定した文字や挿入した文字を取り消したり、クリアを押して削除した文字を元に戻すことができます。

例 一度確定した文字「**スズキ**」を取り消す場合

1 文字の入力画面を呼び出し、文字を入力

文字の入力方法については3-9ページを参照してください。

2 MENU（メニュー）**を押す**

「**編集**」を選択します。

つづく▶

3 ●を押す

「**元に戻す**」を選択します。

4 ●を押す

操作**1**で確定した文字「**スズキ**」が取り消されます。

重要
- 削除した文字が元に戻るのは、カーソルを移動せずにクリアを押して削除した文字で、最後に削除した文字から全角32文字までです。
- 以下の場合は元に戻せません。
  - ・範囲メニューの「**削除**」を行って削除した文字
  - ・エディタメニュー「**編集**」の「**削除**」を行って削除した文字
  - ・範囲メニューの「**置き換え**」を行って置き換えた文字

コピーをする

文字をコピーしてクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容は、文字入力画面でカーソル位置の前に貼り付けることができます（☞3-18ページ）。

- クリップボードについては3-15ページを参照してください。

例 プチメモに入力した「**電話番号**」をコピーする場合

1 文字の入力画面を呼び出し、◎を押す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。
コピーしたい先頭または最後の文字にカーソルを移動します。

2 MENU（メニュー）▶ ◎を押す

「**編集**」を選択します。

3 ●を押す

「**コピー**」を選択します。

4 **を押す**

コピーしたい文字の範囲を選択します。

5 **を押す**

選択した文字がコピーされます。

- 貼り付けを行う場合は、3-18ページの操作*3*以降を行います。

「**コピー**」の操作は、範囲メニューからでも行えます（☞3-18ページ）。

削除する

入力した文字をすべて削除したり、カーソル位置から後ろや前の文字を削除することができます。

例 カーソル位置から後ろの文字を削除する場合

1 3-24ページの操作*3*より、◎を押す

「**削除**」を選択します。

2 ●▶◎を押す

「**カーソル以降**」を選択します。

3 ●▶◎を押す

「**YES**」を選択します。

4 ●を押す

カーソル位置から後ろの文字が削除されます。

■エディタメニューの「挿入」の使いかた

定型文やプチメモなどに登録している内容を文字入力画面のカーソル位置の前に挿入することができます。

例 プチメモに定型文で登録されている内容「**こんにちは**」を挿入する場合

1 文字の入力画面を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2   **を押す**

「**挿入**」を選択します。

3 ●を押す

「**定型文**」を選択します。

4 ●▶◎を押す

「**こんにちは**」を選択します。

● （表示）を押すと定型文の内容を確認することができます。

5 ●を押す

「**こんにちは**」が挿入されます。

■エディタメニューの「表示」の使いかた

最後または先頭へジャンプする

文字入力画面で、カーソルの位置を最後の文字の右へ移動させたり、先頭の文字へ移動させることができます。

例 プチメモの入力で、カーソルの位置を最後の文字の右へ移動させる場合

1 文字の入力画面を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2 MENU（メニュー）▶ ◎を押す

「**表示**」を選択します。

3 ●を押す

「**最後へジャンプ**」を選択します。

4 ●を押す

カーソルの位置が、最後の文字の右に移動します。

■エディタメニューの「ユーザー設定」の使いかた

ユーザー辞書の登録を行う（辞書登録）

文字入力時にユーザー辞書（☞12-12ページ）の新規登録ができます。

例 プチメモの文字入力画面から呼び出す場合

1 文字の入力画面を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2   **を押す**

「**ユーザー設定**」を選択します。

3 ● を押す

「**辞書登録**」を選択します。

4 ● を押す

ユーザー辞書の新規登録画面が表示されます。
このあと、12-12ページの操作**3**以降を行います。

3 文字の入力のしかた

入力予測を設定する

通常入力画面の文字入力時に入力予測機能（☞3-7、3-9ページ）を利用することができます。
お買い上げ時の設定は「**ON**」（利用する）です。

例 「**OFF**」（利用しない）に設定する場合

1 3-28ページの操作3より、Ⓢを押す

「**入力予測**」を選択します。

2 ●▶Ⓢを押す

「**OFF**」を選択します。

3 ●を押す

入力予測が設定されます。

> **補足** ポップアップ入力画面（☞3-2ページ）では、入力予測の設定は行えません。

学習機能を設定する

メールを送信する相手に合わせてパーソナル辞書名を変更したり、学習機能や入力予測機能で学習した内容（☞3-7ページ）をお買い上げ時の状態に戻します。

パーソナル辞書の名称を変更する

例「**辞書1**」を「**友達**」に変更する場合

1 3-28ページの操作3より、◎を押す

「**辞書学習設定**」を選択します。

2 ●を押す

「**名称編集**」を選択します。

3 ●を押す

「**辞書1**」を選択します。

4 ● ▶ 辞書名を入力

文字の入力方法については3-9ページを参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角6文字、全角3文字です。

5 ●を押す

「**友達**」に変更されます。

補足
名称を変更した場合は、メモリダイヤルのオプションにある「**パーソナル辞書**」（☞4-12ページ）の名称も変更されます。

3 文字の入力のしかた

辞書をリセットする

例 入力予測機能で学習した内容をすべてリセットする場合

1 3-28ページの操作3より、◎を押す

「**辞書学習設定**」を選択します。

2 ●▶◎を押す

「**辞書学習リセット**」を選択します。

3 ●を押す

「**予測辞書**」を選択します。

4 ●▶◎を押す

「**YES**」を選択します。

5 ●を押す

予測辞書がお買い上げ時の状態に戻ります。

- 予測辞書のリセットを行うと、一般辞書(※)とパーソナル辞書(辞書1～5)の入力予測機能で学習した内容すべてがリセットされます。
- パーソナル辞書のリセットを行うと、選択した辞書別(一般辞書(※)、辞書1～5)の学習機能と入力予測機能で学習した内容すべてがリセットされます。
  ※一般辞書とはメモリダイヤルやプチメモなどJ-T010の文字入力時に学習した内容が登録される辞書です(パーソナル辞書(☞3-8ページ)で学習した内容を除く)。

- 操作3の画面で「**パーソナル辞書**」を選択したあと●を押して、パーソナル辞書の辞書別リセットの操作を行うことができます。
- ポップアップ入力画面(☞3-2ページ)では、辞書学習のリセットは行えません。

3 文字の入力のしかた

かな入力方式を設定する

文字の入力方式を標準方式（☞3-4ページ）とポケベル方式（☞3-6ページ）から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**標準方式**」です。

例「**ポケベル方式**」に設定する場合

1 **3-28ページの操作3より、◎を押す**

「**かな入力方式**」を選択します。

2 **●▸◎を押す**

「**ポケベル方式**」を選択します。

3 **●を押す**

かな入力方式が設定されます。

文字のサイズを変更する

通常入力画面で表示される文字のサイズを変更することができます。
お買い上げ時の設定は「**大きい文字**」です。

例「**小さい文字**」に変更する場合

1 **3-28ページの操作3より、◎を押す**

「**文字のサイズ**」を選択します。

2 **●▸◎を押す**

「**小さい文字**」を選択します。

3 **●を押す**

文字のサイズが設定されます。

- ポップアップ入力画面（☞3-2ページ）では、文字のサイズは変更できません。
- 文字のサイズを設定した場合、文字入力画面（改行制御が「ON」の場合）では以下のように表示されます。

（例）プチメモに入力した場合

「大きい文字」
に設定した場合
（全角9文字×9行表示）

「小さい文字」
に設定した場合
（全角12文字×10行表示）

改行制御を設定する

入力した文字を「↵」の位置で改行して表示させることができます。
お買い上げ時の設定は「ON」（改行する）です。

例 「OFF」（改行しない）を設定する場合

1 3-28ページの操作3より、◎を押す

「**改行制御**」を選択します。

2 ●▶◎を押す

「OFF」を選択します。

3 ●を押す

改行制御が「OFF」に設定されます。

- 改行制御を設定した場合、文字入力画面（大きい文字の場合）では以下のように表示されます。

「ON」（改行する）
に設定した場合

「OFF」（改行しない）
に設定した場合

- 改行制御を「ON」に設定している場合は、プチメモの登録中などに◎を押すと「↵」が表示され、改行されます。
- 改行制御を「OFF」に設定している場合でも、メール（☞J-スカイ編）を送信した場合、相手には「↵」の部分で改行されて表示されます。ただし、相手には「↵」は表示されません。

3 文字の入力のしかた

電話帳を利用する（メモリダイヤル）

メモリダイヤルに登録する

J-T010に電話番号や名前などを登録し、電話帳のように利用することができます。メモリダイヤルを活用すれば、簡単に電話をかけたりメールを出したりすることができます。また、相手先別に着信音や着信画像などを設定することもできます。メモリダイヤルは最大500件登録できます。

■登録できる項目について

メモリダイヤルには、以下の項目を登録することができます。

項目	内容	登録方法
名前	最大で半角24文字、全角12文字まで登録できます。	☞4-3ページ
グループ	個々のメモリダイヤルは、グループ別に登録できます。 ［グループ登録］ グループは検索（☞4-24ページ）に役立つほか、グループごとの着信設定などもできます（☞4-16ページ）。	☞4-12ページ
メモリ番号	自動的に割り振られますが、変更することもできます。 メモリ番号は、検索（☞4-22ページ）やスピードダイヤル（☞4-28ページ）、スイッチ付イヤホンマイクでのワンタッチ発信（☞12-35ページ）などで使用します。	☞4-13ページ
ヨミガナ	名前を入力すると自動的に入力されます。変更することもできます。ヨミガナは検索に使われます（☞4-23、4-25ページ）。	☞4-3ページ
顔写真	モバイルカメラで撮影した画像や本体（データフォルダ）やメモリカードに保存した画像を登録できます。	☞4-5ページ
電話番号	2件まで（それぞれ最大24桁まで）登録できます。	☞4-3ページ
Eメールアドレス	2件まで（それぞれ最大で半角60文字まで）登録できます。	☞4-4ページ
オプション	相手先別に着信音パターンや着信画像などを設定できます。	☞4-7ページ
メモ	最大で半角80文字、全角40文字まで登録できます。	☞4-3ページ
住所	最大で半角100文字、全角50文字まで登録できます。	☞4-3ページ
誕生日	生年月日を登録できます。	☞4-3ページ

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

大切なデータを失わないために
メモリダイヤルに登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■メモリダイヤルの基本的な登録のしかた

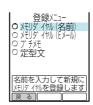
メモリダイヤルの登録画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

例 名前と電話番号を登録する場合

登録画面を表示する

まず、メモリダイヤルの登録画面を表示します。

1 (文字/小文字)**を押す**

「**メモリダイヤル(名前)**」を選択します。

2 (●) ▶ **名前を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- 名前の入力を省略する場合は、名前を入力せずに操作*3*へ進んでください。入力を省略した場合は、「**名前なし**」と登録されます。

3 (●)**を押す**

メモリダイヤルの登録画面が表示されます。
- グループは、自動的に「**名称なし**」が設定されます。変更する場合は、4-12ページを参照してください。
- メモリ番号は、登録されていないメモリ番号の中で最も若い番号が表示されます。変更する場合は、4-13ページを参照してください。
- ヨミガナは、名前を入力すると自動入力されます。修正する場合は、「**タナカ**」を選択し、(編集)を押します。

登録する項目を設定する

続いて、登録したい項目を選択し、設定します。
メモリダイヤルは、登録画面で電話番号、名前、Eメール、メモ、住所、誕生日のいずれかを設定すると登録できる状態になります。それ以外の項目は必要に応じて設定してください。

4 (十字キー)**を押す**

「**電話番号**」を選択します。

5 (編集) ▶ **電話番号を入力**

- 登録可能桁数は、最大24桁です。

つづく▶

6 ●を押す

電話番号が設定されます。
- 続けて「**メモ**」、「**住所**」、「**誕生日**」を設定する場合は、◎で登録したい項目を選択し、操作*5*～*6*と同様に操作を行ってください。
- 誕生日を設定する場合は、年は西暦の4桁、月、日は、それぞれ2桁で入力してください。
- その他の項目の設定方法については、下記を参照してください。

登録する

必要な項目を設定したら、メモリダイヤルに登録します。

7 ⌒（完了）を押す

メモリダイヤルに登録されます。

- メモリダイヤルの登録は、オプション（☞4-7ページ）の一部と顔写真（☞4-5ページ）の設定を除き通話中でも行えます。
- 500件を超える登録はできません。すでに登録されているメモリダイヤルの中で不要なものを消去（☞4-15ページ）してください。
- メモリダイヤルを電話番号から登録する場合は、待受画面で電話番号を入力し、MENU（メニュー）を押します。

■メモリダイヤルの各項目を設定する

名前と電話番号を設定する

名前と電話番号の設定と登録のしかたについては、4-3～4ページを参照してください。

Eメールアドレスを設定する

例 アドレスライブラリを利用してEメールアドレスを設定する場合

1 上記の操作*6*より、◎を押す

「**Eメールアドレス**」を選択します。

2 ⌒（編集）▶「tanaka@△△」を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- Eメールアドレスの文字入力画面では、半角文字の英数字、記号以外の文字は入力できません。
- 登録可能文字数は、最大で半角60文字です。
- ＊を押すと、以下の記号を入力できます。

.	@	-	_	/	!	"	#	$	%	&	'	(	)	¥	+	,	:	;	<	=	>	?	[	¥	]	^	`	{	|	}	~

4 電話帳を利用する（メモリダイヤル）

3 文字小文字 ▶ ◎を押す

「**アドレス**」を選択します。
入力モードの使い方については3-3ページを参照してください。

4 ● ▶ ◎を押す

「**.co.jp**」を選択します。
● アドレスライブラリで選択できる内容は以下の通りです。

.ne.jp	.co.jp	.ac.jp	.or.jp	.com	.net	http://	www.	.html	.png

5 ●を押す

「**.co.jp**」が入力されます。

6 ●を押す

Eメールアドレスが設定されます。
● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作*7*を行ってください。

顔写真を設定する

例 モバイルカメラで顔写真を撮影し、設定する場合

1 4-4ページの操作*6*より、MENU（ﾒﾆｭｰ）▶ ◎を押す

「**顔写真設定**」を選択します。

2 ●を押す

「**撮影**」を選択します。
● 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録している画像を顔写真に設定する場合は、◎で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択します。

つづく▶

3 ●を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。
- カメラの利用方法については8章を参照してください。

4 下サイドキー（シャッター）を押す

シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。
- ●でも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、クリアを押したあと、「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 （登録）を押す

本体（データフォルダ）に画像が登録されたあと、メモリダイヤルの登録画面に顔写真が設定されます。
- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作*7*を行ってください。

操作*2*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、画像サイズが横104×縦116ドット以外の場合は、トリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞ 9-13ページ）。

本体（データフォルダ）が一杯の場合は、操作*5*のあと「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」を選択して、不要なファイルを消去するか、「**メモリカードに保存**」を選択して、メモリカード（データフォルダ）に登録してください。

オプションを設定する

メモリダイヤルごとに以下のオプションを設定することができます。

着信イルミ	着信時の着信イルミネーション(☞12-5ページ)を設定できます。	☞下記
音声着信音	着信時の着信音パターン(☞5-3ページ)やバイブレータ(☞5-7ページ)を設定できます。[指定着信音]	☞4-8ページ
メイン着信画像	着信時にディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞4-9ページ
サブ着信画像	着信時にサブディスプレイに表示される画像を設定できます。	
メール着信音	メール受信時の着信音パターン(☞5-3ページ)やバイブレータ(☞5-7ページ)を設定できます。	☞4-8ページ
メールフォルダ	受信したメールの保存先フォルダを設定できます。メールフォルダについては、J-スカイ編を参照してください。	☞4-10ページ
相手PINコード	PINコードは、スカイメールやグリーティングを特定の人からのみ受信するための4桁の番号です。PINコードについては、J-スカイ編を参照してください。	☞4-11ページ
パーソナル辞書	メールのメッセージを作成するときに使用する辞書を設定できます。パーソナル辞書については、3-8ページを参照してください。	☞4-12ページ

着信イルミネーションを設定する

例 「**チェリー**」に設定する場合

1 **4-4ページの操作6より、(◎)を押す**

「**オプション**」を選択します。

2 **(変更)を押す**

「**着信イルミ**」を選択します。

3 **(●) ▶ (◎)を押す**

「**チェリー**」を選択します。

4 **(●) ▶ (完了)を押す**

着信イルミネーションが設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作7を行ってください。

4 電話帳を利用する(メモリダイヤル)

音声着信音／メール着信音を設定する

例 音声着信音を着信音パターン「**警笛**」、バイブレータ「**パターン2**」に設定する場合

1 **4-4ページの操作6より、**(◎)**を押す**

「**オプション**」を選択します。

2 (変更) ▶ (◎)**を押す**

「**音声着信音**」を選択します。

3 (●)**を押す**

「**着信音パターン**」を選択します。

4 (●) ▶ (◎)**を押す**

「**固定メロディ**」を選択します。

5 (●) ▶ (◎)**を押す**

「**警笛**」を選択します。

● (確認) を押すと、選択しているパターンを確認できます。

6 (●) ▶ (◎)**を押す**

「**バイブレータ**」を選択します。

● バイブレータの設定を省略する場合は、(戻る) を押したあと、操作9へ進んでください。

7 **を押す**

「**パターン2**」を選択します。

- 「**パターン1～3**」を選択すると、バイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」を選択すると、着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

8 **（戻る）を押す**

9 **（完了）を押す**

音声着信音が設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作*7*を行ってください。

> **補足**
> - メールを受信したときの着信音パターンを設定する場合は、操作*2*の画面で「**メール着信音**」を選択してください。
> - 操作*5*のメロディ確認時の音量は、着信設定の音声着信の音量（☞5-6ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で確認音が鳴ります。
> - 音声着信音は、グループ単位で設定することもできます（☞4-16ページ）。ただし、メモリダイヤル単位の設定が優先されます。

メイン着信画像／サブ着信画像を設定する

- メイン着信画像に顔写真を設定する場合は、あらかじめメモリダイヤルに顔写真を設定してください（☞4-5ページ）。

例 メインディスプレイの着信画像を「**顔写真**」に設定する場合

1 **4-4ページの操作*6*より、を押す**

「**オプション**」を選択します。

2 **（変更）▶ を押す**

「**メイン着信画像**」を選択します。

つづく▶

電話帳を利用する（メモリダイヤル） 4

3 ● ▶ ○を押す

「**顔写真**」を選択します。

4 ●を押す

画像が表示されます。

- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

5 （決定）▶ （完了）を押す

メイン着信画像が設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作*7*を行ってください。

重要

- オプションで設定した着信画像を表示する場合は、7-9ページや7-13ページの「**音声着信画像**」を「**OFF**」以外に設定してください。
- 操作*3*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、画像が以下のサイズ以外の場合は、操作*4*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。

メイン着信画像	横240×縦144ドット
サブ着信画像	横　80×縦　48ドット

補足

- サブディスプレイの着信画像を設定する場合は、操作*2*の画面で「**サブ着信画像**」を選択してください。
- 着信画像は、グループ単位で設定することもできます（☞4-16ページ）。ただし、メモリダイヤル単位の設定が優先されます。

メールフォルダを設定する

例「**フォルダ2**」に設定する場合

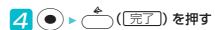
1 4-4ページの操作*6*より、を押す

「**オプション**」を選択します。

2 （変更）▶ を押す

「**メールフォルダ**」を選択します。

3 ▶ を押す

「**フォルダ2**」を選択します。

4 ▶ （完了）を押す

メールフォルダが設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作*7*を行ってください。

相手PINコードを設定する

- PINコードについては、J-スカイ編を参照してください。

例 「1234」に設定する場合

1 4-4ページの操作*6*より、を押す

「**オプション**」を選択します。

2 （変更）▶ を押す

「**相手PINコード**」を選択します。

3 ▶ 相手PINコードを入力

4 ▶ （完了）を押す

相手PINコードが設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作*7*を行ってください。

パーソナル辞書を設定する

● パーソナル辞書についての詳細と利用方法については、3-8ページを参照してください。

例 「**辞書2**」に設定する場合

1 4-4ページの操作6より、(◎)を押す

「**オプション**」を選択します。

2 (変更) ▶ (◎)を押す

「**パーソナル辞書**」を選択します。

3 (●) ▶ (◎)を押す

「**辞書2**」を選択します。

4 (●) ▶ (完了) を押す

パーソナル辞書が設定されます。

● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作7を行ってください。

グループを変更する

例 「**名称なし**」から「**グループ2**」に変更する場合

1 4-4ページの操作6より、(◎)を押す

「**名称な（し）**」を選択します。

2 (変更) ▶ (◎)を押す

「**グループ2**」を選択します。

● グループ番号は0～9の10種類です。グループ番号0の「**名称なし**」以外は、グループ名を変更することができます（☞4-16ページ）。

3 (●)を押す

グループが設定されます。

● メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作7を行ってください。

4

電話帳を利用する（メモリダイヤル）

メモリ番号を変更する

例 メモリ番号「000」を「022」に変更する場合

1 4-4ページの操作6より、(ナビキー)を押す

「No.000」を選択します。

2 (変更) ▶ 新しいメモリ番号を入力

- メモリ番号は3桁で入力してください。

3 を押す

メモリ番号が設定されます。

- メモリダイヤルの登録を完了する場合は、このあと4-4ページの操作7を行ってください。

補足

- 指定したメモリ番号にすでに登録がある場合は、「**同じメモリ番号があります入替えますか?**」と表示されます。入れ替える場合は「**YES**」を選択し、●を押します。
- 指定したメモリ番号がシークレットメモリ（☞4-30ページ）に登録されている場合は、「**変更できません**」と表示されます。変更する場合は、他のメモリ番号を入力するか、表示されているメモリ番号で登録を行ったあと、シークレットモードを「**ON**」にしてから編集の操作（☞4-30ページ）を行ってください。

■電話番号やEメールアドレスを追加登録する

メモリダイヤルには、電話番号とEメールアドレスをそれぞれ2件まで登録することができます。

例 すでに登録されているメモリダイヤルに電話番号とEメールアドレスを追加登録する場合

1 待受画面で、電話番号を入力

- 登録可能桁数は、最大24桁です。
- 電話番号を間違えて入力した場合は(クリア)を短く押すと、最後の1桁が消去されます。(クリア)を長く(約1秒以上)押すと待受画面に戻ります。

2 ▶ (ナビキー)を押す

「**メモリダイヤル追加**」を選択します。

つづく▶

4 電話帳を利用する（メモリダイヤル）

3 ● ▶ メモリダイヤルを検索

● 検索方法は設定により異なります。メモリダイヤルの検索方法については4-21～28ページを参照してください。

4 ● を押す

すでに登録されていた電話番号（09098…）に続き、電話番号（03123…）が追加されます。

5 ◇ を押す

「**Eメールアドレス**」を選択します。

● Eメールアドレスを追加登録しない場合は、操作*8*へ進んでください。

6 ● ▶ Eメールアドレスを入力

Eメールアドレスの入力方法については4-4ページを参照してください。

● 登録可能文字数は、最大で半角60文字です。

7 ● を押す

すでに登録されていたEメールアドレス（tanaka…）に続き、Eメールアドレス（abcde…）が追加されます。

8 （完了）を押す

メモリダイヤルが更新されます。

■メモリダイヤルの登録内容を編集する

メモリダイヤルの検索（☞4-21ページ）で以下の画面を呼び出すと、メモリダイヤルの編集や消去などを行うことができます。

メモリダイヤルの検索画面（左の画面など）でMENU（メニュー）を押すと、選択しているメモリダイヤルの消去（☞下記補足）やシークレット登録（☞4-30ページ）を行うことができます。

- ランキングの検索画面では、消去やシークレット登録は行えません。
- メモリダイヤルの検索画面については、4-21～28ページを参照してください。

メモリダイヤルの確認画面（左の画面）で各項目を選択し、（編集 または 変更）を押すと、登録した名前や電話番号、メモリ番号（☞4-13ページ）、オプション（☞4-7ページ）などを変更することができます。また、MENU（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。

カーソル位置	メニュー表示	内　容
全項目	顔写真設定	顔写真を変更します。
名前	名前消去	名前とヨミガナを消去します。
	全項目消去	選択しているメモリダイヤルを消去します。
ヨミガナ	ヨミガナ消去	ヨミガナを消去します。
電話番号	メール作成	メールを作成します（☞J-スカイ編）。
	電話番号消去	電話番号を消去します。
	アイコン変更	電話番号のアイコンを変更します。
Eメールアドレス	メール作成	メールを作成します（☞J-スカイ編）。
	Eメール消去	Eメールアドレスを消去します。
	アイコン変更	Eメールアドレスのアイコンを変更します。
オプション	オプションクリア	オプションの設定内容がすべて解除されます。
メモ	メモ消去	メモを消去します。
住所	住所消去	住所を消去します。
誕生日	誕生日消去	誕生日を消去します。

登録したメモリダイヤルを消去する場合は…
メモリダイヤルのランキング（☞4-27ページ）以外の検索画面（☞4-21ページ）で、消去したいメモリダイヤルを選択したあと、MENU（メニュー）を押します。
[メモリダイヤルクリア]
メモリダイヤルをすべて消去する場合は、6-11ページを参照してください。

■メモリダイヤルの登録状況を確認する

メモリダイヤルの登録件数と登録状況の目安を確認することができます。

1 **を押す**

メモリダイヤルの登録件数と登録状況の目安が表示されます。
確認が終わったら、電源を押します。

グループ別に着信音などを使い分ける

グループごとに着信イルミネーションや音声着信音、メイン／サブディスプレイの着信画像を変更することができます。また、メモリダイヤルのグループ名やグループアイコンを変更することもできます。

■設定できる項目について

項目	内容	設定方法
グループアイコン	30種類のアイコンから選択できます。	☞下記
グループ名	名称を変更できます（グループ0「名称なし」は変更できません）。	☞下記
着信イルミ	着信時の着信イルミネーション（☞12-5ページ）を設定できます。	☞下記
音声着信音	着信時の着信音パターン（☞5-3ページ）やバイブレータ（☞5-7ページ）を設定できます。［着信音指定］	☞4-18ページ
メイン着信画像	着信時にディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞4-19ページ
サブ着信画像	着信時にサブディスプレイに表示される画像を設定できます。	☞4-19ページ

■グループの基本的な設定のしかた

グループ設定画面で、設定したい項目を選択し、内容を設定したあと設定を保存します。

例 グループ2のアイコンを「 」、グループ名を「**友人**」、着信イルミを「**ライム**」に設定する場合

グループ設定画面を表示する

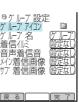
まず、グループ設定画面を表示します。

1 ○-③⑦ ▶ ◎を押す

グループ設定画面を表示して、「**グループ2**」を選択します。

- グループ番号は0～9の10種類です。

2 ●を押す

グループ2の設定画面が表示されます。

必要な項目を設定する

続いて、必要な項目の内容を設定します。

3 操作2より

「**グループアイコン**」を選択します。

4 ● ▶ ◇を押す

「😊」を選択します。

5 ● ▶ ◇を押す

「**グループ名**」を選択します。

6 ● ▶ **グループ名を入力**

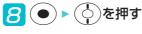
文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- グループ番号0のグループ名「**名称なし**」は、変更できません。

7 ● ▶ ◇を押す

「**着信イルミ**」を選択します。

8

「**ライム**」を選択します。

9

「**ライム**」が設定されます。
- その他の項目の設定方法については、4-18ページを参照してください。

設定を保存する

必要な項目を設定したら、設定を保存します。

10 (完了) **を押す**

設定が保存されます。

4 電話帳を利用する（メモリダイヤル）

■グループ設定の各項目を設定する

グループアイコン、グループ名、着信イルミを設定する

グループアイコン、グループ名、着信イルミの設定と登録のしかたについては、4-16～17ページを参照してください。

音声着信音とバイブレータを設定する

例 着信音パターンを「**電子音**」、バイブレータを「**OFF**」に設定する場合

1 4-17ページの操作9より、◎を押す

「**音声着信音**」を選択します。

2 ●を押す

「**着信音パターン**」を選択します。

- 着信音パターンの設定を省略する場合は、◎で「**バイブレータ**」を選択し、操作6へ進んでください。

3 ● ▶ ◎を押す

「**固定メロディ**」を選択します。

4 ● ▶ ◎を押す

「**電子音**」を選択します。

- ◯（確認）を押すと、カーソル上のメロディが1曲分確認できます。

5 ● ▶ ◎を押す

「**バイブレータ**」を選択します。

6 ● ▶ ◯を押す

「OFF」を選択します。

- 「パターン1～3」を選択した場合は、バイブレータが約5秒間振動します。
- 「SMAF連動」を選択すると、着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

7 ●を押す

バイブレータが設定されます。

- グループ設定を完了する場合は、このあと ◯（戻る）を押し、続いて4-17ページの操作10を行ってください。

> **補足**
> - 操作4のメロディ確認時の音量は、着信設定の音声着信の音量（☞5-6ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で確認音が鳴ります。
> - 着信音パターンの設定を省略したときは、メモリダイヤルオプション設定（☞4-7ページ）、着信音パターン（☞5-3ページ）で設定した着信音パターンに従います。

メイン着信画像／サブ着信画像を設定する

例 メイン着信画像を「くーまん」に設定する場合

1 4-17ページの操作9より、◯を押す

「メイン着信画像」を選択します。

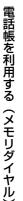
2 ● ▶ ◯を押す

「くーまん」を選択します。

3 ●を押す

画像が表示されます。

- ✱、#で他の画像に切り替え表示します。

つづく▶

4 (決定) を押す

メイン着信画像が設定されます。

- グループ設定を完了する場合は、このあと4-17ページの操作10を行ってください。

- グループ設定で設定した着信画像を表示する場合は、7-9ページや7-13ページの「**音声着信画像**」を「**OFF**」以外に設定してください。
- 操作2で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、画像が以下のサイズ以外の場合は、トリミング(画像の表示したい範囲を指定する)またはリサイズ(画像の拡大、縮小)の操作を行うことができます(☞9-13ページ)。

メイン着信画像	横240×縦144ドット
サブ着信画像	横　80×縦　48ドット

- グループ単位で着信音パターンを設定していても、相手から電話番号が通知されてこない場合は、着信設定の音声着信の着信音パターンに従います(☞5-3ページ)。

- サブディスプレイの着信画像を設定する場合は、操作1の画面で「**サブ着信画像**」を選択してください。
- 着信音パターンやメイン／サブディスプレイ着信画像の設定は、メモリダイヤル単位で設定することもできます(☞4-7ページ)。その場合、メモリダイヤル単位での設定が優先されます。

メモリダイヤルで電話をかける

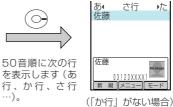
■メモリダイヤルの検索画面について

メモリダイヤルの検索画面ではを押して、検索を行います。

50音順に前の行を表示します（その他、わ行、ら行…）。

50音順に次の行を表示します（あ行、か行、さ行…）。

（「か行」がない場合）

※

※を押す代わりに、1～5を押して選択することもできます。
以下は、「あ行」の画面で操作を行った場合

- 1：「**あ**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 2：「**い**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 3：「**う**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 4：「**え**」から始まる名前にカーソルが移動します。
- 5：「**お**」から始まる名前にカーソルが移動します。

補足

● メモリ番号から検索した場合（☞4-26ページ）やランキングから検索した場合（☞4-27ページ）の検索画面は以下のように表示されます。

メモリ番号での検索画面

ランキングでの検索画面

● 検索画面に「」が表示されているときは、を押すと電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録した番号に電話がかかります）。

4 電話帳を利用する（メモリダイヤル）

■検索方法を選択する

メモリダイヤルの検索方法を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**2タッチ**」です。

一覧	メモリダイヤルの一覧から検索できます。
2タッチ	ヨミガナの頭文字を2タッチで入力して検索できます。
ヨミガナ	ヨミガナを入力して検索できます。
グループ	グループを選択して検索できます。
番号	メモリ番号を入力して検索できます。
ランキング	電話をかけた回数のランキング（20位まで）から検索できます。

例「**グループ**」を選択する場合

1 **を押す**

前回設定された検索方法の画面になります。

2 （モード）▶ **を押す**

「**グループ**」を選択します。

3 **を押す**

選択した検索方法の画面が表示されます。

■6種類の検索方法を活用して電話をかける

一覧から検索する

例「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 **を押す**

前回設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、検索モードを「**一覧**」に変更してください（☞上記）。
- 最も若いヨミガナのメモリダイヤルから順に表示されます。

2 を押す

「**太田**」を選択します。

3 ▶ を押す

電話番号を選択します。

- （国際）を押すと、電話番号の先頭に国際ショートコードを付加することができます（☞12-32ページ）。

4 を押す

選択した番号に電話がかかります。

操作2の画面でを押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

2タッチで検索する

例 「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 を押す

前回設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、検索モードを「**2タッチ**」に変更してください（☞4-22ページ）。

2 1（あ行へ）▶ 5 を押す

ヨミガナの頭文字をボタンで入力し、「**太田**」を選択します。

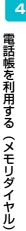
- 頭文字の入力方法については4-24ページの補足を参照してください。

3 ▶ を押す

電話番号を選択します。

- （国際）を押すと、電話番号の先頭に国際ショートコードを付加することができます（☞12-32ページ）。

つづく▶

4 を押す

選択した番号に電話がかかります。

補足

- 頭文字入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。
  例えば「よ」から始まるヨミガナのメモリダイヤルを呼び出す場合は、(8)(5)と入力します。

先に押すボタン ＼ 後に押すボタン	1	2	3	4	5
1	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ
3	さ	し	す	せ	そ
4	た	ち	つ	て	と
5	な	に	ぬ	ね	の
6	は	ひ	ふ	へ	ほ
7	ま	み	む	め	も
8	や	―	ゆ	―	よ
9	ら	り	る	れ	ろ
0	わ	を	ん	―	―

※「その他」を呼び出す場合は、(＊)を押します。

- 未登録のメモリダイヤルを検索した場合、「**登録はありません**」と表示されます。
- 操作2の画面で を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

グループから検索する

例「**グループ1**」の「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 を押す

前回設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、検索モードを「**グループ**」に変更してください（☞4-22ページ）。

2 を押す

「**グループ1**」を選択します。

- ボタン入力でも選択できます。
  (0)：名称なし
  (1)：グループ1
  ⋮
  (9)：グループ9

3 ●を押す

「**グループ1**」に登録された、最も若いヨミガナのメモリダイヤルが表示されます。

4 ◎を押す

「**太田**」を選択します。

5 ● ▶ ◎を押す

電話番号を選択します。

● （国際）を押すと、電話番号の先頭に国際ショートコードを付加することができます（☞12-32ページ）。

6 を押す

選択した番号に電話がかかります。

補足

- 操作**4**の画面でを押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。
- グループ名を編集する場合は、操作**2**の画面で（メニュー）を押します。

ヨミガナから検索する

例「**太田**」を呼び出して電話をかける場合

1 ◎を押す

前回設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、検索モードを「**ヨミガナ**」に変更してください（☞4-22ページ）。

つづく▶

4 電話帳を利用する（メモリダイヤル）

2 ヨミガナを入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- ヨミガナの頭文字だけでも検索できます。
- 入力可能文字数は、最大で半角8文字です。

3 ●を押す

「**太田**」を選択します。

4 ● ▶ ◎を押す

電話番号を選択します。
- ⌒（国際）を押すと、電話番号の先頭に国際ショートコードを付加することができます（☞12-32ページ）。

5 ⌒を押す

選択した番号に電話がかかります。

- ヨミガナの検索は、メモリダイヤル登録時のヨミガナが使用されます。
- 操作3の画面で⌒を押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

メモリ番号から検索する

例 メモリ番号「**001**」を呼び出して電話をかける場合

1 ⊖を押す

前回設定された検索方法の画面になります。
- 右の画面が表示されない場合は、検索モードを「**番号**」に変更してください（☞4-22ページ）。

2 メモリ番号を入力

- メモリ番号は3桁で入力してください。

3 ●を押す

「**太田**」を選択します。

- 右の画面で、3桁のメモリ番号を入力して、他のメモリダイヤルを検索することもできます。

4 を押す

電話番号を選択します。

- （国際）を押すと、電話番号の先頭に国際ショートコードを付加することができます（☞12-32ページ）。

5 を押す

選択した番号に電話がかかります。

- メモリ番号の検索は、メモリダイヤル登録時のメモリ番号が使用されます。
- 操作*3*の画面でを押すと、50件単位で表示を切り替えることができます。
- 操作*3*の画面でを押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。

ランキングから検索する

メモリダイヤルに登録されている相手に電話をかけた回数がランキングで表示されます。また、ランキングから検索して電話をかけることができます。

例 ランキングを呼び出して2位の相手に電話をかける場合

1 を押す

前回設定された検索方法の画面になります。

- 右の画面が表示されない場合は、検索モードを「**ランキング**」に変更してください（☞4-22ページ）。

2 を押す

2位を選択します。

- 20位まで表示されます。

つづく▶

3 **を押す**

電話番号を選択します。
- (国際) を押すと、電話番号の先頭に国際ショートコードを付加することができます（☞12-32ページ）。

4 **を押す**

選択した番号に電話がかかります。

補足
- 操作2の画面でを押しても電話をかけることができます（メモリダイヤルに2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている番号に電話がかかります）。
- 操作1の画面で（メニュー）を押して、ランキングの内容の消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。
- 1件ずつ消去を行った場合、ランキングの順位は繰り上がります。
- ランキングの内容を消去しても、メモリダイヤルに登録している内容は消去されません。

■スピードダイヤルで電話をかける

メモリ番号000～099に登録されている相手の場合、メモリ番号の下2桁とを押すだけで電話をかけることができます。

例 メモリ番号011に登録されている相手に電話をかける場合

1 **メモリ番号の下2桁を入力**

2 **を押す**

入力したメモリ番号の相手に電話がかかります。

補足
- メモリ番号000～009に登録されている相手の場合、下1桁のメモリ番号とを押すだけで電話をかけることができます。
- メモリ番号の下2桁または1桁に該当するメモリダイヤルに、2件の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号に電話がかかります。
- スピードダイヤルと国際ショートコード（☞12-32ページ）の機能を組み合わせてご利用いただくことはできません。

■番号を付加して発信する

メモリダイヤルや着信履歴などから呼び出した電話番号に、追加番号を入力して電話をかけることができます。[セット発信]

例 メモリダイヤルから呼び出した電話番号「177」に追加番号「03」をつなげて、発信する場合

1 メモリダイヤルを呼び出す

メモリダイヤルの呼び出し方については4-21～28ページを参照してください。

2 ● ▶ 追加する番号を入力

● 追加番号はメモリダイヤルに登録されている電話番号の前に追加されます。

3 を押す

相手につながると通話ができます。

補足
● 着信履歴（☞2-9ページ）、リダイヤル（☞2-5ページ）、ノートパッドメモリ（☞12-20ページ）でも同様の操作が行えます。
● 操作2の画面で●を押したあと（完了）を押すと、メモリダイヤルに登録することができます。

シークレットメモリを利用する

他人に知られたくないメモリダイヤルは、シークレットメモリとして登録することができます（最大500件）。シークレットメモリとして登録すると、シークレットモードを「ON」に設定しないと表示されなくなります。

■シークレットモードを設定する

1 ○- 2ABC 2ABC **を押す**

操作用暗証番号の入力画面になります。

シークレットモード
暗証番号を
入力してください
戻る

2 **操作用暗証番号を入力▶ ○ を押す**

「ON」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。
- シークレットモードを解除する場合は、「OFF」を選択してください。

3 ● **を押す**

シークレットモードが設定され、待受画面に「🔑」が表示されます。

重要　シークレットモード中に電源を切ると、シークレットモードは解除されます。

■シークレットメモリとして登録する

- あらかじめシークレットモードを「ON」に設定してください（☞上記）。

1 **ディスプレイに「🔑」が表示されている状態でメモリダイヤルを登録**

メモリダイヤルの登録方法については4-2～15ページを参照してください。

補足

- シークレットモード中に着信履歴（☞2-9ページ）などからメモリダイヤルの登録操作を行った場合も、シークレットメモリとして登録されます。
- シークレットメモリに登録されている相手へ電話をかけた場合、リダイヤルには記録されません。
- シークレットメモリに登録されている相手から電話がかかってきても、シークレットモードが「OFF」の場合は名前やグループアイコンなどは表示されず電話番号のみ表示されます。

■シークレットメモリを検索する

● あらかじめシークレットモードを「ON」に設定してください（☞4-30ページ）。

1 待受画面に「 」が表示されている状態で、メモリダイヤルを検索

メモリダイヤルの検索方法については4-21～28ページを参照してください。

● シークレットメモリとして登録されているメモリダイヤルには、名前の横に「 」が表示されます。

● シークレットメモリの編集や消去なども、通常のメモリダイヤルと同様の操作で行えます。
● シークレットモードが「OFF」の場合は、ヨミガナ検索またはメモリ番号検索でシークレットメモリを呼び出すと、ディスプレイに「**登録はありません**」または「**メモリダイヤル登録はありません**」と表示されます。

■通常のメモリダイヤルに戻す

シークレットメモリを通常のメモリダイヤルとして再登録します。

● あらかじめシークレットモードを「ON」に設定してください（☞4-30ページ）。

1 上記の操作1より、MENU（メニュー）▶ を押す

「**シークレット登録**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**OFF**」を選択します。

3 ● を押す

シークレットメモリが解除されます。
解除すると名前の横の「 」はなくなります。

4 電話帳を利用する（メモリダイヤル）

使いかたに合わせて音を選びましょう

受話音量を調節する

受話器から聞こえる相手の声の大きさを5段階に調節することができます。
お買い上げ時の設定は「**レベル5**」です。

例 「**レベル4**」に設定する場合

1 通話中にまたはを押す

現在の設定が表示されます。

2 を押す

「**レベル4**」を選択します。

- 音量を上げる場合は、を押します。
- 音量を下げる場合は、を押します。

待受中にまたはを長く（約1秒以上）押したあとを押しても受話音量を調節することもできます。

受話音量の表示

表示					
音量	最小 ◀				▶ 最大

着信設定を行う

着信音は固定パターン、固定メロディ、本体（データフォルダ）、メモリカードの中から、お好みにあわせて変更することができます。[着信音パターン]
また、着信音量の調節、バイブレータの設定や解除を行うこともできます。
着信設定は、以下の表の項目について、個別に設定することができます。
お買い上げ時の設定はすべて着信音パターン「**パターン1**」、着信音量「**レベル3**」、バイブレータ「**OFF**」、鳴動時間（音声着信を除く）「**4秒**」です。

- データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

音声着信	電話がかかってきたときの着信音
メール着信	ロングメール以外のメールを受信したときの着信音
ロングメール着信	ロングメールを受信したときの着信音
ウェブ着信	ウェブを受信したときの着信音
ステーション着信	ステーションを受信したときの着信音

・メール、ロングメール、ウェブ、ステーションについては、J-スカイ編を参照してください。

■着信音パターンを変更する

例 音声着信を固定メロディ「**警笛**」に変更する場合

1 ⊖ 1 0 **を押す**

「**音声着信**」を選択します。

2 ● **を押す**

「**着信音パターン**」を選択します。

3 ● ▶ ◯ **を押す**

「**固定メロディ**」を選択します。

つづく▶

を押す

「**警笛**」を選択します。

- (確認)を押すと、カーソル上のメロディを1曲分確認できます。

 を押す

音声着信音が設定されます。

- 操作*1*で「**メール着信／ロングメール着信／ウェブ着信／ステーション着信**」を選択した場合は、着信音が鳴る時間（鳴動時間）を4秒から99秒または一周期分に設定することができます。ただし、着信音パターンを「**固定パターン**」に設定した場合は4秒に設定され、変更することはできません。
- 操作*4*のメロディ確認時の音量は、各着信設定の音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合(☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で確認音が鳴ります。
- 着信音パターンを「**固定パターン**」から選択した場合、「**音声着信**」と「**メール着信／ロングメール着信／ウェブ着信／ステーション着信**」では、同じ「**パターン1～4**」でも鳴り方が異なります。

あらかじめ登録されているメロディについて

J-T010には、あらかじめ以下の内容が登録されています。

・**固定パターン：**パターン1～4

・**固定メロディ：**固定メロディには、以下のメロディと効果音があります。

メロディ	
曲名	**作曲者名**
RHYTHM AND POLICE	松本 晃彦
メヌエット	BACH JOHANN SEBASTIAN
ラデッキー行進曲	STRAUSS JUN JOHANN
私のお父さん	PUCCINI GIACOMO
アラベスク第1番	DEBUSSY CLAUDE ACHILL
パイナップルラグ	JOPLIN SCOTT
アロハオエ	ハワイ民謡
チゴイネルワイゼン	SARASATE PABLO MARTIN MELITON
ダッタン人の踊り	BORODIN ALEKSANDRE PORFIREVICH
ティンサグの花	沖縄県民謡

効果音			
ラブ&ロマンス	アクション	サスペンス	コミカル
ファンタジー	黒電話	You've got mail	電子音
目覚まし	警笛	ドアを開く	ドアを閉じる
ファンファーレ	ウィンドチャイム	笑い声	ブーイング
口笛	わ～お	アウト！	ナイスショット

・メロディと効果音のラブ&ロマンス、アクション、サスペンス、コミカル、ファンタジーは、ボタン確認音（☞5-24ページ）には設定できません。
・メロディと効果音のラブ&ロマンス、アクション、サスペンス、コミカルは、ビデオファイルの効果音（☞9-42ページ）には設定できません。

■着信音量を調節する

着信音の大きさを5段階に調節したり、音を鳴らないようにすることができます。また、音量レベルを徐々に上げたり（ステップアップ）、下げたり（ステップダウン）することができます。

例 音声着信の着信音量を「**レベル4**」に設定する場合

1 5-3ページの操作2より、(上下キー)を押す

「**着信音量**」を選択します。

2 (●)▶(上下キー)を押す

「**レベル4**」を選択します。

- (確認)を押すと、選択した音量で確認音（音声着信のパターン1）が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

3 (●)を押す

着信音量が設定されます。

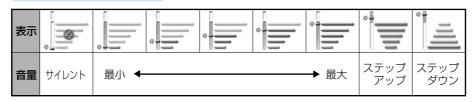
- マナーモード設定中の着信音量は、マナーモードの設定に従います（☞5-8ページ）。
- イヤホンマイク（オプション品）使用時は、イヤホンの音量も同時に調節されます。ただし、着信音量を「**サイレント**」に設定した場合は、イヤホンからのみ「**レベル3**」で鳴ります。

- 着信中に(上下キー)を押して、着信音量を調節することもできます。ただし、「**ステップアップ**」と「**ステップダウン**」は選択できません。
- 音声着信の着信音量を「**サイレント**」に設定すると、待受画面に「(サイレントアイコン)」が表示されます。この場合、着信ランプの点滅とディスプレイ表示で着信をお知らせします。

着信音量の表示

表示								
音量	サイレント	最小	←	→		最大	ステップアップ	ステップダウン

5 使いかたに合わせて音を選びましょう

■バイブレータで着信をお知らせする

電話がかかってきたときやメッセージを受信したときに、バイブレータを振動させることができます。

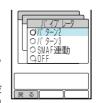
例 音声着信のバイブレータを「**パターン2**」に設定する場合

1 5-3ページの操作2より、を押す

「**バイブレータ**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**パターン2**」を選択します。

- 「**パターン1～3**」を選択した場合は、バイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」を選択すると、着信時や受信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

3 を押す

バイブレータが設定されます。

重要

- マナーモード設定中のバイブレータの振動パターンは、マナーモードの設定に従います（☞5-8ページ）。
- バイブレータを設定しても、割込通話（☞13-22、13-24ページ）のときは、バイブレータは振動しません。
- 充電中に着信があった場合もバイブレータでお知らせします。

補足

- 音声着信のバイブレータを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- 着信音量を「**サイレント**」に設定している場合は、バイブレータの振動のみで着信をお知らせします。

マナーモードを利用する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑とならないような設定に簡単な操作で切り替えることができます。マナーモードは以下の種類から選択することができます。

サイレントモード	会議中など、着信音が気になるときに便利です。
メザマシモード	サイレントモード時でも、目覚ましの機能は有効です。
オリジナルマナー	以下の項目を個別に設定することができます。 ・着信音（着信音量・バイブレータ）　・目覚まし ・スケジュール（アラーム音量・バイブレータ）　・効果音 ・Java™（Java™音量・バイブレータ）　・簡易留守録 ・サウンド音量

各モードの設定内容

機能設定		サイレントモード	メザマシモード	オリジナルマナー
着信音量	音声着信	サイレント		5-10ページの設定による
	メール着信			
	ロングメール着信			
	ウェブ着信			
	ステーション着信			
バイブレータ	音声着信	パターン1		5-10ページの設定による
	メール着信			
	ロングメール着信			
	ウェブ着信			
	ステーション着信			
	目覚まし	パターン1	11-52ページの設定による	5-10ページの設定による
	スケジュールアラーム	パターン1（※1）		5-10ページの設定による
	Java™常駐時	Java™アプリのバイブ設定に従います。ただし、着信時は「パターン1」で振動します。		「ON」設定時は、Java™アプリのバイブ設定に従います。ただし、着信時はオリジナルマナーの設定に従います。「OFF」設定時はバイブレータは振動しません。
	Java™常駐以外	Java™アプリのバイブ設定に従う		
効果音	ウェイクアップ音	OFF		5-10ページの設定による（※2）
	ボタン確認音			
	オープン／クローズ音			
目覚まし		サイレント	11-52ページの設定による	5-10ページの設定による
スケジュールアラーム音		サイレント		5-10ページの設定による
Java™				
サウンド音量（※3、4）		サイレント		5-10ページの設定による
簡易留守録		12-14ページの設定による		5-10ページの設定による
電池アラーム音		サイレント（※5）		
応答保留音		サイレント		

※1 最大1分間振動します。
※2 「ON」の場合は、効果音（☞5-23ページ）の設定に従います。
※3 サウンド音量とは、メール／ウェブ／ステーションを利用中にメロディなどを再生したときの音量です。
※4 サウンド再生時のバイブレータは「SMAF連動」（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）となり、サウンドに連動して振動します。
※5 通話中のみ受話器より聞こえます。

補足 マナーモードを設定しても、カメラ利用時のシャッター音やビデオカメラ使用時の電子音は鳴ります。

■マナーモードにする

1 **#(マナー)を押す（約1秒以上）**

マナーモードが設定されます。

■マナーモードを解除する

1 **マナーモード設定中、#(マナー)を押す（約1秒以上）**

マナーモードが解除されます。

■マナーモードの種類を変更する

お買い上げ時の設定は「**サイレントモード**」です。

例 「**オリジナルマナー**」に変更する場合

1 **○-1 6 ▶ ○を押す**

「**オリジナルマナー**」を選択します。

2 **●を押す**

マナーモードの種類が変更されます。

5 使いかたに合わせて音を選びましょう

F16

オリジナルマナーの設定内容を変更する

オリジナルマナーでは、以下の項目を個別に設定することができます。

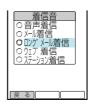
着信音	音量：サイレント／レベル1～5／ステップアップ／ステップダウン バイブレータ：パターン1～3／SMAF連動／OFF ※着信音では、音声着信、メール着信、ロングメール着信、ウェブ着信、ステーション着信で個別に音量やバイブレータを設定できます。
目覚まし	
スケジュール	
Java™	音量：サイレント／レベル1～5、バイブレータ：ON／OFF
サウンド音量	サイレント／レベル1～5
効果音	ON／OFF
簡易留守録	設定／解除

例 「**ロングメール着信**」の着信音量を「**レベル1**」に変更する場合

1 **5-9ページの下段操作1より、（変更）を押す**

「**着信音**」を選択します。

2 **● ▶ ◎を押す**

「**ロングメール着信**」を選択します。

3 **●を押す**

「**着信音量**」を選択します。

4 **● ▶ ◎を押す**

「**レベル1**」を選択します。

- （確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。
- 「**サウンド音量**」では、「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」を選択できません。

5 ●を押す

着信音量が設定されます。

6 （戻る）を2回押す

7 （完了）を押す

オリジナルマナーが設定されます。

補足

オリジナルマナーの音量や設定を変更すると、操作 7 の画面は以下のように表示されます。

表示	音量およびバイブレータの設定内容
音	音量がサイレント以外でバイブレータがOFFに設定されている場合
バイブ	音量がサイレントでバイブレータがOFF以外に設定されている場合
音／バイブ	音量がサイレント以外でバイブレータがOFF以外に設定されている場合
OFF	音量がサイレントでバイブレータがOFFに設定されている場合

F 15

オリジナルの着信音を作る

自分で曲を作成し、本体（データフォルダ）に登録することができます。本体（データフォルダ）に登録した曲は、着信音パターン（☞5-3ページ）に設定したり、メール（☞J-スカイ編）に添付することができます。[オリジナル着信音]

- データフォルダについては9章を参照してください。
- オリジナル着信音はメモリカードに登録できません。

■オリジナル着信音の入力画面

オリジナル着信音は、メインメロディ（主旋律）、サブメロディ1～2（副旋律）の3つの旋律から構成されており、それぞれに異なった音階を入力することで、和音演奏を楽しむことができます。また、音符や休符、テンポ、タイなどを入力でき、約4オクターブの音域で最大256音入力することができます。

オリジナル着信音の入力画面は、以下のように表示されます。

旋律表示
現在作成中の旋律を表示します。
メインメロディ：主旋律
サブメロディ1：副旋律
サブメロディ2：副旋律

タイ表示
タイ（同じ音を途切れなくする）を挿入したときに表示します。
※タイを挿入する場合は、同じ音階を2音続けて入力してください。

音符・音階表示
入力した音符／休符と音階を表示します。

入力カウンター表示
カーソルの現在位置と入力済みの音階数を表示します（最大256音）。

テンポ表示
テンポ（曲の早さ）を切り替えたときに表示します。「96」「108」「120」「144」の4種類から選べます。

カーソル

オクターブ音域表示
各音符の音の高さを表します。

音色表示
現在作成中の旋律の音色を表示します（音色は175種類から選択できます）。

メインメロディ
120 96
ミ ファソ ソ シ ド
ピアノ
文字：タイ 旋律
007/007 ◎終了
範囲 メニュー 再生

メール（ロングメール）でメロディ添付できる音域
メール（ロングメール以外）でメロディ添付できる音域

音階	ラ ラ# シ ド ド# レ レ# ミ ファ ファ# ソ ソ# ラ ラ# シ ド ド# レ レ# ミ ファ ファ# ソ ソ# ラ ラ# シ ド ド# レ レ# ミ ファ ファ# ソ ソ# ラ ラ# シ ド ド# レ レ# ミ ファ ファ#
オクターブ音域表示	

■音階の入力方法

音階入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。

ボタン	ボタンの説明	
1	「ド」／「ド#」の入力	1、2、4〜6の各音符は、ボタンを押す回数によって全音と半音が切り替わります。例えば、「ド」の半音「ド#」を入力する場合は、1を2回押します。
2	「レ」／「レ#」の入力	
3	「ミ」の入力	
4	「ファ」／「ファ#」の入力	
5	「ソ」／「ソ#」の入力	
6	「ラ」／「ラ#」の入力	
7	「シ」の入力	
8	音符や休符の変更	音符（1〜7）や休符（9、0）の入力後に、8を押すと以下のように切り替わります。 8分音符 → 4分音符 → 2分音符 → 16分音符 8分休符 → 4分休符 → 2分休符 → 16分休符
9	休符の上書き	カーソルの位置に休符を上書きします。
0	休符の挿入	カーソルの前に休符を挿入します。
# マナー	テンポの切り替え	カーソルのある位置からテンポを切り替えます。「96」「108」「120」「144」から選べます（起動時は「120」）。テンポは、切り替わりの位置にのみ表示されます。#を押すたびにテンポが切り替わります。
（再生）	音楽再生選択の呼び出し	音階の入力画面で、入力中の音階を再生することができます（※1）。
上サイドキー	前画面へ移動	前の画面へ移動します。
下サイドキー	次画面へ移動	次の画面へ移動します。
クリア	音符、休符などの消去	カーソルの部分を消去します。
●	入力の終了	表示している旋律の入力を終了します。
上下キー	オクターブの切り替え	音符のオクターブ音域を切り替えます。
左右キー	カーソルの左右移動	カーソルの位置を左右に移動します。
（範囲）	範囲の指定	入力中の音階の範囲を指定するときに使用します（※2）。
文字/小文字	タイの入力	カーソルのある位置に「タイ（同じ音を途切れなくする）」を付けます。
MENU（メニュー）	サブメニューの呼び出し	サブメニューを呼び出します（※3）。
通話	旋律の切り替え	旋律の入力画面を切り替えます。
電源	操作の終了	作業を中断します。

※1 再生のしかたについては5-18ページを参照してください。
※2 指定した音階は、切り取ったり、コピーしたりすることができます（☞5-16ページ）。
※3 サブメニューでは以下の操作を行うことができます。

ペースト	で指定した範囲を貼り付けることができます（☞5-16ページ）。
音色設定	表示している旋律の音色を変更することができます（☞5-17ページ）。
全削除	表示している旋律の音階をすべて消去します。
最後へジャンプ	カーソルを最後の音符の右に移動します。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の音符に移動します。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。ボタンとその役割を確認することができます。もとの画面に戻すには、クリアを押します。

使いかたに合わせて音を選びましょう 5

■着信音を新規に作成する

例 「**音楽その1**」を作成し、本体（データフォルダ）のメロディフォルダに登録する場合

1 ◯-(1)(5)を押す

「**新規**」を選択します。

2 (●)を押す

「**曲名なし**」を選択します。

● 曲名の入力を省略する場合は、(◇)で「**メインメロディ**」を選択して操作**5**へ進んでください。

3 (●) ▶ **曲名を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

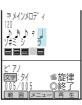
●登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。

4 (●) ▶ (◇)を押す

「**メインメロディ**」を選択します。

5 (●) ▶ **音階を入力**

音階の入力方法については5-13ページを参照してください。
右の画面の音階は、下の図のように入力します。

6 ●を押す

メインメロディが設定され「メイン」のアイコンが表示されます。
- サブメロディ1～2（副旋律）を入力する場合は、◎で各副旋律を選択し、操作*5*～*6*を繰り返します。
- 「**サブメロディ1**」、「**サブメロディ2**」を設定した場合は「サブ1」、「サブ2」のアイコンが表示されます。

7 （完了）

「**メロディ**」を選択します。
- 本体（データフォルダ）には登録可能なフォルダのみ表示されます。
- 右の画面は、本体（データフォルダ）をリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。

8 （決定）

本体（データフォルダ）に登録されます。

補足
- 入力できる音符、休符は最大256音です。
- 音階入力中は、ボタン入力に従って確認音が鳴ります。音量はF14「サウンド音量」（☞5-21ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で確認音が鳴ります。
- 操作*5*の音階の入力画面では、以下の操作が行えます。
  - ・入力中の音階を再生する（☞5-18ページ）
  - ・入力中の音階をコピー（切り取り）する／貼り付ける（☞5-16ページ）
  - ・入力中の音階の音色を設定する（☞5-17ページ）
  - ・入力中の音階を消去する（☞5-17ページ）
  - ・カーソルを最後の音符の右に移動する（☞5-17ページ）
  - ・カーソルを先頭の音符に移動する（☞5-17ページ）
  - ・ヘルプの機能を呼び出す（☞5-17ページ）
- 音階などの入力中に着信があった場合は着信を優先します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定（☞J-スカイ編）に従います。
- 着信や電池切れなどにより操作が中断された場合でも、入力中の内容は記憶されています。電池切れなどで中断直前の画面が表示されない場合は、操作*1*の画面を呼び出したあと、「**継続**」を選択し●を押すと、続きの操作が行えます。
- 曲名を入力しない場合、本体（データフォルダ）には「**曲名なし**」で登録されます。
- 本体（データフォルダ）が一杯の場合は、操作*8*のあと「**空き容量が不足していますデータフォルダのファイルを消去しますか?**」と表示されます。消去する場合は「**YES**」を選択し、不要なファイルを選択したあと9-13ページの操作を行ってください。
- メールに作成したメロディを添付することもできます。添付する方法については、9-12ページまたはJ-スカイ編を参照してください。

切り取り／コピー／貼り付けのしかた

1 5-14ページの操作5より、を押す

コピー（切り取り）したい先頭または最後の音符にカーソルを移動します。

2 （範囲）▶ を押す

コピー（切り取り）する範囲を指定します。

- （範囲）を押したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。
- タイ、テンポの切り替えもコピー（切り取り）の対象になります。

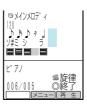
3 （終端）▶ を押す

「**コピー**」を選択します。

- を押しても、同様の操作が行えます。

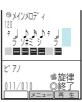
4 ▶ を押す

貼り付ける位置を指定します。

- 貼り付けの開始位置の指定は、末尾以外でも可能です。

5 MENU（メニュー）を押す

「**ペースト**」を選択します。

6 を押す

操作4で指定したカーソルの位置からコピーした範囲が貼り付けられます。

- 指定した範囲の音符を切り取る場合は、操作3の画面で「**切り取り**」を選択してください。
- コピーした範囲を貼りつけたことで256音を超えた場合は、「**音符数がオーバーするため貼付けできません**」と表示されます。再度、コピー範囲を指定してください。

音色変更のしかた

旋律ごとに音色を変えることができます。また、音色は175種類の中から選択することができます。
メロディの新規作成時は「**ピアノ**」に設定されています。

例 「**鉄琴**」の「**オルゴール**」に設定する場合

1 **5-14ページの操作5より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す**

「**音色設定**」を選択します。

2 **● ▶ ◎を押す**

「**鉄琴**」を選択します。

3 **● ▶ ◎を押す**

「**オルゴール**」を選択します。

4 **●を押す**

音色が設定されます。
メロディを再生（☞5-18ページ）すると、設定した音色で流れます。

音色の種類によっては、メロディで使用している音符や音程により音が聞き取りにくくなる場合があります。

操作1では、以下の項目を選択することもできます。

全削除	表示している旋律の音階を全て削除します。
最後へジャンプ	カーソルを最後の音符の右に移動します。
先頭へジャンプ	カーソルを先頭の音符へ移動します。
ヘルプ	ヘルプ機能を呼び出します。ボタンとその役割を確認することができます。

音色の種類について

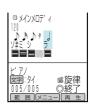
音色はピアノ（ピアノ、ブライトピアノなど8種類）、鉄琴（チェレスタ、グロッケンなど8種類）…と、全175種類の中から選択することができます。

種別	音色の種類	種別	音色の種類	種別	音色の種類
ピアノ	8種類	リード	8種類	ドラムセット	8種類
鉄琴	8種類	笛	8種類	ドラム	8種類
オルガン	8種類	シンセリード	8種類	シンバル	5種類
ギター	8種類	シンセパッド	8種類	ラテンドラム	7種類
ベース	8種類	シンセエフェクト	8種類	ラテンパーカッション	8種類
弦楽器	8種類	エスニック	8種類	ベル／ブロック	8種類
ストリング	8種類	パーカッション	8種類	その他	3種類
ブラス	8種類	効果音	8種類		

曲の再生のしかた

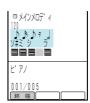
例 範囲を指定して再生する場合

1 5-14ページの操作5より、を押す

範囲指定したい先頭または最後の音符にカーソルを移動します。

2 （再生）▶ を押す

「**範囲指定**」を選択します。

3 ▶ を押す

再生する範囲を指定します。
- 「**範囲指定**」を選択したときにカーソルのあった位置が、開始位置になります。
- タイ、テンポの切り替えも再生対象になります。

4 （終端）を押す

曲が再生されます。

- 操作2では、以下の項目を選択することもできます。

先頭～カーソル	音階の先頭からカーソルの位置までを再生します。
カーソル～最後	カーソルの位置から音階の最後までを再生します。
和音再生	メインメロディ（主旋律）とサブメロディ1～2（副旋律）の音階を先頭から最後まで同時に再生します。

- 操作4のメロディ再生時の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-21ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。

■曲名／音階を編集する

例 本体（データフォルダ）のメロディフォルダにある「**音楽その1**（一例）」を編集する場合

1 5-14ページの操作1より、◎を押す

「**データフォルダ**」を選択します。

2 ●を押す

「**メロディ**」を選択します。
- 本体（データフォルダ）には編集可能なフォルダまたはファイルのみ表示されます。
- 右の画面は、本体（データフォルダ）をリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。

3 ● ▶ ◎を押す

「**音楽その1**」を選択します。
- （再生）を押すと、カーソル上のメロディが1曲分確認できます。

4 ●を押す

登録内容が表示されます。
以降の操作は、5-14ページの操作2以降を参照してください。

つづく▶

- 操作*3*のメロディ確認時の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-21ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの着信音で設定されている音量で確認音が鳴ります。
- 本体（データフォルダ）に登録したオリジナル着信音を消去する場合は、ファイルを消去する（☞9-13ページ）を参照してください。
- 旋律を消去する場合は、操作*4*の画面で旋律を選択したあと、MENU（メニュー）を押します。

5

サウンド音量を調節する

作成中のオリジナル着信音や本体（データフォルダ）やメモリカード内のメロディファイルなどを再生する音量を、5段階に調節することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。
サウンド音量を設定すると、以下の項目の音量がすべて設定されます。
お買い上げ時の設定は「**レベル3**」です。

機　能	設定される音量
基本機能	オリジナル着信音作成中の音量、再生時の音量（☞5-18ページ）
	本体（データフォルダ）またはメモリカードのメロディファイル再生時の音量（☞9-7ページ）
	ビデオ撮影時の再生音量（☞8-22ページ）
	ビデオ編集時に編集中のビデオを再生する音量（☞9-31ページ）
	ボイスメモ／着信用ボイスの録音内容を再生する音量（☞11-65ページ）
メール（☞J-スカイ編）	受信メールの添付ファイル／メロディを自動再生する音量
	ファイルメニューからサウンドファイルを再生する音量
	スカイメールに添付するメロディ作成中の音量、再生時の音量
	メッセージ作成時に添付ファイル／メロディを再生する音量
ウェブ/ステーション（☞J-スカイ編）	情報画面表示中にサウンドを自動再生する音量
	ファイルメニューからサウンドファイルを再生する音量

例「**レベル5**」に設定する場合

1 ○-（1）（4）▶（◎）**を押す**

「**レベル5**」を選択します。
● （確認）を押すと、選択した音量で確認音（音声着信のパターン1）が鳴ります。

2 （●）**を押す**

サウンド音量が設定されます。

● マナーモード設定中のサウンド音量は、マナーモードの設定に従います（☞5-8ページ）。
● 各機能の設定画面で個別に音量を変更することもできますが、サウンド音量の設定は変更されません。

音量の表示

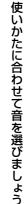
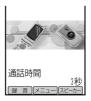
表示						
音量	サイレント	最小 ←				→ 最大

背面スピーカーに切り替える

通話中の相手の声（または音）をスピーカーから背面スピーカーに切り替えて聞くことができます。時報（117番）や自動音声応答サービスなどを使用するときに便利です。
[スピーカー]

例 時報を聞く場合

1 番号をダイヤル

2 を押す

3 （スピーカー）を押す

背面スピーカーに切り替わります。
- 受話器から聞こえるようにする場合は、（オフ）を押します。

重要
- 背面スピーカーに切り替えているときは、お客様の声は相手に聞こえません。
- スイッチ付イヤホンマイク（オプション品）の使用中は、背面スピーカーに切り替えることができません。

補足
- 背面スピーカーの音量を調節する場合は、背面スピーカーに切り替えているときにを押します。
- 背面スピーカーに切り替えているときでも、プッシュトーンを送ることができます（☞12-21ページ）。

効果音を設定する

電源を入れたときの音やボタンを押したときの音、J-T010を開閉したときの音などを設定することができます。音の選択（ボタン確認音を除く）では本体（データフォルダ）やメモリカードを利用することもできます。

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

■ウェイクアップ音を設定する

電源を入れたときの音を設定することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。
お買い上げ時の設定は「**ウェイクアップ音1**」です。

例 「**ウェイクアップ音2**」に設定する場合

1 **(メニュー)(1)(3)を押す**

「**ウェイクアップ音**」を選択します。

2 **(●) ▶ (方向キー)を押す**

「**ウェイクアップ音2**」を選択します。
● ウェイクアップ音を鳴らさないようにする場合は、「**OFF**」を選択します。
● (確認)を押すと、選択したウェイクアップ音を確認することができます。

3 **(●)を押す**

ウェイクアップ音が設定されます。

マナーモード設定中のウェイクアップ音は、マナーモードの設定に従います（☞5-8ページ）。

ウェイクアップ音の音量は、ボタン確認音の音量設定（☞5-24ページ）に従います。ボタン確認音の音量が「**OFF**」に設定されている場合は、「**レベル1**」で鳴ります。

■ボタン確認音／オープン音／クローズ音を設定する

ボタンを押したときの確認音やJ-T010を開閉したときの音を設定することができます。また、音の大きさを3段階に調節したり、音が鳴らないようにすることもできます。
お買い上げ時の設定は音選択すべて「**オリジナル**」、ボタン確認音の音量「**レベル1**」、オープン音／クローズ音の音量「**OFF**」です。

音を選択する

例 ボタン確認音を固定メロディの「**電子音**」に設定する場合

1 ○-1 3 ▶ ◇を押す

「**ボタン確認音**」を選択します。

2 ●を押す

「**音選択**」を選択します。

3 ● ▶ ◇を押す

「**固定メロディ**」を選択します。

4 ● ▶ ◇を押す

「**電子音**」を選択します。
- （確認）を押すと、選択した音を確認することができます。

5 ●を押す

ボタン確認音が設定されます。

重要 マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います（☞5-8ページ）。

使いかたに合わせて音を選びましょう 5

補足
- オープン音やクローズ音を設定する場合は、操作1の画面で「**オープン音**」または「**クローズ音**」を選択してください。
- ボタン確認音を「**固定メロディ**」から選択して設定した場合は、ボタンを押すと設定した音が約1秒間鳴ります。
- オープン音やクローズ音を「**固定メロディ**」、「**本体**」、「**メモリカード**」から選択して設定した場合は、J-T010を開くまたは閉じると、設定した音が約2秒間鳴ります。
- ボタン確認音に設定できる「**固定メロディ**」は、一部の効果音のみです（☞5-5ページ）。

音量を調節する

例 ボタン確認音の音量を「**レベル2**」に設定する場合

1 5-24ページの操作2より、◎を押す

「**音量**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

「**レベル2**」を選択します。

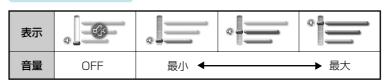
- （確認）を押すと、選択した音量で確認音（オリジナル）が鳴ります。

3 ●を押す

ボタン確認音の音量が設定されます。

重要
- マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定に従います（☞5-8ページ）。
- カメラを起動中は、ボタン確認音は鳴りません。

音量の表示

表示				
音量	OFF	最小 ◀	▶	最大

5 使いかたに合わせて音を選びましょう

管理したいときは(セキュリティ)

F20

無断で使用されたくないときに

正しい操作用暗証番号を入力しない限り、J-T010を使えないようにできます。
[ダイヤル操作禁止]

■ダイヤル操作禁止を設定する

1 ◯-2 0を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力

ダイヤル操作禁止が設定されます。

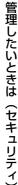
- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

補足

- ダイヤル操作禁止を設定すると、待受画面に「**ダイヤル操作禁止**」と表示されます。
- ダイヤル操作禁止中でも、以下の操作は行えます。
  - ・電源ON/OFF
  - ・ダイヤル操作禁止の解除
  - ・110番（警察）、119番（消防：制限地域に指定されている地域を除く）、118番（海上保安本部）へ電話をかける
  - ・電話を受ける
  - ・応答保留（☞2-7ページ）
  - ・着信拒否（☞2-8ページ）
  - ・通話中の受話音量（☞5-2ページ）、スピーカー音量（☞5-22ページ）の調節
  - ・背面スピーカーへの切り替え（☞5-22ページ）
  - ・音声メモ（☞12-17ページ）
  - ・簡易留守録で電話を受ける（☞12-14ページ）
  - ・かかってきた電話を留守番電話センターに転送する（☞13-6ページ）
- ダイヤル操作禁止中でも、以下の機能は自動的に起動します。
  - ・プチスケジュールのアラーム設定（☞11-2ページ）
  - ・アクションアイテムのアラーム設定（☞11-21ページ）
  - ・F52「目覚まし」（☞11-52ページ）
  - ・お知らせ君（☞11-14ページ）
- ダイヤル操作禁止中に電源を切っても、ダイヤル操作禁止は解除されません。

■ダイヤル操作禁止を解除する

1 ダイヤル操作禁止設定中に操作用暗証番号を入力

ダイヤル操作禁止が解除されます。

簡易ロックをかける

電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作を禁止することができます。
お買い上げ時の設定は「OFF」です。

1 2 1を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 **操作用暗証番号を入力 ▶ を押す**

「ON」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 **を押す**

簡易ロックが設定されます。

重要 簡易ロックを設定しても、一度電源を切り、再度電源を入れる操作をしないと、ダイヤル操作は禁止されません。また、簡易ロックの設定を解除するまで、電源を入れるたびにダイヤル操作が禁止されます。

簡易ロックを解除するには、ダイヤル操作禁止を解除（☞6-2ページ）してから簡易ロックの設定を「OFF」にしてください。

F23

禁止設定を利用する

メモリダイヤルの使用を禁止したり、電話をかけることや受けることを禁止することができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**OFF**」です。

メモリ使用禁止	メモリダイヤルやリダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリなどを使って電話をかけることを禁止します。ただし、ダイヤルボタンを使って電話をかけることはできます。
ダイヤル禁止	ダイヤルボタンを使って電話をかけることを禁止します。ただし、メモリダイヤルやリダイヤル、着信履歴から電話をかけることはできます。
着信禁止	電話を受けることを禁止します。ただし、電話をかけることはできます。

例 メモリ使用禁止を「**ON**」に設定する場合

1 **(メニュー)(2)(3)を押す**

操作用暗証番号の入力画面になります。

禁止設定
暗証番号を
入力してください
戻る

2 **操作用暗証番号を入力**

「**メモリ使用禁止**」を選択します。
- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 **を押す**

「**ON**」を選択します。

4 **(●)を押す**

メモリ使用禁止が設定されます。

メモリ使用禁止中、ダイヤル禁止中はメモリダイヤルの登録ができません。

- ダイヤル禁止中でも、ダイヤルボタンを使って110番（警察）、119番（消防：制限地域に指定されている地域を除く）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることはできます。
- 着信禁止を設定すると、待受画面に「**着信禁止**」と表示されます。また、電話をかけてきた相手には、話中音（プープー…）を返します。

電波の送受信を禁止する

F 24

電源を切らずに電波の送受信を禁止して、電話をかけることや受けること、メールの送受信、ウェブ、ステーションの各サービスを利用できなくします。
[オフラインモード]
お買い上げ時の設定は「OFF」です。

1 2 4 **を押す**

オフラインモードの設定画面になります。

2 ● ▶ **を押す**

「ON」を選択します。
- 設定を解除するときは「OFF」を選択します。

3 ● **を押す**

オフラインモードが設定されます。

重要 オフラインモードを「ON」に設定すると、電話を受けることなどができなくなりますので、設定の解除を忘れないようご注意ください。

補足
- メールの受信中などでオフラインモードを設定できないときは、「**通信中です変更できません**」と表示されます。
- オフラインモードを設定した場合は、画面左上の「」が「」に変わり、待受画面に「**オフラインモード**」と表示されます。また、電源をOFF／ONしても設定は解除されません。

F 25

オールリセットを行う

メモリダイヤルなどの登録内容を消去したり、各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **[メニュー][2][5]を押す**

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 **操作用暗証番号を入力 ▶ [決定]を押す**

「YES」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 **[●]を押す**

「**オールリセット中です**」と表示され、自動的に電源を入れ直します。

- 一度、オールリセットで消去された登録内容や履歴などのデータは、もとに戻すことはできません。
- 操作用暗証番号はリセットされません。

リセットおよび初期状態になる項目

機能	項目	参照ページ
F27	メモリオールクリア項目	☞6-11ページ
F29	設定リセット項目	☞6-13ページ
データフォルダ	登録内容	☞9-2ページ
メール	設定リセット項目	☞J-スカイ編
	メッセージオールクリア項目	
Java™／ウェブ／ステーション	設定リセット項目	
	メモリオールクリア項目	
F9✻(禁止設定)	メール／ウェブ／ステーション	

6 管理したいときは（セキュリティ）

特定の着信だけを禁止する

非通知でかけてきた相手や、公衆電話からかけてきた電話をそれぞれ受けないようにすることができます。また、受けたくない電話番号などを拒否電話リスト（☞6-8ページ）に登録し、登録した電話番号からの電話を受けないようにすることもできます。
［非通知拒否］
お買い上げ時の設定はすべて「**許可**」です。

非通知設定	非通知でかけてきた電話を受けないようにします。
公衆電話	公衆電話でかけてきた電話を受けないようにします。
通知不可	通知が不可能な電話を受けないようにします。
指定No.拒否	**拒否電話リスト**（☞6-8ページ）に登録している相手からの電話を受けないようにします。

■非通知拒否を設定する

例 公衆電話からの着信を拒否する場合

1 ○-（2）（6）を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

非通知拒否
暗証番号を
入力してください
戻る

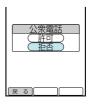
2 操作用暗証番号を入力▶（◎）を押す

「**公衆電話**」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

非通知拒否
非通知設定 許可
公衆電話 許可
通知不可 許可
指定No.拒否 許可
戻る

3 （●）▶（◎）を押す

「**拒否**」を選択します。

4 （●）を押す

非通知拒否が設定されます。

- 非通知拒否を設定すると、相手には「おそれいりますがあなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」というアナウンスが流れます。
- 非通知拒否と着信禁止（☞6-4ページ）が設定されている場合は、着信禁止が優先されます。

■拒否電話リストに登録する

受けたくない電話番号を、拒否電話リストに登録することができます（最大20件）。リスト登録した電話番号を拒否する場合は、**指定No.拒否**を設定（☞6-9ページ）してください。
電話番号は直接入力したり、メモリダイヤルや着信履歴の中から選択することができます。

例 着信履歴から登録する場合

1 6-7ページの操作2より、◎を押す

「**指定No.拒否**」を選択します。

2 （リスト）を押す

拒否電話リストが表示されます。
- すでに拒否電話リストに電話番号を20件登録している場合、「追加」は表示されません。不要な電話番号を消去（☞6-9ページ上段の補足）してから操作してください。

3 （追加）を押す

「**着信履歴**」を選択します。
- 「**直接入力**」を選択すると、電話番号を入力して登録できます。
- 「**メモリダイヤル**」を選択すると、メモリダイヤルを検索（☞4-21～28ページ）して登録できます。

4 ●▶◎を押す

拒否電話リストに登録したい着信履歴を選択します。

5 ●を押す

拒否電話リストに表示されます。
- ●を押すと全桁の電話番号が確認できます。
- 引き続き登録する場合は、操作*3*～*5*を繰り返します。

6 （完了）を押す

拒否電話リストに登録されます。

6 管理したいときは（セキュリティ）

操作2の画面で(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
・編集/1件消去/全件消去

マルチメニューから拒否電話リストに登録する

マルチメニューから拒否電話リストに登録することもできます。

1 ▶ で「**迷惑リスト**」を選択し、を押す

2 操作用暗証番号を入力

3 「**電話**」を選択し、を押す

4 「**拒否電話リスト**」を選択し（右の画面）、を押す

このあと、6-8ページの操作3以降を行います。

拒否電話リストに登録がない場合、「**指定No.拒否**」は設定できません。

補足
指定No.拒否を設定する場合は、操作4の画面で「**指定No.拒否**」を選択し、を押します。

■ワンコール無音を設定する

メモリダイヤルに登録されていない番号から電話がかかってきた場合、着信音を約3秒間鳴らさないように設定することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**ON**」に設定する場合

1 MENU ▶ を押す

「**迷惑リスト**」を選択します。

2 を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

迷惑リスト
暗証番号を
入力してください

3 操作用暗証番号を入力 ▶ を押す

「**ワンコール無音設定**」を選択します。
- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。
- 「**メール**」(拒否アドレスリスト)についてはJ-スカイ編を参照してください。

迷惑リスト
電話
メール
ワンコール無音設定
OFF メモリ未登録の着信音鳴動を遅らせます
戻る

4   ▶ を押す

「**ON**」を選択します。

5 を押す

ワンコール無音が設定されます。

補足
- ワンコール無音を「**ON**」に設定した場合、着信から約3秒間は着信画面でのみ着信をお知らせします。
- 相手が電話番号を通知してこなかった場合や、公衆電話、通知が不可能な電話からかかってきた場合は、ワンコール無音設定は無効となり、通常の着信となります。

メモリ内容を消去する

登録したメモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴などの内容をすべて消去します。
また、メモリダイヤルのグループ設定などの内容もお買い上げ時の状態に戻します。
[メモリオールクリア]

1 ⊖2 7 を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力 ▶ ◯ を押す

「YES」を選択します。
● 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 ● を押す

メモリ内容が消去されます。

クリアおよび初期状態になる項目

機能名	クリア／初期状態	機能名	クリア／初期状態
メモリダイヤル	未登録	**定型文**	未登録
リダイヤル	未登録	**クリップボード**	未登録
着信履歴	未登録	**プチスケジュール**	未登録
ノートパッドメモリ	未登録	**アクションアイテム**	未登録
入力中のオリジナル着信音	未登録	**ショートカットメニュー**	未登録
メモリダイヤルのグループ設定 (F37)	初期値	**簡易留守録**	0件
プチメモ	未登録	**音声メモ**	0件

F28

操作用暗証番号を変更する

操作用暗証番号を変更することができます（お買い上げ時は、「9999」またはご契約時にお決めいただいた4桁の番号が設定されています）。
［暗証番号変更］

例 「1234」から「5678」に変更する場合

1 ◯-2ABC 8TUVを押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 現在の操作用暗証番号を入力

現在の操作用暗証番号が表示されます。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 新しい操作用暗証番号を入力

新しい操作用暗証番号が表示されます。

4 ●を押す

操作用暗証番号が変更されます。

- オプションサービスの遠隔操作時に必要な交換機用暗証番号は、この操作では変更できません（☞1-12ページ）。
- 暗証番号の入力が必要な機能については、1-12ページを参照してください。

各機能の設定を戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。[設定リセット]

1 **2 9 を押す**

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 **操作用暗証番号を入力 ▶ を押す**

「YES」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 **を押す**

各機能の設定が初期状態に戻ります。

リセットおよび初期状態になる項目

F機能No.	機能名	初期状態
F10	着信設定	着信音パターン：パターン1、着信音量：レベル3 バイブレータ：OFF、鳴動時間（音声着信除く）：4秒
F13	効果音設定	ウェイクアップ音：ウェイクアップ音1 ボタン確認音（音選択：オリジナル、音量：レベル1） オープン／クローズ音（音選択：オリジナル、音量：OFF）
F14	サウンド音量	レベル3
F16	マナーモード選択	サイレントモード
F21	簡易ロック	OFF
F22	シークレットモード	OFF
F23	禁止設定	すべてOFF
F24	オフラインモード	OFF
F26	非通知拒否	すべて許可
F32	自動着信	OFF（応答時間：6秒）
F33	バッテリーセーブ	ディスプレイ省電力（待受中：1分、ボタン操作中：ON） 通話中節電：ON
F34	パネル照明	明るさ調整：明るさ4、点灯時間：10秒
F35	言語選択／Language	日本語
F36	オープン通話	応答しない
F37	グループ設定	グループアイコン：未設定、名称：未設定 着信イルミ／着信音パターン／バイブレータ／ （メイン／サブ着信画像）：個別設定なし
F38	通話品質アラーム	OFF
F39	サイドキー設定	マナーモード
F42	応答時間設定	6秒
F43	ユーザー辞書	未登録
F46	オーナー登録	未登録
F47	メニュー設定	マルチメニューイラスト：フォルム、待受アイコン：ノーマル 割込みフレーム：すべてノーマル

つづく▶

F機能No.	機能名	初期状態
F49	壁紙／マイキャラクタ	通常壁紙：OFF、発信／通話中／設定イラスト：ノーマル ウェイクアップ／パワーオフ：オリジナル 音声着信画像：ノーマル、3D待受キャラ：OFF
F52	目覚まし	目覚まし：OFF、タイトル：未設定、時刻：未設定 アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル5 バイブレータ：OFF、起動設定：1回のみ、スヌーズ：ON
F59	時計設定	待受時計：ゴシック、ミニ時計：ON、12h/24h設定：24h
F60	累積通話料金表示	ーーーー円
F61	通話料金表示	ーーーー円
F62	累積通話時間表示	0秒
F63	通話時間表示	0秒
F77	国際ショートコード	0046010
F79	184／186付加	すべてOFF
(ショートカット)	ショートカットメニュー	8件（プチスケジュール／スカイメール／ロングメール／ 受信メール／簡易電卓／国語辞書／英和辞書／和英辞書）
(ショートカット)長押し	ショートカットキー登録	Java™ライブラリ
上サイドキー長押し	簡易留守録	解除
(#)長押し	マナーモード	解除
(○)長押し	サイドキー誤動作防止	解除
( )長押し	カメラ起動ショートカット	カメラ起動（写メールモード）
( )長押し	ビデオ起動ショートカット	ビデオ起動（ハンディビデオ）
ー	受話音量	レベル5
ー	背面スピーカー音量	レベル5
ー	録音メッセージ数	0件
ー	漢字変換自動学習	未登録

マルチメニュー（☞1-8ページ）／エディタメニュー（☞3-15ページ）の機能

機能名	初期状態
イルミネーション	お知らせカラー（音声：カラー1、メール：カラー2、ウェブ／ステーション：カラー3） 着信イルミ（音声：チェリー、メール：レモン、ウェブ／ステーション：ライム） 通話中イルミ：チェリー
サブディスプレイ	壁紙／マイキャラクタ（通常壁紙：OFF、目覚まし／スケジュール／ アクションアイテム：オリジナル、音声着信画像：てんこちゃん） 時計表示設定：ダーク 着信表示設定（音声着信／メール受信：ON） メール閲覧設定：ON、配色設定：ノーマル コントラスト調整：標準濃度、表示反転設定：正方向 パネル照明（バックライト設定：10秒、ディスプレイ省電力：1分）
でか文字モード	OFF
表示文字設定	大きい文字：太文字、小さい文字：太文字
スケジュールオプション	スタンプ：ノーマル1、お知らせ君：OFF、スケジュールロック：OFF スタート表示：本日スケジュール、タイムアップ画面：オリジナル
スカイメロディ接続番号	＊1790
割込み設定	操作中（メール着信／レポート着信：割込（表示有）、ウェブ着信：割込） カメラ連写中／ビデオ録画中／ボイスメモ録音中：すべてバックグランド ウェブ中（着信）：音声着信優先
カメラ	シャッター音設定：カシャ、自動登録設定：OFF 連写中割込み：すべてバックグランド、警告表示設定：ON
ビデオ	自動登録設定：OFF、フレームレート設定：標準 録画中割込み：すべてバックグランド、警告表示設定：ON
ボイスメモ	オフラインモード：OFF 録音中割込み：すべてバックグランド、自動登録設定：OFF
迷惑リスト	拒否電話リスト：0件、指定No.拒否：許可、ワンコール無音設定：OFF
データフォルダ	サムネイル表示　※登録したデータは消去されません。
お知らせ設定	ON
プライベートモード	プライベートA/B：未登録
エディタメニュー	入力予測：ON、辞書学習設定（名称編集：辞書1～5、予測辞書：未登録、パーソナル辞書：未登録） かな入力方式：標準方式、文字のサイズ：大きい文字、改行制御：ON

サイドキーの誤動作を防止する

J-T010を閉じた状態でのサイドキーの操作を無効にすることができます。
[サイドキー誤動作防止]

■サイドキー誤動作防止を設定する

1 を押す（約1秒以上）

J-T010を閉じた状態でのサイドキー誤動作防止が設定されます。また、待受画面に「」が表示されます。

補足
- サイドキー誤動作防止中でも、サイドキーを押して以下の操作が行えます。
  - ・サブディスプレイのバックライトを点灯する（☞7-19ページ）
  - ・ストップウォッチ、キッチンタイマーを操作する（☞11-67、11-68ページ）
- サイドキー誤動作防止を設定して電源を入れ直しても解除されません。

■サイドキー誤動作防止を解除する

1 サイドキー誤動作防止設定中に、（約1秒以上）を押す

サイドキー誤動作防止が解除されます。

表示について（ディスプレイ）

F 34

パネル照明を設定する

■明るさを調節する

ディスプレイの照明の明るさを4段階で調節することができます。
お買い上げ時の設定は「**明るさ4**」です。

例 「**明るさ1**」に設定する場合

1 ○-3 4 **を押す**

「**明るさ調整**」を選択します。

2 ● ▶ ◇ **を押す**

「**明るさ1**」を選択します。

3 ● **を押す**

明るさが設定されます。

■点灯時間を設定する

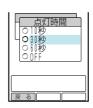
ディスプレイとボタンの照明点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時の設定は「**10秒**」です。

例 「**30秒**」に設定する場合

1 **上記の操作1より、**◇**を押す**

「**点灯時間**」を選択します。

2 ● ▶ ◇ **を押す**

「**30秒**」を選択します。

3 ● **を押す**

点灯時間が設定されます。

ディスプレイやボタンの照明が点灯した状態での操作が多い場合は電池の消費が大きくなり、通話時間や待受時間が短くなります。

「OFF」に設定した場合でも、電源ON時には約10秒間点灯します。また、着信時や着信音の設定中などにも点灯します。

F35

表示言語を選択する

ディスプレイに表示される機能名などを英語表示または日本語表示にすることができます。
お買い上げ時の設定は「**日本語**」です。

例 英語表示にする場合

1 **を押す**

「English」を選択します。

2 ● **を押す**

表示言語が設定されます。

重要 表示言語を「English」に設定した場合、メール定型文（☞J-スカイ編）をご利用できません。

補足 表示言語を設定した場合のディスプレイ表示は、以下のようになります。

（日本語の場合）　（英語の場合）

7

表示について（ディスプレイ）

壁紙を設定する

待受画面に、アニメーション（MNG形式以外）やモバイルカメラで撮影した画像などを表示することができます。また、スケジュール（☞11-2ページ）やアクションアイテム（☞11-21ページ）を表示することもできます。
壁紙は以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

イラスト	**コラージュ**／**ドゥオーモ**／**文字盤**／**本体（データフォルダ）**／**メモリカード**から選択できます。
スケジュール	**本日**／**週間**／**月間**／**4ヶ月スケジュール**（☞11-10ページ）から表示スタイルを選択できます。
アクションアイテム	未消化のアクションアイテムを最大4件表示できます。
イラストチェンジ	設定した画像が、2時、4時、6時…と、2時間ごとに切り替わります。画像が切り替わる時刻にJ-T010を閉じていた場合は、開いたときに画像が切り替わります。画像は4枚まで設定できます。
OFF	壁紙を表示しません。

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

例 壁紙を「**ドゥオーモ**」に設定する場合

1 （メニュー）（4）（9）**を押す**

「**通常壁紙**」を選択します。

2 （●）▶（決定）**を押す**

「**イラスト**」を選択します。

3 （●）▶（決定）**を押す**

「**ドゥオーモ**」を選択します。
● 壁紙を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

つづく▶

画像が表示されます。
● (＊)、(＃)で他の画像に切り替え表示します。

壁紙が設定されます。

● 操作**3**で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
● 壁紙に設定できる画像やアニメーションのサイズは、横240ドット×縦320ドットまでです。このサイズより小さい画像を設定する場合は、操作**4**のあとで（拡大縮小）を押して、リサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。
● 壁紙にアニメーションまたはアニメーションファイルを含んだイラストチェンジ（☞下記）が設定されている場合、3D待受キャラ（☞7-10ページ）を表示することはできません。
● 本体（データフォルダ）またはメモリカード内のアニメーションファイルを壁紙に設定した場合は電池の消費が大きくなり、通話時間や待受時間が短くなります。
● ディスプレイ省電力（☞12-26ページ）の待受中の時間設定を行っている場合は、待受中に無操作の状態で設定時間が経過するとディスプレイの表示が消えます。

● 「**スケジュール**」や「**アクションアイテム**」に設定した場合は、時計表示（☞7-11ページ）が自動的に「**1行時計**」に設定されます。
● **「イラストチェンジ」に設定する場合は…**
操作**2**の画面で「**イラストチェンジ**」を選択し、●を押します。続けて1コマ目〜4コマ目に画像を登録し（画像登録のしかたは、9-45ページの操作**5**〜**10**を参照してください）、（完了）を押します。

マイキャラクタを表示する

電源のON/OFF時や発信、着信時などにお好みのイラストを表示させることができます。また、設定を完了したときの画面や警告画面で表示されるイラストを変更することもできます。

■発信／通話中／設定イラストを設定する

発信時や通話中、設定完了時や警告画面に表示されるイラストを以下の通りに設定することができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**ノーマル**」です。

項　目	内　容	サイズ（横×縦）
発信イラスト **通話中イラスト**	**ノーマル**／**くーまん**／**本体（データフォルダ）**／**メモリカード**から選択できます。	240×86ドット
設定イラスト	**ノーマル**／**くーまん**／**カスタム**から選択できます。 「**カスタム**」では、完了画面、警告画面のイラストを個別に**本体（データフォルダ）**や**メモリカード**から選択できます。	182×58ドット

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

例　発信イラストを「**くーまん**」に設定する場合

1 ▶ を押す

「**発信イラスト**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**くーまん**」を選択します。
● 発信イラストと通話中イラストでは、「**本体**」に設定している場合、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 ●を押す

画像が表示されます。
● *、#で他の画像に切り替え表示します。

つづく▶

4 （決定）**を押す**

発信イラストが設定されます。

重要

- 操作*2*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、設定できるサイズ（☞7-7ページ）以外の画像を設定する場合は、操作*3*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。
- 発信イラストを設定してもでか文字モード（☞7-23ページ）を「**ON**」に設定している場合は、でか文字モードが優先され、発信時に発信イラストは表示されません。

補足

通話中イラストや設定イラストを設定する場合は、操作*1*の画面で「**通話中イラスト**」または「**設定イラスト**」を選択してください。

■ウェイクアップ／パワーオフ画面を設定する

電源ON時に表示される画面（ウェイクアップ画面）や電源OFF時に表示される画面（パワーオフ画面）を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**オリジナル**」です。

・**オリジナル**／**メッセージ**（ウェイクアップ画面のみ）／**本体（データフォルダ）**／**メモリカード**
・「**メッセージ**」では、お好きな文字を入力して表示させることができます。

例 ウェイクアップ画面を「**メッセージ**」に設定する場合

1 7-7ページ操作*1*より、を押す

「**ウェイクアップ**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**メッセージ**」を選択します。
●ウェイクアップ画面を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

3 ▶ メッセージを入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角90文字、全角45文字です。

4 を押す

ウェイクアップ画面が設定されます。

- 操作2で「本体」または「メモリカード」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- ウェイクアップ画面、パワーオフ画面に設定できる画像サイズは、横240ドット×縦320ドットまでです。このサイズより小さい画像を設定する場合は、（拡大縮小）を押してリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。

パワーオフ画面を設定する場合は、操作1で「パワーオフ」を選択してください。

■音声着信画像を設定する

着信時に表示される画像を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「ノーマル」です。

・**ノーマル／くーまん／本体（データフォルダ）／メモリカード／OFF**（音声着信画像は表示されません）

例 「くーまん」に設定する場合

1 7-7ページの操作1より、を押す

「**音声着信画像**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**くーまん**」を選択します。

- 音声着信画像を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

音声着信画像
ノーマル
くーまん
本体
メモリカード
OFF
戻る

3 を押す

画像が表示されます。

- 、で他の画像に切り替え表示します。

戻る 決定

4 （決定）を押す

音声着信画像が設定されます。

- 操作2で「本体」または「メモリカード」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- 音声着信画像に設定できる画像サイズは、横240ドット×縦144ドットまでです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作3のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作または（拡大縮小）を押して、リサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。
- 音声着信画像を設定してもでか文字モード（☞7-23ページ）を「ON」に設定している場合は、でか文字モードが優先され、着信時に音声着信画像は表示されません。

くーまん（3D待受キャラ）を表示する

3Dアニメーションのキャラクター「くーまん」が待受画面に表示されます。くーまんは、季節、地域、一日の時間帯などの条件に応じ、さまざまな姿や身振りを見せ、コメントをお伝えします。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

- この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞2-3ページ）の操作を行ってください。
- キャラクターが表示する情報は、ステーション（☞J-スカイ編）で配信される情報を基にしています。

例 3D待受キャラ「**ON**」にする場合

1 〇-④⑨ ▶ ◎**を押す**

「**3D待受キャラ**」を選択します。

2 ● ▶ ◎**を押す**

「**ON**」を選択します。

3 ●**を押す**

3D待受キャラが設定されます。

補足
以下の場合は、3D待受キャラを設定できません。
・Java™アプリ待受設定中（☞J-スカイ編）
・通常壁紙（☞7-5ページ）にアニメーションが設定されている場合
・通常壁紙にアニメーションファイルを含んだイラストチェンジ（☞7-6ページ）が設定されている場合

7 表示について（ディスプレイ）

時計表示を変更する

F59

時計表示の字体を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**ゴシック**」です。

・**ゴシック**／**フレーム**／**ポップ**／**1行時計**／**2行時計**／**アナログ時計**／**時計OFF**（時計は表示されません）

● 日付と時間の設定については、2-3ページを参照してください。

例「**1行時計**」に設定する場合

1 ○-⑤⑨ ▶ ◎を押す

「**待受時計**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

「**1行時計**」を選択します。

3 ●を押す

待受時計が設定されます。

● 壁紙が設定されている場合は、壁紙に重なって時計が表示されます。
● 「**アナログ時計**」を設定した場合は、壁紙（☞7-5ページ）を「**文字盤**」に設定することをおすすめします。

7 表示について（ディスプレイ）

ミニ時計を設定する

画面右上に小さな時計を表示させることができます。
お買い上げ時の設定は「**ON**」です。

例 「**OFF**」に設定する場合

1 7-11ページ操作1より、を押す

「**ミニ時計**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**OFF**」を選択します。

3 を押す

ミニ時計が「**OFF**」に設定されます。

表示を12時間制に切り替える

時計表示の時間制を切り替えることができます。
お買い上げ時の設定は「**24h**（24時間制）」です。

例 12時間制に設定する場合

1 7-11ページ操作1より、を押す

「**12h/24h設定**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**12h**」を選択します。

3 を押す

12時間制に設定されます。
- サブディスプレイも12時間制に設定されます。

サブディスプレイを設定する

サブディスプレイにお好みのイラストを表示したり、表示方向やバックライトの点灯時間などを設定することができます。

■壁紙／マイキャラクタを設定する

サブディスプレイに、アニメーション（MNG形式以外）やモバイルカメラで撮影した画像などを表示させることができます。[壁紙]
また、着信時などにも表示させることができます。[マイキャラクタ]

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

壁紙／マイキャラクタで設定できる項目は以下の通りです。

<table>
<tr><td rowspan="4">通常壁紙</td><td colspan="6">待受画面で表示される壁紙を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「OFF」です。</td></tr>
<tr><td colspan="6">イラスト・ビデオ（ビー玉／熱帯魚／くーまん／ドット／アナログ文字盤／デジアナ文字盤／動物達の1日／本体（データフォルダ）／メモリカード）</td></tr>
<tr><td colspan="3">スケジュール</td><td colspan="3">アクションアイテム</td></tr>
<tr><td colspan="6">OFF（壁紙は表示されません）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">目覚まし</td><td colspan="6">目覚まし起動時に表示される画面を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「オリジナル」です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オリジナル</td><td colspan="2">本体（データフォルダ）</td><td colspan="2">メモリカード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">スケジュール</td><td colspan="6">スケジュールのアラーム起動時に表示される画面を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「オリジナル」です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オリジナル</td><td colspan="2">本体（データフォルダ）</td><td colspan="2">メモリカード</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アクションアイテム</td><td colspan="6">アクションアイテムのアラーム起動時に表示される画面を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「オリジナル」です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オリジナル</td><td colspan="2">本体（データフォルダ）</td><td colspan="2">メモリカード</td></tr>
<tr><td rowspan="4">音声着信画像</td><td colspan="6">着信時に表示される画像を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「てんこちゃん」です。</td></tr>
<tr><td colspan="3">てんこちゃん</td><td colspan="3">ノーマル</td></tr>
<tr><td colspan="3">くーまん</td><td colspan="3">本体（データフォルダ）</td></tr>
<tr><td colspan="3">メモリカード</td><td colspan="3">OFF（音声着信画像は表示されません）</td></tr>
</table>

壁紙／マイキャラクタで設定できる画像のサイズは以下の通りです。

<table>
<tr><th>種類</th><th>サイズ（横×縦）</th></tr>
<tr><td>通常壁紙</td><td>80×60ドット</td></tr>
<tr><td>目覚まし</td><td rowspan="2">80×48ドット</td></tr>
<tr><td>音声着信画像</td></tr>
</table>

例 音声着信画像を「**くーまん**」に設定する場合

1 MENU ▶ を押す

「**サブディスプレイ**」を選択します。

2 を押す

「**壁紙／マイキャラクタ**」を選択します。

3 ▶ を押す

「**音声着信画像**」を選択します。

4 ▶ を押す

「**くーまん**」を選択します。

5 を押す

画像が表示されます。

- (＊)、(＃)で他の画像に切り替え表示します。

6 （決定）を押す

音声着信画像が設定されます。

> **重要**
> 操作*4*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。また、設定できるサイズ（☞7-13ページ）以外の画像を設定する場合は、操作*3*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）の操作または（拡大縮小）を押してリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。

■時計表示を変更する

サブディスプレイの時計表示を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**ダーク**」です。
・**ダーク**／**クリア**／**ポップ**／**1行時計**／**アナログ時計**／**デジアナ時計**／**時計OFF**（時計は表示されません）

例 「**1行時計**」に設定する場合

1 7-14ページの操作2より、◎を押す

「**時計表示設定**」を選択します。

2 ●▸◎を押す

「**1行時計**」を選択します。

3 ●を押す

時計表示が設定されます。

● 表示を12時間制に切り替える場合は、7-12ページを参照してください。
● 「**アナログ時計**」、「**デジアナ時計**」に設定した場合、壁紙設定（☞7-5ページ）で通常壁紙を「**アナログ文字盤**」、「**デジアナ文字盤**」に設定することをおすすめします。

■着信表示を設定する

着信時やメール受信時に、サブディスプレイに相手の電話番号やメールアドレスを表示させることができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**ON**」です。

例 音声着信を「**OFF**」に設定する場合

1 7-14ページの操作2より、を押す

「**着信表示設定**」を選択します。

2 を押す

「**音声着信**」を選択します。

3 ▶ を押す

「**OFF**」を選択します。

4 を押す

着信表示が「**OFF**」に設定されます。

- メモリダイヤルに登録されている相手のときは、名前が表示されます（着信表示が「**ON**」に設定されている場合）。
- 着信表示を「**OFF**」に設定すると、着信時やメール受信時に「**着信**」や「**受信完了**」と表示され、相手の名前などは表示されません。
- 着信時の表示については、1-6ページを参照してください。

■サブディスプレイにメールの内容を表示する

サブディスプレイでメールの内容を確認することができます。
お買い上げ時の設定は「**ON**」です。[メール閲覧設定]

例 「**OFF**」に設定する場合

1 **7-14ページの操作2より、（ナビキー）を押す**

「**メール閲覧設定**」を選択します。

2 **（●）▶（ナビキー）を押す**

「**OFF**」を選択します。

3 **（●）を押す**

メール閲覧が「**OFF**」に設定されます。

サブディスプレイでのメールの確認方法については、J-スカイ編を参照してください。

■配色を変更する

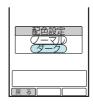
サブディスプレイの配色を2種類から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**ノーマル**」です。[配色設定]

例 「**ダーク**」に設定する場合

1 **7-14ページの操作2より、（ナビキー）を押す**

「**配色設定**」を選択します。

2 **（●）▶（ナビキー）を押す**

「**ダーク**」を選択します。

3 **（●）を押す**

配色が設定されます。

ノーマルとダークでは、ノーマルの方が電池の消費が若干多くなります。

7 表示について（ディスプレイ）

■コントラストを調整する

サブディスプレイの文字の濃淡（コントラスト）を17段階で調整することができます。お買い上げ時の設定は、標準濃度です。

1 **7-14ページ操作2より、(方向キー)を押す**

「**コントラスト調整**」を選択します。

2 **(決定キー) ▶ (方向キー)を押す**

サブディスプレイのカラーバー（☞下記）を見て濃淡を調整してください。

- J-T010を閉じて、上下サイドキーを押してもコントラストを調整することができます。
- 下の画面は、コントラスト調整時のサブディスプレイの表示例です。

3 **(決定キー)を押す**

コントラストが設定されます。

■サブディスプレイ表示方向を設定する

お買い上げ時の設定は「**正方向**」です。

例 「**逆方向**」に設定する場合

1 **7-14ページの操作2より、(方向キー)を押す**

「**表示反転設定**」を選択します。

2 **(決定キー) ▶ (方向キー)を押す**

「**逆方向**」を選択します。

3 **(決定キー)を押す**

表示反転が設定されます。

補足 J-T010を閉じた状態での表示方向は以下のようになります。J-T010を開くと、表示は閉じた状態と逆の方向になります。ただし、サブディスプレイの電波状態表示と電池レベル表示は、J-T010を開いた状態では表示されません。

「**正方向**」の場合　「**逆方向**」の場合

■パネル照明を設定する

バックライトの点灯時間を設定する

J-T010を閉じている状態でサイドキーを押したときに点灯する、サブディスプレイの照明点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時の設定は「**10秒**」です。

例 「**60秒**」に設定する場合

1 **7-14ページの操作2より、〔上下キー〕を押す**

「**パネル照明**」を選択します。

2 **〔●〕を押す**

「**バックライト設定**」を選択します。

3 **〔●〕▶〔上下キー〕を押す**

「**60秒**」を選択します。

4 **〔●〕を押す**

点灯時間が設定されます。

重要 点灯時間を長くすると、電池の消費が大きくなり通話時間や待受時間が短くなります。

7 表示について（ディスプレイ）

ディスプレイ省電力を設定する

待受中に無操作の状態で設定時間が経過したときにサブディスプレイの表示を変更して、電池の消耗を抑えることができます。
お買い上げ時の設定は「**1分**」です。

例 ディスプレイ省電力を「**5分**」に設定する場合

1 **7-14ページの操作2より、（◇）を押す**

「**パネル照明**」を選択します。

2 **（●）▶（◇）を押す**

「**ディスプレイ省電力**」を選択します。

3 **（●）▶（◇）を押す**

「**5分**」を選択します。

4 **（●）を押す**

ディスプレイ省電力が設定されます。

7 表示について（ディスプレイ）

アイコンを変更する

待受中に表示されるアイコンやマルチメニューのアイコンを変更することができます。お買い上げ時の設定は、マルチメニューイラスト「**フォルム**」、待受アイコン「**ノーマル**」です。

例 マルチメニューイラストを「**くーまん**」に設定する場合

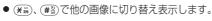
1 **(⊂)(4)(7)を押す**

「**マルチメニューイラスト**」を選択します。

2 **(●)▶(◇)を押す**

「**くーまん**」を選択します。

3 **(●)を押す**

画像が表示されます。

4 **(決定) を押す**

マルチメニューイラストが設定されます。

補足 操作**1**で「**待受アイコン**」を選択して設定を変更すると、ディスプレイとサブディスプレイに表示される電波状態表示や不在着信表示などのアイコン（☞1-4、1-6ページ）が変わります。

割込みフレームを設定する

操作中にメールを受信した場合に、表示される割り込みフレームの絵柄（イラスト）を選択することができます。また、割り込みフレームのタイトルの語尾を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**ノーマル**」です。
・**ノーマル**（語尾：しました）／**くーまん**（語尾：したでふ）／**ユーザー作成**（語尾替えのみ）

例 語尾替えをユーザー作成「**なのだ！**」に設定する場合

1 4 7 ▶ を押す

「**割込みフレーム**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**語尾替え**」を選択します。

3 ● ▶ を押す

「**ユーザー作成**」を選択します。

4 （編集）▶ **語尾を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で半角8文字、全角4文字です。

5 ●（2回）を押す

語尾替えが設定されます。

表示言語（☞7-4ページ）を「**English**」に設定している場合は、「**語尾替え**」を設定することはできません。

7 表示について（ディスプレイ）

大きい文字で表示する

電話をかけるときに表示される数字やメモリダイヤルに登録されている名前を、大きな文字で表示させることができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**ON**」に設定する場合

1 MENU ▶ **を押す**

「**でか文字モード**」を選択します。

2 ● ▶ **を押す**

「**ON**」を選択します。

3 ● **を押す**

でか文字モードが設定されます。

重要 でか文字モードを「**ON**」に設定すると、発信イラスト（☞7-7ページ）や音声着信画像（☞7-9ページ）は表示されません。

補足 でか文字モードを「**ON**」に設定すると、電話をかけるときの数字が大きな文字で表示されます。また、以下の場合にメモリダイヤルに登録されている名前が大きな文字で表示されます。
- 発信画面（☞2-4ページ）
- リダイヤル画面（☞2-5ページ）
- 着信画面（☞2-6ページ）
- 着信履歴画面（☞2-9ページ）
- メモリダイヤルの検索画面（☞4-21ページ）
- スピードダイヤル画面（☞4-28ページ）
- ノートパッドメモリ画面（☞12-20ページ）

文字の太さを変更する

メニューの項目など操作中の画面に表示される文字の太さを変更することができます。
お買い上げ時の設定はすべて「**太文字**」です。

例 大きい文字を「**細文字**」に設定する場合

1 MENU を押す

「**表示設定**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**表示文字設定**」を選択します。

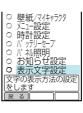
3 ▶ を押す

「**大きい文字**」を選択します。

4 ▶ を押す

「**細文字**」を選択します。

5 を押す

文字の太さが設定されます。

カメラ・ビデオを使いましょう

カメラ・ビデオのモードについて

内蔵のモバイルカメラにより、4種類のモードを使い静止画と動画を撮影し、保存することができます。
それぞれの特長は以下の通りです。

カメラモード・静止画を撮影

写メールモード

壁紙設定や写メールを送信する場合の写真撮影モードです。
ワンタッチフォトメール（☞8-6ページ）で簡単に送れます。

デジタルカメラモード

パソコンなどの外部機器に表示する場合の写真撮影モードです。

ビデオモード・動画を撮影

ハンディビデオ

HANDY VIDEO

録画0:00:00/残り0:04:08
■STOP
モード メニュー

最大4分8秒（本体に保存する場合）の動画撮影モードです。タイトル画や音声（アフレコ）などの編集も行えます（☞9-31ページ）。

サブ液晶ビデオ

サブ液晶ビデオ

⊞表示サイズ切替

録画0:00:0
■STOP
モード メ

最大10秒間の動画撮影モードです。サブディスプレイの音声着信画像（☞7-13ページ）などに設定できます。

撮影する前にお読みください

- 撮影した画像は、「**JPEG形式**」で保存されます。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となりますので、J-T010が動かないようにしっかり持って撮影をするか、タイマー機能を利用して撮影を行ってください。
- レンズカバーに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなります。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
- 撮影する場合は、レンズに指やハンドストラップ、アンテナなどがかからないように注意してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、場合によっては明るく見えたり暗く見えたりしますのでご了承ください。またモバイルフラッシュを使用して暗い場所でも画像を撮影することができます。

撮影画面での共通操作

撮影画面を切り替える

撮影画面で(✱)を押すと、画像の表示をディスプレイとサブディスプレイで切り替えることができます。
また、撮影画面を表示しているときにJ-T010を閉じても、画像の表示をサブディスプレイに切り替えることができます。

サブディスプレイに切り替えているときは、左右が反転している画像が表示され、撮影を行うと左右が反転していない画像が表示されます。

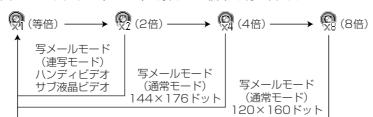
画像の明るさを調節する

撮影画面で(◎)を押すと、明るさを調節することができます。

暗い　(+1)　(+2)　(+3)　(+4)　(+5)　明るい

- 明るさのアイコン（+3）は、撮影画面の上段に表示されます。
- 明るさの調節は、カメラモード、ビデオモード終了時「(+3)」に戻ります。

ズームを利用する

撮影画面で上サイドキー（ズーム）を押すと、倍率を切り替えることができます。

重要 デジタルカメラモードの場合は利用できません。

- ズームで撮影すると、画質は粗くなります。
- ズームのアイコン（×1）は、撮影画面の上段に表示されます。
- ズームの切り替えは、カメラモード、ビデオモード終了時「(等倍)」に戻ります。

8

カメラ・ビデオを使いましょう

静止画を撮影する

内蔵のモバイルカメラにより、静止画の撮影をすることができます。
静止画の撮影には写メールモード、デジタルカメラモードがあります（☞8-2ページ）。写メールモードは、さらに通常・旅・連写の3モードから選択できます。フレーム、タイマー、シャッター音、フラッシュ、画像効果の設定などが行え、撮った画像はJPEG形式（パソコンで主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存します。また、顔写真を撮影してメモリダイヤルに登録したり、ピクチャーつく～る（☞9-20ページ）や、アニメつく～る（☞9-45ページ）を利用することもできます。

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

		写メールモード（通常モード）	写メールモード（旅モード）	写メールモード（連写モード）	デジタルカメラモード
機能設定	連写 連続して9枚の写真撮影を行います	—	—	○	—
	サムネイル表示（自動登録設定OFF時） 9つの画像を一度に表示します	—	—	○	—
	ワンタッチフォトメール 撮影した写真をカンタンに送ります	○	○	—	—
	フラッシュ 暗い場所でも対応します	○	○	○	○
	ズーム 2倍、4倍、8倍まで対応します	○	○	○	—
	壁紙作成 連写撮影した画像を縮小して1枚の壁紙を作ります	—	—	○	—
	アニメーション作成 連写撮影した画像を選択してアニメーションを作ります	—	—	○	—

各タイトルの帯では、設定可能なモード（写メールモード デジタルカメラモード）を記載しています。

■静止画を撮影する　写メールモード デジタルカメラモード

例 写メールモード（通常モード）で撮影する場合

1 MENU ▶ を押す

「**カメラ・ビデオ**」を選択します。

● 待受画面で を長く（約1秒以上）押してカメラを起動することもできます（お買い上げ時は、写メールモードで起動します）。

2 を押す

「**写メールモード**」を選択します。

● デジタルカメラモードで撮影する場合は、で「**デジタルカメラモード**」を選択します。

カメラ・ビデオ
写メールモード
デジタルカメラモード
ハンディビデオ
サブ液晶ビデオ
写メール用のサイズで撮影をします
戻る

8 カメラ・ビデオを使いましょう

3 ●を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

4 下サイドキー（シャッター）を押す

シャッター音が鳴り、撮影した画像がディスプレイに表示されます。

- ●でも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、クリアを押したあと◇で「**破棄する**」を選択し、●を押します。

5 （登録）を押す

撮影した画像が本体（データフォルダ）のピクチャーフォルダに登録されます。

- 下サイドキーや●でも同様の操作が行えます。
- 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

- 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えてきます。明るい場所で撮影するか、モバイルフラッシュを使用（☞8-19ページ）することをおすすめします。
- 撮影した画像をメモリカードに登録中にメモリカードを抜いた場合、撮影した画像は破棄される可能性があります。
- デジタルカメラモードで撮影した画像は、メモリカードのデジタルカメラフォルダでのみ保存が可能です。撮影前に、メモリカードを取り付けてください。

- 本体（データフォルダ）が一杯の場合は、操作**5**で「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」を選択して、不要なファイルを消去するか、「**メモリカードに保存**」を選択して、メモリカード（データフォルダ）に登録してください。
- 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
- カメラ・ビデオ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。

画像をメールで送信する（ワンタッチフォトメール）

撮影した画像をボタン1つでデータフォルダに登録し、ロングメール作成画面へ添付することができます。

1 8-5ページの操作4より、（写メール）を押す

データフォルダ登録後、画像が添付されたロングメール作成画面になります。

- 送信方法についてはJ-スカイ編を参照してください。
- 写メールモードでのみ送信できます。

補足
- 自動登録の設定（☞8-20ページ）が「ON」に設定されている場合は、ワンタッチフォトメールは利用できません。
- 添付する画像が約6Kバイトを超える場合は、画像を分割して送信することができます（J-スカイ編）。

■旅モードで撮影する

写メールモード	――

旅モードでは、日付と位置情報を画像に貼り付けることができます。

1 8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）を押す

「**旅モード設定**」を選択します。

2 ●▶◯を押す

「ON」を選択します。

3 ●を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 通常モードに戻すにはMENU（メニュー）●を押したあと◯で「OFF」を選択し、●を押します。
- 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

4 下サイドキー（シャッター）を押す

シャッター音が鳴り、撮影した画像と日時・位置情報が表示されます。

- ●でも同様の操作が行えます。
- 撮影をやり直す場合は、クリアを押したあと◯で「**破棄する**」を選択し、●を押します。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

5 （登録）を押す

撮影した画像が本体（データフォルダ）のピクチャーフォルダに登録されます。

● 下サイドキーや●でも同様の操作が行えます。
● 登録した画像のファイル名は、撮影日時になります。

メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。

● 旅モード設定は、撮影サイズが11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外は設定できません。
● ステーションの位置情報（☞J-スカイ編）を取得していない場合は、位置情報は表示されません。
● 撮影した画像を自動登録することや登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
● カメラ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、待受画面に戻ります。
● 旅モード設定は、カメラモード切り替え時または終了時「OFF」に戻ります。

■連続して撮影する（連写モード）

写メールモード	――

連写モードでは、連続して9枚の画像を撮影することができます。また、連写モードでは連続して撮影される時間の間隔（連写スピード）を3種類の中から選択することができます。

例「**中速**」で撮影し、必要な画像のみを登録する場合

1 8-5ページの操作3より、（連写）▶ を押す

「**中速**」を選択します。

2 を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

● 連写モード中は、画面上段に以下のアイコンが表示されます。

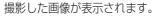
アイコン	連写スピード
	高速
	中速
	低速

3 下サイドキー（シャッター）を押す

シャッター音が鳴り、画像が連続して撮影されます。

● でも同様の操作が行えます。

● （中止）や下サイドキーを押すと、撮影を中止します。

撮影した画像が表示されます。

● 撮影をやり直す場合は、を押したあとで「**破棄する**」を選択し、を押します。

4 を押す

不要な画像を選択します。

● を押すと、画像を実際のサイズで確認できます。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

5 **（チェック）を押す**

チェック（☑）をはずします。

● 再度（チェック）を押すと画像がチェックされます。

6 **（登録）を押す**

チェック（☑）している画像と、撮影した画像すべてを縮小して1枚にまとめた壁紙が本体（データフォルダ）のピクチャーフォルダに登録されます。

● 登録した壁紙のファイル名は、撮影日時になります。また、各画像のファイル名は撮影日時のあとに番号（撮影順に1～9）が付きます。

● 登録した壁紙をデータフォルダで確認すると、右のように表示されます。

● 保存先設定（☞8-20）がメモリカードに設定されている場合は、連写撮影はできません。

● 連写モードを解除する場合は、操作1の画面で「**連写OFF**」を選択したあと●を押します。
また、カメラを終了しても解除されます。

アニメーションを作成する

連写で撮影した画像からアニメーションを作成することができます。

1 **上記の操作5より、（メニュー）▶ ◇を押す**

「**アニメーション作成**」を選択します。

2 **●を押す**

「**YES**」を選択します。

3 **●を2回押す**

作成したアニメーションが本体（データフォルダ）のアニメーションフォルダに登録されます。

アニメーションを登録した場合は、チェック（☑）している画像と壁紙もデータフォルダに登録されます。

連写モードで撮影中の割込みを設定する

連写モードで撮影中に電話、メール、ウェブの着信を禁止すること(オフラインモード)やメール、ウェブ着信の割込み方法を設定することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**オフラインモード**」を設定する場合

1 8-8ページの操作2より、MENU(メニュー) ▶ ◎を押す

「**連写中割込み**」を選択します。

2 ●を押す

「**オフラインモード**」を選択します。
- 「**割込み設定**」についてはJ-スカイ編を参照してください。

3 ●(2回) ▶ ◎を押す

「**ON**」を選択します。

4 ●を押す

オフラインモードが設定されます。

補足
- オフラインモードの設定は、カメラ終了時「**OFF**」に戻ります。
- 設定を変更しても、F24「オフラインモード」(☞6-5ページ)の設定は変更されません。
- 連写モードで撮影中の割込み設定を変更した場合、割込み設定(☞J-スカイ編)の「**カメラ連写中**」の設定も変更されます。

■撮影した画像を確認する

撮影した画像を本体(データフォルダ)またはメモリカードで確認することができます。また、プロパティ(詳細情報)を確認したり、消去することもできます。データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

カメラの設定を行う

モバイルカメラ利用時の各種設定を行うことができます。
各タイトルの帯では、設定可能なモード（写メールモード デジタルカメラモード）を記載しています。

■フレームを設定する

写メールモード ―

画像の枠に貼り付ける飾りを設定して撮影することができます。撮影サイズについては8-15ページを参照してください。
フレームは以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**フレームなし**」です。

・**ハート**／**エアメール**／**天晴**／**ごめんなさい**／**おはよう**／**おやすみ**／**注目です**／**大事件**／**くーまん**／**名画**

・J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からフレームをダウンロードすることもできます。ダウンロードしたフレームがある場合は、「フレーム1、2、3」から選択できます。

例 「**天晴**」に設定する場合

1 **8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す**

「**フレーム設定**」を選択します。

2 **●▶◎を押す**

「**天晴**」を選択します。

3 **●を押す**

フレームが表示されます。

● ⊛、⊕や◎で他のフレームに切り替え表示します。

4 **●を押す**

フレームが設定されます。

重要
● 旅モード（☞8-6ページ）に設定している場合は、フレームの設定はできません。
● メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。

つづく▶

8 カメラ・ビデオを使いましょう

補足
- フレーム設定は、撮影サイズが11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外は設定できません。
- フレーム設定は、カメラモード切り替えや旅モード切り替え時またはカメラ終了時「**フレームなし**」に戻ります。

■日付スタンプを設定する

写メールモード ―

撮影画像に日付スタンプを入れることができます。スタンプの文字の種類を8種類より選択することができます。あらかじめ日時を設定してください（☞2-3ページ）。お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**水色文字黒フチ**」に設定する場合

1 8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ⊙を押す

「**日付スタンプ設定**」を選択します。

2 ● ▶ ⊙を押す

「**ON**」を選択します。

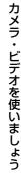
3 ● ▶ ⊙を押す

「**水色文字黒フチ**」を選択します。

4 ●を押す

ディスプレイの右下に日付が表示されれます。

重要 メモリカードに保存する場合、本体保存時よりも画質が落ちる可能性があります。

補足
- 日付スタンプ設定は、撮影サイズが、11行：待受1、W144×H176、W120×H160以外は設定できません。
- メモリカードに保存する場合は、撮影画像と日付を合成します。
- 日付スタンプ設定は、カメラモード切り替えや旅モード切り替え時またはカメラ終了時「**OFF**」に戻ります。

■画像効果を設定する

写メールモード デジタルカメラモード

撮影する画像の色調を以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

セピア	古い写真のように表現します。	デッサン(白黒)	鉛筆で描いたように表現します。
エンボス	石板に彫刻したように表現します。	デッサン(カラー)	色鉛筆で描いたように表現します。
白黒	白黒写真のように表現します。	OFF	ノーマルな状態です。
ネガポジ	色調を反転し、ネガフィルムのように表現します。		

例 「**セピア**」に設定する場合

1 8-5ページの操作3より、MENU(メニュー) ▶ ◎を押す

「**画像効果設定**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

「**セピア**」を選択します。

3 ●を押す

画像効果が設定されます。

> **補足** 画像効果設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

■タイマーを設定する

写メールモード デジタルカメラモード

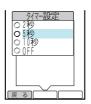
セルフタイマーで撮影することができます。手ぶれをふせいだり、ご自分が入った撮影にも便利です。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**5秒**」に設定する場合

1 **8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ を押す**

「**タイマー設定**」を選択します。

2 **● ▶ を押す**

「**5秒**」を選択します。

3 **●を押す**

タイマーが設定されます。
● タイマーを設定すると画面上段に以下のアイコンが表示されます。

アイコン	タイマー時間
	2秒
	5秒
	10秒

● タイマー設定中にシャッターを押すと、イルミネーション（お知らせランプ）が赤く点滅し、設定時間経過後に撮影します。
● タイマー動作中に（戻る）やクリアを押すと撮影を中止します。
● タイマー設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**OFF**」に戻ります。

■撮影サイズを設定する

写メールモード ———

撮影する画像のサイズを以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**11行:待受1**」です。

撮影サイズ（横×縦）	11行:待受1（240×320ドット）	9行:待受2（240×260ドット）	5行:着信画像（240×144ドット）	3行:発信イラスト（240×86ドット）
ディスプレイ				
サブディスプレイ				
設定イラスト（182×58ドット）	**顔写真**（104×116ドット）	**サブ液晶サイズ**（80×60ドット）	**W144×H176**（144×176ドット）	**W120×H160**（120×160ドット）

・待受1に設定しても、ディスプレイでは9行で表示されます。

つづく▶

8 カメラ・ビデオを使いましょう

例 「**発信イラスト**（横240×縦86ドット）」に設定する場合

1 **8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す**

「**撮影サイズ設定**」を選択します。

2 **●▶ ◎を押す**

「**3行：発信イラスト**」を選択します。

3 **●を押す**

撮影サイズが設定されます。

重要 旅モード（☞8-6ページ）に設定している場合は、撮影サイズは設定できません。

● 撮影サイズ設定は、カメラモード切り替え時またはカメラ終了時「**11行：待受1**」に戻ります。
● 撮影後のサイズ変更については9-20ページを参照してください。
● 撮影サイズを「**顔写真**」に設定し、撮影を行ったあと画像を登録すると右の画面が表示されます。メモリダイヤルにも登録する場合は、「**新規メモリダイヤル**」または「**メモリダイヤル追加**」を選択し、●を押します。以降の登録操作は、4-2ページまたは4-13ページを参照してください。

■圧縮率を設定する

写メールモード デジタルカメラモード

撮影した画像を保存するときの圧縮率を設定することができます（保存形式はJPEG形式です）。
お買い上げ時の設定は「**ノーマル**」です。

圧縮率	ファイルサイズ	画質
ファイン （FINE）	大きい	きれい
ノーマル （NOR）	↕	↕
エコノミー （ECO）	小さい	粗い

・（　）内のアイコンは、撮影画面の上段に表示されます。

例 「**ファイン**」に設定する場合

1 8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ を押す

「**JPEG設定**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**ファイン**」を選択します。

3 ●を押す

圧縮率が設定されます。

圧縮率の設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**ノーマル**」に戻ります。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

■シャッター音を設定する

写メールモード デジタルカメラモード

撮影時のシャッター音を以下の4種類から選択することができます。
・**カシャ！**／**電子音**／**はいチーズカシャ！**／**いちたすいちはにカシャ！**
お買い上げ時の設定は「**カシャ！**」です。

例 「**はいチーズカシャ！**」に設定する場合

1 8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ を押す

「**シャッター音設定**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**はいチーズカシャ！**」を選択します。
● （再生）を押すとシャッター音が確認できます。

3 ●を押す

シャッター音が設定されます。

重要 連写撮影時（☞8-8ページ）、シャッター音は設定できません。

補足 マナーモードを設定していてもシャッター音は鳴ります。

■フラッシュを設定する

写メールモード デジタルカメラモード

撮影時に内蔵のモバイルフラッシュを使用するかどうかを設定します。
お買い上げ時の設定は「**オートフラッシュ点灯**」です。

オートフラッシュ点灯※	常時ON	常時OFF
自動的にON/OFF	カメラ起動からシャッターが切られるまでON	カメラ起動から終了までOFF

※シャッターが切られる際に、撮影場所の明るさを判断し、暗い場合はフラッシュを点灯します。

例 「**常時OFF**」に設定する場合

1 8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ を押す

8-5ページの操作3より

「**フラッシュ設定**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**常時OFF**」を選択します。

3 ●を押す

フラッシュがOFFに設定されます。
- 画面上段にフラッシュ設定の常時OFFを示すアイコン「」が表示されます。

重要 モバイルフラッシュの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。視力障害の原因となります。また、発光方向を確認してからシャッターを押してください。

補足
- 電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、モバイルフラッシュを自動的にOFFにします。
- フラッシュ設定は、カメラモード切り替え時または終了時「**オートフラッシュ点灯**」に戻ります。

■自動登録を設定する

写メールモード　デジタルカメラモード

撮影した画像を登録操作することなく、自動的に本体（データフォルダ）またはメモリカードへ登録することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**ON**」に設定する場合

1 **8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す**

「**自動登録設定**」を選択します。

2 **●▶ ◎を押す**

「**ON**」を選択します。

3 **●を押す**

自動登録が設定されます。

- 自動登録を「**ON**」に設定した場合の画像の登録先は、保存先の設定（☞下記）に従います。
- デジタルカメラモードで撮影された画像は、メモリカードのデジタルカメラフォルダでのみ保存が可能です。

■保存先を設定する

写メールモード　――

撮影した画像を登録するフォルダ（本体またはメモリカード）を設定することができます。
お買い上げ時の設定は本体の「**ピクチャー**」です。

例 メモリカードの「**etc**」に設定する場合

1 **8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す**

「**保存先設定**」を選択します。

2 **●▶ ◎を押す**

「**メモリカード**」を選択します。

3 **●（2回）▶ ◎を押す**

「**etc**」を選択します。

4 （決定）を押す

保存先が設定されます。

- 保存先設定をメモリカードに設定すると、連写撮影はできません。
- 保存先設定は、カメラモード終了時にピクチャーフォルダ（本体）に戻ります。

■警告表示を設定する

写メールモード デジタルカメラモード

本体（データフォルダ）やメモリカードに保存可能な容量が残り少なくなった場合に、ディスプレイにメッセージを表示させるかどうかを設定します。
お買い上げ時の設定は「**ON**」です。

画面表示	データフォルダ／メモリカードの残り容量の目安
データフォルダ／メモリカードが残り少しです	容量が残り少なくなったとき
データフォルダ／メモリカードが残りわずかです	容量が残りわずかになったとき
データフォルダ／メモリカードが一杯です	容量がなくなったとき

・サブディスプレイには、アイコンのみが表示されます。

例 「**OFF**」に設定する場合

1 8-5ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ を押す

「**警告表示設定**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**OFF**」を選択します。

3 を押す

警告表示が「**OFF**」に設定されます。

「**OFF**」に設定しても、容量がなくなった場合は「**データフォルダが一杯です**」または「**メモリカードが一杯です**」と表示されます。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

動画を撮影する

内蔵のモバイルカメラのハンディビデオモードにより、最大4分8秒（ロングモード設定時）の録画を行い、保存することができます。また、保存先をメモリカードに設定すると、メモリカードの空き容量に応じた時間で録画を行うことができます。サブ液晶ビデオモードでは、サブディスプレイに表示させるための録画（音なし）を行い、音声着信時（☞7-13ページ）などの動画として設定できます。
また、録画した画像（ハンディビデオ）はビデオつく～る（☞9-31ページ）でさまざまな編集を行うことができます。

- データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

機能設定	ハンディビデオ	サブ液晶ビデオ	機能設定	ハンディビデオ	サブ液晶ビデオ
フレーム設定 ビデオ用フレームを設定できます	○	－	画像効果設定 画像の色調を設定できます	○	○
フラッシュ 暗い場所でも対応します	○	○	ズーム 等倍、2倍から設定できます	○	○

各タイトルの帯では、設定可能なモード（ハンディビデオ サブ液晶ビデオ）を記載しています。

■動画を撮影する　ハンディビデオ サブ液晶ビデオ

1 MENU ▶ を押す

「**カメラ・ビデオ**」を選択します。

- 待受画面で を長く（約1秒以上）押してカメラを起動することもできます（お買い上げ時は、写メールモードで起動します）。

2 ● ▶ を押す

「**ハンディビデオ**」を選択します。

- 待受画面で を長く（約1秒以上）押してビデオを起動することもできます。

カメラ・ビデオ
写メールモード
デジタルカメラモード
ハンディビデオ
サブ液晶ビデオ
ビデオを撮影します
戻る

3 ● を押す

撮影したい画像をディスプレイに表示します。

- 撮影画面での操作については8-3ページを参照してください。

4 下サイドキー（シャッター）を押す

電子音が鳴り、録画が開始されます。

- ● でも同様の操作が行えます。
- 画面右下に表示される録画残り時間は、データフォルダの残量と撮影する被写体の圧縮率からの予想時間です。撮影したデータによっては圧縮率が予想と異なり、残り時間表示よりも早く撮影が終了する場合がありますので、残り時間は目安としてご使用ください。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

5 (■停止) を押す

撮影が終了すると、撮り始めの画像が表示されます。

- 撮影をやり直す場合は、クリアを押したあとで「**破棄する**」を選択し、●を押します。
- (▶再生) を押すと、録画内容が再生されます。

6 (登録) を押す

録画した画像が本体（データフォルダ）のビデオフォルダに登録されます。

重要 保存先をメモリカードに設定して録画した場合、録画終了後、登録する前にメモリカードを抜くと、それまでの録画内容は破棄される可能性があります。

補足

- 本体（データフォルダ）が一杯の場合は、操作3で「**データフォルダが一杯です 保存先をメモリカードに変更しますか？**」と表示されます。●を押すとビデオが起動します。メモリカード（データフォルダ）も一杯の場合は、どちらかの不要なファイルを消去してください。
- 録画した画像を自動登録したり、登録するフォルダを設定することができます（☞8-20ページ）。
- カメラ・ビデオ起動中に無操作の状態で約3分30秒経過すると、カメラ・ビデオモードを終了し、待受画面に戻ります。

ビデオの設定を行う

ハンディビデオ利用時の各種設定を行うことができます。
各タイトルの帯では、設定可能なモード（ハンディビデオ｜サブ液晶ビデオ）を記載しています。

■録画モードを設定する

ハンディビデオ｜──

録画時間（ファインまたはロング）と音の有無を設定することができます。
録画モードは以下の4種類から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**ファイン（音あり）**」です。

モード	録画時間（本体）
ファイン（音あり／音なし）	最大2分45秒
ロング（音あり／音なし）	最大4分8秒

・保存先をメモリカードに設定している場合は、メモリカードの空き容量に応じて、録音できる時間が表示されます。

例「**ファイン（音なし）**」に設定する場合

1 8-22ページの操作3より、MENU（メニュー）を押す

「**録画設定**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

「**ファイン（音なし）**」を選択します。

3 ●を押す

録画モードが設定されます。
● 画面上段に「**ファイン（音なし）**」のアイコン「」が表示されます。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

■フレームを設定する

ハンディビデオ | ──

画像の枠に貼り付ける飾りを設定して録画することができます。
フレームは以下の項目から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**フレームなし**」です。
・**潜入！／ビデオ大賞／演芸／どうぶつ／薔薇／ビデオフレーム**

・J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からフレームをダウンロードすることもできます。ダウンロードしたフレームがある場合は、「**ビデオフレーム**」から選択できます。

例 「**潜入！**」に設定する場合

1 8-22ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す

「**フレーム設定**」を選択します。

2 ●▶ ◎を押す

「**潜入！**」を選択します。

3 ●を2回押す

フレームが表示されます。

■フレームレートを設定する

ハンディビデオ | サブ液晶ビデオ

撮影する前の、画像の動きを早く表示させることができます。
お買い上げ時の設定は「**標準**」です。

1 8-22ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す

「**フレームレート設定**」を選択します。

2 ●▶ ◎を押す

「**速い**」を選択します。
● 「**速い**」に設定した場合、蛍光灯下での撮影時に画面がちらつく場合があります。

3 ●を押す

フレームレートが設定されます。
● 録画中の画像の動きは「**標準**」です。

■サブ液晶ビデオで撮影する

―― サブ液晶ビデオ

サブ液晶ビデオでは、3秒～10秒の間で録画秒数を設定することができます（音声なし）。また、音声着信画像や目覚ましタイムアップ時の画像として設定することができます（☞7-13ページ）。

お買い上げ時の設定は「**5秒**」です。

例 「**8秒**」に設定する場合

1 **8-22ページの操作2より、◇を押す**

「**サブ液晶ビデオ**」を選択します。

2 **● ▶ MENU（メニュー）を押す**

「**録画秒数設定**」を選択します。

3 **● ▶ 秒数を入力**

4 **●を押す**

録画秒数が設定されます。

- #を押すと、画像が2倍に表示されます（撮影後はサブ液晶サイズで登録されます）。

重要 音声着信画像（☞7-13ページ）などに設定後、電話を受けた場合を除き、映像はサブディスプレイでは再生できません。

8 カメラ・ビデオを使いましょう

■サブメニューについて

ハンディビデオ　サブ液晶ビデオ

ハンディビデオ、サブ液晶ビデオでは、その他にも以下の設定を行うことができます。各設定のあと、録画ができます。

設　定	参照ページ	設　定	参照ページ
画像効果設定	8-13ページ	保存先設定	8-20ページ
フラッシュ設定	8-19ページ	録画中割込み	8-10ページ（連写中割込み）
自動登録設定	8-20ページ	警告表示設定	8-21ページ

ハンディビデオで各項目の設定を行う

1 **8-22ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◎を押す**

各設定を選択します。

2 **このあと、上記の表を参照してください。**

サブ液晶ビデオで各項目の設定を行う

1 **8-26ページの操作2より、◎を押す**

各設定を選択します。

2 **このあと、上記の表を参照してください。**

補足
- ビデオモード切り替え時、終了時に「**フラッシュ設定**」は「**オートフラッシュ点灯**」に戻ります。「**画像効果設定**」、「**録画中割込み**」のオフラインモード設定は「**OFF**」に戻ります。
- 保存先設定は、ビデオモード終了時ビデオフォルダ（本体）に戻ります。
- 「**録画中割込み**」で「**割込み設定**」の設定を変更した場合、マルチメニュー「**割込み設定**」の「**ビデオ録画中**」の設定も変更されます。

データフォルダを利用する

データフォルダを利用する

データフォルダには、「**ピクチャー**」、「**メロディ**」、「**アニメーション**」、「**ビデオ**」、「**ボイス**」、「**ポケットデータベース**」、「**J-T ClubSite**」、「**etc**」の8種類のフォルダがあり、この他にお客様の作成したフォルダ（自作フォルダ）を登録することもできます。データフォルダには画像やメロディ、J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からダウンロードしたファイルなどを登録でき、ファイルとフォルダを合わせて最大約8Mバイトまたは最大約1000件まで登録できます。また、ロングメールにファイルを添付することもできます（☞9-12ページ）。

■データフォルダの登録内容を確認する

例 ピクチャーフォルダにある画像ファイルを確認する場合

1 MENU ◎ **を押す**

「**データフォルダ**」を選択します。

- ◎を押して「**データフォルダ**」を選択しても、同様の操作が行えます。

2 ● **を押す**

「**ピクチャー**」を選択します。

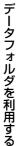
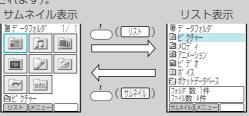
3 **を押す**

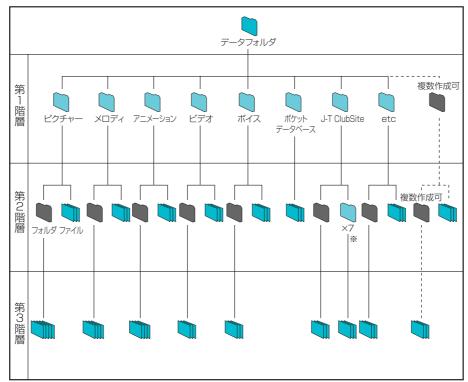
確認したいファイルを選択します。

4 ● **を押す**

画像を確認できます。

- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

9

● データフォルダ内のファイルの確認画面については、9-6～10ページを参照してください。
● 操作2、3の画面で（ソフトキー）を押すと、データフォルダの表示を以下のように切り替えることができます（サムネイル表示の場合は、ファイルがアイコンまたは縮小画像で表示されます）。

■データフォルダの構成について

J-T010のデータフォルダは下図のような3階層になっています。

・フォルダとは、ファイルを種類別や目的別に管理しておくためのものです。
・（水色のフォルダ）はあらかじめ登録されているフォルダです。
・（灰色のフォルダ）はお客様が作成、登録できるフォルダです（☞9-5ページ）。
・フォルダは第1階層と第2階層で、ファイルは第2階層と第3階層で管理します。
・ファイルは、現在登録しているフォルダから他のフォルダへ移動することもできます（☞9-16ページ）。
※「**J-T ClubSite**」フォルダの第2階層には、「**フレーム1～3**」、「**ビデオフレーム**」、「**ビデオタイトル**」、「**ビデオエンド**」、「**データベース表紙**」の7種類のフォルダがあります。

■データフォルダに登録できるファイルについて

データフォルダには、フォルダ別に以下のファイルを登録することができます。

フォルダ名（第1階層）	登録可能なファイル形式	アイコン	拡張子	表示／再生	メール添付
ピクチャー	JPEGファイル		.jpg、.jpe、.jpeg	○	○
			.jpz	○	×
	PNGファイル		.png	○	○
			.pnz	○	×
メロディ	メロディファイル ※1		.org	○	○
			.smd	○	○
			.smz、.smx	○	×
	SMAFファイル		.mmf	○	○
	40和音SMAFファイル				
アニメーション	JPEGアニメ		―	○	○
	PNGアニメ		―		
	PNG/JPEGアニメ		―		
ビデオ	ビデオファイル		.tom、.tor	○	×
ボイス	ボイスファイル		.tvv、.tvs	○	×
ポケットデータベース	データベースファイル		.pdb	○	×
J-T ClubSite※2	PNGファイル		.png	○	○
etc／お客様の作成したフォルダ（自作フォルダ）※3	テキストファイル		.txt	○	×
	不明ファイル		.bmpなど	× ※4	×
			―		

※1 メロディファイル（ ：オリジナル着信音）は、メール作成（☞9-12ページ）を行うと、SMAFファイル（ ）になります。
※2「**J-T ClubSite**」フォルダには、J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からダウンロードしたフレームを登録することができます。
※3「**etc**」と「自作フォルダ（第1階層）」には、「**ピクチャー**」、「**メロディ**」、「**アニメーション**」、「**ビデオ**」、「**ボイス**」のフォルダに登録可能なファイルも登録することができます。ただし、第2階層に作成された「自作フォルダ」の場合は、第1階層で登録可能なファイルのみの登録となります。
（例）「**ピクチャー**」フォルダの下の階層（第2階層）に作成した「自作フォルダ」の場合は、JPEGファイル「 」とPNGファイル「 」のみの登録となり、「**etc**」や「自作フォルダ（第1階層）」の下の階層（第2階層）に作成した「自作フォルダ」の場合は、すべてのファイルを登録することができます。
※4 ×で表示されているファイルは、J-T010では表示／再生することはできません。

■フォルダを作成する

データフォルダの第1階層と第2階層にフォルダを作成することができます（ポケットデータベースを除く）。データフォルダに登録できるのは、ファイルとフォルダを合わせて最大約8Mバイトまたは最大約1000件までです。

例 ピクチャーフォルダ内に自作フォルダを追加する場合

1 9-2ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◯を押す

「**フォルダ作成**」を選択します。

サブメニュー
保護/解除
アニメつくーる
フォルダ移動
コピー
連続表示
フォルダ作成
閉じる

2 ● ▶ フォルダの名称を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角24文字、全角12文字です。
- 名称を省略した場合は、フォルダ名は「**フォルダ**」で表示されます。

3 ●を押す

フォルダが追加されます。

- **フォルダのアイコンを変更する場合は…**
  操作3の画面でMENU（メニュー）を押したあと「**アイコン変更**」を選択し、●を押します。
  ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダのアイコンは変更できません。
- **フォルダを消去する場合は…**
  9-2ページの操作2、3の画面で消去したいフォルダを選択し、MENU（メニュー）を押したあと「**フォルダ消去**」を選択し、●を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去されず、フォルダ内にあるフォルダとファイルのみが消去されます。
- **データフォルダのデータをすべて消去する場合は…**
  待受画面でiを押したあと「**データフォルダ**」を選択し、MENU（メニュー）●を押します。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去できません。

■データフォルダの登録内容を編集する

データフォルダに登録されているフォルダやファイルを編集することができます。
各操作について、詳しくは9-11ページ以降を参照してください。

● ディスプレイ表示は、サムネイル表示の例です。また、表示はリスト表示に変更することもできます（9-3ページ補足）。

フォルダを選択した場合

左の画面で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

- **名称編集**：選択しているフォルダの名称を編集します（※）。
- **フォルダ消去**：選択しているフォルダ内にあるフォルダとファイルをすべて消去します（保護されているファイルがある場合は、消去を行うか行わないかを選択します）。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは消去されません。
- **貼付け**：クリップボード（☞3-15ページ）に記憶されているファイルを、選択しているフォルダ内に貼り付けます。
- **セキュリティ設定**：データの確認時に操作用暗証番号の入力が必要になります。
- **アイコン変更**：フォルダのアイコンを変更します（※）。
- **フォルダ作成**：新しいフォルダを作成します。

※ の操作は自作フォルダでのみ選択できます。

ピクチャーファイルを選択した場合

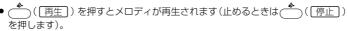
（戻る）

左の画面（上段）で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

- **名称編集**：選択しているファイルの名称を編集します。
- **1件消去**：選択しているファイルを消去します（保護されているファイル以外）。
- **プロパティ**：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否、画像サイズを表示します。
- **メール作成**：選択しているファイルをロングメールに添付します。
- **各種設定へ**：選択しているファイルを以下の項目に設定することができます。
  - メイン液晶：壁紙、発信イラスト、通話中イラスト、設定イラスト、ウェイクアップ画面、パワーオフ画面、着信画像
  - サブ液晶：壁紙、目覚まし、スケジュール、アクションアイテム、音声着信画像
- **画像編集**：「**画像サイズ変更**」、「**フレーム合成**」、「**テキスト貼付**」、「**マーカースタンプ**」、「**画像アレンジ**」を行うことができます。
- **JPEG/PNG変換**：ファイル形式を「**JPEG形式**（**ファイン**、**ノーマル**、**エコノミー**）」と「**PNG形式**」から選択し変換します。
- **保護／解除**：選択しているファイルを保護または解除します。
- **アニメつく～る**：選択しているファイルを「**アニメつく～る**」の1コマ目に設定します。
- **フォルダ移動**：選択しているファイルを本体やメモリカードの別のフォルダに移動します。
- **コピー**：選択しているファイルを本体やメモリカードのフォルダ内にコピーします。
- **連続表示**：フォルダ内にあるすべてのピクチャーファイルを切り替えて表示します。
- **フォルダ作成**：新しいフォルダを作成します。

● 「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときは（等倍）を押します）。

9 データフォルダを利用する

メロディファイルを選択した場合	
	左の画面（上段）で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。 プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否、タイトルを表示します。 各種設定へ：「**音声着信**」、「**（普）着信**」、「**（高）着信**」、「**速達着信**」、「**レポート着信**」、「**ロングメール着信**」、「**ウェブ着信**」、「**ステーション着信**」、「**ウェイクアップ音**」、「**オープン音**」、「**クローズ音**」に設定します。
●↓↑（戻る）	「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール作成**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**コピー**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。
音楽その1	● （再生）を押すとメロディが再生されます（止めるときは （停止））を押します）。 ● メロディ確認時の音量は、サウンド音量の設定（☞5-21ページ）に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）が設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量の設定に従います。

アニメーションファイルを選択した場合	
	左の画面（上段）で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。 プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否を表示します。 「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**メール作成**」、「**各種設定へ**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**コピー**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。
●↓↑（戻る） 	● アニメーションファイルは、通話中イラストに設定することはできません。

9

データフォルダを利用する

つづく▶

ビデオファイルを選択した場合

左の画面（上段）でMENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

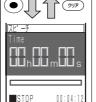
プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否を表示します。
各種設定へ：サブディスプレイの「**壁紙**」、「**目覚まし**」、「**スケジュール**」、「**アクションアイテム**」、「**音声着信画像**」に設定します（サブ液晶ビデオで撮影したファイルのみ）。
ビデオつく〜る：「**ビデオファイル編集**」、「**タイトルつく〜る**」、「**エンド画面つく〜る**」、「**音編集**」、「**テロップ機能**」を設定します。

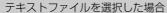
「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**コピー**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。

● ビデオを確認する場合は、（再生）を押します。

ボイスファイルを選択した場合

左の画面（上段）でMENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。

プロパティ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否を表示します。
各種設定へ：「**音声着信**」、「**(普) 着信**」、「**(高) 着信**」、「**速達着信**」、「**レポート着信**」、「**ロングメール着信**」、「**ウェブ着信**」、「**ステーション着信**」に設定します（着信用ボイスで録音したもののみ）。

「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**コピー**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。

ポケットデータベースファイルを選択した場合	
●↓ クリア（待受画面）	左の画面（上段）で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。 プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否、登録カード件数を表示します。 「**セキュリティ設定**」については、フォルダを選択した場合（☞9-6ページ）またはデータベースにセキュリティ設定を行う（☞11-51ページ）を参照してください。 「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。 ● （追加）を押すとカードを新規に追加することができます。 ● （検索）を押して指定した検索条件に該当するカードを表示させせることができます。
テキストファイルを選択した場合	
●↓↑（戻る） [テキスト] 会社の電話番号は 03123XXXX1です。	左の画面（上段）で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。 プ ロ パ テ ィ：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否を表示します。 「**名称編集**」、「**1件消去**」、「**保護／解除**」、「**フォルダ移動**」、「**コピー**」、「**フォルダ作成**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。 ● （内容コピー）を押すとテキストファイルの内容をクリップボード（☞3-15ページ）にコピーします。

9 データフォルダを利用する

つづく▶

ダウンロードファイルを選択した場合	
	左の画面（上段）で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。 **プロパティ**：ファイル名、ファイルサイズ、使用ブロック数、コピー／転送の可否を表示します。 「**1件消去**」については、ピクチャーファイルを選択した場合（☞9-6ページ）を参照してください。 ●「全画面」が表示されているときは、（全画面）を押すと画像が拡大または縮小されて表示されます（戻るときは（等倍）を押します）。
チェックされているファイルを選択した場合	
	左の画面で MENU（メニュー）を押すと、以下の項目が表示されます。 **一括消去**：チェックしたファイルを一括で、消去します（保護されたファイルがある場合は、消去を行うか行わないかを選択します）。 **保護／解除**：チェックしたファイルを一括で、保護または解除します。 **フォルダ移動**：チェックしたファイルを一括で、別のフォルダに移動します。 **コピー**：チェックしたファイルを一括で、本体やメモリカードのフォルダ内にコピーします。 **チェックリセット**：ファイルのチェックを一括で、解除します。

ファイルの名称を編集する

例 ピクチャーフォルダにあるファイルの場合

1 フォルダの選択画面を呼び出す

フォルダの選択画面の呼び出し方については9-2ページを参照してください。

2 ● ▶ ◎ を押す

名称編集したいファイルを選択します。

3 MENU（メニュー）を押す

「**名称編集**」を選択します。

4 ● を押す

現在のファイル名が表示されます。

5 名称を修正

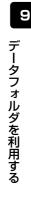
文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。
- 以下の半角記号や絵文字、「↵」は、ファイル名に使用できません。

6 ● を押す

名称が編集されます。

補足 メロディファイルやボイスファイル、J-T ClubSiteからダウンロードしたファイルの場合、操作*5*で登録可能な文字数は、最大で半角24文字、全角12文字になります。

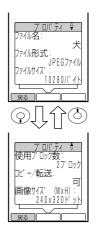
9

ファイルの詳細情報を確認する

例 ピクチャーフォルダにあるファイルの場合

1 **9-11ページの操作3より、◎を押す**

「**プロパティ**」を選択します。

2 **●を押す**

ファイルの詳細情報が表示されます。

ファイルをロングメールに添付する

例 ピクチャーフォルダにあるファイルの場合

1 **9-11ページの操作3より、◎を押す**

「**メール作成**」を選択します。

2 **●を押す**

ファイルが添付され、ロングメールの作成画面になります。
添付済みを示す「 」のアイコンが表示されます。
- ロングメールの操作についてはJ-スカイ編を参照してください。

重要
- 詳細情報（上記）でコピー／転送が「**不可**」と表示されているファイルはメールに添付できません。
- 添付する画像が約6Kバイトを超える場合は、画像を分割して送信することができます（J-スカイ編）。

9 データフォルダを利用する

ファイルを消去する

例 ピクチャーフォルダにあるファイルの場合

1 9-11ページの操作3より、を押す

「**1件消去**」を選択します。

2 を押す

「**YES**」を選択します。

3 を押す

ファイルが消去されます。

- 保護設定されているファイルは消去することができません。保護を解除（☞9-15ページ）したあと、消去の操作を行ってください。
- 壁紙に設定されている画像ファイルや着信音に設定されているメロディファイルなどを消去しようとすると、操作2のあと「**各種設定で設定されています消去しますか？**」と表示されます。消去する場合は「**YES**」を選択し、を押します。また、消去した場合は、ファイルが設定されていた機能の画像やメロディなどはお買い上げ時の設定に戻ります。

各種設定を行う

データフォルダに登録している画像やアニメーション、メロディなどを壁紙や着信音パターンに設定できます。また、画像やアニメーションの場合は、設定サイズに対して表示したい部分を移動させたり（トリミング）、画像を拡大縮小することができます。

例 ピクチャーフォルダにあるファイルをトリミングの操作を行って、「**通話中イラスト**」に設定する場合

1 9-11ページの操作3より、を押す

「**各種設定へ**」を選択します。

2 を押す

「**メイン液晶**」を選択します。

つづく▶

3 ● ▶ ◎を押す

「**通話中イラスト**」を選択します。

4 ● ▶ ◎を押す

［点線枠］内に表示したい部分を移動させます（トリミング）。

- ［ソフトキー］を押すたびに、5ドット単位移動⟷1ドット単位移動に切り替えることができます。
- ［ソフトキー］（［拡大縮小］）を押すと、リサイズの操作を行うことができます。操作内容については、9-21ページの表を参照してください。

5 ●を押す

トリミングされた画像が表示されます。

6 ［ソフトキー］（［決定］）を押す

9

データフォルダを利用する

7 ● ▶ 名称を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

8 ● ▶ ◎を押す

登録したいフォルダを選択します。

9 ［ソフトキー］（［決定］）を押す

トリミングした画像が別ファイルとして登録され、通話中イラストに設定されます。

ファイル形式を変更する

画像のファイル形式を変更することができます。

例 「**JPEG形式**」のファイルを「**PNG形式**」に変更する場合

1 9-11ページの操作3より、を押す

「**JPEG/PNG変換**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**PNG形式**」を選択します。

3 ▶ を押す

「**上書き保存**」を選択します。
- 元の画像を残して登録する場合は「**別ファイルに保存**」を選択します。

4 を押す

ファイル形式を変更した画像が上書き登録されます。

- ファイル形式を変更すると、画質やファイルサイズが変化する場合があります。
- 縦320ドットまたは横240ドットを超える画像の場合、ファイル形式は変更できません。

ファイルを保護する

ファイルを保護すると、誤操作などでデータが消去するのを防ぐことができます。

例 ピクチャーフォルダにあるファイルを保護する場合

1 9-11ページの操作3より、を押す

「**保護/解除**」を選択します。

2 を押す

選択しているファイルが保護されます。

つづく▶

補足
- 保護設定されているファイルを解除する場合も、同様の操作を行ってください。
- データフォルダをリスト表示にしている場合、ファイルの保護状態は右の画面のようにガイド表示されます。

ファイルを移動する

ファイルを現在登録しているフォルダから他のフォルダやメモリカードのフォルダに移動することができます。

例 本体（ピクチャーフォルダ）からメモリカード（etcフォルダ）にファイルを移動する場合

1 **9-11ページの操作3より、◇を押す**

「**フォルダ移動**」を選択します。

2 **● ▶ ◇を押す**

「**メモリカード**」を選択します。

3 **を押す**

「**etc**」を選択します。
- 移動できるフォルダのみ表示されます。

4 **（決定）を押す**

選択したフォルダにファイルが移動されます。

J-T010で作成したオリジナル着信音、J-T ClubSiteにてダウンロードしたデータはメモリカードに移動することはできません。また、ウェブなどからダウンロードしたデータは、メモリカードに移動することができない場合があります。

- データベースファイルの移動については11-47ページの補足を参照してください。
- 壁紙に設定されている画像ファイルや着信音に設定されているメロディファイルなどをメモリカードに移動しようとすると、操作4のあと「**各種設定で設定されています移動しますか？**」と表示されます。移動する場合は「**YES**」を選択し、●を押します。また、移動した場合は、ファイルが設定されていた機能の画像やメロディなどはお買い上げ時の設定に戻ります。

9 データフォルダを利用する

ファイルをコピーする

データフォルダに登録しているファイルを本体やメモリカードのデータフォルダにコピーすることができます。

例 本体（etcフォルダ）からメモリカード（etcフォルダ）にファイルをコピーする場合

1 9-11ページの操作1より、◎を押す

「**etc**」を選択します。

2 ●▶◎を押す

コピーしたいファイルを選択します。

3 MENU（メニュー）▶◎を押す

「**コピー**」を選択します。

4 ●▶◎を押す

「**メモリカード**」を選択します。

5 ●を押す

「**etc**」を選択します。

● コピーできるフォルダのみ表示されます。

6 （決定）を押す

選択したフォルダにファイルがコピーされます。

重要 J-T010で作成したオリジナル着信音、J-T ClubSiteにてダウンロードしたデータはメモリカードにコピーすることはできません。また、ウェブなどからダウンロードしたデータは、メモリカードにコピーすることができない場合があります。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

補足 データベースファイルの移動(コピー)については11-47ページの補足を参照してください。

ファイルをチェックをする

フォルダ内のファイルにチェックを入れることができます。チェックを入れたファイルは、フォルダ移動(☞9-16ページ)や一括消去(☞9-10ページ)などの操作を一度に行うことができます。

例 ピクチャーフォルダにあるファイルに「☑(チェック)」を入れる場合

1 9-11ページの操作2より

チェックを入れたいファイルを選択します。

2 ◇(チェック)を押す

ファイルがチェックされ、「☑」のアイコンが表示されます。

- すべてのチェックを解除する場合は、MENU(メニュー)◇を押して「**チェックリセット**」を選択し、●を押します。
- 個別にチェックを設定(解除)する場合は、◇を押してファイルを選択し、◇(チェック)を押します。

連続表示を行う

ピクチャーファイルを、自動的に切り替えて表示させることができます。

1 9-11ページの操作3より、◇を押す

「**連続表示**」を選択します。

2 ●を押す

ピクチャーファイルが約2秒ごとに切り替わって表示されます。

- ◇(停止)を押すと、9-11ページの操作2の画面に戻ります。

ファイルを貼り付ける

選択したフォルダにクリップボード(☞3-15ページ)に記憶されているファイルを貼り付けて、データフォルダのファイルとして登録することができます。

例 ピクチャーフォルダに貼り付ける場合

1 9-11ページの操作1より、MENU(メニュー)▶◇を押す

「**貼付け**」を選択します。

9 データフォルダを利用する

2 を押す

貼り付けたいファイルを選択します。
- 選択しているフォルダに貼り付けることができるファイルのみが表示されます。
- MENU（メニュー）を押すと「**プロパティ**」を選択できます。
- テキストファイルの場合は、●を押すとファイルの内容を確認することができます。

3 （チェック）を押す

ファイルの前に「☑」のアイコンが表示されます。

4 （完了）を押す

選択したフォルダにファイルが登録されます。

> **補足**
> 画像やメロディをクリップボードに記憶するには、ウェブやステーションの情報の中から画像やメロディをコピーします（☞J-スカイ編）。

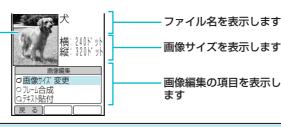
画像を編集する

本体やメモリカードのデータフォルダに登録した画像のサイズを変更したり、回転や変形などの編集を行うことができます。また、画像にフレームを合成したり、文字などを貼り付けることもできます。さらに、画面を4つに分割して、それぞれに好きな画像を設定し、1枚の壁紙を作成することができます。[ピクチャーつく～る]

● メモリカードについては10章を参照してください。

画像の編集画面について

画像編集時の画面は以下のように表示されます。

イメージウィンドウ
編集中の画像が、実際のサイズの4分の1（480W×640Hドットの画像は16分の1）で表示されます。

メモリカード内の画像を編集中にメモリカードを抜いた場合、編集内容はすべて破棄されます。

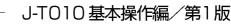
- 編集が可能な画像は以下の通りです。W：横 H：縦
  - ・画像サイズ：①本体、メモリカードのデータフォルダ内
    - ・16W×16Hドット～320W×320Hドット
  - ②メモリカードのデジタルカメラフォルダ内
    - ・320W×320Hドット～640W×640Hドット
    - ・640W×640Hドット～2560W×1920Hドット
      →編集前に、480W×640Hドットまたは640W×480Hドットに収まるように自動的にサイズ変更します。
  - ・ファイル形式：JPEGまたはPNG形式
- 各種設定（☞9-13ページ）で設定済みの画像は上書き保存することはできません。

■画像のサイズを変更する

選択できる画像サイズ（変更後のサイズ）

240(W)×320(H)ドット	144(W)×176(H)ドット	120(W)×160(H)ドット	ユーザー指定 ※

※ユーザー指定を選択した場合は、縦16～320ドット、横16～240ドットの範囲でサイズを調節できます。

データフォルダを利用する
9

画像サイズの変更方法（リサイズ方法）について

9-20ページで選択したサイズに合わせて、データフォルダに登録されている画像を拡大・縮小できます。また、選択できる変更方法は以下の通りです。

等倍	9-20ページで選択した画像サイズに合わせて、画像を切り取ります。（拡大・縮小は行いません）
横に合わせる	9-20ページで選択した画像サイズの横幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比はそのままです）
縦に合わせる	9-20ページで選択した画像サイズの縦幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比はそのままです）
サイズに合わせる	9-20ページで選択した画像サイズの横×縦の幅にサイズを合わせて拡大・縮小します。（画像の縦横比が変わる場合があります）

例 ピクチャーフォルダ（本体）にある画像を、「**120（W）×160（H）ドット**」のサイズにし、横幅に合わせて縮小する場合

1 MENU ▶ **を押す**

「**ピクチャーつく～る**」を選択します。

2 **を押す**

「**画像編集**」を選択します。

3 **を押す**

「**本体**」を選択します。
- 「**メモリカード**」を選択した場合は、を押したあとで「**データフォルダ**」または「**デジタルカメラフォルダ**」を選択します。

4 **を押す**

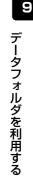
「**ピクチャー**」を選択します。
- データフォルダ（本体）には編集可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

5 ▶ **を押す**

編集したい画像を選択します。
- （確認）を押すと、選択した画像が確認できます。

つづく▶

9

6 ●を押す

「**画像サイズ変更**」を選択します。

- 画像の編集画面については9-20ページを参照してください。

7 ●▶ ◎を押す

「**120（W）×160（H）ドット**」を選択します。

- イメージウィンドウに、選択した画像のサイズ（☞9-20ページ）が点線で表示されます。
- 「**ユーザー指定**」を選択した場合は、●を押したあと画像サイズを入力します。

8 ●▶ ◎を押す

「**横に合わせる**」を選択します。

- イメージウィンドウに、選択した方法でサイズを変更した画像が表示されます。

9 ●を押す

- 操作8で選択した方法と画像サイズが一致しない場合、◎を押して画像の位置を調整し、●を押します。

10 （決定）を押す

画像サイズが変更されます。

ネコ1
横：120ドット
縦：160ドット
画像編集
画像サイズ変更
フレーム合成
テキスト貼付
戻る　完了

11 （完了）▶ ◎を押す

「**上書き保存**」を選択します。

> 上書き保存を行ったファイルは元のサイズに戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

12 ●を押す

サイズを変更した画像が上書き保存されます。

9 データフォルダを利用する

- 画像は以下の範囲で拡大縮小することができます。
  ・最大：240W×320Hドット
  ・最小：16W×16Hドット
- 操作9で画像の位置を調整する場合、［ボタン］を押すたびに、画像の移動単位が以下のように切り替わります。

  10ドット単位 →1ドット単位 → 5ドット単位 →（10ドット単位へ戻る）

- データフォルダが一杯の場合は、操作12のあと「**空き容量が不足しています 保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」または「**メモリカードに保存**」を選択してください。

■フレームを合成する

画像の枠に飾りを貼り付けることができます。
フレームは以下の項目から選択できます。

フレーム特大（480W×640Hドット）	くま	星	うずまき	ハート	花
	音符	タイル	ドット	ぶたさん	工事中
フレーム大（240W×320Hドット）	ハート	エアメール	天晴	ごめんなさい	おはよう
	おやすみ	注目です	大事件	くーまん	名画
フレーム中（144W×176Hドット）、フレーム小（120W×160Hドット）※1					
フレーム1（240W×320Hドット）※2					
フレーム2（120W×160Hドット）※2					
フレーム3（144W×176Hドット）※2					

※1 フレームの種類はフレーム大と同様です。
※2 J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からダウンロードしたフレームがない場合は選択できません。

例 ピクチャーフォルダ（本体）にある画像に、フレーム大の「**天晴**」を合成し、上書き保存する場合

1 9-22ページの操作6より、［ボタン］を押す

「**フレーム合成**」を選択します。
- 画像の編集画面については9-20ページを参照してください。

2 ［●］を押す

「**フレーム大**」を選択します。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

3 ● ▶ ◎を押す

「**天晴**」を選択します。

- イメージウィンドウに、選択したフレームが表示されます。

4 ✉(全画面)を押す

フレームで合成した画像を、実際のサイズで確認できます。

- フレームのサイズと画像のサイズが異なる場合は、◎で画像とフレームの位置関係を調整できます。✉を押すたびに画像の移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位 →1ドット単位 →5ドット単位 →（10ドット単位に戻る）

5 ✉(決定)を押す

フレームが合成されます。

6 ✉(完了) ▶ ◎を押す

「**上書き保存**」を選択します。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

7 ●を押す

フレームを合成した画像が上書き保存されます。

補足

- フレームが画像より大きい場合、フレーム合成後の画像サイズは、フレームのサイズになります。フレームが画像より小さい場合、フレーム合成後も画像サイズは変わりません。
- データフォルダが一杯の場合は、操作7のあと「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」または「**メモリカードに保存**」を選択してください。

■画像に文字を貼り付ける

画像に文字を入力して貼り付けることができます。
文字の種類やサイズ、フォントは以下の項目から選択できます。

フォント	丸ゴシック	ギャル字	──	──
文字のサイズ	特大文字※	大きい文字	小さい文字	極小文字※
文字の種類	白文字黒フチ	黄文字黒フチ	水色文字黒フチ	ピンク文字黒フチ
	黒文字白フチ	黒文字黄フチ	黒文字水色フチ	黒文字ピンクフチ

※画像サイズによって選択できない場合があります。
※「**極小文字**」設定時に「**ギャル字**」フォントは選択できません。

例 ピクチャーフォルダ（本体）にある画像に文字を貼り付けて、上書き保存する場合

1 9-22ページの操作6より、を押す

「**テキスト貼付**」を選択します。
- 画像の編集画面については9-20ページを参照してください。

2 ▶ を押す

「**黄文字黒フチ**」を選択します。

3 ▶ を押す

文字を貼り付ける先頭位置に「Ｉ」を移動させます。
- を押すたびに「Ｉ」の移動単位は、次のように切り替ります。

4 ▶ 文字を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 一度に貼り付けることができる文字数は、「Ｉ」の位置と文字のサイズによって変わります。
- 絵文字や顔文字（☞3-3ページ）を入力することもできます。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

5 ●を押す

文字が貼り付けられます。
- 続けて文字を貼り付ける場合は、◇を押して貼り付ける位置を指定し、操作4～5を行います。
- MENU（メニュー）を押して「**直前アンドゥ**」を選択し、●を押すと、直前に貼り付けた文字を消去することができます。
- MENU（メニュー）◇を押して「**オールアンドゥ**」を選択し、●を押すと、貼り付けた文字をすべて消去することができます。

6 （決定）を押す

7 （完了）▶ ◇を押す

「**上書き保存**」を選択します。

上書き保存を行ったファイルは元の画像に戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

8 ●を押す

文字を貼り付けた画像が上書き保存されます。

補足
- 「**ギャル字**」フォントで漢字の入力はできません。
- 操作6で決定した文字を消去することはできません。
- 操作3の画面でMENU（メニュー）を押して、文字の種類の変更（**フォント選択／文字サイズ**）の操作を行うことができます。
- データフォルダが一杯の場合は、操作8のあと「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」または「**メモリカードに保存**」を選択してください。

9 データフォルダを利用する

■マーカースタンプを貼り付ける

画像に記号（⌖）を貼り付けて、印を付けることができます。

例 ピクチャーフォルダ（本体）にある画像にマーカースタンプを貼り付けて、上書き保存する場合

1 9-22ページの操作6より、（決定キー）を押す

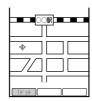
「**マーカースタンプ**」を選択します。

● 画像の編集画面については9-20ページを参照してください。

2 （●）▶（方向キー）を押す

記号を書き込む位置を指定します。

● （キー）を押すたびにマーカーの移動単位は、次のように切り替わります。

→10ドット単位 →1ドット単位 →5ドット単位 →（10ドット単位に戻る）

3 （●）を押す

記号が書き込まれます。

● 続けて記号を書き込む場合は、（方向キー）で書き込む位置を指定し、（●）を押します。

4 （決定）を押す

5 （完了）▶（決定キー）を押す

「**上書き保存**」を選択します。

> 上書き保存を行ったファイルは元のサイズに戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

6 （●）を押す

マーカースタンプを追加した画像が上書き保存されます。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

補足
● データフォルダが一杯の場合は、操作6のあと「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」または「**メモリカードに保存**」を選択してください。

■画像をアレンジする

画像を回転させたり、横幅を変更することができます。また、アレンジでは以下の項目が選択できます。

やせる※	画像の横幅だけを5%縮小します。
ふとる※	画像の横幅だけを5%拡大します。
90° 回転	画像を右に90° 回転します。
180° 回転	画像を右に180° 回転します。
270° 回転	画像を右に270° 回転します。

※画像サイズによっては選択できない場合があります。

例 ピクチャーフォルダ（本体）にある画像を90° 回転させて、上書き保存する場合

1 9-22ページの操作6より、◎を押す

「**画像アレンジ**」を選択します。
● 画像の編集画面については9-20ページを参照してください。

2 ● ▶ ◎を押す

「**90° 回転**」を選択します。
● イメージウィンドウに、アレンジした画像が表示されます。
● （全画面）を押すと、実際のサイズで画像を確認できます。

3 （決定）を押す

4 （完了）▶ ◎を押す

「**上書き保存**」を選択します。

上書き保存を行ったファイルは元のサイズに戻すことはできません。元の画像を残しておきたい場合は、「**別ファイルに保存**」を選択してください。

5 ●を押す

アレンジした画像が上書き保存されます。

アレンジする前の画像が横20ドット以下の場合は、操作*2*で「**やせる**」「**ふとる**」は選択できません。

データフォルダが一杯の場合は、操作*5*のあと「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」または「**メモリカードに保存**」を選択してください。

■画像を組み合わせて壁紙を作成する

4つの画像を組み合わせて、1枚の壁紙にすることができます（壁紙の設定方法については、7-5ページを参照してください）。

例 ピクチャーフォルダ（本体）にある画像を使って、240W×320Hドットの壁紙を作成する場合

1 9-21ページの操作*2*より、◎を押す

「**4分割壁紙作成**」を選択します。

2 ●を押す

「**240W×320Hドット**」を選択します。

作成サイズ選択
240W×320Hドット
480W×640Hドット
本体/メモリカードのデータフォルダに保存できます
戻る

3 ●を押す

「1」を選択します。

4 ●を押す

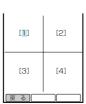
「**本体**」を選択します。

5 ● ▶ ◎を押す

フォルダを選択します。
- データフォルダ（本体）には選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

6 ● ▶ ◎を押す

設定したい画像を選択します。

7 ●を押す

「1」の画像が設定されます。

- 設定できる画像のサイズは、作成サイズが240W×320Hの場合は、120W×160H、480W×640Hの場合は、240W×320Hです。また、画像のサイズが上記以外の場合は、◎でリサイズ方法を選択し、9-22ページの操作*9*～*10*を行います。

8 「2」～「4」に画像を設定

◎で設定したい番号を選択し、操作*4*～*7*を繰り返します。

- 「2」～「4」の設定を省略する場合は、操作*9*へ進んでください。
- MENU（メニュー）を押したあと●を押すと設定している画像を解除できます。

9 （完了）▶ ◎を押す

保存先を選択します。

10 ● ▶ ◎を押す

登録したいフォルダを選択します。

- データフォルダ（本体）には登録可能なフォルダのみが表示されます。

11 （決定）を押す

ファイル名（登録日時）が表示されたあと、作成した壁紙がデータフォルダに登録されます。

データフォルダが一杯の場合は、操作*11*のあと「**空き容量が不足しています保存動作を選択してください**」と表示されます。「**ファイルを消去**」または「**メモリカードに保存**」を選択してください。

9 データフォルダを利用する

ビデオを編集する

撮影したビデオを編集することができます。また、効果音やBGMなどを設定したり、テロップをつけることもできます。
[ビデオつく～る]

- 編集できるのは、ハンディビデオ（☞8-22ページ）で撮影したビデオファイルのみです。
- メモリカード内の動画を編集中にメモリカードを抜いた場合、編集内容はすべて破棄されます。
- メモリカードについては10章を参照してください。

■ビデオファイルを編集する

本体やメモリカードのデータフォルダに登録したビデオファイルを編集することができます。

ビデオをカットする

ビデオファイルの不要な部分をカットすることができます。

1 MENU ▶ を押す

「**ビデオつく～る**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

ファイルが保存されている場所を選択します。

3 ●を押す

「**ビデオ**」を選択します。

- データフォルダ（本体）には編集可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

4 ● ▶ を押す

編集したいファイルを選択します。

- （確認）を押すと、選択したファイルが確認できます。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

5 ●を押す

「**ビデオファイル編集**」を選択します。

6 ●を押す

「**カット**」を選択します。

7 ●を押す

ビデオの再生画面が表示されます。

- 再生画面で◎を押すと、巻き戻し、早送りができます。

8 ✉（▶再生）を押す

ビデオを再生します。

9 カットを開始する位置で、✉（■停止）▶ ✉（カット）を押す

カットの開始位置を指定します。

- カット開始位置の指定をやり直す場合は、MENU（メニュー）◎で「**始点クリア**」を選択し、●を押します。

10 ✉（▶再生）を押す

ビデオの続きを再生します。

- カット開始位置以降は、再生時間の色が変化します。

11 カットを終了する位置で、✉（■停止）▶ ✉（終点）を押す

カットの終了位置を指定します。

- ✉（▶再生）を押すと編集したビデオが再生されます。

散歩
再生0:00:00/残り0:00:11
STOP
▶再生
完了

12 ✉（完了）▶ ●を押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

- タイトル画面やエンド画面はカットできません。作成したタイトル画面やエンド画面を消去する場合は、9-39ページの下段補足を参照してください。
- カットする部分に効果音の始点が含まれていた場合、設定した効果音は消去されます。

補足

- ビデオの再生画面でMENU（メニュー）を押して「**ジャンプ**」の操作を行うことができます。「**チャプター指定**」を選択した場合は、●を押すと再生時間を9分割したチャプターがサムネイル表示されます。

先頭	ビデオの先頭にジャンプします。
最後	ビデオの終端にジャンプします。
チャプター指定	再生時間を9分割したチャプターから選択します。

- データフォルダが一杯の場合は、操作7のあと「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

ビデオを分割する

撮影したビデオのファイルを2つに分割することができます。

1 9-32ページの操作6より、◇を押す

「**分割**」を選択します。
このあと、9-32ページの操作7、8を行います。

2 ビデオを分割する位置で、（■停止）を押す

3 （分割）▶ファイル名を入力

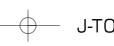
文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

4 ●を押す

ビデオファイルが分割され、データフォルダに登録されます。

効果音の途中でファイルを分割した場合、分割した後半のファイルの効果音は消去されます。

データフォルダが一杯の場合は、操作1で「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

ビデオをキャプチャする

ビデオの一画面を抜き出して、画像として保存することができます。

例 キャプチャした画像を、ピクチャーフォルダ（本体）に登録する場合

1 9-32ページの操作6より、(◎)を押す

「**キャプチャ**」を選択します。
このあと、9-32ページの操作7、8を行います。

2 保存したい画面で、(■停止)を押す

3 (キャプチャ)を押す

「**本体**」を選択します。

4 (●)を押す

「**ピクチャー**」を選択します。
● データフォルダには登録可能なフォルダのみが表示されます。

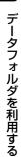
5 (決定)を押す

ファイル名（登録日時）が表示されたあと、キャプチャした画像がピクチャーフォルダ（本体）に登録されます。

● ビデオにフレーム（☞9-36ページ）が設定されていた場合は、フレームも保存されます。
● タイトル画面とエンド画面（☞9-39ページ）はキャプチャできません。

データフォルダが一杯の場合は、操作1で「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

9

データフォルダを利用する

ビデオファイルを結合する

ビデオファイルの前または後ろに、別のビデオファイルをつなげることができます。

例 ビデオフォルダ（本体）にある「**ファイル2**」を、後ろに結合する場合

1 9-32ページの操作6より、 を押す

「**結合**」を選択します。

2 を押す

「**ビデオ**」を選択します。

● 結合できるファイルは以下の通りです。

結合元ファイル	結合するファイル	
	本体	メモリカード
本体	○	×
メモリカード	×	○

● データフォルダ（本体）には選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

3 を押す

「**ファイル2**」を選択します。

● （確認）を押すと、選択したビデオファイルが確認できます。

4 を押す

「**後ろに結合**」を選択します。

5 を押す

ビデオファイルが結合されます。

● （再生）を押すと編集したビデオが再生されます。

6 （完了）▶ を押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

つづく▶

9 データフォルダを利用する

- ビデオファイルを結合する部分に、タイトル画面やエンド画面が含まれていた場合、結合部分のタイトル画面、エンド画面は削除されます。
- ビデオファイルを結合して効果音が30個を超える場合、31個目以降の効果音は消去されます。
- ビデオファイルを結合すると、設定されているテロップも順番に結合されます。
- 結合するビデオファイルのどちらかにフレームやBGMが設定されていた場合、結合後は、ビデオファイル全体にフレーム、BGMが設定されます。
- 結合するビデオファイルのそれぞれにフレームやBGMが設定されていた場合、結合後は、ビデオファイル全体に元のビデオファイルのフレーム、BGMが設定されます。

補足 データフォルダが一杯の場合は、操作2のあと「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

フレームを合成する

ビデオファイルの枠に飾りを貼り付けることができます。フレームは以下の項目から選択できます。

・**潜入！**／**ビデオ大賞**／**演芸**／**どうぶつ**／**薔薇**／**ビデオフレーム**

・J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からフレームをダウンロードすることもできます。ダウンロードしたフレームがある場合は、「**ビデオフレーム**」から選択できます。

例 「**潜入！**」を合成する場合

1 **9-32ページの操作6より、◎を押す**

「**フレーム設定**」を選択します。

2 **●を押す**

「**フレーム選択**」を選択します。

3 **● ▶ ◎を押す**

「**潜入！**」を選択します。
- 選択したフレームが、画面に表示されます。

4 **（決定）を押す**

フレームが合成されます。

- （再生）を押すと編集したビデオが再生されます。

9 データフォルダを利用する

5 （完了）**を押す**

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

補足 データフォルダが一杯の場合は、操作2のあと「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

文字を貼り付ける

映像に文字を入力して貼り付けることができます。文字の種類やサイズは以下の項目から選択できます。

フォント	丸ゴシック	ギャル字	―	―
文字のサイズ	特大文字	大きい文字	小さい文字	極小文字
文字の種類	白文字黒フチ	黄文字黒フチ	水色文字黒フチ	ピンク文字黒フチ
	黒文字白フチ	黒文字黄フチ	黒文字水色フチ	黒文字ピンクフチ

例 大きい文字を黄文字黒フチで貼り付ける場合

1 **9-32ページの操作6より、○を押す**

「**フレーム設定**」を選択します。

2 ●▶○**を押す**

「**テキスト入力**」を選択します。

3 ●▶MENU（メニュー）▶○**を押す**

「**文字サイズ**」を選択します。

4 ●▶○**を押す**

「**大きい文字**」を選択します。

つづく▶

5 ● ▶ MENU（メニュー）▶ ◎を押す

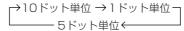
「**文字種選択**」を選択します。

6 ● ▶ ◎を押す

「**黄文字黒フチ**」を選択します。

7 ● ▶ ◎を押す

文字を貼り付ける先頭位置に「I」を移動させます。

- を押すたびに「I」の移動単位は、次のように切り替ります。

8 ● ▶ 文字を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 一度に貼り付けることができる文字数は、「I」の位置と文字のサイズによって変わります。
- 絵文字や顔文字（☞3-3ページ）を入力することもできます。

9 ●を押す

入力した文字が表示されます。

- 続けて文字を貼り付ける場合は、MENU（メニュー）◎を押して操作4～9を行います。
- MENU（メニュー）を押して「**直前アンドゥ**」を選択し、●を押すと、直前に貼り付けた文字を消去することができます。
- MENU（メニュー）◎を押して「**オールアンドゥ**」を選択し、●を押すと、貼り付けた文字をすべて消去することができます。

10 （決定）を押す

- （▶再生）を押すと編集したビデオが再生されます。

11 （完了）を押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

9 データフォルダを利用する

補足 データフォルダが一杯の場合は、操作2で「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

■タイトル画面／エンド画面を作成する

ビデオの最初の画面や最後の画面に、フレームを合成したり、文字を貼り付けて、タイトル画面、エンド画面を作成することができます。
フレームは以下の項目から選択できます。入力できる文字の種類やサイズについては、9-37ページを参照してください。

タイトル画面	直撃！	ビデオ大賞	演芸
	どうぶつ	愛	ビデオタイトル
エンド画面	お楽しみに	ビデオ大賞	完
	おしまい	Forever	ビデオエンド

・J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からフレームをダウンロードすることもできます。ダウンロードしたフレームがある場合は、「**ビデオタイトル**」「**ビデオエンド**」から選択できます。

例 タイトル画面にフレームを合成する場合

1 9-32ページの操作5より、を押す

「**タイトルつく～る**」を選択します。
● エンド画面を作成する場合は、「**エンド画面つく～る**」を選択します。

2 ●を押す

「**フレーム選択**」を選択します。このあと、9-36ページの操作3以降を行います。
● 文字を貼り付ける場合は、◎で「**テキスト入力**」を選択し、このあと、9-37ページの操作3以降を行います。

補足
● 操作1のあと MENU（ﾒﾆｭｰ）を押して、作成したタイトル画面／エンド画面の消去の操作を行うことができます。
● データフォルダが一杯の場合は、操作2で「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

■音を編集する

ビデオに合わせて音声を録音したり、BGMや効果音を設定することができます。

アフレコを行う

ビデオを再生しながら、ビデオに合わせて音声を録音することができます。

1 9-32ページの操作5より、(◎)を押す

「**音編集**」を選択します。

2 (●)を押す

「**アフレコ機能**」を選択します。

3 (●)を押す

録音画面が表示されます。

- 録音画面で(◎)を押すと、早送り、巻き戻しができます。
- 再生時間が10分を超える場合は、(●)を押すと10分単位に分割したチャプター表示画面になります。(◎)を押して録音したいチャプターを選択し、(決定)を押します。

4 (▶再生)を押す

ビデオを再生します。

5 録音を開始する位置で、(■停止)を押す

6 MENU(●録音)を押す

録音を開始します。

- ビデオが終了すると録音は自動的に終了します。

7 MENU(■停止)を押す

録音を停止します。

9 データフォルダを利用する

8 （完了）を押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

補足

- 録音中に着信があった場合は、着信が優先され、録音が一時停止します。着信終了後、MENU（録音）を押すと一時停止は解除されます。
  またメール、ウェブやステーションを受信した場合は、割込み設定（☞J-スカイ編）の設定に従います。
- 操作*2*の画面でMENU（メニュー）を押して、録音した音声の消去（**ボイス音消去**）の操作を行うことができます。
- データフォルダが一杯の場合は、操作*3*のあと「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

BGMを設定する

ビデオに音楽を付けることができます。BGMは固定メロディ、データフォルダから選択できます。

例 メロディフォルダにある「**音楽その1**（一例）」を設定する場合

1 9-32ページの操作*5*より、を押す

「**音編集**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**BGM・効果音**」を選択します。

3 ●を押す

4 MENU（メニュー）▶ を押す

「**BGM設定**」を選択します。

5 ● ▶ を押す

「**データフォルダ**」を選択します。

9 データフォルダを利用する

つづく▶

6 ●を押す

「**メロディ**」を選択します。

7 ▶ ◎を押す

「**音楽その1**」を選択します。

● （▶再生）を押すと、選択したBGMを確認することができます。

8 （決定）を押す

「**繰り返しあり**」を選択します。

9 ▶ （完了）を押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

重要
- 設定できるのは、BGMまたは効果音のどちらか一方のみです。
- 撮影時またはアフレコで録音した音声（ボイス音）がある場合、ビデオ再生時には、ボイス音またはBGMのどちらかを選択して再生することができます（ボイス音とBGMを同時に再生することはできません）。
- メモリカード内のメロディは選択できません。

補足
- 操作*2*の画面で（メニュー）を押して、設定したBGMの消去（**BGM消去**）の操作を行うことができます。
- データフォルダが一杯の場合は、操作*3*のあと「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

効果音を挿入する

ビデオに効果音を付けることができます（最大30個）。効果音は固定メロディ（効果音）の一部（☞5-5ページ）から選択することができます。

例 固定メロディの「**口笛**」を設定する場合

1 9-41ページの操作*3*より、（▶再生）を押す

ビデオを再生します。

2 効果音を挿入する位置で、（■停止）を押す

3 MENU（メニュー）▶ を押す

「**効果音挿入**」を選択します。

4 ● ▶ を押す

「**口笛**」を選択します。

● （▶再生）を押すと、選択した効果音が確認できます。

5 （決定）を押す

6 （完了）を押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

- 設定できるのは、BGMまたは効果音のどちらか一方のみです。
- 撮影時またはアフレコで録音した音声（ボイス音）がある場合、ビデオ再生時には、ボイス音または効果音のどちらかを選択して再生することができます（ボイス音と効果音を同時に再生することはできません）。
- 設定した効果音の始点を含む部分をカットした場合、効果音は消去されます。
- 設定した効果音の途中でファイルを分割した場合、分割した後半のファイルの効果音は消去されます。
- メモリカード内のメロディは選択できません。

- 9-41ページの操作*2*の画面でMENU（メニュー）を押して、設定した効果音の消去（**効果音全消去**）の操作を行うことができます。
- 9-41ページの操作*3*の画面でMENU（メニュー）を押して、設定した効果音の消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。
- データフォルダが一杯の場合は、9-41ページの操作*3*で「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

9

データフォルダを利用する

■テロップを設定する

ビデオ再生時に、映像の下に流れる文字（テロップ）を設定することができます。

1 9-32ページの操作5より、を押す

「**テロップ機能**」を選択します。
このあと、9-32ページの操作7、8を行います。

2 テロップを入力する位置で、（■停止）を押す

3 MENU（メニュー）▶ を押す

「**テキスト設定**」を選択します。

4 ▶ テロップを入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 画面の下に、登録可能文字数（半角文字の場合）が表示されます。

5 を押す

- （▶再生）を押すと、右の画面のようにテロップが挿入されたビデオが再生されます。

6 （完了）を2回押す

編集したビデオファイルが上書き保存されます。

補足

- 操作2の画面でMENU（メニュー）を押して「**テキスト編集**」選択後のリストから、テロップの消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。
- データフォルダが一杯の場合は、操作1で「**編集に必要な空き容量がありません**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください（☞9-13ページ）。

アニメーションを作成する

本体やメモリカードのデータフォルダに登録している画像で最大9コマのアニメーションを作成することができます。作成したアニメーションは本体やメモリカードのデータフォルダに登録することができます。
[アニメつく～る]

● メモリカードについては10章を参照してください。

1 MENU ▶ を押す

「**アニメつく～る**」を選択します。

2 を押す

「**名称**」を選択します。

3 ▶ **名称を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

4 ▶ を押す

「**画像設定**」を選択します。

5 を押す

1コマ目を選択します。

6 ▶ を押す

画像が保存されている場所を選択します。

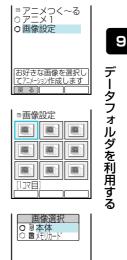
画像選択
本体
メモリカード
戻る

つづく▶

7 ●を押す

「**ピクチャー**」を選択します。

- データフォルダ（本体）には選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

8

登録したい画像を選択します。

9 （確認）を押す

選択した画像が表示されます。

- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。

10 （決定）を押す

1コマ目の画像が設定されます。

11 2コマ以上を設定

を押して設定したいコマを選択し、操作6～10を繰り返します。

- アニメーションは2コマ以上設定しないと登録できません。
- 本体とメモリカードの画像を混ぜて設定することもできます。
- （再生）を押すとアニメーションが再生されます。（停止）を押すと再生が終了します。

12 （完了）を押す

9

データフォルダを利用する

13

（完了）▶ を押す

保存先を選択します。

14

▶ を押す

登録したいフォルダを選択します。

● データフォルダ（本体）には登録可能なフォルダのみが表示されます。

15 （決定）を押す

データフォルダに登録されます。

重要

データフォルダに登録したアニメーションはコマごとに個別に消去することはできません。登録したアニメーションを消去する場合は、ファイルを消去する（☞9-13ページ）を参照してください。

補足

● データフォルダが一杯の場合は、操作13のあと「**空き容量が不足していますデータフォルダのファイルを消去しますか？**」と表示されます。データフォルダの不要なファイルを消去してください。

● 操作11の画面で（メニュー）を押して、設定した画像の消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。

メモリカードの使いかた

メモリカードをお使いになる前に

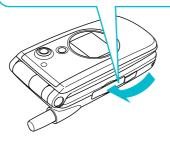
J-T010では、メモリカードを利用することができます。J-T010で撮影した画像や動画、ダウンロードしたさまざまなデータを保存することができます。保存したデータはJ-T010で使用することができます。

- 本書では、SDメモリカードを「**メモリカード**」と記載しています。
- メモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- 本機で推奨するメモリカードは東芝製の8／16／32／64／128／256Mバイトです。

■メモリカードの取り付けかた

メモリカードを取り付けるときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
メモリカードのデータ消失の原因となります。

1 メモリカードスロットのキャップを開ける

※電池カバーにメモリカードの挿入方向表示「◀」が付いています。

2 メモリカードをロックするまで押し込む

メモリカードをカチッと音がするまでゆっくり奥に押し込む

3 メモリカードスロットのキャップを閉じる

ライトプロテクトタブについて
メモリカードには誤消去防止のために、側面にライトプロテクトタブが付いています。「LOCK」に切り替えると、データの保存、編集、消去などができなくなります。

重要 キャップを開くとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損してしまう場合があります。

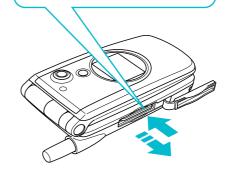
10 メモリカードの使いかた

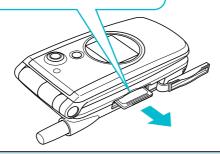
■メモリカードの取り外しかた

メモリカードを取り外すときは、必ず電源を切った状態で行ってください。
メモリカードのデータ消失の原因となります。

1 メモリカードスロットのキャップを開ける

2 メモリカードを軽く押し込む

メモリカードを軽く押し込んで手を離すと、メモリカードが少し飛び出てきます。

3 メモリカードを取り出す

まっすぐゆっくり引き抜いてください。メモリカードを取り出したあと、キャップを閉じます。取り出すときは、メモリカードにある溝をご利用ください。

- キャップを開くとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損してしまう場合があります。
- メモリカードを取り外すとき、メモリカードが本体から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

メモリカードを利用する

メモリカードに保存した画像や動画などのデータを確認したり編集することができます。また、本体（データフォルダ）のデータやメモリダイヤルなどのデータをメモリカードに移し替えることができます。

- 電池残量が少ないとデータの読み込みや書き込みができない場合があります。
- データの読み込み中や書き込み中にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は通話、メールなどのご利用はできません。
- メモリカード内のデータは誤った使い方をしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なデータはバックアップをとっておかれることをおすすめします。
- データフォルダ（本体）については9章を参照してください。

メモリカードに保存できるデータについて

データフォルダ	説明	保存可能なファイル形式	拡張子	参照ページ
デジタルカメラフォルダ	デジタルカメラモード（☞8-2ページ）で撮影した画像を保存するときは、メモリカードのデジタルカメラフォルダに保存されます。	JPEGファイル	jpg	☞10-5ページ
データフォルダ	画像やメロディなどのファイルをメモリカードに保存できます（※1）。 データフォルダ内にはあらかじめ以下のフォルダが登録されています。 ピクチャー／メロディ／アニメーション／ビデオ／ボイス／ポケットデータベース／etc	JPEGファイル	jpg, jpe, jpeg	☞9-4、10-6ページ
		PNGファイル	png	
		メロディファイル	smd	
		SMAFファイル／40和音SMAFファイル	mmf	
		ビデオファイル	tom, tor	
		ボイスファイル	tvv, tvs	
		データベースファイル	pdb	
		テキストファイル	txt	

※1 ただし、J-T010で作成したオリジナル着信音、J-T ClubSite（☞J-スカイ編）にてダウンロードしたデータはメモリカードに保存（コピー）することはできません。また、ウェブからダウンロードしたデータは、コピー・転送可能なピクチャーファイル、メロディファイルのみメモリカードに保存することができます。

機能	説明	保存可能な設定／保存されている機能	参照ページ
引っ越し機能	メモリダイヤルなどのJ-T010の各種設定をメモリカードに保存できます（※2）。	メモリダイヤル／スケジュール／アクションアイテム／マナーモード設定／ユーザー辞書／オーナー登録／目覚まし／プチメモ／迷惑リスト／アドレス送信履歴	☞10-7ページ
辞書機能	あらかじめ付属のメモリカードに辞書機能が搭載されています。	国語辞書／英和辞書／和英辞書	☞11-30ページ

※2 プライベートモード（☞12-38ページ）の登録内容や、Java™ライブラリ、メール（☞J-スカイ編）のデータは、メモリカードに保存することはできません。

保存されたデータは、JPEGファイル（DCF規格準拠）のみパソコンまたはSDメモリカード対応のJ-フォン携帯電話に取り付けてご利用になることができます。

■メモリカード内のデータを確認する

デジタルカメラフォルダのデータを確認する

1 MENU（メニュー）（◯）▶ ✥を押す

「**メモリカード**」を選択します。

2 ●を押す

「**データ閲覧**」を選択します。

3 ●を押す

「**デジタルカメラフォルダ**」を選択します。

4 ●を押す

フォルダを選択します。
- MENU（メニュー）●を押して、選択したフォルダ内のすべてのファイルを消去することができます。

5 ● ▶ ✥を押す

確認したいファイルを選択します。

6 ●を押す

画像を確認できます。
- ＊、＃で他の画像に切り替え表示します。
- （回転）を押すたびに画像が90°ずつ回転します。

J-T010で撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、J-T010で再表示できなくなる場合があります。

- デジタルカメラフォルダのファイルは名称編集、コピー、移動はできません。
- 操作**5**の画面でMENU（メニュー）を押して、登録したファイルの編集（**1件消去**／**画像編集**／**プロパティ**）の操作を行うことができます。

10 メモリカードの使いかた

データフォルダ（メモリカード）のデータを確認する

1 **10-5ページの操作3より、(⊕)を押す**

「**データフォルダ**」を選択します。

2 **(●)▶(⊕)を押す**

フォルダを選択します。

3 **(●)▶(⊕)を押す**

確認したいファイルを選択します。

4 **(●)を押す**

画像を確認できます。

- (✱)、(#)で他の画像に切り替え表示します。

- 操作2、3の画面でMENU（メニュー）を押すと、ファイルを編集することができます。データフォルダについては9章を参照してください。
- サムネイルデータなしのファイルは、操作3の画面でMENU（メニュー）を押して「**サムネイル作成**」を選択し、(●)を押すと、サムネイル画像が表示されます（ビデオを除く）。また、作成し直すこともできます。

データを移動／コピーする

以下のフォルダ内のファイルは移動またはコピーすることができます。

・**ピクチャー／メロディ／アニメーション／ビデオ／ボイス／etc**

例 メモリカード（ピクチャーフォルダ）から本体（ピクチャーフォルダ）にファイルを移動する場合

1 **上記の操作3より、MENU（メニュー）▶(⊕)を押す**

「**フォルダ移動**」を選択します。

- ファイルをコピーする場合は、(⊕)で「**コピー**」を選択します。

2 ●を押す

「**本体**」を選択します。

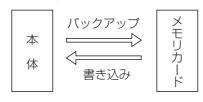
3 ●を押す

「**ピクチャー**」を選択します。

4 （決定）を押す

選択したフォルダにファイルが移動されます。

■本体とメモリカードでデータのやりとりをする（引っ越し機能）

各種設定やデータを本体とメモリカードの間でやりとりをすることができます。個人データのバックアップとしてご利用されることをおすすめします。

引っ越しデータの項目は以下から選択できます。

項目	備考
メモリダイヤル	着信イルミ／着信音パターン／メイン着信画像／サブ着信画像を除く
スケジュール/アクションアイテム	メール呼出／アラーム音／タイムアップ画面を除く
マナーモード設定	―――
ユーザー辞書	―――
オーナー登録	―――
目覚まし	アラーム音を除く
プチメモ	プチメモの搬出時には定型文も同様に搬出する
迷惑リスト	―――
アドレス送信履歴	―――

データをバックアップする

例 メモリカードの引っ越しフォルダに「**メモリダイヤル**」を登録する場合

1 10-5ページの操作2より、を押す

「**引っ越し機能**」を選択します。

つづく▶

10 メモリカードの使いかた

2 ●を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号を入力

「ヘバックアップ」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると、「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

4 ●を押す

「**カスタム**」を選択します。

- すべてのデータを引っ越しする場合は、で「**一括**」を選択します。

5 ● ▶ （チェック）を押す

データの先頭に「」アイコンが表示されます。

- 複数のデータを選択する場合は、（チェック）を繰り返します。

6 （完了）▶ ●を押す

ファイルの暗証番号の入力画面になります。

7 ファイルの暗証番号を入力 ▶ ▶ ●を押す

メモリカードに登録されます。

- ファイルの暗証番号は、お好きな4桁の番号を入力してください。入力した番号は本体へデータを書き込むときに必要となります。

- メモリカードに引っ越ししたファイルをパソコンなどで参照したり、書き換えたりしないでください。
- 「ファイルの暗証番号」はお忘れにならないようご注意ください。
- 「ファイルの暗証番号」は他人に知られないようご注意ください。

F23「メモリ使用禁止設定」（☞6-4ページ）が「ON」の場合でも引っ越しすることができます。

データを書き込む

1 **10-8ページの操作3より、(↓)を押す**

「へ書き込み」を選択します。

2 **(●) ▶ (↑↓)を押す**

引っ越ししたいファイルを選択します。

● ファイルの作成日時が表示されます。

3 **(●)を押す**

ファイルの暗証番号の入力画面になります。

4 **バックアップ時に入力したファイルの暗証番号を入力 ▶ (↓)(3回) ▶ (●)を押す**

書き込み終了後、自動的に電源を入れ直します。

● 間違った暗証番号を入力すると、「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

● F23「メモリ使用禁止設定」(☞6-4ページ)が「ON」の場合でも引っ越しすることができます。
● 操作2の画面で(MENU)(メニュー)を押して、引っ越ししたファイルの編集(**名称編集**／**1件消去**／**プロパティ**)の操作を行うことができます。

■メモリカードの使用状況を確認する

メモリカードの使用率と空き容量を確認することができます。

1 **10-5ページの操作2より、(↓)を押す**

「**メモリカード使用状況**」を選択します。

2 **(●)を押す**

メモリカードの使用率と空き容量が表示されます。

補足 付属のメモリカード容量の領域内には、辞書機能が約5.7Mバイト使用されています。

10 メモリカードの使いかた

■メモリカードを初期化する（フォーマット）

J-T010でメモリカードを初期化することができます。
- メモリカードは付属品または推奨品をお使いください。
- メモリカードのフォーマットは必ず、J-T010で行ってください。パソコンなどでフォーマットすると、辞書データは消失します。
- SD規格に準拠しないフォーマット形式のメモリカードに辞書データが存在した場合は、このメモリカードをフォーマットすると辞書データは消失します。
- データの読み込み中や書き込み中にメモリカードを抜くと、データの消失やカードの破損の原因となります。
- フォーマット中に何らかの理由でフォーマットが中断した場合は、辞書データは保証されません。

1 10-5ページの操作2より、◎を押す

「**フォーマット**」を選択します。

2 ●を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

3 操作用暗証番号を入力 ▶ ◎を押す

「**YES**」を選択します。
- 間違った操作用暗証番号を入力すると、「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

4 ●を2回押す

メモリカードが初期化されます。

便利な機能を使いましょう

プチスケジュールを利用する

J-T010をスケジュール帳として利用することができます。スケジュールは、当日（J-T010で設定している日付）から1年後までの間で登録することができます（1日最大5件）。また、登録したスケジュールは、当日の翌日の1年前から当日の1年後までを確認することができます。

- この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞2-3ページ）の操作を行ってください。

■登録できる項目について

スケジュールには、以下の内容を登録することができます。

項目	内容	登録方法
スタンプ	用件にあわせて、120種類のアイコンから選択できます。	☞11-4ページ
用件	用件を登録できます。	☞11-3ページ
開始時刻	開始時刻を登録できます。	☞11-3ページ
終了時刻	終了時刻を登録できます。	☞11-3ページ
内容	スケジュールの内容や電話番号（テレフォンリンク）を登録できます。	☞11-5ページ
アラーム設定	指定した時刻になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面とスケジュールの用件を表示してお知らせします。アラーム音は、固定パターン／固定メロディ／本体（データフォルダ）／メモリカードから選択できます。	☞11-5ページ
オプション	スケジュールごとに指定できるオプション機能です。	☞11-6ページ
メール呼出	メールで送受信したメッセージの内容が簡単に参照できます。	☞11-8ページ

■スケジュールの基本的な登録のしかた

11

便利な機能を使いましょう

スケジュール作成画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

例 9月5日に用件「**会議あり**」、開始時刻「**10:00**」を登録する場合

スケジュールの作成画面を表示する

まず、スケジュール作成画面を表示します。

1 MENU ⊖ **を押す**

「**プチスケジュール**」を選択します。

2 ● ▶ ⊖ **を押す**

登録する日付を選択します。

- 待受画面で、（スケジュール）を長く（約1秒以上）押しても、スケジュールの画面が表示されます。
- スケジュールは、当日より前の日付に登録することはできません。当日から1年後までの日付を選択してください。

3 （追加）を押す

スケジュール作成画面が表示されます。

登録する項目を設定する

続いて、登録したい項目を選択し、設定します。
スケジュールは、スケジュール作成画面でスタンプ、用件、開始時刻、終了時刻のいずれかを設定すると登録できる状態になります。それ以外の項目は、必要に応じて設定してください。

4 を押す

「**用件**」を選択します。

5 ▶ **用件を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

6 ▶ を押す

「**開始時刻**」を選択します。

7 ▶ **開始時刻を入力**

- 時刻は2桁（24時間制）で入力してください。
- 「**終了時刻**」も開始時刻と同様の手順で設定することができます。終了時刻を設定する場合は、操作*6*で「**終了時刻**」を選択してください。

8 を押す

開始時刻が設定されます。

- その他の項目の設定方法については、11-4ページを参照してください。

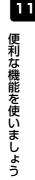
11

登録する

必要な項目を設定したら、スケジュールとして登録します。

9 （完了）を押す

スケジュールが登録されます。待受画面に戻るときは、を押します。

つづく▶

登録したスケジュールは、1年後自動的に消去されます。また、日時設定（☞2-3ページ）を変更すると、消去される場合があります。

登録されているスケジュールが当日になると、待受画面に「 」が表示されます。

■スケジュールの各項目を設定する

用件、開始時刻、終了時刻を設定する

用件、開始時刻、終了時刻の設定と登録のしかたについては、11-2～4ページを参照してください。

スタンプを設定する

例 「 」（重要）を設定する場合

1 11-3ページの操作8より、 を押す

「**スタンプ**」を選択します。

2 ●▶ を押す

「 」（重要）を選択します。

- （切替）でスタンプの種類を切り替えることができます。
- スタンプの種類については11-13ページを参照してください。

3 ●を押す

スタンプが設定されます。

- 用件の項目が未入力の場合は、操作2で指定したスタンプの名称が用件の項目に自動的に入力されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと11-3ページの操作9を行ってください。

スケジュール作成
会議あり
10時00分
[終了時刻]
[内容]
[メール呼出]
アラーム設定
オプション
戻る メニュー 完了

11 便利な機能を使いましょう

内容を設定する

例 「**第1会議室で行う**」を設定する場合

1 11-3ページの操作8より、(◇)を押す

「**内容**」を選択します。

- 内容にはテレフォンリンクを設定することができます。設定する場合は、11-7ページを参照してください。

2 (●) ▶ 内容を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角32文字、全角16文字です。

3 (●)を押す

内容が設定されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと11-3ページの操作9を行ってください。

アラームを設定する

例 アラーム設定を「**ON**」にして、アラーム時刻を「**9時50分**」に設定する場合

1 11-3ページの操作8より、(◇)を押す

「**アラーム設定**」を選択します。

2 (●) ▶ (◇)を押す

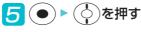
「**ON**」を選択します。

3 (●)を押す

「**アラーム時刻**」を選択します。

4 (●) ▶ アラーム時刻を入力

- 時刻は2桁(24時間制)で入力してください。

つづく▶

5 を押す

「**アラーム音**」を選択します。

- アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあと11-16ページの操作*3*〜*9*を行ってください。

6 （完了）を押す

アラームが設定され、画面に「🔊」が表示されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと11-3ページの操作*9*を行ってください。

補足

- アラームの設定時刻になったとき（タイムアップ）の動作は、お知らせ君を利用する（☞11-14ページ）を参照してください。
- タイムアップ画面には、スケジュールの用件が表示されます。タイムアップ画面は変更することができます（☞11-19、7-13ページ）。

オプションを設定する

スケジュールごとに以下のオプションを設定することができます。

項目	内容			
シークレット	操作用暗証番号を入力しない限り、スケジュールの内容を確認できないようにします（スケジュール一覧画面では、「🔒」のみ表示されます）。			
繰り返し	スケジュールを繰り返し設定することができます。繰り返しの間隔は以下から選択できます（「毎年」以外は、当日から1年後まで）。			
	なし	毎日	毎週	
	毎月	毎年	毎日（期間）	
カテゴリ	スケジュールの種類を以下から選択できます。			
	設定なし	プライベート	休日	旅行
	仕事／授業	会議	クラブ／サークル	——
優先度	スケジュールの優先度を以下から選択できます。			
	低い	普通	高い	
状態	スケジュールの状態を以下から選択できます。			
	未消化	消化	——	

・カテゴリ、優先度、状態は、スケジュールを確認するときにスケジュールの詳細画面で確認できます（☞11-9ページ）。

例 スケジュールの繰り返しを、日数「**5日間**」、間隔「**毎日**」に設定する場合

7 11-3ページの操作*8*より、◎を押す

「**オプション**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**繰り返し**」を選択します。

3 ▶ を押す

「**毎日（期間）**」を選択します。

4 ▶ 日数を入力

- 日数は02～99の範囲で、2桁で入力してください。

5 を押す

オプションが設定されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと11-3ページの操作*9*を行ってください。

テレフォンリンクを設定する

メモリダイヤルに登録されている電話番号を、内容の項目に設定することができます。テレフォンリンクを設定すると、スケジュールを確認したときに、その電話番号へ簡単に電話をかけることができます。

1 11-3ページの操作*8*より、を押す

「**内容**」を選択します。

2 MENU（メニュー）▶ を押す

「**テレフォンリンク**」を選択します。

11

便利な機能を使いましょう

3 ● ▶ **登録したいメモリダイヤルを呼び出す**

メモリダイヤルの呼び出しかたについては4-21～28ページを参照してください。
- 電話番号以外は選択できません。

4 ● **を押す**

5 ● **を押す**

「**内容**」にテレフォンリンクが設定されます。
- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと11-3ページの操作9を行ってください。

- テレフォンリンクを登録している場合は、11-9ページの操作2、3の画面で を押すと、登録した番号へ電話をかけることができます。
- 操作5の画面で MENU（メニュー）を押して、テレフォンリンクの消去（**内容消去**）の操作を行うことができます。

メール呼出を設定する

スケジュールにメール（☞J-スカイ編）の内容を登録することができます。

例 「**送信メール**」を呼び出す場合

1 **11-3ページの操作8より、を押す**

「**メール呼出**」を選択します。

2 ● ▶ **を押す**

「**送信メール**」を選択します。

3 ● ▶ **を押す**

登録するメールを選択します。
- （表示）を押すと、メールの内容を確認することができます。

11 便利な機能を使いましょう

4 ●**を押す**

メール呼出が設定され、「**メール呼出あり**」と表示されます。

- スケジュールの登録を完了する場合は、このあと11-3ページの操作9を行ってください。

シークレットボックスのメッセージ、セキュリティ設定されているフォルダのメッセージ、プライバシーレベル3、4のメッセージを設定する場合は、操作用暗証番号を入力しないと設定できません（☞J-スカイ編）。

- メール呼出を設定した場合は、下記の操作2、3の画面で（メール呼出）を押すと、メールの内容を表示させることができます。
- 操作4の画面で MENU（メニュー）を押して、メール呼出の解除（**メール呼出解除**）の操作を行うことができます。

■登録したスケジュールを確認する

例 9月7日の「**8:00伊豆へドライブ**」のスケジュールを確認する場合

1 MENU **を押す**

「**プチスケジュール**」を選択します。

2 ● ▶ **を押す**

確認するスケジュールを選択します。

- 待受画面で、（スケジュール）を長く（約1秒以上）押しても、スケジュールの画面が表示されます。
- 「」のみ表示されているスケジュールは、シークレット設定されています。確認方法を参照してください（☞11-10ページ）。

3 ●**を押す**

スケジュールの詳細画面が表示されます。

- を押すと、詳細画面の続きを見ることができます。
- （戻る）を押すと、操作2の画面に戻ります。

重要

登録したスケジュールは、1年後自動的に消去されます。また、日時設定（☞2-3ページ）を変更すると、消去される場合があります。

つづく▶

- スケジュールは当日の翌日の1年前から当日の1年後までを確認できます。
- 開始日時を過ぎた未消化のアクションアイテム（☞11-21ページ）がある場合、当日のスケジュール画面に「**未消化アクションアイテムあり**」と表示されます。「**未消化アクションアイテムあり**」を選択して●を押すと、未消化のアクションアイテム一覧を確認することができます。
- **シークレット設定されたスケジュールを確認する場合は…**
  操作2の画面でシークレット設定されたスケジュールを選択し、●を押して操作用暗証番号を入力します。
- 操作2の画面でMENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  - **編集／1件消去／当日分全消去**
- オプションを設定する（☞11-6ページ）で繰り返しを「**なし**」以外に設定した場合は、編集または消去の操作のあとで右のように表示されます。ただし、「**毎年**」を設定した場合、消去の操作で「**当日のみ変更**」は選択できません。
  当日のみ変更：選択したスケジュールのみ編集（消去）します。
  当日以降変更：選択したスケジュールと、その日以降に繰り返されているスケジュールをすべて編集（消去）します。

■スケジュールの表示スタイルを切り替える

スケジュールの表示画面を本日、週間、月間、4ヶ月に切り替えることができます。

本日スケジュール

週間スケジュール

月間スケジュール

4ヶ月スケジュール

例 本日から週間のスケジュール画面に切り替える場合

1 スケジュール表示画面を呼び出す

スケジュール表示画面の呼び出しかたについては11-9ページを参照してください。

2 を押す

スケジュールの週間画面が表示されます。
日付の横にはスケジュールで設定されているスタンプが表示されます。

- （文字/小文字）を押すごとに、画面の表示は以下のように切り替わります。
  →本日画面→週間画面→月間画面→4ヶ月画面→
- スケジュール画面では、以下の操作が行えます。
  ・（＊）：前月（前の4ヶ月）が表示されます（月間、4ヶ月画面のみ）。
  ・（＃）：次月（次の4ヶ月）が表示されます（月間、4ヶ月画面のみ）。
- （方向キー）：週を切り替えたり（1週間画面のみ）、日付を選択します。
  （決定キー）：選択した日付のスケジュールが表示されます。

- 週間、月間、4ヶ月画面では、スケジュールが登録されている場合、日付の横に「・」が表示されます。
- 月間画面では、スケジュールにスタンプが登録されている場合、その日付を選択すると、画面下段にスケジュールで設定されているスタンプが表示されます。

11

便利な機能を使いましょう

■日付や曜日の表示色を変更する

スケジュール表示画面での曜日と日付の表示色を変更できます。[休日設定]

例 水曜日の表示色を「**赤**」に変更する

1 スケジュール表示画面を呼び出して、

「**休日設定**」を選択します。
スケジュール表示画面の呼び出しかたについては11-9ページを参照してください。

- 右の画面は、月間画面で（メニュー）を押した場合の表示例です。
- 休日設定は、当日、週間、月間、4ヶ月のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

2 ● ▶ を押す

「**曜日**」を選択します。

3 ● ▶ を押す

「**水曜日**」を選択します。

4 ● ▶ を押す

「**赤**」を選択します。

水曜日
赤
青
黒
戻る

5 ● ▶ （決定）を押す

表示色が設定され、スケジュール表示画面の曜日と日付の文字が赤で表示されます。

補足 ある日付の表示色だけを変更したい場合は、操作*1*で、表示色を変更したい日付にカーソルを合わせます。続いて、操作*2*で「**当日**」を選択し、操作*4*、*5*を行います。

11 便利な機能を使いましょう

■スタンプの種類を設定する

スケジュールやアクションアイテム（☞11-21ページ）の作成で、スタンプを選択する際に最初に表示されるスタンプの一覧画面の内容を変更することができます。
お買い上げ時の設定は「**ノーマル1**」です。

例 「**スクール**」に設定する場合

1 スケジュール表示画面を呼び出して、MENU（メニュー）▶ ナビを押す

「**スケジュールオプション**」を選択します。
スケジュール表示画面の呼び出しかたについては11-9ページを参照してください。

- 右の画面は、月間画面でMENU（メニュー）を押した場合の表示例です。
- スケジュールオプションは、当日、週間、月間、4ヶ月のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

サブメニュー
当日分全消去
休日設定
スケジュールオプション
閉じる

2 ●を押す

「**スタンプ**」を選択します。

スケジュールオプション
スタンプ
お知らせ君
スケジュールロック
スタート表示
タイムアップ画面
ノーマル1 スタンプ選択時の初期画面を設定します
戻る

3 ● ▶ ナビを押す

「**スクール**」を選択します。

スタンプ
ノーマル1
ノーマル2
オフィス
スクール
戻る

4 ●を押す

スタンプが設定されます。

スタンプの種類について

スタンプの種類は以下の通りです。

ノーマル1						
今日						
おでかけ						
おでかけ						
TO DO						
その他						

ノーマル2						
おでかけ						
おでかけ						
予定						
スポーツ						
季節						

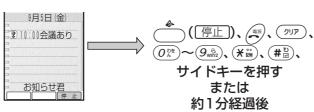
11
便利な機能を使いましょう

つづく▶

オフィス
予定
仕事
休み
飲食
その他

スクール
学校
学校
イベント
その他
その他

■お知らせ君を利用する

お知らせ君は、指定した時刻にアラームが鳴動し、当日または翌日のスケジュールを表示してお知らせする機能です。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

基本的な設定のしかた

例 表示内容設定「**翌日の予定**」、時刻「**23：00**」、起動設定「**毎日**」に設定する場合

1 スケジュール表示画面を呼び出して、MENU（メニュー）▶ ◯を押す

「**スケジュールオプション**」を選択します。
スケジュール表示画面の呼び出しかたについては11-9ページを参照してください。

- 右の画面は、月間画面でMENU（メニュー）を押した場合の表示例です。
- スケジュールオプションは、当日、週間、月間、4ヶ月のどの表示画面からでも設定を始めることができます。

サブメニュー
当日分全消去
休日設定
スケジュールオプション
閉じる

2 ●▶◯を押す

「**お知らせ君**」を選択します。

3 ●▶◯を押す

「**ON**」を選択します。

4 ●を押す

「**当日の予定**」を選択します。

お知らせ君
当日の予定
［時刻］
アラーム設定
1回のみ
表示する予定を設定します
戻る

11 便利な機能を使いましょう

5 ● ▶ ◯を押す

「**翌日の予定**」を選択します。

6 ● ▶ ◯を押す

「**時刻**」を選択します。

7 ● ▶ **時刻を入力**

● 時刻は、2桁（24時間制）で入力してください。

8 ● ▶ ◯を押す

「**1回のみ**」を選択します。

9 ● ▶ ◯を押す

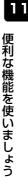
「**毎日**」を選択します。

10 ●**を押す**

● アラームの音色や音量、バイブレータを設定する場合は、◯で「**アラーム設定**」を選択し、11-16ページを参照してください。

11 （完了）**を押す**

お知らせ君が設定されます。

● 通話中などに指定した時刻になった場合、通話終了後にお知らせ君が起動します。
● 電源が切れているときは、自動的に電源が入り、お知らせ君が起動します。［自動電源ON］
● マナーモード設定中にお知らせ君が起動した場合の音量などは、マナーモード（☞5-8ページ）の設定に従います。
● お知らせ君起動中は、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

アラームの種類や音量を設定する

例 アラーム音を固定メロディ「**電子音**」、アラーム音量を「**レベル4**」、バイブレータを「**パターン2**」に設定する場合

1 **11-15ページの操作10より、◯を押す**

「**アラーム設定**」を選択します。

2 **●を押す**

「**アラーム音**」を選択します。

3 **● ▶ ◯を押す**

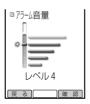
「**固定メロディ**」を選択します。

4 **● ▶ ◯を押す**

「**電子音**」を選択します。
- ●（確認）を押すと、カーソル上のメロディが1曲分確認できます。

5 **● ▶ ◯を押す**

「**アラーム音量**」を選択します。

6 **● ▶ ◯を押す**

「**レベル4**」を選択します。
- ●（確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

7 **● ▶ ◯を押す**

「**バイブレータ**」を選択します。

8 ● ▶ ◎を押す

「**パターン2**」を選択します。

- 「**パターン1～3**」を選択した場合は、バイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」を選択すると、アラーム起動時にアラーム音で設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

9 ●を押す

10 ◇（完了）を押す

アラームが設定されます。

- お知らせ君の設定を完了する場合は、このあと11-15ページの操作*11*を行ってください。

操作*4*のメロディ確認時の音量は、アラーム音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのスケジュールで設定されている音量で確認音が鳴ります。

■スケジュールロックを設定する

操作用暗証番号を入力しない限りスケジュールを確認できないようにします。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

1 **11-13ページの操作2より、◎を押す**

「**スケジュールロック**」を選択します。

2 **●を押す**

操作用暗証番号の入力画面になります。

3 **操作用暗証番号を入力 ▶ ◎を押す**

「**ON**」を選択します。

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、スケジュールオプションの選択画面に戻ります。
- 解除する場合は「**OFF**」を選択します。

4 **●を押す**

スケジュールロックが設定されます。

■スタート表示を設定する

プチスケジュール起動時のスケジュール表示画面を本日、週間、月間、4ヶ月から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**本日スケジュール**」です。

- スケジュール表示画面については11-10ページを参照してください。

例 「**月間スケジュール**」に設定する場合

1 **11-13ページの操作2より、◎を押す**

「**スタート表示**」を選択します。

2 **を押す**

「**月間スケジュール**」を選択します。

3 **を押す**

スタート表示が設定されます。

■タイムアップ画面を設定する

スケジュールにアラームを設定している場合、アラーム起動時に表示される画面を以下から選択することができます。
お買い上げ時の設定は「**オリジナル**」です。
・**オリジナル／本体（データフォルダ）／メモリカード**

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

例 本体（データフォルダ）のピクチャーフォルダにある「**ネコ**（一例）」を設定する場合

1 **11-13ページの操作2より、**　**を押す**

「**タイムアップ画面**」を選択します。

2 **を押す**

「**本体**」を選択します。
● タイムアップ画面を「**本体**」に設定している場合は、（確認）を押すと、設定している画像が確認できます。

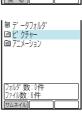
3 **を押す**

「**ピクチャー**」を選択します。
● データフォルダには選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。
● 右の画面は、データフォルダをリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。

4 **を押す**

「**ネコ**」を選択します。

つづく▶

11

便利な機能を使いましょう

11-19

5 ●を押す

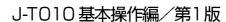
画像が表示されます。

- 、で他の画像に切り替え表示します。

6 (決定)を押す

タイムアップ画面が設定されます。

重要

- 操作*2*で「**本体**」または「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- タイムアップ画面で表示される画像のサイズは横240×縦174ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作*5*のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。
- サブディスプレイに表示されるタイムアップ画面の設定については、7-13ページを参照してください。

アクションアイテムを利用する

J-T010に予定（アクションアイテム）を登録し、忘れてはいけないことや、やらなければいけないことを管理できます（最大150件）。登録したアクションアイテムは、一覧で表示したり、未消化、消化済に分けて確認することができます。また、優先度やカテゴリーを設定することもできます。

● この機能をご利用になるにはあらかじめ時計設定（☞2-3ページ）の操作を行ってください。

■登録できる項目について

アクションアイテムには、以下の内容を登録することができます。

項目	内容	登録方法
スタンプ	用件に合わせて、120種類のアイコンから選択できます。	☞11-23ページ
用件	用件を登録できます。	☞11-22ページ
開始日時	開始日時を登録できます。	☞11-22ページ
終了日時	終了日時を登録できます。	☞11-22ページ
内容	予定の内容や電話番号（テレフォンリンク）を登録できます。	☞11-24ページ
アラーム設定	指定した時刻になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面とアクションアイテムの用件を表示してお知らせします。アラーム音は固定パターン／固定メロディ／本体（データフォルダ）／メモリカードから選択できます。	☞11-24ページ
オプション	アクションアイテムごとに指定できるオプション機能です。	☞11-25ページ

■アクションアイテムの基本的な登録のしかた

アクションアイテム作成画面を表示して、新規登録します。必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

例 用件「**報告書締切**」、開始日時「**2003年9月5日17:00**」を登録する場合

アクションアイテムの作成画面を表示する

まず、アクションアイテム作成画面を表示します。

1 MENU ▶ **を押す**

「**アクションアイテム**」を選択します。

2 ● **を押す**

アクションアイテムの一覧表示画面になります。

つづく▶

11 便利な機能を使いましょう

3 （追加）を押す

アクションアイテム作成画面が表示されます。

登録する項目を設定する

続いて、登録したい項目を選択し、設定します。
アクションアイテムは、作成画面でスタンプ、用件、開始日時、終了日時のいずれかを設定すると登録できる状態になります。それ以外の項目は、必要に応じて設定してください。

4 を押す

「**用件**」を選択します。

5 ▶ 用件を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

を押す

「**開始日時**」を選択します。

7 ▶ 開始日時を入力

- 年は西暦の下2桁、月、日は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は24時間制で入力してください。
- 「**終了日時**」も開始日時と同様の手順で設定することができます。終了時刻を設定する場合は、操作*6*で「**終了日時**」を選択してください。

8 を押す

開始日時が設定されます。
- その他の項目の設定方法については、11-23ページを参照してください。

11
便利な機能を使いましょう

登録する

必要な項目を設定したら、アクションアイテムとして登録します。

9 （完了）を押す

アクションアイテムが登録されます。待受画面に戻るときは、を押します。

■アクションアイテムの各項目を設定する

用件、開始日時、終了日時を設定する

用件、開始日時、終了日時の設定と登録のしかたについては、11-21～23ページを参照してください。

スタンプを設定する

例 「」（〆切）を設定する場合

1 11-22ページの操作*8*より、を押す

「**スタンプ**」を選択します。

2 ▶ を押す

「」（〆切）を選択します。

- （切替）でスタンプの種類を切り替えることができます。
- スタンプの種類については、11-13ページを参照してください。

3 を押す

スタンプが設定されます。

- 用件が未入力の場合は、操作*2*で指定したスタンプの名称が用件の項目に自動的に入力されます。
- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと上記の操作*9*を行ってください。

内容を設定する

例 内容「**月例報告書**」を設定する場合

1 11-22ページの操作8より、◎を押す

「**内容**」を選択します。

- 内容にはテレフォンリンクを設定することができます。設定する場合は、11-7ページを参照してください。

2 ● ▶ 内容を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角128文字、全角64文字です。

3 ●を押す

内容が設定されます。

- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと11-23ページの操作9を行ってください。

アラームを設定する

例 アラーム設定を「**ON**」にして、アラーム時刻を「**2003年9月5日16:00**」に設定する場合

1 11-22ページの操作8より、◎を押す

「**アラーム設定**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

「**ON**」を選択します。

3 ●を押す

「**アラーム日時**」を選択します。

4 ● ▶ アラーム日時を入力

- 年は西暦の下2桁、月、日はそれぞれ2桁で入力してください。時刻は2桁（24時間制）で入力してください。

11 便利な機能を使いましょう

5 ● ▶ ◎を押す

「**アラーム音**」を選択します。

●アラーム設定はあらかじめ、アラーム音「**パターン1**」、アラーム音量「**レベル5**」、バイブレータ「**OFF**」に設定されています。設定を変更する場合は、このあと11-16ページの操作3〜9を行ってください。

6 ⌒（完了）を押す

アラームが設定され、画面に「」が表示されます。

● アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと11-23ページの操作9を行ってください。

補足
- アラームの設定時刻になったとき（タイムアップ）の動作は、お知らせ君を設定する（☞11-14ページ）を参照してください。
- タイムアップ画面にはアクションアイテムの用件が表示されます。サブディスプレイのタイムアップ画面は変更することができます（☞7-13ページ）。

オプションを設定する

アクションアイテムごとに以下のオプションを設定することができます。

シークレット	操作用暗証番号を入力しない限り、アクションアイテムの内容を確認できないようにします（アクションアイテム一覧画面では「🔑」のみ表示されます）。			
カテゴリ	アクションアイテムの種類を以下から選択できます。			
	設定なし	プライベート	休日	旅行
	仕事／授業	会議	クラブ／サークル	――
優先度	アクションアイテムの優先度を以下から選択できます。			
	低い（▣）	普通（▣）	高い（▣）	
状態	アクションアイテムの状態を以下から選択できます。			
	未消化	消化（☑）	――	

・カテゴリは、アクションアイテムの詳細画面（☞11-26ページ）で確認できます。
・優先度と状態は、アクションアイテム一覧画面で（ ）内のアイコンで表示されます。またアクションアイテム新規登録時は、優先度「**普通**」、状態「**未消化**」に設定されています。

例 シークレットを「**ON**」に設定する場合

1 11-22ページの操作8より、◎を押す

「**オプション**」を選択します。

2 ●を押す

「**シークレット**」を選択します。

つづく▶

11 便利な機能を使いましょう

3 ● ▶ ⊕を押す

「ON」を選択します。

4 ●を押す

オプションが設定されます。

- アクションアイテムの登録を完了する場合は、このあと11-23ページの操作9を行ってください。

■登録したアクションアイテムを確認する

例 「**報告書締切**」の内容を確認する場合

1 MENU ⊙ ▶ ⊕を押す

「**アクションアイテム**」を選択します。

2 ● ▶ ⊕を押す

確認するアクションアイテムを選択します。

- 「🔑」のみ表示されているアクションアイテムは、シークレット設定されています。確認方法を参照してください（☞下記の補足）。

3 ●を押す

アクションアイテムの詳細画面が表示されます。

- ⊙を押すと、詳細画面の続きを見ることができます。

11

便利な機能を使いましょう

補足

- アクションアイテム一覧画面には、アクションアイテムが終了日時の早い順に表示されます。また、終了日時が同じものは、登録した順に表示されます。
- 終了日時を過ぎたアクションアイテムは赤色で表示されます。
- 操作2の画面で（）を押すと、選択しているアクションアイテムの「**消化**」、「**未消化**」を切り替えることができます。
- **シークレット設定されたアクションアイテムを確認する場合は…**
  操作2の画面でシークレット設定されたスケジュールを選択し、●を押して操作用暗証番号を入力します。
- 操作2の画面でMENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**編集**／**1件消去**／**全消去**
- **アクションアイテムの自動消去を設定する場合は…**
  アクションアイテムが最大登録数を超えたときに、消化済のアクションアイテムを古いものから自動的に消去するように設定できます。設定する場合は、操作2の画面でMENU（メニュー）を押したあと「**消去設定**」を選択し、●を押します。続いて「**自動消去**」を選択し、●を2回押します。

アクションアイテムの一覧表示内容を切り替える

アクションアイテムを一覧表示するときに表示する内容を以下から選択することができます。

全件表示	すべてのアクションアイテムが表示されます。
未消化のみ	未消化のアクションアイテムのみ表示されます。
消化済みのみ	消化済みのアクションアイテムのみ表示されます。

例「**未消化のみ**」に設定する場合

1 **11-26ページの操作2より、MENU（メニュー）▶ を押す**

「**表示切替**」を選択します。

2 **● ▶ を押す**

「**未消化のみ**」を選択します。

3 **●を押す**

未消化アクションアイテム一覧画面が表示されます。

11 便利な機能を使いましょう

プチメモを利用する

J-T010にメモを登録することができます（最大20件）。登録した内容は文字入力や編集時に呼び出すことができます（☞3-2ページ）。また、メモの内容別にアイコンを設定をすることもできます。

■プチメモに登録する

1 文字/小文字 ▶ ◎を押す

「**プチメモ**」を選択します。

登録メニュー
○メモリダイヤル（名前）
○メモリダイヤル（Eメール）
○プチメモ
○定型文
メモを登録・編集・閲覧します
戻る

2 ▶ ◎を押す

登録する位置を選択します。

3 ● ▶ **文字を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角512文字、全角256文字です。

4 ●を押す

プチメモが登録されます。

- 登録内容を編集する場合は、操作2の画面で登録したプチメモを選択したあと（編集）を押します。
- 操作2の画面で MENU（メニュー）を押して、登録したプチメモの消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。

■メモの内容別にアイコンを設定する

例 「**仕事／授業**」に設定する場合

1 **11-28ページの操作2より、◎を押す**

設定するプチメモを選択します。

2 **を押す**

「**カテゴリ設定**」を選択します。

3 **を押す**

「**仕事／授業**」を選択します。

4 **●を押す**

アイコンが設定されます。

辞書機能を利用する

付属のメモリカードには、あらかじめ国語、英和、和英の3種類の辞書データが登録されており、辞書検索や単語を入力してクイズ、ゲームを楽しむことができます。

- 辞書機能を利用する場合は必ず辞書データが登録されているメモリカードを取り付けてください。
  辞書データのないメモリカードを取り付けた場合、辞書機能は利用できません。
- 辞書データを利用中にメモリカードを抜いたり、電源をOFFにすると、辞書データの消失の原因となります。

■国語辞書を利用する

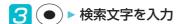
単語（漢字、読み仮名）入力による意味検索を行います。

1 MENU ▶ を押す

「**辞書**」を選択します。

2 ● を押す

「**国語辞書**」を選択します。

3 ● ▶ **検索文字を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 検索可能文字数は最大50文字です。

4 ● を押す

候補の文字が表示されます。

- （詳細）を押すと選択している単語の意味が表示されます。
- （切替）を押すと「**英和辞書**」、「**和英辞書**」に切り替えることができます。
- MENU（メニュー）を押すと「**辞書登録**」（☞12-12ページ）、「**コピー**」ができます。

5 電源 ▶ ● を押す

辞書機能を終了します。

11 便利な機能を使いましょう

- 操作4の画面で（詳細）を押した場合、MENU（メニュー）を押して、単語や単語の意味をクリップボード（☞3-15ページ）へコピーする操作を行うことができます。
- 範囲メニュー（☞3-22ページ）から辞書を呼び出したり、エディタからの文字入力変換時（☞3-10ページの操作5の画面）に（意味）を押すと、単語の意味を参照することができます。
- 国語、英和、和英辞書は、©株式会社学習研究社の「辞スパ」の辞書データを使用しております。

■英和辞書を利用する

英単語入力による意味検索を行います。

1 11-30ページの操作2より、を押す

「**英和辞書**」を選択します。

2 ▶ 検索文字を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 文字の入力は半角でのみ可能です。
- 検索可能文字数は最大50文字です。

3 を押す

候補の文字が表示されます。

■和英辞書を利用する

単語（漢字、読み仮名）入力による英単語検索を行います。

1 11-30ページの操作2より、を押す

「**和英辞書**」を選択します。

2 ▶ 検索文字を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 検索可能文字数は最大50文字です。

3 を押す

候補の文字が表示されます。

■クイズ&ゲームで遊ぶ

英単語クイズ10

英単語の意味が出題され、英単語を入力して解答します。設問数は2000問です。

1 **11-30ページの操作2より、[方向キー]を押す**

「**辞書ゲーム**」を選択します。

2 **[●]を押す**

「**英単語クイズ10**」を選択します。

3 **[●]を押す**

1問目が出題されます。

4 **解答を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 確定可能文字数は最大16文字です。

5 **[●]▶[キー]（判定）を押す**

正解「○」または不正解「×」が表示されます。
続けて、[キー]（次へ）を押して2問目から10問目まで解答します。

- 途中でクイズを終了する場合は、[電源][●]を押します。
- [キー]（降参）を押すと結果が表示されます。

6 **[キー]（終了）を押す**

結果が表示されます。

四字熟語クイズ10

日本語の四字熟語の穴埋め問題です。設問数は500問です。

1 **11-32ページの操作2より、を押す**

「**四字熟語クイズ10**」を選択します。

2 **を押す**

1問目が出題されます。
このあと、11-32ページの操作4以降を行います。

ひとりしりとり

辞書登録されている言葉(ひらがな)に限定して、J-T010を相手にしりとりをします。

1 **11-32ページの操作2より、を押す**

「**ひとりしりとり**」を選択します。

2 **▶ 単語を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 確定可能文字数は最大50文字です。

3 **を押す**

J-T010が回答を考え、画面に表示します。
このあと、次の単語を入力し、操作2を繰り返します。

- 途中でゲームを終了する場合は、を押します。
- (降参)(終了)を押すとお客様の回答数とランキングが表示されます。

補足

- 次の場合は負けとなります。
  - ・ゲーム中に(降参)を押した場合
  - ・辞書登録以外の単語を使用した場合
  - ・1ゲーム内で同じ言葉を入力した場合
  - ・語尾に「ん」がついた場合
  - ・J-T010が次に表示する単語がない場合は、J-T010の負け
- ひとりしりとりではお客様の回答数を記録します。11-32ページの操作2の画面で「**しりとりランキング**」を選択し、を押すと10位までのランキングが表示されます。

11 便利な機能を使いましょう

ポケットデータベースを利用する

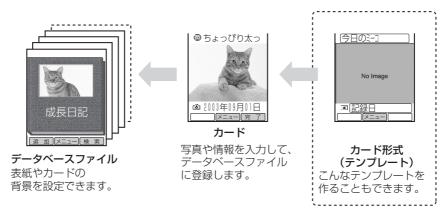
情報を書きとめたカードを分野別のファイルに追加できるように、データを蓄えて、分類、整理することができます。また、キーワードや日付などを条件にしてカードを検索したり、日付順に並び替えたりすることができます。

ポケットデータベースについて

データベースファイルを作成し、データベースファイルにカード形式のデータを登録します。

データベースファイル
表紙やカードの
背景を設定できます。

カード
写真や情報を入力して、
データベースファイル
に登録します。

**カード形式
（テンプレート）**
こんなテンプレートを
作ることもできます。

１つのデータベースファイルは、１つのカード形式（テンプレート）を利用できます。テンプレートは、データベースファイルを作成するときに決定します。テンプレートは、あらかじめ用意されていますが、新しく作成することもできます。
データベースファイルは、本体（データフォルダ）、メモリカードそれぞれに100ファイルずつ登録できます。また、個々のデータベースファイルには、500件のカードを登録することができます。

データベースファイルは、本体（データフォルダ）またはメモリカードのポケットデータベースフォルダに保存されます。

■データベースを作成する

データベースを作成するには、まず、データベースファイルを作成します。データベースファイルは、名称とテンプレートを決めると登録できる状態になります。データベースの表紙や背景は必要に応じて設定してください。

データベースファイルを作成する

例 メモ帳のデータベースファイルを作成し、本体（データフォルダ）に登録する場合

1 ▶ を押す

「**ポケットデータベース**」を選択します。

2 を押す

「**データベース作成**」を選択します。

3 ●を押す

「**名称**」を選択します。

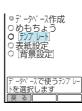
4 ● ▶ 名称を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角35文字、全角17文字です。

5 ● ▶ ◎を押す

「**テンプレート**」を選択します。

6 を押す

「**固定テンプレート**」を選択します。

- テンプレートを新規に作成する場合は11-42ページを、他のデータベースファイルのテンプレートを読み込んで利用する場合は11-46ページを参照してください。

7 ● ▶ ◎を押す

「**メモ**」を選択します。

8 ●を押す

「**メモ**」のテンプレートが表示されます。

- (*)、(#)で他の固定テンプレートに切り替え表示します。

つづく▶

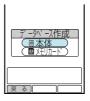
11 便利な機能を使いましょう

9 ●を押す

テンプレートが設定されます。

- 表紙を設定する場合は下記を、背景を設定する場合は11-39ページを参照してください。

10 （完了）を押す

「**本体**」を選択します。

11 ●を押す

データベースファイルが登録され、データベースの表紙が表示されます。

- カードを登録する場合は、（追加）を押し、このあと11-40ページの操作*2*以降を行ってください。

補足

あらかじめ用意されている固定テンプレートは以下のとおりです。

テンプレート名	登録できる項目
お店リスト	店名、アイコン、画像、ランク、電話番号、場所、メモ
人物	名前、アイコン、顔写真、ランク、電話番号、Eメールアドレス、コメント
欲しい物リスト	商品名、アイコン、画像、店名、価格、メモ
写真日記	日付、画像、タイトル、アイコン
メモ	タイトル、アイコン、メモ

データベースの表紙を設定する

データベースファイルごとに、データベースの表紙を設定することができます。表紙は、本体（データフォルダ）またはメモリカードから選択することができます。また、選択した画像にフレームを合成したり、文字を貼り付けることもできます。

例 本体（データフォルダ）のピクチャーフォルダにある画像を設定する場合

1 上記の操作*9*より、を押す

「**表紙設定**」を選択します。

2 ●を押す

「**本体**」を選択します。

3 ●を押す

「**ピクチャー**」を選択します。
- 右の画面は、データフォルダをリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。
- データフォルダには、選択可能なフォルダまたはファイルのみが表示されます。

4 ● ▶ ◎を押す

「**ネコ**」を選択します。

5 ●を押す

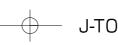
画像が表示されます。

6 ● ▶ ⌒（決定）を押す

- フレームを合成し、文字を貼り付ける場合は、11-38ページを参照してください。

7 ⌒（完了）を押す

表紙が設定され、画面に「▣」が表示されます。
- データベースファイルの作成を完了する場合は、このあと11-36ページの操作10以降を行います。

- 操作**4**で、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- データベースの表紙に設定できる画像のサイズは、横240ドット×縦260ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作**5**のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。

フレームを合成し、文字を貼り付ける

フレームは以下から選択できます。
・**グルメ**／**コレクション**／**アルバム**／**ラブリー**／**（秘）**／**データベース表紙**
・J-T010専用サイト（☞J-スカイ編）からフレームをダウンロードすることもできます。ダウンロードしたフレームがある場合は「**データベース表紙**」から選択できます。

例「**アルバム**」を合成し、文字を貼り付ける場合

1 11-37ページの操作6より

「**フレーム選択**」を選択します。
● フレームを利用しない場合は、「**テキスト入力**」を選択し、操作**4**へ進んでください。

2 ●▶ ◯を押す

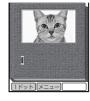
「**アルバム**」を選択します。

3 （決定）▶ ◯を押す

「**テキスト入力**」を選択します。

4 ●▶ ◯を押す

文字を貼り付ける先頭位置に「I」を移動させます。
● ◯を押すたびに「I」の移動単位は、次のように切り替ります。

10ドット単位 → 1ドット単位 → 5ドット単位 → 10ドット単位

5 ●▶ 文字を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
● 一度に書き込める文字数は「I」の位置と文字サイズによって変わります。

6 ●を押す

文字が書き込まれます。
● 続けて文字を書き込む場合は、◯を押して「I」を移動し、操作**5**～**6**を行ってください。

7 （決定）を押す

● 表紙の設定を完了する場合は、このあと11-37ページの操作**7**を行ってください。

補足
- 操作4の画面で(メニュー)を押したあと、以下の操作を行うことができます。
  ・**フォント選択／文字サイズ／文字種選択**
  フォント、文字サイズ、文字種については、9-25ページの表を参照してください。
- 操作6の画面で(メニュー)を押したあと、以下の取り消し操作を行うことができます。
  ・**直前アンドゥ**（最後に書き込んだ文字を取り消す）／**オールアンドゥ**（書き込んだ文字をすべて取り消す）

カードの背景イメージを設定する

カードを表示するときの背景をデータベースファイルごとに設定できます。背景イメージは以下から選択することができます。

・**グルメ／ドット／チェック／ラブリー／ノート／本体**（データフォルダ）／**メモリカード**

例 「**チェック**」を背景イメージに設定する場合

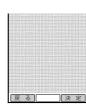
1 11-36ページの操作9より、を押す

「**背景設定**」を選択します。

2 ▶ を押す

「**チェック**」を選択します。

3 を押す

選択した画像が表示されます。
- 、で他の画像に切り替え表示します。

4 （決定）を押す

背景イメージが設定されます。
- データベースファイルを保存するには、このあと11-36ページの操作10以降を行います。

重要
- 操作2で「**本体**」や「**メモリカード**」を選択しても、横240ドットまたは縦320ドットを超える画像は選択できません。
- カードの背景に設定できる画像のサイズは、横240ドット×縦260ドットです。このサイズ以外の画像を設定する場合は、操作3のあとでトリミング（画像の表示する範囲を指定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行うことができます（☞9-13ページ）。

■カードを登録する

例 11-36ページで作成した「めもちょう」にメモを登録する場合

1 データベースを表示して、(追加)を押す

「**タイトル**」を選択します。
データベースの表示方法については11-47ページを参照してください。

- カード登録は、データベースの表紙または各カードの画面から行うことができます。

2 ●を押す

「**タイトル**」を選択します。

3 ● ▶ タイトルを入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角30文字、全角15文字です。

4 ● ▶ を押す

「**カテゴリアイコン**」を選択します。

- ヨミガナは、タイトルを入力すると自動入力されます。修正する場合は、「**9／1キンエン8ニチメ**」を選択し、●を押します。

5 ● ▶ を押す

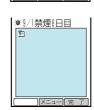
アイコンを選択します。

6 ●を押す

7 (決定) ▶ を押す

「 **メモ**」を選択します。

11 便利な機能を使いましょう

8 ● ▶ **メモを入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角80文字、全角40文字です。

9 ● **を押す**

9/1禁煙8日目
昼、カレー６０
０円。ようやく原
稿を提出。歯医者
。航空券を予約。
メニュー 完了

10 （完了）**を押す**

カードが登録されます。
- カードを追加登録する場合は、このあと（追加）を押して「**タイトル**」を選択し、操作*3*～*10*を繰り返してください。

■テンプレートを作成する

カードに登録する項目を選択し、データベースの目的に合わせて新しいテンプレートを作成することができます。すでにあるデータベースファイルからテンプレートを読み出し、項目名や項目アイコンなどを編集して利用することもできます。
１つのテンプレートには、以下の各テンプレート項目を１つずつまで設定することができます（日付は2つまで、テキストは3つまで）。ただし、各テンプレート項目の大きさ（表示領域の大きさ）の合計が8行（表示画面の大きさ）を超えることはできません。

テンプレート項目	登録内容	大きさ
日付	日付を登録することができます。年は西暦の4桁、月、日は、それぞれ2桁で登録できます。	1行
タイトル	最大で半角30文字、全角15文字まで登録できます。絵文字もご利用できます。	1行
画像（※）	横240ドット×縦232ドットまで登録できます。	8行
	横240ドット×縦202ドットまで登録できます。	7行
	横240ドット×縦144ドットまで登録できます。	5行
	横240ドット×縦116ドットまで登録できます。	4行
テキスト	最大で半角80文字、全角40文字まで登録できます。絵文字も入力できます。	1行 8行
電話番号	最大24桁まで登録できます。	1行
E-mail	最大で半角60文字（英数字と一部の記号のみ）まで登録できます。	1行
URL	最大で半角256文字（英数字と一部の記号のみ）まで登録できます。	1行
ランク	絵文字の数を1～5より選択し、5段階評価を登録できます。動く絵文字もご利用できます。	1行
価格	￥0～999999まで値段を登録できます（単位は「￥」です）。	1行

※ 横240ドット×縦320ドット以内のサイズの画像であれば、トリミング（画像の表示する範囲を設定する）またはリサイズ（画像の拡大、縮小）の操作を行ったあと登録することができます（☞9-13ページ）。

テンプレートの作成画面を表示する

1 11-35ページの操作6より、◎を押す

「**新規作成**」を選択します。

2 ● ▶ タイトルの項目名を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。

3 ●を押す

タイトルが設定されたテンプレートの作成画面が表示されます。

テンプレート項目を設定する

テキストの項目を設定する

例 テキスト（1行）を登録できる項目を設定する場合

1 上記の操作3より、（追加）を押す

「**テキスト**」を選択します。

2 ●を押す

「**1行**」を選択します。

3 ●を押す

「**項目名**」を選択します。

4 ● ▶ **項目名を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。

5 ● ▶ ◯ **を押す**

「**項目アイコン**」を選択します。

6 ● ▶ ◯ **を押す**

アイコンを選択します。

7 ● **を押す**

項目アイコンが設定されます。

8 ⌒（完了）**を押す**

テンプレートにテキストの項目が設定されます。
- テンプレートの作成を完了する場合は、このあと11-45ページの下段操作*1*を行ってください。

画像の項目を設定する

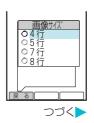
例 画像（4行）を登録できる項目を設定する場合

1 **11-42ページの上段操作*3*より、⌒（追加）▶ ◯ を押す**

「**画像**」を選択します。

2 ● **を押す**

「**4行**」を選択します。

つづく▶

3 ● を押す

テンプレートに画像の項目が設定されます。

- テンプレートの作成を完了する場合は、このあと11-45ページの下段操作*1*を行ってください。

ランクの項目を設定する

1 11-42ページの上段操作*3*より、（追加）▶ ◎ を押す

「**ランク**」を選択します。

2 ● を押す

「**項目名**」を選択し、11-43ページの操作*4*～*7*を行ったあと操作*3*へ進んでください。

3 ◎ を押す

「**ランク絵文字**」を選択します。

4 ● ▶ ◎ を押す

絵文字を選択します。

5 ● を押す

ランク絵文字が設定されます。

6 （完了）を押す

テンプレートにランクの項目が設定されます。

- このあと、テンプレートの作成を完了する場合は、11-45ページの下段操作*1*を行ってください。

11

便利な機能を使いましょう

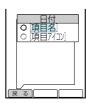
日付、電話番号、E-mail、URL、価格の項目を設定する

例 日付を登録できる項目を設定する場合

1 11-42ページの上段操作3より、
(追加) ▶ を押す

「**日付**」を選択します。

2 を押す

「**項目名**」を選択し、11-43ページの操作4～7を行ったあと操作3へ進んでください。

3 (完了) を押す

テンプレートに日付の項目が設定されます。

- テンプレートの作成を完了する場合は、このあと下記の操作1を行ってください。

補足 テンプレートの作成画面（☞11-42ページ）で MENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
・**1つ戻る**（最大8つ前の操作まで）／**やり直し**（設定したテンプレート項目をすべて削除）

テンプレートの作成を完了する

必要なテンプレート項目を設定したら、テンプレートの作成を完了します。

1 テンプレートの作成画面（☞11-42ページ）で、
(完了) を押す

テンプレートが作成されます。

11 便利な機能を使いましょう

他のデータベースファイルからテンプレートを読み込んで利用する

例 本体（データフォルダ）の「観察日記」のテンプレートを読み込む場合

1 **11-35ページの操作6より、(◇)を押す**

「**テンプレート読込**」を選択します。

2 **(●)を押す**

「**本体**」を選択します。

3 **(●)を押す**

「**観察日記**」を選択します。

4 **(●)を押す**

「観察日記」のテンプレートが表示されます。

5 **(決定)を押す**

- このあと、テンプレート項目の項目名や項目アイコンなどを編集することができます。テンプレート項目の設定については、11-41ページを参照してください。

6 **(完了)を押す**

テンプレートが設定され、画面に「**自作テンプレート**」と表示されます。

■データベースを見る

例 本体（データフォルダ）の「めもちょう」に登録したカードを見る場合

1 MENU ▶ を押す

「**ポケットデータベース**」を選択します。

2 ●を押す

「**本体**」を選択します。

- メモリカードに登録したデータベースを見る場合は、「**メモリカード**」を選択します。

3 ●を押す

「**めもちょう**」を選択します。

- 右の画面は、データベースファイルの選択画面をリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。

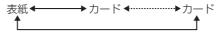
4 ●を押す

選択したデータベースファイルの表紙が表示されます。

- カードを追加登録する場合は、このあと（追加）を押して「タイトル」を選択し、続いて11-40ページの操作*3*～*10*を行ってください。

5 を押す

カードが表示されます。

- を押すごとに、画面の表示は以下のように切り替わります。

補足

- データベースにテンプレート項目の「電話番号」が含まれている場合、操作*5*の画面で「電話番号」の項目を選択し、●を押して（発信）を押すと、登録されている番号に電話をかけることができます。また、（メール）を押すと、ロングメールまたはスカイメールを送信することができます。同様に、データベースに「Eメールアドレス」のテンプレート項目が含まれている場合は、操作*5*で「Eメールアドレス」の項目を選択し、●を押して（メール）を押すとロングメールまたはスカイメールを送信することができます。
- 操作*3*の画面でMENU（メニュー）を押して、データベースファイルを本体（データフォルダ）からメモリカードへ、メモリカードから本体（データフォルダ）へ移動（メモリカードへ移動／本体へ移動）することができます。
- 操作*4*の画面でMENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**名称編集**／**表紙変更**／**背景変更**／**データベース消去**
- 操作*5*のあとMENU（メニュー）を押して、**カードコピー**を行うことができます。カードコピーを行うと、閲覧中のカードを同じデータベース内に複製することができます。
- カードの内容を編集または消去する場合は、操作*5*のあと、内容を変更する項目を選択し、MENU（メニュー）を押します。

11 便利な機能を使いましょう

■カードを検索する

ポケットデータベースの検索機能を利用すると、データベースファイルから見たいカードを簡単に表示することができます。キーワードや日付などの条件を指定して、条件に合うカードを検索することができます。

検索条件について

データベース検索画面には、閲覧中のデータベースファイルのテンプレート項目（☞11-41ページ）によって、以下ように検索条件を指定できます。
複数の検索条件を指定して検索を行った場合は、指定した条件のすべてを満たすカードが検索されます。

- 検索画面には、各テンプレート項目に設定されている項目名が表示されます。

検索条件	テンプレート項目
キーワード	テンプレートに「タイトル」、または「テキスト」が含まれている場合は、キーワードを指定して検索できます。
日付	テンプレートに「日付」が含まれている場合、日付を指定して検索できます。
アイコン	テンプレートに「アイコン」が含まれている場合は、アイコンを指定して検索できます。
電話番号	テンプレートに「電話番号」が含まれている場合は、電話番号を指定して検索できます。
Eメールアドレス	テンプレートに「E-mail」が含まれている場合は、Eメールアドレスを指定して検索できます。
URL	テンプレートに「URL」が含まれている場合は、URLを指定して検索できます。
ランク	テンプレートに「ランク」が含まれている場合は、ランクを指定して検索できます。
価格	テンプレートに「価格」が含まれている場合は、価格を指定して検索できます。
更新日	すべてのデータベースで、カードの更新日を指定して検索できます。

検索を行う

例 「原稿」をキーワードに本体（データフォルダ）の「めもちょう」からカードを検索する場合

1 データベースを表示して、（検索）を押す

データベース検索画面が表示されます。
- データベースの表示方法については11-47ページを参照してください。
- データベース検索は、データベースの表紙または各カードの画面から行うことができます。

2 を押す

「メモ」を選択します。

3 ▶ キーワードを入力

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 入力可能文字数等は、検索項目によって異なります。

4 **を押す**

キーワードが設定されます。

5 **（実行）を押す**

検索が行われ、検索条件を満たすカードが表示されます。

- （次へ）を押すと次の検索結果（カード）を表示します。条件を満たすカードがない場合は、操作*4*の画面に戻ります。

■カードを並び替える

データベース内のカードの並び順を設定することができます。並び順を決める項目を以下のうちでテンプレートに含まれるものから選択し、昇順、または降順に設定することができます。

・**更新日順**／**日付順**／**タイトル順**（50音、アルファベット順）／**価格順**／**ランク順**／**アイコン順**

- 操作2の画面には、各テンプレート項目に設定されている各項目が表示されます。

例 本体（データフォルダ）の「めもちょう」のカードを「**タイトル順**」に「**昇順**」で並べ替える

1 **データベースを表示して、MENU（メニュー）▶ を押す**

「**カード並び替え**」を選択します。

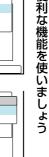
- データベースの表示方法については11-47ページを参照してください。
- カード並び替えは、データベースの表紙または各カードの画面から行うことができます。

2 **● ▶ を押す**

「**タイトル順**」を選択します。

3 **● ▶ を押す**

「**昇順**」を選択します。

タイトル順
昇順
降順
戻る

4 **●を押す**

カードが並び替わります。

■データベースを結合する

同じテンプレートのデータベースファイルを結合して、1つのデータベースにまとめることができます。

例 本体（データフォルダ）の「**めもちょう**」に、同じテンプレートをもつ「**メモ2**」を結合する場合

1 11-47ページの操作3より、を押す

「**めもちょう**」を選択します。

2 MENU（メニュー）▶ を押す

「**データベース結合**」を選択します。

3 を押す

「**本体**」を選択します。

4 ▶ を押す

「**メモ2**」を選択します。

5 を押す

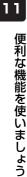
「**YES**」を選択します。

6 を押す

「メモ2」が「めもちょう」に結合されます。

カードの合計件数が500件を超える場合は、データベースファイルを結合することはできません。

- 操作4で選択したデータベースファイルは、結合後に自動的に消去されます。
- 操作5のあと、結合後のカードの並び順は「**めもちょう**」の設定になります。

■データベースにセキュリティ設定を行う

他人に見られたくないデータベースファイルに「ロックNo.」を設定し、ロックNo.を入力しない限り、データベースの内容の確認や消去などをできないようにすることができます。セキュリティ設定は、データベースファイルごとに行うことができます。

● この操作では、「操作用暗証番号」（☞1-12ページ）が必要となります。

例 本体（データフォルダ）の「めもちょう」に、ロックNo.を「**5678**」としてセキュリティ設定を行う場合

1 11-47ページの操作3より、◎を押す

「**めもちょう**」を選択します。

2 MENU（メニュー）▶ ◎を押す

「**セキュリティ設定**」を選択します。

3 ●を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

● 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、データベースファイルの選択画面に戻ります。

4 操作用暗証番号を入力

ロックNo.の入力画面になります。

5 ロックNo.を入力

セキュリティが設定されます。

● 画面には、「🔒」が表示されます。また、データベースファイル名の表示が「データベースファイル」に変わります。

● 「ロックNo.」はお忘れにならないようご注意ください。
● 「ロックNo.」は他人に知られないようご注意ください。

セキュリティ設定されたデータベースファイルは、本体（データフォルダ）やメモリカード内では、「データベースファイル」という名称で表示されます。また、サムネイル表示されている場合、サムネイルに表紙を表示しません。

11 便利な機能を使いましょう

F 52

目覚ましを利用する

J-T010を目覚まし時計として使うことができます（最大7件）。

● この機能をご利用になるには、あらかじめ時計設定（☞2-3ページ）を行ってください。

■設定できる項目について

時刻以外にも以下の項目を設定することができます。

項目	内容	設定方法
名称	名称を変更することができます。	☞11-53ページ
アラーム音	**固定パターン**／**固定メロディ**／**本体（データフォルダ）**／**メモリカード**から選択できます。	☞11-54ページ
アラーム音量	**レベル1〜5**／**ステップアップ**／**ステップダウン**／**サイレント**から選択できます。	☞11-54ページ
バイブレータ	**パターン1〜3**／**SMAF連動**／**OFF**から選択できます。	☞11-54ページ
起動設定	**1回のみ**／**毎日**／**平日（月〜金）**／**曜日指定**から選択できます。	☞11-56ページ
スヌーズ機能	**ON**／**OFF**	☞11-56ページ

・スヌーズ機能を「ON」に設定すると、アラーム停止後も5分おきにアラームが鳴り続けます（待受画面には「 」が表示されます）。スヌーズ機能を停止するには、 を押すか、またはアラーム停止から約1時間後に自動的に停止します。

■目覚ましの基本的な設定のしかた

目覚ましは、設定画面で時刻を設定すると登録できる状態になります。それ以外の項目は必要に応じて設定してください。

例 「**目覚まし2**」を起動時刻「**AM6:00**」に設定する場合

1 **を押す**

「**目覚まし2**」を選択します。

2 **を押す**

「**ON**」を選択します。

11 便利な機能を使いましょう

「**時刻**」を選択します。

4 ● ▶ **時刻を入力**

- 時刻は、2桁（24時間制）で入力してください。

5 ● **を押す**

時刻が設定されます。

- その他の項目の設定方法については、下記を参照してください。

6 （完了）**を押す**

目覚ましが設定されます。
待受画面には「⏰」が表示されます。

■目覚ましの各項目を設定する

名称を変更する

1 **上記の操作5より、**⊕**を押す**

「**目覚まし2**」を選択します。

2 ● ▶ **名称を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角10文字、全角5文字です。

3 ● **を押す**

名称が設定されます。

- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと上記の操作6を行ってください。

アラーム音やバイブレータを設定する

例 アラーム音「**目覚まし**」、アラーム音量「**レベル4**」、バイブレータ「**パターン2**」に設定する場合

1 **11-53ページの操作5より、を押す**

「**鳴動設定**」を選択します。

2 **を押す**

「**アラーム音**」を選択します。

● アラーム音の設定を省略する場合は、で「**アラーム音量**」を選択し、操作6へ進んでください。

3 **▶ を押す**

「**固定メロディ**」を選択します。

4 **▶ を押す**

「**目覚まし**」を選択します。

● （確認）を押すとカーソル上のメロディが1曲分確認できます。

5 **▶ を押す**

「**アラーム音量**」を選択します。

● アラーム音量の設定を省略する場合は、「**バイブレータ**」を選択し、操作8へ進んでください。

6 **▶ を押す**

「**レベル4**」を選択します。

● （確認）を押すと、選択した音量で確認音が鳴ります（「**ステップアップ**」、「**ステップダウン**」、「**サイレント**」選択時を除く）。

7 **▶ を押す**

「**バイブレータ**」を選択します。

8 **を押す**

「**パターン2**」を選択します。

- 「**パターン1〜3**」を選択したときは、バイブレータが約5秒間振動します。
- 「**SMAF連動**」を選択すると、アラーム起動時にアラーム音で設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレータが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

9 ●**を押す**

鳴動設定が完了します。

- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと11-53ページの操作*6*を行ってください。

操作*4*のメロディ確認時の音量は、アラーム音量に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーの目覚ましで設定されている音量で確認音が鳴ります。

起動設定を行う

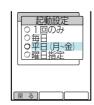
例 起動設定を「**平日（月～金）**」に設定する場合

1 **11-53ページの操作5より、を押す**

「**1回のみ**」を選択します。

2 **▶ を押す**

「**平日（月～金）**」を選択します。

- 「**曜日指定**」を選択した場合は、を押して曜日を選択し、（チェック）を押すと、チェックした曜日に目覚ましを設定することができます。

3 **を押す**

起動設定が設定されます。

- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと11-53ページの操作6を行ってください。

スヌーズ機能を設定する

例 スヌーズ機能を「**OFF**」に設定する場合

1 **11-53ページの操作5より、を押す**

「**スヌーズON**」を選択します。

2 **▶ を押す**

「**OFF**」を選択します。

3 **を押す**

スヌーズ機能が「**OFF**」に設定されます。

- 目覚ましの設定を完了する場合は、このあと11-53ページの操作6を行ってください。

補足

- F機能、メモリダイヤル検索などの操作中でも、設定した時刻になると目覚ましが起動します。また、電源が切れているときは、自動的に電源が入り、目覚ましが起動します。[自動電源ON]
- 通話中に設定した時刻になった場合、通話終了後に目覚ましが起動します。
- プチスケジュール、アクションアイテムと同じ時刻に設定されている場合は、目覚まし、プチスケジュール、アクションアイテムの順でお知らせします。
- マナーモード設定中に目覚ましが起動した場合の音量などは、5-8ページの設定に従います。
- 目覚まし起動中は、イルミネーション（お知らせランプ）（☞12-4ページ）が点滅します。

簡易電卓を利用する

J-T010を電卓として利用することができます。また、割り勘機能で、人数と総額を入力して1人当りの金額と不足額や差額を計算することができます。

■簡易電卓で計算する

1 MENU ▶ を押す

「**電卓**」を選択します。

2 を押す

「**簡易電卓**」を選択します。

3 を押す

簡易電卓の画面が表示されます。

ボタン割り当て一覧表

ボタン	機能	ボタン	機能
0～9	0～9（数字を入力）	●	＝（計算結果を表示）
	＋（足し算）	クリア（1回）	C（クリア）※1
	－（引き算）	クリア（2回）	AC（オールクリア）※2
	×（掛け算）	文字小文字	AC（オールクリア）※2
	÷（割り算）	電源	EXIT（簡易電卓を終了）
	．（小数点）		

※1　入力した数字を消去します
※2　計算を取り消します

補足
- 計算エラーは「E」と表示されます。
- 小数点を含む引き算や割り算の計算結果の表示が10桁を超えている場合は、11桁目の表示を四捨五入した計算結果が表示されます。
- 小数は、最大で小数点以下9桁目まで表示されます。

■割り勘機能を利用する

割合を設定して割り勘する

例 3人で2000円のうち、支払いの割合を50%、10%、40%にする場合

1 11-57ページの操作2より、を押す

「**割り勘機能**」を選択します。

2 ▶ を押す

人数を設定します。
- 人数を増やす場合はを押し、減らす場合はを押します。
- 最大6人設定することができます。

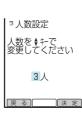
3 ▶ を押す

各人の支払いの割合を変更します。
- でカーソルを移動し、で割合を変更します。

4 （決定）▶ 総額を入力

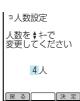
- 最大6桁入力することができます。

5 （決定）を押す

割合に応じた精算額が表示されます。
- 不足額がある場合は画面左下に表示されます。

11
便利な機能を使いましょう

立替え金額を精算する

例 4人で2000円のうち、1人が1500円、1人が500円を立替え、負担の割合を均一にする場合

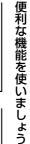
1 11-58ページの操作2より、◎を押す

2 ✉(決定)を押す

3 ✉(決定)▶ 総額を入力

4 ♪(立替済)を押す

5 立て替え金額を入力

- ◎でカーソルを移動し、0～9で金額を入力します。

6 ✉(決定)を押す

精算額が表示されます。

- 不足額がある場合は、画面左下に表示されます。

ボイスメモを利用する

J-T010に会議などの音声を録音し、本体（データフォルダ）やメモリカードに登録することができます。録音可能時間は、本体（データフォルダ）やメモリカードの空き容量によります。また、音声を録音して、着信音パターン（☞5-3ページ）に設定することができます。

● データフォルダについては9章を、メモリカードについては10章を参照してください。

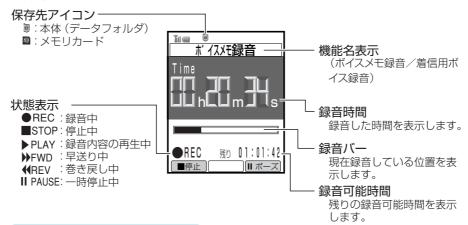
■音声を録音する

録音画面について

録音時の画面は、以下のように表示されます。

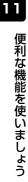
ボイスメモを録音する

マイク（☞1-2ページ）やスイッチ付イヤホンマイク（オプション品）から音声を録音し、本体（データフォルダ）やメモリカードに登録することができます。

1 MENU ▶ を押す

「**ボイスメモ**」を選択します。

2 ● を押す

「**ボイスメモ録音**」を選択します。

3 ●を押す

録音画面が表示されます。

- 録音可能時間が30分未満の場合は、録音可能時間の表示が点滅します。
- 本体（データフォルダ）に録音可能な空き容量がない場合、メモリカードに録音可能な空き容量があれば、「**データフォルダが一杯です 保存先をメモリカードに切り替えますか**」と表示されます。保存先を切り替える場合は、「YES」を選択し、●を押してください。メモリカードにも録音可能な空き容量がない場合は、ボイスメモを起動できません。

4 （●録音）を押す

ボイスメモ録音
Time
00h20m34s
●REC 残り 01:01:42
■停止 IIポーズ

録音を開始します。
録音画面については11-60ページを参照してください。

- 音声はマイク（☞1-2ページ）から録音されます。スイッチ付イヤホンマイク（オプション品）を接続している場合は、イヤホンマイクから録音されます。
- 録音可能時間が1分以下になると、「**録音時間が残りわずかになりました**」と表示され、録音可能時間の表示が点滅します。
- （IIポーズ）を押すと、録音が一時停止します。
  （再開）を押すと、録音を再開します。

5 （■停止）を押す、または録音可能時間経過後

ボイスメモ録音
Time
00h00m00s
■STOP 00:56:24
▶再生 メニュー 登 録

録音を停止します。

- （▶再生）を押すと、録音内容が再生されます。（文字/小文字）を押すと、受話器からの再生に切り替わります。
- を押すと、巻き戻し、早送りができます。

6 （登録）を押す

ファイル名（録音開始日時）が表示されたあと、録音内容がデータフォルダ（本体）のボイスフォルダに登録されます。

- 録音内容を登録するフォルダは変更することができます（☞11-64ページ）。

重要
録音中に着信があった場合は、着信を優先し、録音を停止します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定（☞J-スカイ編）に従います。
録音中の着信やメールなどの受信を禁止することもできます（☞11-63ページ）。

補足

- 操作3、4の画面で（＊）を押すか、またはJ-T010を閉じると、録音画面がサブディスプレイに表示され、下サイドキーで録音、停止、登録の操作を行うことができます。再度（＊）を押すか、またはJ-T010を開くと、メインディスプレイでの操作に戻ります。サブディスプレイの録音画面は以下のように表示されます。ただし、サブディスプレイの電波状態表示と電池レベル表示は、J-T010を開いた状態では表示されません。

状態表示
●REC ：録音中
■STOP ：停止中
■STOP
00:00:00
録音
録音時間
キーガイド表示

- 本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録した録音内容を消去する場合は、ファイルを消去する（☞9-13ページ）を参照してください。

11 便利な機能を使いましょう

着信用ボイスを録音する

着信音パターン（☞5-3ページ）として利用できる音声を録音することができます（最長8秒）。

1 11-60ページの操作2より、◎を押す

「**着信用ボイス録音**」を選択します。

2 ● ▶ 録音時間を入力

- 1秒から8秒まで設定できます。

3 ●を押す

録音画面が表示されます。

- 本体（データフォルダ）に録音可能な空き容量がない場合、メモリカードに録音可能な空き容量があれば、「**データフォルダが一杯です 保存先をメモリカードに切り替えますか**」と表示されます。保存先を切り替える場合は、「YES」を選択し、●を押してください。メモリカードにも録音可能な空き容量がない場合は、ボイスメモを起動できません。

4 ⌒（●録音）を押す

録音を開始します。
録音画面については11-60ページを参照してください。

- 音声はマイク（☞1-2ページ）から録音されます。スイッチ付イヤホンマイク（オプション品）を接続している場合は、イヤホンマイクから録音されます。
- ⌒（II ポーズ）を押すと、録音が一時停止します。
  ⌒（再開）を押すと、録音を再開します。

5 設定時間経過後

録音が停止します。

- ⌒（■停止）を押して、録音を停止することもできます。
- ⌒（▶再生）を押すと、録音内容が再生されます。文字を押すと、受話器からの再生に切り替わります。
- ◎を押すと、巻き戻し、早送りができます。

6 ⌒（登録）を押す

ファイル名（録音開始日時）が表示されたあと、録音内容がデータフォルダ（本体）のボイスフォルダに登録されます。

- 録音内容を登録するフォルダは変更することができます（☞11-64ページ）。

録音中に着信があった場合は、着信を優先し、録音を停止します。また、メールやウェブの受信があった場合は、割込み設定（☞J-スカイ編）に従います。
録音中の着信やメールなどの受信を禁止することもできます（☞下記）。

- 録音した音声を着信音パターンに設定する場合は、着信設定（☞5-3ページ）を参照してください。
- 操作3、4の画面で（✱）を押すか、またはJ-T010を閉じると、録音画面がサブディスプレイに表示され、下サイドキーで録音、停止、登録の操作を行うことができます。
  再度（✱）を押すか、またはJ-T010を開くと、メインディスプレイでの操作に戻ります。サブディスプレイの録音画面については、11-61ページの補足を参照してください。

録音中の割込み設定をする

録音中のみ、着信やメールなどの受信を禁止することができます。[オフラインモード]
また、録音中にメールなどを受信した場合の受信方法を設定することができます。[割込み設定]
お買い上げ時の設定は、オフラインモード「**OFF**」、割込み設定すべて「**バックグラウンド**」です。

例 オフラインモードを「**ON**」に設定する場合

1 **11-61ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ◯を押す**

「**録音中割込み**」を選択します。

2 **●を押す**

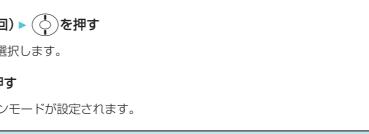
「**オフラインモード**」を選択します。
- 「**割込み設定**」を選択する場合は、◯を押します。割込み設定の内容や以降の操作については、J-スカイ編を参照してください。

3 **●（2回）▶ ◯を押す**

「**ON**」を選択します。

4 **●を押す**

オフラインモードが設定されます。

- F24「オフラインモード」（☞6-5ページ）を「**ON**」に設定している場合は、録音中割込みの「**オフラインモード**」を設定することができません。
- 録音中割込みの「**オフラインモード**」は、「**ON**」に設定しても、ボイスメモ終了時に「**OFF**」に戻ります。

録音内容の自動登録を設定する

録音を停止すると、録音内容が自動的に本体（データフォルダ）またはメモリカードに登録されるように設定することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**ON**」に設定する場合

1 11-61ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ⊕を押す

「**自動登録設定**」を選択します。

2 ● ▶ ⊕を押す

「**ON**」を選択します。

3 ●を押す

自動登録が設定されます。

録音内容の保存先を設定する

録音内容を登録する場合に、どのフォルダに登録するかを設定することができます。
お買い上げ時の設定は本体（データフォルダ）のボイスフォルダです。

例 メモリカードのボイスフォルダに設定する場合

1 11-61ページの操作3より、MENU（メニュー）▶ ⊕を押す

「**保存先設定**」を選択します。

2 ● ▶ ⊕を押す

「**メモリカード**」を選択します。

3 ● ▶ ⊕を押す

設定したいフォルダを選択します。

- メモリカードには、登録可能なフォルダのみ表示されます。
- 右の画面は、メモリカードの登録内容をリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。

データフォルダ
ボイス
etc
サムネイル　決 定

11
便利な機能を使いましょう

4 （決定）を押す

保存先が設定され、画面上部の保存先アイコンが変わります。

重要
- 保存先設定で設定したフォルダは、一時的な保存先です。ボイスメモを終了すると本体（データフォルダ）のボイスフォルダに戻ります。
- メモリカードがきちんと取り付けられていなかったり、ライトプロテクト（☞10-2ページ）されている場合、操作**2**で「**メモリカード**」を選択することはできません。きちんと取り付けられているかの確認、またはライトプロテクトの解除を行ってください。

■録音内容を再生する

再生画面について

再生時の画面は、以下のように表示されます。

再生のしかた

本体（データフォルダ）のボイスフォルダに登録した録音内容を再生します。

1 MENU ◯ を押す

「**データフォルダ**」を選択します。

2 ● ▶ ◯ を押す

「**ボイス**」フォルダを選択します。

- 右の画面は、データフォルダをリスト表示（☞9-3ページ）にしている場合の表示例です。

つづく▶

11
便利な機能を使いましょう

3 ●▶◎**を押す**

再生したいファイルを選択します。

4 ●**を押す**

再生画面が表示されます。
- 再生画面では以下の操作が行えます。
  - ・◎：巻き戻し、早送りができます。
  - ・◎：再生音量を5段階に調節できます。

5 （▶再生）**を押す**

録音内容を再生します。
再生画面については11-65ページを参照してください。
- を押すと、受話器からの再生に切り替わります。
- （■停止）を押すと、再生を停止します。

補足

- 操作*4*の画面または再生停止中に、MENU（メニュー）を押して「**ジャンプ**」を選択し●を押すと、以下の項目にジャンプすることができます。ジャンプ先を選択し、●を押してください。「**ユーザー指定**」を選択した場合は、ジャンプ先の再生時間を入力して●を押してください。

先頭	録音内容の先頭にジャンプします。
終端	録音内容の終端にジャンプします。
ユーザー指定	ジャンプ先の時間を指定できます。

- 再生中にJ-T010を閉じると、再生画面がサブディスプレイに表示され、下サイドキーで再生、停止の操作を行うことができます。J-T010を開くと、メインディスプレイでの操作に戻ります。サブディスプレイの再生画面は以下のように表示されます。

状態表示
▶PLAY：再生中
■STOP：停止中
再生時間
キーガイド表示

- 操作*3*の画面でMENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**名称編集／1件消去**

11 便利な機能を使いましょう

サブディスプレイを利用した便利な機能

J-T010を閉じた状態で、ストップウォッチ、キッチンタイマー、占いの各機能をサブディスプレイで利用することができます。

■ストップウォッチを利用する

1秒モード（1秒単位で最長60分）または1／10秒モード（1／10秒単位で最長1分）で時間を計ることができます。

例 「**1／10秒モード**」を利用する場合

1 MENU ▶ を押す

「**サブ液晶アプリ**」を選択します。

2 ● ▶ を押す

「**ストップウォッチ**」を選択します。

3 ● ▶ を押す

「**1／10秒モード**」を選択します。

4 ● ▶ **J-T010を閉じる**

サブディスプレイにストップウォッチが表示されます。

- ストップウォッチの操作方法は以下の通りです。
  - ・下サイドキー：スタート／ストップ／再スタート
  - ・上サイドキー：リセット

補足 **ストップウォッチを終了する場合は…**

J-T010を開き、（終了）●を押します。

11

便利な機能を使いましょう

■キッチンタイマーを利用する

設定時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。

例 8分に設定する場合

1 11-67ページの操作2より、◎を押す

「**キッチンタイマー**」を選択します。

2 ● ▶ タイマー起動時間を入力

● 10秒から60分まで設定できます。

キッチンタイマー
タイマー起動時間を
10秒~60分の間で
設定してください
08分00秒
戻る 完了

3 ⌒(完了)▶ J-T010を閉じる

サブディスプレイにキッチンタイマーが表示されます。

● キッチンタイマーの操作方法は以下の通りです。
・下サイドキー：スタート／ストップ／アラーム停止
・上サイドキー：経過時間リセット

補足

● キッチンタイマーをスタートすると、設定時間経過後にアラーム音が約1分間鳴ります。アラーム音の音量は、F14「サウンド音量」(☞5-21ページ) の設定に従います。また、マナーモード (オリジナルマナーを除く) が設定されている場合 (☞5-8ページ) は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量の設定に従います。
● キッチンタイマーをストップしている場合やアラーム音停止後にJ-T010を開いて⌒を押すと、設定時間を変更することができます。
● **キッチンタイマーを終了する場合は…**
J-T010を開き、⌒(終了)●を押します。

11

便利な機能を使いましょう

■フォーチュンイルミネーションを利用する

おみくじなどをサブディスプレイで楽しむことができます。

おみくじ	おみくじの結果が表示されます。	今日の格言	格言が表示されます。
ケータイ占い	占いの結果が表示されます。	今日の運勢	運勢が表示されます。

例 今日の運勢を占う場合

1 11-67ページの操作2より、◎を押す

「**フォーチュンイルミネーション**」を選択します。

サブ液晶アプリ
○キッチンタイマー
○ストップウォッチ
○フォーチュンイルミネーション
サブ液晶で占いが楽しめます
戻る

2 ●▶◎を押す

「**今日の運勢**」を選択します。

フォーチュンイルミネーション
○おみくじ
○今日の格言
○ケータイ占い
○今日の運勢
戻 る

3 ●▶J-T010を閉じる

占い開始音が鳴り、イルミネーション（お知らせランプ）が点滅してサブディスプレイに占いの結果が表示されます。

- 占い開始音の音量は、F14「サウンド音量」（☞5-21ページ）の設定に従います。また、マナーモード（オリジナルマナーを除く）に設定されている場合（☞5-8ページ）は鳴りません。オリジナルマナーの場合は、オリジナルマナーのサウンド音量で設定されている音量で鳴ります。
- **今日の運勢について…**
  - ・この占いは、（株）メディア工房が四柱推命占いを基に、J-T010用に企画・制作したものです。
  - ・この占いは、運気のバロメーターをアイコンの数で表しています。
  - ・この占いは、F46「オーナー登録」（☞12-10ページ）の「誕生日」で生年月日を登録していると、登録されている生年月日にあった占い結果が表示されます。
  - ・この占いは、一般を対象にしているものであり、一個人を指しているものではありませんので占い結果に対しての責任は負いかねます。

ペンライト機能を利用する

J-T010のモバイルフラッシュ（☞1-3ページ）をライトとして使うことができます。

1 下サイドキーをすばやく連続で2回押す

モバイルフラッシュが約10秒間、点灯します。

● 点灯中に上サイドキーを押すと消灯します。

● モバイルフラッシュの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。視力障害の原因となります。また、発光方向を確認してから下サイドキーを押してください。

● 以下の場合、ライトは点灯しません。

・ダイヤル操作禁止中（☞6-2ページ）
・サイドキー誤動作防止中（☞6-15ページ）
・キッチンタイマー起動中（☞11-68ページ）
・ストップウォッチ起動中（☞11-67ページ）
・カメラ・ビデオ起動中（☞8-1ページ）
・ボイスメモ起動中（☞11-60ページ）
・Java™起動中（☞J-スカイ編）
・サブディスプレイで受信メールのメッセージを確認中（☞J-スカイ編）
・サブディスプレイに「**メール未読**」、「**配信レポート**」を表示中（☞J-スカイ編）

● 2回すばやく（約0.3秒以内）押さないと点灯しないことがあります。

● 点灯中に下サイドキーを押すたびに、約10秒ずつ点灯時間が延長されます。

● 電池残量が残りわずかになると、警告画面を表示し、モバイルフラッシュを自動的にOFFにします。

● 点灯中に、着信やメール、ウェブなどの受信があった場合、消灯します。また、プチスケジュール、アクションアイテムのアラーム設定（☞11-5ページ、11-24ページ）、お知らせ君（☞11-14ページ）、目覚まし（☞11-52ページ）のタイムアップ時にも消灯します。

ほかにもいろいろあります

お知らせ一発メニューを利用する

かかってきた電話がとれなかった場合や、未読メールがあったときなど未確認の情報をお知らせする機能です。未確認の情報があると待受画面でお知らせ一発メニューが表示されます。

例 未確認の着信履歴を確認する場合

1 着信が停止

お知らせ一発メニューが表示されます。
「**着信あり**」を選択します。

- お知らせ設定（☞12-3ページ）を「**OFF**」に設定している場合は、●を押してください。

2 ●を押す

着信履歴の画面が表示され、電話をかけてきた相手を確認することができます。

- 待受画面に戻っても未確認の内容がある場合は●を押してお知らせ一発メニューを表示させることができます。
- 複数の未確認項目があるときは◎で項目を選択し、●を押してください。
- お知らせ一発メニューの表示内容については、以下のようになります。

表示	内容	参照ページ
メール未読	未読のメールがあることをお知らせします。	☞J-スカイ編
配信レポート	未読の配信レポートがあることをお知らせします。	☞J-スカイ編
ウェブ未読	未読のメッセージ（自動配信）があることをお知らせします。	☞J-スカイ編
ステーション新着	新着の情報があることをお知らせします。	☞J-スカイ編
センター留守録あり	留守番電話センターに未確認のメッセージがあることをお知らせします。	☞13-5、13-7、13-9ページ
簡易留守録	簡易留守録に未確認のメッセージがあることをお知らせします。	☞12-18ページ
着信あり	電話がかかってきていたことをお知らせします。	☞2-9ページ
サーバー未読あり	メールリストに取得したメッセージがあることをお知らせします。	☞J-スカイ編

お知らせ設定を行う

お知らせ一発メニュー（☞12-2ページ）を自動で表示させることができます。
お買い上げ時の設定は「ON」です。

例 設定を解除する場合

1 MENU を押す

「**表示設定**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

「**お知らせ設定**」を選択します。

3 ● ▶ ◎を押す

「OFF」を選択します。
- 自動で表示させる場合は、「ON」を選択します。

4 ●を押す

お知らせ設定が解除されます。

「OFF」に設定した場合でも、未確認の内容がある場合は、待受画面で●を押すと、お知らせ一発メニューが表示されます。

ほかにもいろいろあります

12

イルミネーション（お知らせランプ）を設定する

背面のイルミネーション（お知らせランプ）の各種設定を行います。

■お知らせカラーを設定する

未確認の情報（下表）がある場合に点滅するイルミネーション（お知らせランプ）の色を7色から選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。お買い上げ時の設定は音声着信「**カラー1**」、メール着信「**カラー2**」、ウェブ／ステーション着信「**カラー3**」です。

音声	かかってきた電話に出られなかった場合や未確認のセンター留守録、簡易留守録があるときに点滅します。
メール	未読のメールがあるときに点滅します。
ウェブ／ステーション	未読のウェブや新着のステーションがあるときに点滅します。

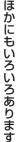
例 音声を「**カラー5**」に設定する場合

1 MENU ▶ を押す

「**イルミネーション**」を選択します。

2 を押す

「**お知らせカラー**」を選択します。

3 を押す

「**音声**」を選択します。
- 「**メール**」、「**ウェブ／ステーション**」を設定する場合は、を押します。

12

4 ▶ を押す

「**カラー5**」を選択します。
- 背面のイルミネーション（お知らせランプ）が、選択している色で点灯します。

5 を押す

お知らせカラーが設定されます。

イルミネーションを点滅させている場合、電池の消費は大きくなり、通話時間、待受時間が短くなります。

補足
- 未確認の内容を確認すると、イルミネーションの点滅は終了します。
- イルミネーションの点滅間隔は約3秒ですが、点滅開始から約6時間経過すると約10秒になります。
- カメラを使用している場合、お知らせカラーは動作しません。

■着信／通話中イルミネーションを設定する

イルミネーション（お知らせランプ）の点滅パターンを選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時の設定は、着信イルミネーションの音声が「**チェリー**」、メールが「**レモン**」、ウェブ／ステーションが「**ライム**」、通話中イルミネーションが「**チェリー**」です。
着信イルミネーションは以下の項目を設定できます。

項目	内容
音声	電話がかかってきたときのパターンを選択します。
メール	メールを受信したときのパターンを選択します。
ウェブ／ステーション	ウェブやステーションを受信したときのパターンを選択します。

例 通話中のイルミネーションを「**ラ・フランス**」に設定する場合

1 12-4ページの操作2より、◎を押す

「**通話中イルミ**」を選択します。

2 ●▶◎を押す

「**ラ・フランス**」を選択します。
- 背面のイルミネーション（お知らせランプ）が、選択しているパターンで点滅します。

3 ●を押す

通話中イルミネーションが設定されます。

- 着信イルミネーションを設定する場合は、操作1で「**着信イルミ**」を選択し、●◎を押して設定する項目を選択してください。
- 着信イルミネーションを設定しても、メモリダイヤルのオプション設定（☞4-7ページ）で着信イルミネーションを設定している場合は、メモリダイヤルの設定が優先されます。着信イルミネーションの「**音声**」を「**OFF**」に設定すると、メモリダイヤルのオプション設定は無効となり、音声着信時にイルミネーションは点滅しません。

ショートカットメニューを利用する

よく使う機能をショートカットメニューに登録して簡単な操作で呼び出すことができます。

■ショートカットメニューに登録する

J-T010の機能を最大40件登録することができます。また、登録した機能の名称やアイコンを変更することもできます。
ショートカットメニューには、あらかじめ「**プチスケジュール**」、「**スカイメール**」、「**ロングメール**」、「**受信メール**」、「**簡易電卓**」、「**国語辞書**」、「**英和辞書**」、「**和英辞書**」が登録されています。

例 プチメモを登録し、名称「**プチメモ**」、アイコン「」に変更する場合

1 登録する機能を呼び出す

プチメモの呼び出し方については11-28ページを参照してください。

2 (ショートカット) を押す

ショートカットメニューの画面が表示されます。
- 呼び出した機能が登録できない場合、「登録」は表示されません。

3 (登録) を押す

プチメモが、名称「**名称なし**」、アイコン「」で登録されます。

4 MENU (メニュー) を押す

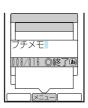
「**名称編集**」を選択します。
- 名称編集を省略する場合は、で「**アイコン変更**」を選択し、操作8へ進んでください。

5 (●) ▶ 名称を修正

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角16文字、全角8文字です。

6 を押す

名称が修正されます。

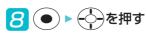
7 MENU（メニュー）▶ を押す

「**アイコン変更**」を選択します。
- 操作7〜9は省略することができます。

8 ▶ を押す

「」のアイコンを選択します。

9 を押す

アイコンが変更されます。

補足

- すでにショートカットメニューに機能を40件登録している場合は、操作3のあと「**メニューが一杯です上書きしますか？**」と表示されます。上書きする場合は、「YES」を選択し、を押して上書きする機能を選択し、を押します。
- あらかじめ登録されている「**プチスケジュール**」、「**スカイメール**」、「**ロングメール**」、「**受信メール**」、「**簡易電卓**」、「**国語辞書**」、「**英和辞書**」、「**和英辞書**」は、名称の編集、アイコンの変更、上書きを行うことはできません。

■ショートカットメニューから機能を呼び出す

例 「**簡易電卓**」を呼び出す場合

1 ショートカット ▶ を押す

「（簡易電卓）を選択します。

2 ● を押す

呼び出した機能の操作画面に移ります。

重要 ショートカットメニューから機能を呼び出せない場合は「**前の操作を終了してから起動してください**」と表示されます。

補足 操作 *1* の画面で MENU（メニュー）を押して、ショートカットメニューの消去（**1件消去／全件消去**）の操作を行うことができます。
初期設定で登録されている「**プチスケジュール**」、「**スカイメール**」、「**ロングメール**」、「**受信メール**」、「**簡易電卓**」、「**国語辞書**」、「**英和辞書**」、「**和英辞書**」は消去できません。

■ショートカットメニューの配置を変更する

ショートカットメニュー内の機能（アイコン）の位置を移動することができます。

例 「**簡易電卓**」の配置を変更する場合

1 ショートカット ▶ を押す

「（簡易電卓）を選択します。

2 MENU（メニュー）▶ を押す

「**アイコン移動**」を選択します。

3 ●を2回押す

4 ◎を押す

アイコンを移動したい位置を選択します。

5 ●を押す

アイコンが移動されます。

■ショートカットキーに登録する

ショートカットメニューに登録した機能から1件を選択して、ショートカットキーに登録することができます。登録した機能は、待受中に(ショートカット)を長く（約1秒以上）押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時の設定は「**Java™ライブラリ**」です。

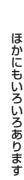
例 「**プチメモ**」を登録する場合

1 12-8ページの下段操作2より、◎を押す

「ショートカット**キー登録**」を選択します。

2 ●を2回押す

ショートカットキーに登録されます。

> **補足**
> **ショートカットキー登録を解除する場合は…**
> 操作1で「ショートカット**キー解除**」を選択したあと●を2回押します。

オーナー登録を行う

ご自分のプロフィールを登録することができます。
名前とEメールは、F0「自局電話番号表示」（☞2-13ページ）に表示されます。
オーナー登録では、以下の項目を登録することができます。

・名前（最大で半角24文字、全角12文字）
・誕生日
・郵便番号（最大7桁）
・住所（最大で半角128文字、全角64文字）
・自宅電話番号（最大24桁）
・Eメールアドレス（英数字と一部の記号のみ最大60文字）

必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

例 名前を設定する場合

1

「**名前**」を選択します。

2 ● ▶ **名前を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。

3 ●**を押す**

名前が設定されます。

● その他の項目を設定する場合は、◎を押して登録したい項目を選択し、操作**2**〜**3**と同様に操作を行ってください。

4 （完了）

プロフィールが登録されます。

ほかにもいろいろあります

12

定型文を利用する

あらかじめ、よく使う名前やメッセージなどを登録して、文字入力や編集時に定型文として利用することができます（最大20件）。

■定型文を登録する

1 文字/小文字 ▶ ◎を押す

「**定型文**」を選択します。

2 ● ▶ ◎を押す

登録する位置を選択します。

3 ● ▶ 文字を入力

文字の入力方法については3章を参照してください。

● 登録可能文字数は、最大で半角64文字、全角32文字です。

4 ●を押す

定型文が登録されます。

● 登録内容を編集する場合は、操作2の画面で登録した定型文を選択したあと（［編集］）を押します。

● 操作2の画面でMENU（［メニュー］）を押して、登録した定型文の消去（**1件消去**／**全件消去**）の操作を行うことができます。

ほかにもいろいろあります

12

F 43

ユーザー辞書を利用する

特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などをユーザー辞書に登録しておくと、簡単に呼び出すことができます。登録は最大100語です。

■ユーザー辞書に登録する

例 「**アポイント**」を「**あぽ**」として登録する場合

1 ○-(4)(3)**を押す**

「**新規登録**」を選択します。

2 ●**を押す**

「**登録語句**」を選択します。

3 (編集) ▶**語句を入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で半角12文字、全角7文字です。
- 絵文字や記号も入力できます。

4 ● ▶ ○**を押す**

「**読みがな**」を選択します。

5 (編集) ▶**読みがなを入力**

文字の入力方法については3章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で全角7文字です。
- ひらがなと一部の記号のみ入力できます。

6 ● ▶ (完了) **を押す**

ユーザー辞書に登録されます。

ほかにもいろいろあります

12

- ユーザー辞書に登録した名前、単語、熟語などを呼び出す場合は、文字入力画面でユーザー辞書に登録した読みがなを入力し、変換します。
- 同じ読みがなの語句は、最大4件登録できます。

■ユーザー辞書に登録した語句を編集する

例 「**アポイント（あぽ）**」を「**予約（あぽ）**」に変更する場合

1 12-12ページの操作1より、(◎)を押す

「**登録語編集**」を選択します。

2 (●) ▶ (◎)を押す

編集したい語句（読みがな）を選択します。

- MENU（メニュー）を押して、登録した語句の消去の操作を行うことができます。

3 (●)を押す

「**アポイント**」（登録語句）を選択します。

4 (●) ▶ 語句を編集

文字の入力方法については3章を参照してください。

- 登録可能文字数は、最大で半角12文字、全角7文字です。

5 (●) ▶ （完了）を押す

ユーザー辞書に登録されます。

- 読みがなを編集する場合は、操作3の画面で「**あぽ**」（読みがな）を選択します。
- 登録内容をすべて消去する場合は、操作1で「**登録全消去**」を選択します。

かかってきた電話を簡易留守録で受ける

電話に出られない場合、J-T010に相手のメッセージを録音することができます。録音は、音声メモ（☞12-17ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。

● 圏外時などに留守番電話センターがメッセージをお預かりする、留守番電話サービス（☞13-5、13-7、13-9ページ）とは異なります。

■簡易留守録を設定する

1 待受中に、上サイドキーを押す（約1秒以上）

応答メッセージが流れ、簡易留守録が設定されます。
- 待受画面に「▣」が表示されます。
- 「ただいま電話に出ることができません。ピーッという発信音のあとに、お名前とご用件をお話しください。」という応答メッセージが流れます。

- 電源OFFの場合や圏外にいる場合、オフラインモード設定している場合は、メッセージをお預かりできません。
- マナーモード（オリジナルマナー）設定中は、オリジナルマナーの簡易留守録設定（☞5-10ページ）が優先されます。マナーモード（オリジナルマナー）設定中に簡易留守録の設定／解除を行う場合は、オリジナルマナーの簡易留守録設定を変更してください。

- 録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満の場合は「▣」が表示されます。
- 簡易留守録が設定されていなくても、着信音が鳴っているときに上サイドキー（メモ）を長く（約1秒以上）押す、または⌒（留守録）を押すと簡易留守録が設定されます。

簡易留守録設定中に電話がかかってくると

1 着信音が鳴る

2 応答時間経過後、応答メッセージが流れる

ほかにもいろいろあります

12

3 相手のメッセージを録音

「ピーッ」という音のあと、相手の声を録音します。
録音中は、レシーバーから相手の声が聞こえます。

4 録音終了

相手が電話を切るか、約90秒経過すると録音は終了し、「 」が表示されます。

- お知らせ設定が「ON」の場合は、お知らせ一発メニュー（☞12-2ページ）が表示されます。
- 録音されたメッセージを再生するには、12-18ページを参照してください。

重要 録音件数が30件または録音時間が残り約10秒未満になったときは「 」が表示され、電話がかかってきても簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージや音声メモを「 」の表示が消えるまで消去（☞12-18ページ）してください。

- 自動着信（☞12-25ページ）が設定されていても、簡易留守録の応答が優先されます。ただし、録音が一杯になっているときは、自動着信が起動します。
- 応答メッセージ再生中およびメッセージの録音中に（応答）、 、0～9、*、#のいずれかのボタンを押すと、相手と通話することができます。この場合、録音中のメッセージは無効になります。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記録されています。
- メッセージ録音中に（スピーカー）を押すと、録音中のメッセージを背面スピーカーで聞くことができます。

■簡易留守録を解除する

1 簡易留守録設定中に、待受画面で上サイドキーを押す（約1秒以上）

簡易留守録が解除されます。

補足 録音された内容は、設定を解除しても記憶されています。

■応答時間を変更する

簡易留守録に接続するまでの応答時間を、変更することができます。

例「**24秒**」に設定する場合

1 を押す

「**24秒**」を選択します。

2 を押す

応答時間が設定されます。

補足
- 簡易留守録と留守番電話サービス（13-5、13-7、13-9ページ）の両方を設定した場合には、応答時間の短い方を優先してメッセージをお預かりします。
- 簡易留守録と留守番電話サービスの応答時間が同じに設定されている場合は、留守番電話サービスが優先してメッセージをお預かりします。

■録音件数を確認する

簡易留守録や音声メモの録音件数を確認することができます。

例 留守録メッセージと音声メッセージが1件ずつ録音されている場合

1 を押す

現在の録音件数が表示されます。
待受画面に戻るときは、を押してください。

通話中の声を録音する

通話中に相手の声を録音することができます。録音は、簡易留守録（☞12-14ページ）と合わせて最大30件または約90秒まで行えます。[音声メモ]

1 通話中に（録音）を押す

「ピーッ」という音のあと、録音を開始します。

- 上サイドキーを長く（約1秒以上）押しても同様の操作が行えます。

2 （停止）、または録音可能時間経過後

録音を停止します。

- 上サイドキーを長く（約1秒以上）押して、録音を停止することもできます。
- 録音された音声を再生するには、12-18ページを参照してください。

重要 通話中に録音されるのは相手の声のみで、自分の声は録音されません。

補足

- 録音が一杯のときは、操作1のあと「**空いているメモリがありません**」と表示され、音声メモを録音できません。音声メモおよび簡易留守録を消去（☞12-18ページ）してください。
- 録音中に電話が切れると録音も終了し、録音されたところまでが保存されます。
- 録音された内容は、電源をOFFにしても記録されています。
- 録音中に（スピーカー）を押すと、録音中の声を背面スピーカーで聞くことができます。

簡易留守録や音声メモを再生する

簡易留守録や音声メモに録音されているメッセージを再生します。また、再生後に消去することができます。

例 簡易留守録のメッセージを再生したあと消去する場合

1 待受中に上サイドキー（メモ）を押す

「**留守録**」を選択します。
- メッセージが1件も登録されていない場合は、「**録音はありません**」と表示され、待受画面に戻ります。
- 音声メモを再生する場合は、「**音声メモ**」を選択してください。

2 を押す

再生したいメッセージを選択します。
- 再生していないメッセージは「**未再生**」が表示されます。

3 を押す

メッセージが再生されます。
- 再生中に（中止）を押すと、再生を中止します。

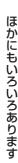
4 再生終了

「YES」を選択します。
- 消去しない場合は、で「NO」を選択します。

5 を押す

メッセージが消去されます。

ほかにもいろいろあります

12

- 音声メモを再生する場合は、操作*1*の画面で「**音声メモ**」を選択してください。
- 再生中に電話がかかってくると、再生を中止して電話を受けることができます。
- 再生中に（スピーカー）を押すと、再生中のメッセージを背面スピーカーで聞くことができます。
- 録音が一杯の場合は、再生の操作を終了したときなどに「**空き容量が不足しています録音内容を消去しますか？**」と表示されます。録音内容を消去してください。消去しないと、簡易留守録や音声メモを録音できません。
- **簡易留守録または音声メモをすべて消去する場合は…**
  を押したあとで「**留守録**」または「**音声メモ**」を選択し、を2回押します。また、操作*2*の画面で（メニュー）を押しても消去（**1件消去／全件消去**）の操作を行うことができます。

通話中に番号をメモする

ダイヤルボタンを使って通話中に電話番号などをメモすることができます。メモは3件まで自動的に登録されます。[ノートパッドメモリ]
また、登録された内容は、電話を切ったあとで確認したり、電話をかけることができます。

■電話番号などをメモする

1 通話中にダイヤルボタンを押す

- 以下の内容を最大24桁メモすることができます。

0~9	＊	#	ー	／	・

- 右の画面は「**03123XXXX1**」を入力した場合です。

■ノートパッドメモリを確認する

1 ⊖を押す（約1秒以上）

最新のノートパッドメモリが表示されます。
- メモした番号が、メモリダイヤルに登録されている電話番号と一致した場合は、名前も表示されます。
- ノートパッドメモリの記録が1件もないときは、「**ノートパッドメモリはありません**」と表示され、待受画面へ戻ります。

2 を押す

確認したいノートパッドメモリを呼び出します。

3 ⌒を押す

メモした電話番号に電話をかけることができます。

- 自動的に登録されるのは、最後に入力した数字から24桁分までです。
- すでに3件登録されている状態で更に登録すると、古いものから順に消去されます。
- 操作2の画面でMENU（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  ・**新規メモリダイヤル／メモリダイヤル追加／メモリダイヤル呼出／メール作成／184発信／186発信／1件消去／全件消去**

ほかにもいろいろあります

12

プッシュトーンを送る

プッシュトーンを送って自動音声応答サービスなど各種のプッシュホンサービスをご利用になれます。

■プッシュトーンをひとつずつ送る

1 通話中にダイヤルボタンを押す

押されたボタンのプッシュトーンが送出されます。

● 以下の内容を送ることができます。

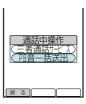
0~9	＊	#

■プッシュトーンを一括して送る

プッシュトーンで送りたい内容をあらかじめメモリダイヤル（☞4-2ページ）に登録しておき、プッシュホンサービス等で利用の際、一括して送ることができます。ポケットベルに送るときなどに便利です。[プッシュトーン一括送出]

1 相手とつながったあと、を押して送りたいプッシュトーンが登録されたメモリダイヤルを呼び出す

2 ▶ を押す

「PB音一括送出」を選択します。

3 を押す

プッシュトーンが送出されます。

● 一度に送出できるプッシュトーンは、最大24桁です。

- リダイヤル（☞2-5ページ）、着信履歴（☞2-9ページ）、ノートパッドメモリ（☞12-20ページ）などから番号を呼び出して送ることもできます。
- メモリダイヤルに登録されている「-」、「／」、「・」は送出されるときに無効となります。

ほかにもいろいろあります

12

■リンクダイヤルを使ってプッシュトーンを送る

ポーズ「・」を利用するとプッシュトーンを「・」ごとに区切って順番に送出することができます。ご自宅の電話機の遠隔操作番号など複数のプッシュトーンをまとめてメモリダイヤルに登録すると便利です。

メモリダイヤルにリンクダイヤルを登録する

例 電話番号　：「03-123X-XXX3」
留守番電話の暗証番号　：「＃7777」
留守番電話の再生操作番号：「＃1」
メモリダイヤルの電話番号には、以下のように登録します。
「03123XXXX3・＃7777・＃1」

ポーズ「・」を入力するときは電話番号入力時に（文字/小文字）を3回（2つ目以降は2回）押します。

● メモリダイヤルの登録方法については、4-2ページを参照してください。

リンクダイヤルで電話をかける

例 上記の内容で登録したリンクダイヤルを利用する場合

1 メモリダイヤルを呼び出す

メモリダイヤルの呼び出し方については4-21～28ページを参照してください。
● 右の画面は、メモリ番号003にリンクダイヤルを登録した場合です。

2 を押す

初めに登録してある番号にダイヤルします。

電話がつながると、画面に「▶☎」が表示されます。

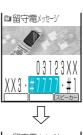
ほかにもいろいろあります

12

3 を押す

登録されている番号が送出されます。

番号が送出されると、画面に「 」が表示されます。

4 を押す

登録されている番号が送出されます。

ガイドを利用する

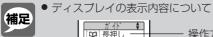
機能の操作方法をディスプレイで確認できます。

1 を押す

2 を押す

操作方法が確認できます。

補足

● ディスプレイの表示内容について

● ガイド表示には以下の種類があります。

ノートパッドメモリ	タイムアップ分停止
録音メモ再生	着信履歴
マナーモード設定/解除	受話音量調節
J-スカイメニュー	スピードダイヤル
メール	カメラ
リダイヤル	ビデオ
クローズ時のサイドキー誤動作防止	プチスケジュール
留守番転送	ショートカットメニュー
簡易留守録設定/解除	――

自動で電話に応答する

別売のスイッチ付イヤホンマイク接続時に、ボタン操作をせずに電話に応答することができます。応答時間は1～29秒の間で変更することができます。[自動着信]
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例「**ON、15秒**」に設定する場合

1 を押す

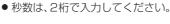
「**ON**」を選択します。

2 ● ▶ **応答時間を入力**

- 秒数は、2桁で入力してください。

3 ●を押す

自動着信が設定されます。

補足

- 自動着信と簡易留守録を設定している場合は、簡易留守録の設定が優先されます。ただし、簡易留守録や音声メモの録音が一杯の場合は、自動着信が起動します。
- 自動着信と留守番電話サービス（☞13-5、13-7、13-9ページ）を設定している場合は、応答時間の短い方が優先されます。応答時間が同じに設定されている場合には、自動着信が優先します。

F
33

バッテリーセーブを設定する

待受中に無操作の状態で設定時間が経過したときや、操作の途中に無操作の状態で約10分経過したときにディスプレイの表示を消して、電池の消費を抑えることができます。[ディスプレイ省電力]
また、通話中の消費電力を減らして電池の消費を抑えることができます。[通話中節電]

■ディスプレイ省電力を設定する

ディスプレイの表示が消えるまでの時間を設定することができます。
お買い上げ時の設定は待受中「**1分**」、ボタン操作中「**ON**」です。

例 待受中を「**5分**」に設定する場合

1 **(○)(3)(3)を押す**

「**ディスプレイ省電力**」を選択します。

2 **(●)を押す**

「**待受中**」を選択します。

3 **(●)▶(◇)を押す**

「**5分**」を選択します。

4 **(●)を押す**

ディスプレイ省電力が設定されます。

補足 お知らせ一発メニュー(☞12-2ページ)表示中は、ボタン操作中の設定に従います。

ほかにもいろいろあります

12

■通話中節電を設定する

通話中の消費電力を減らします。
お買い上げ時の設定は「**ON**」です。

例 「**OFF**（解除）」に設定する場合

1 **12-26ページの操作1より、を押す**

「**通話中節電**」を選択します。

2 **● ▶ ○を押す**

「**OFF**」を選択します。

3 **●を押す**

通話中節電が「**OFF**」に設定されます。

> **補足** 通話中節電を設定すると、こちらの話し始めの声が相手に聞こえにくくなることがあります。

F
36

オープン通話を設定する

電話がかかってきたときにJ-T010を開くだけで応答することができます。
お買い上げ時の設定は「**応答しない**」です。

例 「**応答する**」に設定する場合

1 ◯-3 6 ▶ ◯を押す

「**応答する**」を選択します。

2 ●を押す

オープン通話が設定されます。

通話品質アラームを設定する

通話中に電波状態が悪くなった場合、通話が切れる前にアラーム音でお知らせします。
お買い上げ時の設定は「OFF」です。

例 「ON」に設定する場合

1 ○-3 8 ▶ ○を押す

「ON」を選択します。

2 を押す

通話品質アラームが設定されます。

> 補足 アラーム音は相手には聞こえません。

F 79

184／186付加を設定する

電話をかけるとき、自動的に184または186を付加して番号をダイヤルし、お客様の電話番号を相手に通知しない、または通知するように設定することができます。

■184／186を自動的に付加する

お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**186**」を設定する場合

1 〇-(7)(9)**を押す**

「**184／186付加**」を選択します。

184/186付加
184/186付加
不在184付加
F79:OFF 音声発信時の付加設定をします
戻る

2 (●) ▶ (◇)**を押す**

「**186**」を選択します。

3 (●)**を押す**

184／186付加が設定されます。

重要

- 186を付加すると、発信者番号通知サービス（☞13-28ページ）のお申し込みに関係なく、相手にお客様の電話番号が常に通知されます。
また、184を付加すると、お申し込みに関係なく、相手にはお客様の電話番号が一切通知されません。「**OFF**」に設定するとお申し込みいただいた設定になります。
- 184または186を付けて電話をかけたり、登録したメモリダイヤルで電話をかけた場合は、その184または186を優先します。
例えば「18403123XXXX1」を登録したメモリダイヤルで電話をかけると、本機能を「**186**」に設定しても、相手にはお客様の電話番号が通知されません。
- 「**184**」を設定しても、メール送信時（☞J-スカイ編）は無効となり、相手にはお客様の電話番号が通知されます。

リダイヤルや着信履歴などから呼び出してかけた場合も、184または186は付加されます。

■不在着信履歴へ184を付加する

不在着信履歴（☞2-9ページ）から、メモリダイヤルに登録されていない電話番号を選択して電話をかける場合、お客様の電話番号を相手に通知しない（184付加）ように設定することができます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

例 「**ON**」に設定する場合

1 **12-30ページの操作1より、◎を押す**

「**不在184付加**」を選択します。

2 **● ▶ ◎を押す**

「**ON**」を選択します。

3 **●を押す**

不在184付加が設定されます。

不在184付加を「**ON**」に設定した場合は、184／186付加（☞12-30ページ）を「**186**」や「**OFF**」に設定していても、メモリダイヤルに登録のない不在着信履歴への発信時に184が付加されます。

国際電話サービスを利用する

国際電話をかけるとき、相手先の国番号＋市外局番＋電話番号を入力したあとで、国際ショートコード（J-フォンの国際電話専用ダイヤル「0046」＋「010」）を追加して簡単に電話をかけることができます。この機能は、メモリダイヤルや着信履歴、リダイヤルなどから電話をかけるときにもご利用できます。また、追加する国際ショートコードを変更することもできます。
お買い上げ時の設定は、「0046010」です。

- 国際電話サービスをご利用するには、あらかじめお申し込みが必要となります。国際電話サービスについて、詳しくはJ-フォンサービスガイドブックを参照してください。

■電話番号に国際ショートコードを付加する

- 国際電話をかける場合の国番号や市外局番などのダイヤルのしかたについては、J-フォンサービスガイドブックを参照してください。

例 直接入力した電話番号に付加する場合

1 電話番号をダイヤル

2 （国際）を押す

「YES」を選択します。

3 ●を押す

電話番号の先頭に「0046010」が付加されます。

4 電話番号を確認 ▶ （発信）を押す

重要 メモリダイヤルから国際ショートコードを利用して国際電話をかける場合、相手先の国番号、市外局番、電話番号がメモリダイヤルに登録されている必要があります。詳しくはJ-フォンサービスガイドブックを参照してください。

メモリダイヤル、着信履歴、リダイヤルから発信する際、登録または記録されている番号の先頭に国際ショートコードが含まれている場合は、操作2、3の操作を行うことはできません。国際メールコード（J-スカイ編）が先頭に含まれている場合は、操作2、3を行うと国際メールコードが国際ショートコードに置き換わります。

■国際ショートコードを変更する

例「7654321」に変更する場合

1 ○-7 7を押す

操作用暗証番号の入力画面になります。

2 操作用暗証番号を入力

- 間違った操作用暗証番号を入力すると「**暗証番号が違います**」と表示され、待受画面に戻ります。

3 （編集）▶ 新しい国際ショートコードを入力

4 ●を押す

国際ショートコードが変更されます。

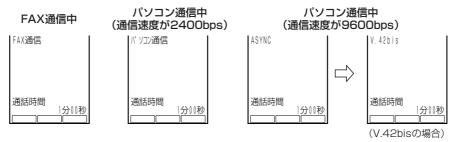
操作2の画面で MENU（メニュー）を押して、国際ショートコードをお買い上げ時の設定に戻す（**初期化**）操作を行うことができます。

FAX／パソコン通信を利用する

モデムカード（オプション品）を接続して、FAX／パソコン通信を行うことができます。

FAX通信／パソコン通信の方法、モデムカードの接続方法については、モデムカードの取扱説明書を参照してください。

通信中の画面は以下のようになります。

（V.42bisの場合）

電波の状態が悪い場所や、移動しながらFAX通信やパソコン通信を行うと、データが途中で切れたり、データが正常に送れない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクを使う

別売のスイッチ付イヤホンマイク接続時に、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話をかけたり、受けたりすることができます。

■ワンタッチで電話をかける

スイッチ付イヤホンマイクを接続している場合、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、メモリダイヤル（☞4-2ページ）のメモリ番号000に登録されている電話番号に電話をかけることができます。
また、J-T010を閉じたままでも電話をかけることができます。

● あらかじめ、イヤホンマイク端子（☞1-3ページ）にスイッチ付イヤホンマイクを接続してください。

1 イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

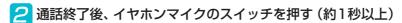
イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、メモリ番号000に登録されている番号に電話がかかります。
相手につながると通話できます。

● 発信中にスイッチを長く押す（約1秒以上）と、イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

2 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

● 終話を押しても電話が切れます。

補足

● メモリ使用禁止（☞6-4ページ）が設定されている場合は、操作1のあとイヤホンから「ピピピッ」と音が鳴り、待受画面に戻ります。設定を解除してから操作を行ってください。
● メモリダイヤルのメモリ番号000に電話番号が登録されていない場合は、操作1のあとでイヤホンから「ピピピッ」と音が鳴り、待受画面に戻ります。
● メモリ番号000をシークレットメモリに登録している場合は、シークレットモードを「ON」にしてから（☞4-30ページ）操作を行ってください。
● 割込通話中（☞13-22、13-24ページ）、切り替え通話中（☞13-26ページ）は、スイッチを長く押す（約1秒以上）たびに通話の相手が切り替わります。

■ワンタッチで電話を受ける

スイッチ付イヤホンマイクを接続中に電話がかかってきた場合、イヤホンマイクのスイッチを押すだけで電話に出ることができます。
また、J-T010を閉じたままでも電話に出ることができます。

- あらかじめ、イヤホンマイク端子（☞1-3ページ）にスイッチ付イヤホンマイクを接続してください。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、着信ランプとイルミネーション（お知らせランプ）が点滅します。

- イヤホンからも着信音が鳴ります。

2 イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、電話がつながります。

3 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

- 電源を押しても電話が切れます。

- 応答保留中（☞2-7ページ）、簡易留守録（☞12-14ページ）で応答中にスイッチを長く（約1秒以上）押すと、相手と通話することができます。
- 通話中に割込通話（☞13-22、13-24ページ）がかかってきた場合は、スイッチを長く押す（約1秒以上）と応答することができます。通話中は、スイッチを長く押す（約1秒以上）たびに通話の相手が切り替わります。

サイドキーの機能を設定する

下サイドキーの機能を変更することができます。設定した機能は、待受中に下サイドキーを長く（約1秒以上）押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時の設定は「**マナーモード**」です。

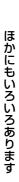
設定できる機能	内容
マナーモード	マナーモードを設定／解除します（☞5-9ページ）。
カメラ起動	カメラを起動します（☞8-4ページ）。
ビデオ起動	ビデオを起動します（☞8-22ページ）。
ボイスメモ起動	ボイスメモを起動します（☞11-60ページ）。
オフラインモード	オフラインモードを設定／解除します（☞6-5ページ）。

例「**オフラインモード**」に設定する場合

1 ⊖-3 9 ▶ ◎を押す

「**オフラインモード**」を選択します。

2 ●を押す

下サイドキーの機能が設定されます。

プライベートモードを利用する

指定した相手からの着信履歴やリダイヤル、受信メール、特定の画像などに限定して表示する状態に切り替えることができます。専用の暗証番号を入力しない限り、プライベートモードに切り替えることはできません。

- プライベートモードには、プライベートモード と の2種類があります。
- プライベートモード時は、ご利用になれる機能が限定されます（☞12-42ページ）。

■プライベートモード起動用暗証番号について

お買い上げ時は、「9999」に設定されています。

- 「プライベートモード起動用暗証番号」はプライベートモード 、 共通です。
- 「プライベートモード起動用暗証番号」はお忘れにならないようご注意ください。
- 事故の原因となりますので、「プライベートモード起動用暗証番号」は他人に知られないようご注意ください。
- F25「オールリセット」（☞6-6ページ）を行った場合、「プライベートモード起動用暗証番号」はお買い上げ時の設定に戻ります。

「プライベートモード起動用暗証番号」は、プライベートモード時にJ-T010の操作で変更することができます（☞12-41ページ）。

■プライベートモードに切り替える

1 MENU **を押す**

マルチメニュー画面（☞1-8ページ）を表示します。

2 1 **を押してからプライベートモード起動用暗証番号を入力**

「YES」を選択します。

- 間違えて入力した場合は、1 から入力しなおしてください。
- プライベートモード を起動する場合は、2 を押してからプライベートモード起動用暗証番号を入力します。

3 ● **を押す**

プライベートモード が起動します。

■プライベートモードを終了する

J-T010を閉じるか、電源を切ると終了します。また、プライベートタイマー（☞12-41ページ）で終了させることもできます。

■プライベートリストに登録する

着信やメールの確認をプライベートモード時にのみ行いたい相手先を登録します。名前、電話番号、Eメールアドレスなどが登録できます（プライベートモード、各10件ずつ）。

1 プライベートモード時の待受中に、を押す

プライベートリストが表示されます。

2 （追加）を押す

プライベートリストの登録画面が表示されます。

- 入力、登録、編集方法については4章を参照してください。

プライベートリスト
名前
フォルダ1
電話番号
Eメールアドレス
編 集

■音声着信と通話について

- プライベートリストの相手先から着信した場合は以下のようになります。

通常モード時……着信は通知されません。J-T010を閉じている場合、相手には応答メッセージ（12-41ページ）が再生されます。開いている場合は、相手には話中音（プープー…）を返します。プライベート着信履歴には、不在着信として記録されます。割り込み通話の場合は着信しません。

プライベートモード時……通常モード時と同様に着信します。通常の相手先からも着信します。

着信や通話の相手先がプライベートリストに登録されている場合は、プライベートモードの着信履歴またはリダイヤルに記録されます。についても同様です。

■メールについて

- 以下のメールはプライベートメールとなります。
  - ・プライベートリストに登録されている相手先からのメール
  - ・宛先にプライベートリストに登録されている相手先が1つ以上あるメール
- プライベートメールは以下のように確認できます。

通常モード時……受信は通知されません。メールリスト（J-スカイ編）には表示されません。

プライベートモード時……プライベートメニュー（12-40ページ）から確認することができます。

- プライベートメールに添付されてきたファイルの保存先は、プライベートフォルダ（12-40ページ）のみとなります。
- メール作成中にプライベートモードを終了した場合、作成中のメールは破棄されます。

ほかにもいろいろあります 12

つづく▶

補足 相手先がプライベートリストに登録されているプライベートメールは、プライベートモード時のみ確認できます。についても同様です。

■プライベートメニューについて

プライベートメニューから、以下の項目を操作することができます。プライベートメニューの表示方法は、12-41ページを参照してください。

項目	内容		操作方法
メール（※1）	プライベートメールを見ることができます。 ・操作は通常のメールと同様です。		☞J-スカイ編
カメラ（※1）	プライベートカメラを起動することができます（デジタルカメラモードを除く）。 ・操作は通常のカメラと同様です（※2）。		☞8-4ページ
ビデオ（※1）	プライベートビデオを起動することができます（サブ液晶ビデオを除く）。 ・操作は通常のビデオと同様です。		☞8-22ページ
ボイスメモ	プライベートボイスメモを起動することができます（着信用ボイス録音を除く）。 ・操作は通常のボイスメモと同様です。		☞11-60ページ
プライベートフォルダ	プライベートフォルダ内を閲覧することができます。 プライベートフォルダには、プライベートカメラ、ビデオ、ボイスメモのデータやプライベートメールに添付されてきたファイルなどを登録することができます。 ・操作は通常のデータフォルダと同様です（※3）。		☞9章
プライベート設定	着信設定	プライベートリストに登録されている相手先からの着信音などを設定できます（※4）。	−
	応答メッセージ	通常モード時にプライベートリストに登録されている相手先から着信した場合の応答メッセージを設定できます（※4）。	
	プライベートタイマー	プライベートモード時に無操作の状態で設定時間が経過したとき、自動的にプライベートモードを終了させることができます（※4）。	
	暗証番号変更	プライベートモード起動用暗証番号を変更できます。	
	メモリオールクリア	プライベートモード時に登録した内容や設定、プライベートメールなどをすべて消去します（※5）。	

※1 ・撮影、録画、録音内容の保存先は、プライベートフォルダのみとなります。
・撮影、録画、録音内容を保存する前にプライベートモードが終了した場合、自動的にプライベートフォルダに保存されます。また、録画、録音中にプライベートモードが終了した場合は、録画、録音されたところまでが自動的に保存されます。
・プライベートモード時の撮影、録画、録音内容は、プライベートモードのプライベートフォルダに登録できます。についても同様です。

※2 ただし、「旅モード設定」はご利用できません。

※3 ただし、「各種設定へ」（☞9-13ページ）、「セキュリティ設定」（☞9-6ページ）を行うことはできません。

※4 プライベートモード、別々の内容で設定することができます。各モード時に設定を行ってください。

※5 プライベートモード、別々に行うことができます。各モード時に行ってください。

ほかにもいろいろあります

12

プライベートメニューを表示する

1 プライベートモード時の待受中に、MENUを押す

プライベートメニューが表示されます。

プライベート設定について

着信設定

お買い上げ時の設定は、音声着信音とメール着信音の着信音パターンとバイブレータは「**個別設定なし**」、着信イルミ（音声・メール共通）は「**設定なし**」です。

応答メッセージ

応答メッセージは、以下から選択できます。
お買い上げ時の設定は「**パターン１**」です。

パターン1	「ただいま電話に出られません。」
パターン2	「後ほどおかけ直し致します。」
パターン3	「ただいま仕事中のため、電話に出ることができません。」

プライベートタイマー

設定時間は、1分、10分、30分、60分、OFFから選択できます。
お買い上げ時の設定は「**OFF**」です。

暗証番号変更

● この操作では、「プライベートモード起動用暗証番号」（☞12-38ページ）が必要になります。

メモリオールクリア

初期状態（未登録）になる項目は以下の通りです。
・**プライベートリスト／プライベートメール／プライベートフォルダ／プライベートリダイヤル／プライベート着信履歴**
● この操作では、「操作用暗証番号」（☞1-12ページ）が必要になります。

■プライベートモード時の状態について

プライベートモード時は、以下の機能をご利用できません。

マルチメニュー	データフォルダ（本体）	ウェブ
ショートカットキー	メモリカード	ステーション（※）
F機能	アニメつく～る	Java[TM]関連機能

※ プライベートモード時は、お天気アイコン（☞J-スカイ編）が表示されません。また、3D待受キャラ（☞7-10ページ）が表示するコメントは更新されません。

● F25「オールリセット」（☞6-6ページ）、F27「メモリオールクリア」（☞6-11ページ）、F29「設定リセット」（☞6-13ページ）、「メッセージオールクリア」（☞J-スカイ編）などを行った場合、プライベートモード時に登録した内容や設定、着信履歴、リダイヤル、プライベートメールなども対象となります。
● プライベートモード時に録音した音声メモは、通常モード時も再生できます。
● プライベートモード時は、外部接続機器をご利用できません。

オプションサービス

オプションサービスがご利用できます

オプションサービスは、ご契約した地域別のサービスとなっております。下図を参照して、該当ページをご覧ください。

北海道／北陸／九州・沖縄地域

転送電話サービスを利用する ･････13-3ページ
留守番電話サービスを利用する ･･･13-7ページ
転送電話サービス・留守番電話サービスの呼び出し時間を変更する ･････････13-12ページ
転送電話サービス・留守番電話サービスを解除する ･･････････････････････13-13ページ
秘書サービス（※）の設定状況を確認する ･････13-14ページ
運転中モードを利用する ･････････13-15ページ
サービスコードを利用する ･･･････13-18ページ
一般電話からの操作 ･････････････13-19ページ
割込通話サービスを利用する ･････13-24ページ
三者通話サービスを利用する ･････13-25ページ
発信者番号通知サービスを利用する ･････13-28ページ
課金方法について ･･･････････････13-30ページ

東北・新潟／中国／四国地域

転送電話サービスを利用する ･････13-3ページ
留守番電話サービスを利用する ･･･13-9ページ
転送電話サービス・留守番電話サービスを解除する ･･････････････････････13-13ページ
秘書サービス（※）の設定状況を確認する ･･･････13-14ページ
運転中モードを利用する ･････････13-16ページ
サービスコードを利用する ･･･････13-18ページ
一般電話からの操作 ･････････････13-21ページ
割込通話サービスを利用する ･････13-24ページ
三者通話サービスを利用する ･････13-25ページ
発信者番号通知サービスを利用する ･･･････13-28ページ
課金方法について ･･･････････････13-30ページ

関東・甲信／東海／関西地域

転送電話サービスを利用する ･････13-3ページ
留守番電話サービスを利用する ･･･13-5ページ
転送電話サービス・留守番電話サービスの呼び出し時間を変更する ･････････13-12ページ
転送電話サービス・留守番電話サービスを解除する ･･････････････････････13-13ページ
秘書サービス（※）の設定状況を確認する ･･･････13-14ページ
サービスコードを利用する ･･･････13-17ページ
一般電話からの操作 ･････････････13-19ページ
割込通話サービスを利用する ･････13-22ページ
三者通話サービスを利用する ･････13-25ページ
発信者番号通知サービスを利用する ･･･････13-28ページ
課金方法について ･･･････････････13-29ページ

※ 転送電話サービス、留守番電話サービスの両サービスのことを秘書サービスと呼びます。

転送電話サービスを利用する

かかってきた電話を他の電話機やポケットベルなどに転送します

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、またはJ-T010を携帯していないときなど、あらかじめ設定しておいた電話番号へ転送することができます。

- 地域によっては、画面表示が異なる場合があります。
- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-17、13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。
- 転送電話サービスが行われる条件は、以下の4通りです。
  - ・電源が入っていないとき
  - ・「圏（圏外）」が表示されているとき
  - ・オフラインモードが設定（ON）されているとき
  - ・応答しないで着信音が停止したあと
- J-T010でお話中のときは、転送電話サービスに移行されません（ただし、割込通話サービスにお申し込みいただいている場合は転送電話サービスに移行されます）。

■転送先の電話番号を登録する

例「03123XXXX3」を登録する場合

1 ◯-7 1を押す

「**転送先番号**」を選択します。

2 ● ▶ 転送先の電話番号を入力

3 ●を押す

ネットワークに接続され、「**トウロク03123XXXX3**」と表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

- 登録先が一般電話のときは、市内であっても市外局番から、また携帯電話のときは相手の電話番号（全桁）を入力してください。
- 転送電話サービスを利用するには、電話番号を登録をしたあと、転送条件を設定する（☞13-4ページ）の操作を行ってください。

つづく▶

- 転送先の電話番号は、最大24桁まで登録できます。
- 以下の電話番号は転送先として登録できません。
  「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
  「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）
- 転送電話の課金方法については、13-29、13-30ページを参照してください。

■転送条件を設定する

- 関東・甲信／東海／関西以外の地域では、現在「**呼出なし**」はご利用になれません。
- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-17、13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。

例 呼び出し中に応答しなければ、転送するように設定する場合（「**呼出あり**」）

1 13-3ページの操作1より、◎を押す

「**転送条件**」を選択します。

2 ●を押す

「**呼出あり**」を選択します。
- 「**呼出なし**」に設定すると着信音は鳴らず、すぐに転送されます。

3 ●を押す

ネットワークに接続され、「**テンソウサービスON**」と表示されます。
- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。
- 「**呼出あり**」の場合は、呼び出し時間を変更することができます（☞13-12ページ）。
  ただし、東北・新潟／中国／四国地域では変更できません。

- 転送条件を設定する前に、転送先の電話番号を登録してください（☞13-3ページ）。
- 転送電話サービスを設定すると、留守番電話サービス（☞13-5、13-7、13-9ページ）は、ご利用になれません。

「**呼出あり**」の転送電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に応答すると、そのまま相手と通話ができます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

留守番電話サービスを利用する

- **北海道／北陸／九州・沖縄地域のお客様は13-7ページをご参照ください。**
- **東北・新潟／中国／四国地域のお客様は13-9ページをご参照ください。**

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、または電話に出られないときなどに、留守番電話センターにメッセージをお預かりするサービスです（メッセージを聞く場合、通話料がかかります）。

- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-17ページ）または一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。

■留守番電話サービスを設定する

例 呼び出し中に応答しなければ、留守番電話へ接続するように設定する場合（「**呼出あり**」）

1 **を押す**

「**呼出あり**」を選択します。

- 「**呼出なし**」に設定すると着信音は鳴らず、すぐに留守番電話へ接続されます。

2 ●**を押す**

ネットワークに接続され、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。
- 「**呼出あり**」の場合は、呼び出し時間を変更することができます（☞13-12ページ）。

留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービス（☞13-3ページ）は、ご利用になれません。

- 「**呼出あり**」の留守番電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に応答すると、そのまま相手と通話ができます。
- 「1416」をダイヤルしたあと「4」を押すことにより、不在案内の操作を行うことができます。

■メッセージお預かり表示「1416」について

留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「1416」が表示されます。

・電源をONにしたとき
・発信、着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km〜数十km、郊外では数十kmが目安です）

● 「1415」をダイヤルすることにより、メッセージの有無を確認することができます（通話料無料）。
● 「1416」はJ-T010で新しいメッセージを聞いたときに消えます（ただし、一般電話などから遠隔操作でメッセージを聞き出したときには、上記のいずれかの操作を行うまで「1416」は消えません）。

■メッセージを聞くとき

J-T010から伝言を聞く

1 1 4 1 6 ▶ (発信) を押す

以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

一般電話から伝言を聞く

1 留守番電話センターの電話番号をダイヤル

ご契約のJ-フォン各地域	センターの電話番号
関東・甲信	090-391-1416
東海	090-393-1416
関西	090-392-1416

ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。
以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

■かかってきた電話を留守番電話センターに転送する

あらかじめ留守番電話サービスを設定していなくても、かかってきた電話を留守番電話センターへ転送することができます。

1 着信中に (○-) ▶ (電源) を押す

着信を留守番電話センターに転送し、お知らせ一発メニュー（☞12-2ページ）が表示されます。

通話中に割込みの電話がかかってきたときも、同様の操作で留守番電話センターに転送することができます。ただし、割込通話サービス（☞13-22ページ）をお申し込みで、F75「割込通話設定」（☞13-22ページ）をONに設定している必要があります。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

留守番電話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です）

- 関東・甲信／東海／関西地域のお客様は13-5ページをご参照ください。
- 東北・新潟／中国／四国地域のお客様は13-9ページをご参照ください。

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、または電話に出られないときなどに、留守番電話センターにメッセージをお預かりするサービスです（メッセージを聞く場合、通話料がかかります）。

- 月額使用料がかかります。
- 地域によっては、画面表示が異なる場合があります。
- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。

■留守番電話サービスを設定する

1 を押す

「**呼出あり**」を選択します。

- 現在、「**呼出なし**」はご利用いただけません。

2 ●を押す

ネットワークに接続され、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

重要 留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービス（☞13-3ページ）は、ご利用になれません。

補足
- 留守番電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま相手と通話ができます。
- 留守番電話センターへ接続するまでの呼び出し時間を変更する場合は、13-12ページを参照してください。
- 留守番電話サービスを解除する場合は、秘書サービスの設定を解除してください（☞13-13ページ）。

■メッセージお預かり表示「1416」について

留守番電話センターにメッセージを預かっているときは、以下の操作を行うと、ディスプレイに「1416」が表示されます。

・地域内で電源をONにしたとき
・発信・着信をしたとき
・通話を終了したとき
・一定距離を移動したとき（この場合の一定距離とは、市街地の場合で数km～数十km、郊外では数十kmが目安です）

「1416」はJ-T010で新しいメッセージを聞いたときに消えます（ただし、一般電話などから遠隔操作でメッセージを聞き出したときには、上記のいずれかの操作を行うまで「1416」は消えません）。

■メッセージを聞くとき

J-T010から伝言を聞く

1 1 4 1 6 ▶ 発信キー **を押す**

以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

パーソナルオプション（留守番電話サービスの各種機能の設定）も上記の操作にてご利用できます。

一般電話から伝言を聞く

1 留守番電話センターの電話番号をダイヤル

ご契約のJ-フォン各地域	センターの電話番号
北海道	090-130-1416
北陸	090-131-1416
九州・沖縄	090-341-1416

ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。
以後は、留守番電話センターのアナウンスに従って操作を行ってください。

■パーソナルオプションについて

交換機用暗証番号（☞1-12ページ）の入力の条件設定
留守番電話サービスのご利用時に暗証番号の入力が必要かどうかを選択できます。

応答メッセージの録音
電話をかけてきた相手の方への応答メッセージをお客様ご自身の声で録音することができます。録音がない場合には当社の通常のアナウンスが流れます。

不在応答メッセージ
不在応答サービスを設定すると、お客様のメッセージを相手の方に伝えますが、相手の方の伝言メッセージは録音されません。[不在案内]
不在応答のメッセージは、お客様ご自身の声で録音することができます。お客様がメッセージを録音すると自動的に設定され、消去すると無効となります。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

留守番電話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です）

● 関東・甲信／東海／関西地域のお客様は13-5ページをご参照ください。
● 北海道／北陸／九州・沖縄地域のお客様は13-7ページをご参照ください。

お客様が、電波の届かない場所（圏外）にいるときやオフラインモードを設定（ON）しているとき（☞6-5ページ）、または電話に出られないときなどに、留守番電話センターにメッセージをお預かりするサービスです（メッセージを聞く場合、通話料がかかります）。

● 留守番電話サービスが行われる条件は、以下の4通りです。
・電源が入っていないとき
・「圏外（圏外）」が表示されているとき
・オフラインモードが設定（ON）されているとき
・応答しないで着信音が停止したあと

● J-T010でお話し中のときは、留守番電話サービスに移行されません（ただし、割込通話サービスにお申し込みいただいている場合は留守番電話サービスに移行されます）。

● ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-21ページ）に従って操作を行ってください。
● 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-21ページ）に従って操作を行ってください。

■留守番電話サービスを設定する

1 ⌒ 7 2 **を押す**

「**呼出あり**」を選択します。
● 現在、「**呼出なし**」はご利用いただけません。

2 ● **を押す**

ネットワークに接続され、「**ルスバンサービスON**」と表示されます。
● 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

重要 留守番電話サービスを設定すると、転送電話サービスは自動的に解除されます。

補足 留守番電話サービス設定中に着信があった場合は、着信音が鳴っている間に電話を受ければ、そのまま相手の方と通話ができます。

■伝言メッセージを再生（消去）する

伝言メッセージについて

- 伝言メッセージは1件あたり最大約3分間で、20件録音できます。すでに20件録音されている場合は、伝言メッセージをお預かりできませんので、不要な伝言メッセージは消去してください。
- 伝言メッセージの保存期間：最後に伝言メッセージが録音されたとき、または最後に伝言メッセージを再生したときから、お預かりしているすべての伝言メッセージを48時間保存します。

伝言メッセージを再生（消去）する

1 1 4 1 6 ▶ 発信 を押す

アナウンスに従って操作を行ってください。

伝言メッセージの再生中に以下のボタン操作ができます。

ボタン	機能	ボタン	機能
#	次のメッセージを再生する	＊ 7	音量を上げる
1	再生中のメッセージを最初に戻す	＊ 8	音量を下げる
＊ 5	一時停止する	＊ 9	一時停止、倍速再生を解除する
＊ 6	倍速再生する		

2 電源 を押す

- **メッセージお預かり表示「1416」について（伝言通知機能）**
  留守番電話センターに伝言メッセージをお預かりしていると、J-T010のディスプレイに「1416」を表示して、お知らせします。メッセージお預かり表示は、お預かりしている伝言メッセージがすでにお聞きになったものであっても表示されます。従ってすでにお聞きになったメッセージは、消去することをお勧めします。

■不在案内メッセージを録音（変更・確認）する

電話をかけてきた相手の方へ伝言をお預かりする前にお知らせするメッセージで、お客様のお好みのメッセージに変更することができます。不在案内メッセージは最大3分間録音することができます。

不在案内メッセージを録音（変更・確認）する

1 1 4 1 8 ▶ を押す

アナウンスに従って、不在案内メッセージを録音（変更・確認）してください。

2 を押す

重要 不在案内メッセージを録音しても、留守番電話サービスは開始されません。留守番電話サービスを開始するには、留守番電話サービスを設定する（☞13-9ページ）を参照してください。

F70

関東・甲信／東海／関西地域 北海道／北陸／九州・沖縄地域 でご契約のお客様

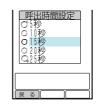
転送電話サービス・留守番電話サービスの呼び出し時間を変更する

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを「**呼出あり**」でご利用の際に、5～30秒（5秒単位）の間で呼び出し時間を変更することができます。
［呼び出し時間設定］

● 東北・新潟／中国／四国地域では、現在このサービスはご利用いただけません。

例「**15秒**」に設定する場合

1 ［メニュー］［7］［0］▶［決定］を押す

「**15秒**」を選択します。

2 ［●］を押す

ネットワークに接続され、「**トウロク**」と表示されます。

● 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

● 圏外での操作や、一般電話からの遠隔操作はできません。
● この設定はご契約いただいたJ-フォン各地域以外では、呼び出し時間は約20秒となります。
● 「**トウロク**」のメッセージが表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

● 簡易留守録（☞12-14ページ）と留守番電話サービスを同時に設定している場合、呼び出し時間を短く設定した方が優先してメッセージをお預かりします（呼び出し時間が同じ場合は、留守番電話サービスが優先されます）。
● 圏外の場合は上記で設定した呼び出し時間に関係なく、即時に留守番電話センターに接続または転送先に転送されます。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

13 オプションサービス

転送電話サービス・留守番電話サービスを解除する

F 73

転送電話サービスまたは留守番電話サービスを解除します。

秘書サービスとは
転送電話サービス、留守番電話サービスの両サービスのことを秘書サービスと呼びます。

- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-17、13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。

1 **⊖-7 3を押す**

「YES」を選択します。

2 **●を押す**

ネットワークに接続され、「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

補足 転送先の電話番号は消去されず、再度転送電話サービスを設定するまで保持されます。

F 74

秘書サービスの設定状況を確認する

転送電話サービスまたは留守番電話サービスの設定状況を確認することができます。

- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-17、13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作を行ってください。

1 **7 4を押す**

「YES」を選択します。

2 ●**を押す**

ネットワークに接続され、現在の設定状況が表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

補足

- 転送電話サービスを設定している場合は「**カクニン03123XXXX3**」のように転送先の番号が表示されます。
- 留守番電話サービスを設定している場合は「**ルスバンサービスON**」と表示されます。
- 秘書サービスを設定していない場合は「**ヒショサービスOFF**」と表示されます。

北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様

運転中モードを利用する

J-T010を呼び出さずに、電話をかけてきた相手の方へ、自動的にアナウンスで**お客様が運転中**で電話に出られない旨をお知らせするサービスです。
さらに、留守番電話サービスをご契約のお客様は、アナウンス後に留守番電話サービスに移行します。

- 関東・甲信／東海／関西地域では、現在このサービスはご利用になれません。
- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。

■運転中モードを設定する

1 1 4 1 3 ▶ 📞を押す

アナウンスが流れ、運転中モードが設定されます。

2 電源を押す

- 運転中モード設定中には、電話を受けることができません。運転中モードが必要でない状態になりましたら、必ず解除してください。
- 運転中モードの設定をする前に転送電話サービスの設定をされていた場合、転送電話サービスは自動的に「OFF」となります。
- 運転中モード設定中でも、電話をかけることはできます。

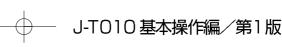
運転中モードの設定状況を確認する場合は…
1 4 0 3 📞を押します。

■運転中モードを解除する

1 1 4 1 0 ▶ 📞を押す

アナウンスが流れ、運転中モードが解除されます。

2 電源を押す

- 運転中モードを解除すると、転送電話サービスまたは留守番電話サービスも解除した状態となりますので、これらのサービスをご利用の場合は、再度設定を行ってください。
- 運転中モードを解除せずに転送電話サービスまたは留守番電話サービスに直接切り替えることもできます。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

運転中モードを利用する

J-T010を呼び出さずに、電話をかけてきた相手の方へ、自動的にアナウンスで**お客様が運転中**で電話に出られない旨をお知らせするサービスです。
さらに、留守番電話サービスをご契約のお客様は、アナウンス後に留守番電話サービスに移行します。

- 関東・甲信／東海／関西地域では、現在このサービスはご利用になれません。
- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-18ページ）または一般電話からの操作（☞13-21ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-21ページ）に従って操作を行ってください。

■運転中モードの設定／解除

1 ▶ 発信キーを押す

アナウンスが流れ、サービスを設定／解除します。

2 電源キーを押す

- 運転中モード設定中には、電話を受けることができません。運転中モードが必要でない状態になりましたら、必ず解除してください。
- 運転中モード設定中は、留守番電話サービスのメッセージお預かり表示は表示されません。

運転中モード設定中は、通話を終了したときなどに設定中である旨をディスプレイでお知らせします。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

サービスコードを利用する

● **北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域のお客様は13-18ページをご参照ください。**

各サービスは、サービスコードを利用して設定することもできます。

1 1 4 0 6 ▶ 発信 **を押す**
ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

2 **ご自分の電話番号（全桁）をダイヤル ▶ # を押す**
交換機用暗証番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

3 **交換機用暗証番号（☞1-12ページ）を入力 ▶ # を押す**
サービスコードの入力をうながすアナウンスが流れます。

4 **サービスコードをダイヤル ▶ # を押す**

サービスコード一覧

サービス名	サービス内容	サービスコード
転送電話サービス	転送先電話番号の登録	402＋転送先の電話番号
	開始（呼び出しあり）	441
	開始（呼び出しなし）	421
	解除	400
	設定確認	403
留守番電話サービス	開始（呼び出しあり）	431
	開始（呼び出しなし）	411
	解除	400
	設定確認	403
割込通話サービス	開始	481
	解除	480
	確認	483

北海道／北陸／九州・沖縄地域
東北・新潟／中国／四国地域 でご契約のお客様

サービスコードを利用する

● 関東・甲信／東海／関西地域のお客様は13-17ページをご参照ください。

各サービスは、サービスコードを利用して設定することもできます。

<table>
<tr><td rowspan="2">北海道／北陸／九州・沖縄地域</td><td>下記サービスコード①をダイヤル</td></tr>
<tr><td>1 4 0 6 ▶ ▶ 下記サービスコード②をダイヤル（※）</td></tr>
</table>

※ご契約いただいたJ-フォン各地域以外から設定する場合

東北・新潟／中国／四国地域	下記サービスコード①をダイヤル

サービスコード一覧

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="3">サービス内容</th><th colspan="3">サービスコード</th></tr>
<tr><th colspan="2">①</th><th rowspan="2">②</th></tr>
<tr><th>北海道／北陸／九州・沖縄地域</th><th>東北・新潟／中国／四国地域</th></tr>
<tr><td rowspan="3">転送電話サービス</td><td>転送先の登録（※1）</td><td colspan="2">1422</td><td>402＋転送先電話番号</td></tr>
<tr><td>開始</td><td colspan="2">1421</td><td>441</td></tr>
<tr><td>解除</td><td colspan="2">1420</td><td>400</td></tr>
<tr><td rowspan="4">留守番電話サービス（※2）</td><td>設定</td><td colspan="2">1411</td><td>431</td></tr>
<tr><td>解除</td><td colspan="2">1410</td><td>400</td></tr>
<tr><td>伝言メッセージの再生・消去</td><td colspan="2">1416</td><td rowspan="2">—</td></tr>
<tr><td>不在案内メッセージの録音・変更・確認</td><td>—</td><td>1418</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定確認</td><td colspan="2">1403</td><td>403</td></tr>
<tr><td colspan="2">呼び出し時間の変更（※3）</td><td>1422＋⋇＋設定したい秒数</td><td>—</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">運転中モード</td><td>設定</td><td>1413</td><td rowspan="2">1413</td><td>531</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>1410</td><td>400</td></tr>
</table>

※1 ご契約いただいた地域以外からは、一般電話からの操作（☞13-19、13-21ページ）に従って操作してください。
※2 別途お申し込みが必要です。
※3 この設定はご契約いただいたJ-フォン各地域内でのみ有効です。その他の地域では、設定にかかわらず、呼び出し時間は約20秒となります。

関東・甲信／東海／関西地域 北海道／北陸／九州・沖縄地域 でご契約のお客様

一般電話からの操作

● 東北・新潟／中国／四国地域のお客様は13-21ページをご参照ください。

■転送電話サービス・留守番電話サービス・運転中モードを操作する

プッシュトーンを出せる一般電話や公衆電話から操作することができます。操作を行うときは、ご自分の電話番号とご契約時、加入申込書に記入された交換機用暗証番号（☞1-12ページ）が必要です。

1 遠隔操作用の電話番号をダイヤル

ご契約のJ-フォン各地域	センターの電話番号
関東・甲信	090-391-1406
東海	090-393-1406
関西	090-392-1406
北海道	090-130-1406
北陸	090-131-1406
九州・沖縄	090-341-1406

ご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

2 ご自分の電話番号（全桁）をダイヤル ▶ # を押す

交換機用暗証番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

3 交換機用暗証番号（☞1-12ページ）を入力 ▶ # を押す

サービスコードの入力をうながすアナウンスが流れます。

4 サービスコード（☞13-20ページ）をダイヤル ▶ # を押す

サービスコード一覧

サービス内容		サービスコード	
		関東・甲信／東海／関西	北海道／北陸／九州・沖縄
転送電話サービス	転送先の登録	402＋転送先電話番号	
	開始(呼び出しあり)	441	
	開始(呼び出しなし)(※1)	421	—
	解除	400	
留守番電話サービス	設定(呼び出しあり)	431	
	設定(呼び出しなし)(※1)	411	—
	解除	400	
設定確認		403	
運転中モード(※2)	設定	—	531
	解除		400
割込通話サービス(※3)	設定	481	—
	解除	480	
	設定確認	483	

※1 北海道／北陸／九州・沖縄地域では、現在このサービスはご利用になれません。
※2 関東・甲信／東海／関西地域では、現在このサービスはご利用になれません。
※3 北海道／北陸／九州・沖縄地域では、一般電話から操作することはできません。

お客様の電話番号または交換機用暗証番号を間違えて入力したときは、再度、正しい番号を入力するように求めてきます。3回間違えると回線が切れますので操作 *1* からやり直してください。

東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様

一般電話からの操作

- 関東・甲信／東海／関西地域および北海道／北陸／九州・沖縄地域のお客様は13-19ページをご参照ください。

■転送電話サービス・留守番電話サービス・運転中モードを操作する

プッシュトーンを出せる一般電話や公衆電話から操作することができます。操作を行うときは、ご自分の電話番号とご契約時、加入申込書に記入された交換機用暗証番号（☞1-12ページ）が必要です。

1 遠隔操作用の電話番号をダイヤル

ご契約のJ-フォン各地域	
東北・新潟	090+861+下記サービスコード
中国	090+860+下記サービスコード
四国	090+132+下記サービスコード

電話がつながるとご自分の電話番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

2 ご自分の電話番号（全桁）をダイヤル

電話番号が確認されると交換機用暗証番号の入力をうながすアナウンスが流れます。

3 交換機用暗証番号（☞1-12ページ）を入力

交換機用暗証番号が確認されるとアナウンスが流れます。

4 アナウンスに従って操作

サービス名	サービスの内容	サービスコード
転送電話サービス	サービスの設定	1421
	サービスの解除	1420
	転送先電話番号の登録（変更）	1422
	設定状況の確認	1403
留守番電話サービス	サービスの設定	1411
	サービスの解除	1410
	伝言メッセージの再生・消去	1416
	不在案内メッセージの録音・変更・確認	1418
	設定状況の確認	1403
運転中モード	サービスの設定／解除	1413

重要 お客様の電話番号または交換機用暗証番号を間違えて入力したときは、再度、正しい番号を入力するように求めてきます。3回間違えると回線が切れますので操作1からやり直してください。

F 75

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

割込通話サービスを利用する
（別途、お申し込みが必要です）

● 北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域のお客様は13-24ページをご参照ください。

通話中に着信があったとき、通話中の相手を保留にして着信に応答することができます。

- 月額使用料がかかります。
- ご契約いただいた地域以外からは、サービスコードを利用する（☞13-17ページ）または一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。
- 圏外の場合は、一般電話からの操作（☞13-19ページ）に従って操作を行ってください。

■割込通話サービスの設定／解除

例 割込通話サービスを設定する場合

1 ⌒-7 5 を押す

「ON」を選択します。

2 ● を押す

ネットワークに接続され、「ワリコミコールON」と表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

重要 割込通話サービスに加入していても、この設定を「ON」にしていないと、サービスが受けられません。

補足 割込通話サービスを解除する場合は、操作1で「OFF」を選択してください。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

13 オプションサービス

■割込通話を受ける

1 通話中に割込通話音が聞こえる

2 を押す

最初に話していた相手を保留にして、割込みしてきた相手の着信に応答します。

3 を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わる

- 「**通話時間１**」は最初に話していた相手との通話時間、「**通話時間2**」は割込みしてきた相手との通話時間です。
- 通話中の相手と通話を終了するときは、を押します。呼び出し音が鳴るのでを押し、保留中の相手に切り替えます。
- 通話中の相手が先に電話を切ったときも呼び出し音が鳴ります。を押して保留中の相手に切り替えます。
- 割込通話サービスの課金方法については、13-29ページを参照してください。

■割込通話サービスの設定状況を確認する

割込通話サービスの設定状況を確認することができます。

1 7 6を押す

「YES」を選択します。

2 を押す

ネットワークに接続され、現在の設定が表示されます。

- 接続できないときは、「**ネットワーク接続不可**」と表示されます。

割込通話サービスを設定している場合は「**ワリコミコールON**」と表示されます。

北海道／北陸／九州・沖縄地域
東北・新潟／中国／四国地域 でご契約のお客様

割込通話サービスを利用する
（別途、お申し込みが必要です）

● 関東・甲信／東海／関西地域のお客様は13-22ページをご参照ください。

通話中に着信があったとき、通話中の相手の方を保留にして着信に応答することができます。

● 月額使用料がかかります。

■割込通話を受ける

1 通話中に割込通話音が聞こえる

2 を押す

最初に話していた相手を保留にして、割込みしてきた相手の着信に応答します。

3 を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わる

割込通話サービス中は、三者通話サービス（☞13-25ページ）がご利用になれません。

- 「**通話時間１**」は最初に話していた相手との通話時間、「**通話時間2**」は割込みしてきた相手との通話時間です。
- 通話中の相手と通話を終了するときは、を押します。呼び出し音が鳴るのでを押し、保留中の相手に切り替えます。
- 通話中の相手が先に電話を切ったときも呼び出し音が鳴ります。を押して保留中の相手に切り替えます。
- 割込通話サービスの課金方法については、13-30ページを参照してください。

三者通話サービスを利用する（別途、お申し込みが必要です）

● 月額使用料がかかります。

切り替え通話や3人で通話することができます

Aさんとの通話中にBさんを呼び出し、AさんとBさんを切り替えながら通話することができます［切り替え通話］。また、AさんとBさんの3人で同時に通話したり［三者通話］、自分だけ通話から抜けることもできます［通話中転送（※）］。

※ 現在このサービスは、関東・甲信／東海／関西地域でのみご利用になれます。

■通話中にもう1人へ電話をかける

1 Aさんとの通話中にBさんの電話番号をダイヤル

- メモリダイヤルに登録してある相手を呼び出すこともできます（☞4-21ページ）。

2 を押す

「**三者通話サービス**」を選択します。

3 または を押す

通話していたAさんを保留にし、Bさんを呼び出します。

4 Bさんが応答

Bさんと通話ができます。

つづく▶

全地域共通

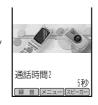
13 オプションサービス

三者通話サービスによる国際電話は、ご利用になれません。

- 「**通話時間1**」はAさんとの通話時間、「**通話時間2**」はBさんとの通話時間です。
- 三者通話サービスの課金方法については、13-29、13-30ページを参照してください。
- 13-25ページ操作1でリダイヤル(☞2-5ページ)、着信履歴(☞2-9ページ)、ノートパッドメモリ(☞12-20ページ)を呼び出すこともできます。このときは、電話番号を呼び出したあと、[発信]を押します。

■相手を切り替えながら通話する[切り替え通話]

1 通話中にBさんを呼び出す

通話中にもう1人へ電話をかける(☞13-25ページ)を参照してください。

2 [発信]を押す

保留にしていたAさんとの通話に戻り、Bさんを保留にします。

3 [発信]を押すたびに、AさんとBさんが切り替わる

「**通話時間1**」はAさんとの通話時間、「**通話時間2**」はBさんとの通話時間です。通話中の相手が電話を切ると保留中の相手がいることをお知らせします。[発信]を押すと保留中の相手との通話に戻ります。

13

■3人で同時に通話する[三者通話]

1 通話中にBさんを呼び出す

通話中にもう1人へ電話をかける(☞13-25ページ)を参照してください。

全地域共通

オプションサービス

2 ▶ ●を押す

「**三者通話**」が選択され、通話を開始します。

三者通話サービスは、国際電話ではご利用になれません。

- 三者通話にすると、切り替え通話に戻すことはできません。
- 電源を押すと、二人の相手との通話が同時に切れます。また、相手のどちらかが先に電話を切ると、残りの相手との通話になります。
- 割込通話による切り替え通話中は、三者通話を行うことはできません。

■自分だけが途中から抜ける［通話中転送］

- 現在このサービスは、関東・甲信／東海／関西地域でのみご利用になれます。

切り替え通話中または三者通話中に自分だけが途中から抜けても、残りのAさんとBさんは通話を続けることができます。

1 切り替え通話または三者通話を行う

相手を切り替えながら通話する（☞13-26ページ）を参照してください。

2 ○-7 8 ▶ ○を押す

「**通話中転送**」を選択します。

3 ●を押す

ネットワークに接続され、「**テンソウカンリョウ**」と表示され、AさんとBさんだけの通話になります。

- 割込通話による切り替え通話中は、通話中転送を行うことはできません。
- 切り替え通話中または三者通話中に自分だけが途中から抜けても、自分から電話をかけた場合は通話料金がかかります（☞13-29ページ）。

発信者番号通知サービスを利用する

電話をかけたときお客様のJ-T010の電話番号を相手の電話機のディスプレイに通知することができるサービスです。

● 通知しない場合は、別途、お申し込みが必要です。詳しくは、お問い合わせ先（☞15-6ページ）までご連絡ください。

■サービスを受ける（通知する）場合

電話をかけるとき

・通常の操作で電話をかけると、自動的にお客様の電話番号を相手の方に通知します。
・相手に通知したくないときは、相手の電話番号の前に「184」（イヤヨ）を付けてダイヤルしてください。

電話を受けるとき

相手の方が電話番号を通知してきた場合、相手の電話番号が表示されます。
・メモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきた場合、ディスプレイにはグループアイコンと名前が表示されます。
・シークレットメモリに登録している相手から電話がかかってきた場合は、シークレットモード中（☞4-30ページ）でなければ、名前は表示されません。

■サービスを受けない（通知しない）場合

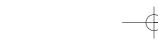
電話をかけるとき

・通常の操作で電話をかけると、お客様の電話番号は相手に通知されません。
・相手に電話番号を通知するときは、相手の電話番号の前に「186」を付けてダイヤルしてください。

電話を受けるとき

サービスをお申し込みのお客様と同様に、相手の方が電話番号を通知してきた場合、相手の電話番号が表示されます。

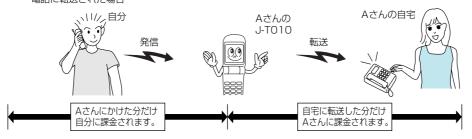
● 意図しない相手に電話番号を知られることがありますのでご注意ください。
● メモリダイヤル、リダイヤル、および着信履歴からの発信についても同様に相手に通知されます。

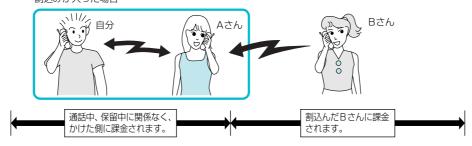
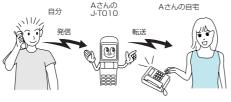
● 「184」、「186」をダイヤルしたあとにメモリダイヤルを呼出して発信することができます。また、あらかじめ、電話番号の先頭に「184」、「186」を付けてメモリダイヤルに登録することもできます（☞4-2ページ）。
● ダイヤルした電話番号に「184」、「186」を自動的に付加して発信することができます（☞12-30ページ）。[184／186付加]

関東・甲信／東海／関西地域でご契約のお客様

課金方法について

● 東北・新潟／中国／四国地域および北海道／北陸／九州・沖縄地域のお客様は13-30ページをご参照ください。

転送電話時の課金方法

例 Aさんに電話して、Aさんの自宅の電話に転送された場合

割込通話時の課金方法

例 Aさんと通話中、BさんからAさんに割込みが入った場合

三者通話時の課金方法

三者通話中／切り替え通話中

例 Aさんに電話をかけ、AさんがBさんに電話をかけた場合

通話中転送

例 Aさんが三者通話から抜けた場合

引き続きAさんへの通話料が自分に課金されます。

引き続きBさんへの通話料がAさんに課金されます。

※三者通話中または切り替え通話中に通話中転送を行って自分だけ通話から抜けても、自分から通話をかけたときは、引き続き通話料が課金されます。

東北・新潟／中国／四国地域 北海道／北陸／九州・沖縄地域 でご契約のお客様 課金方法について

● 関東・甲信／東海／関西地域のお客様は13-29ページをご参照ください。

転送電話時の課金方法

例 Aさんに電話して、Aさんの自宅の電話に転送された場合

Aさんにかけた分だけご自分に課金されます。

Aさんは自宅に転送した分だけ課金されます。

割込通話時の課金方法

例 Aさんと通話中、BさんからAさんに割込みが入った場合

通話中、保留中に関係なく、かけた側に課金されます。

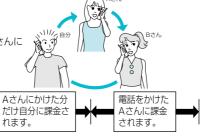
割込んだBさんに課金されます。

三者通話時の課金方法

三者通話中／切り替え通話中

例 Aさんに電話をかけ、AさんがBさんに電話をかけた場合

Aさんにかけた分だけ自分に課金されます。

電話をかけたAさんに課金されます。

転送電話サービスの課金について

● J-T010から行う転送先の登録、設定、解除の操作 ……無料
● 一般電話から行う転送先の登録、設定、解除の操作 ……無料
● 相手の方からJ-T010までの通話料金 ……電話をかけてきた相手の負担
● J-T010から転送先までの通話料金 ……お客様の負担

留守番電話サービスの課金について

● J-T010から行う設定、解除の操作 ……無料
● 一般電話から行う設定、解除の操作 ……無料
● 応答メッセージ（※）・不在案内メッセージの録音・再生 ……お客様の負担
● 伝言メッセージの再生・消去 ……お客様の負担
● 伝言メッセージの録音 ……電話をかけてきた相手の方の負担

・プッシュトーンを出せる一般電話や公衆電話から伝言メッセージの再生・消去を行った場合も、ご契約いただいているJ-T010の電話番号に対して通話料金がかかります。

※応答メッセージの録音・再生は、東北・新潟／中国／四国地域ではご利用になれません。

運転中モードの課金について

● 設定、解除、設定状況の確認 ……無料

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the J-Phone Website for the full manual or dial 157 from a J-Phone handset for Customer Service.

Safety Precautions

- To insure proper use, please read these Safety Precautions before using this product. Please keep this manual in a convenient location for future reference.
- The Operating Instructions and Instruction Manual contain important information for the safety of the user and others as well as the prevention of damage or loss to property. This material should be read closely and followed.
- When this product is used by a child, the guardian should provide proper guidance.
- Descriptions for the pictographs and symbols used in these instructions are included below. Make sure you understand them before reading the main text.

Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ Danger	This indicates that there is a strong likelihood that improper handling will lead to serious injury[1] or even death.
⚠ Warning	This indicates that improper handling may lead to serious injury[1] or death.
⚠ Caution	This indicates that improper handling poses a strong risk of injury[2] to the user or damage[3] to property.

1 Serious injury includes blindness, wounds, burns (low and high temperature), electric shock, fractures, poisoning, etc. that may require hospitalization or long-term care.
2 Injury include wounds, burns, electric shock, etc. not requiring hospitalization or long-term care.
3 Damage includes extensive damage to homes, buildings, household property as well as injuries to domestic or farm animals.

Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
🛇 Prohibited	🛇 indicates **prohibited** (restricted) actions. Prohibited actions are explained in or near the figures or symbols in pictures or sentences.
❗ Compulsory	❗ indicates **compulsory** (mandatory) actions. Compulsory actions are explained in or near the figures or symbols in pictures or sentences.

Limitation of Liability

- J-Phone and Toshiba cannot be held liable for damages or losses resulting from the use of this product during earthquakes, lightning, storms, floods, fire which beyond our control, or actions of any third party, other accidents, willful or accidental misuse by the user or use under other unusual circumstances.
- J-Phone and Toshiba cannot be held liable for incidental damages or losses (loss of profits, interruption of business, etc.) arising from use of or inability to use this product.
- J-Phone and Toshiba cannot be held liable for any damages or losses resulting from a failure to observe instructions contained in this manual.
- J-Phone and Toshiba cannot be held liable for any damages or losses resulting from malfunctions, etc., caused by connected devices or installed software not related to J-Phone and Toshiba.
- Picture data taken will be changed or erased when the product is out of order, repaired or during its handling. J-Phone and Toshiba cannot be held liable for restoration of the picture data or any damages, losses resulting from damaged picture data.
- J-Phone and Toshiba will not warrant the contents stored in memory devices regardless of the causes for disorder or obstruction. Back-up the contents periodically to reduce damages resulting from loss of the contents.
- J-Phone and Toshiba cannot be held liable for change or loss of data stored in memory card irrespective of the cause of fault or disorder.

⚠ Danger

Do not disassemble, tamper with or attempt to repair the handset, battery, charger, or memory card

It may cause fire, electric shock or loss of data stored in memory card.
Tampering with the handset violates Japanese Radio Law.
Contact the nearest **J-Phone Shop** or **the Service Center** (page 14-34).

Do not dispose the handset, battery or memory card by fire, or expose them to heat

It may cause heat generation, explosion or fire of battery, or loss of data stored in memory card. Do not attempt to dry these articles with heating device even if they got wet.

Do not use or leave the handset , battery or memory card near fire, heater or hot places

The battery may overheat, explode or ignite, or loss of data stored in memory card.

Do not expose the handset, battery or memory card to water, perspiration, seawater or other fluids

Exposing the battery to fluids may result in overheating, explosion or fire, or loss of data stored in memory card.
If submerged, promptly turn the handset power off and contact the nearest **J-Phone Shop** or **the Service Center** (page 14-34).

Do not leave the handset, charger, battery or memory card outdoors, in a bathroom or in places exposed to water

When wet, it may result in overheating, explosion or fire, or loss of data stored in memory card.

Do not place cups, vases or other objects containing fluids near the handset, charger, battery and memory card

When fluids spill, it may result in overheating, explosion or fire, or loss of data stored in memory card.

Do not drop or give the handset, battery and memory card a strong physical shock

It may cause the battery to overheat, explode or ignite, or loss of data stored in memory card.

Do not short circuit the battery terminals (metal parts) with wire or other metal materials

It may cause the battery to overheat or explode.

Do not connect a battery to the handset and charger with excessive force or with inverted (+)(-) terminals

This may cause the battery to leak, overheat, explode or ignite.

Do not carry or store the battery together with metal necklaces, hairpins, etc.

Battery may short circuit and overheat, explode, or ignite, or metal materials may overheat.

Use only the battery exclusive for use with this handset. Do not use this battery with other the handsets

Unauthorized use of the battery may result in overheating, explosion or fire.

Use only the charger exclusive for this handset Do not use this charger for any other the handset

Other chargers may cause the battery to overheat, explode or ignite.

⚠ Warning

Prohibited
Do not charge a wet battery
It may cause failure by overheating, explosion, ignition, electric shock or short circuit.
When it is covered with liquid, unplug the power plug of Rapid Charger immediately.

Do not use the handset while driving
It may result in traffic accidents.
Law prohibits using a handset while driving. Use the handset after parking your car at a permitted safety area, when you drive a car.

Do not use the handset in the places filled with combustible gasses
Gasses may ignite resulting in fire. Turn the handset power off and do not charge battery in the places filled with combustible gasses (service stations, etc.).

Do not swing the handset by holding the hand strap or antenna
This may result in injury or malfunction of the handset.

Turn the handset power off while you are close to high precision electronic devices
Interference from the handset may adversely affect the operation of such devices.
Examples of the devices:
Cardiac pacemakers, hearing aids, other medical electronic devices, fire alarms, automatic doors and so on.
When you use medical electronic devices, confirm influences of radio wave from the devices with manufacturers or distributors.

Compulsory
Remove the power plug of Rapid Charger from an outlet while the handset is not used for a long time
It may result in electric shock, fire or failure.

Compulsory
Turn the handset power off on airplanes or in the places where its use is prohibited
Turn the handset power off after canceling the setting of Petit Schedule, Action Item, Osirasekun (Reminder) or Alarm , when these functions are enabled
Interference from the handset may cause electronic devices to malfunction and consequent accident.

Check surroundings before using the phone, e-mail or camera function
They may cause fall, traffic accident if safety is not confirmed before using the handset.

Use only the designated electrical power and voltage
Wrong voltages may cause fire.
100VAC for Rapid Charger, 12V or 24VDC (for negative ground car only) for In-Car Charger (Option).

If dust is attached, unplug Rapid Charger and wipe it clean
Dust in the charger may cause fire.

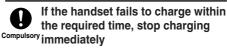
Securely fix In-Car Holder in a location that dose not obstruct driving or the safety airbag
An accident may result if its cord entangles your feet, driving devices such as pedals, etc. If In-Car Holder falls, it may startle you resulting in an accident due to sudden braking or steering. Install In-Car Holder according to the instruction manual.

Compulsory
If electrolyte fluid leaked from a battery contacted your eyes, immediately wash your eyes with large amount of clean running water and have your eyes treated by ophthalmologist
Failure to receive treatment may result in eye injury.

⚠ Warning

Turn the handset power off immediately when thunder was heard

Lightning may cause electric shock. Stop using and move to a safe place.

If the handset fails to charge within the required time, stop charging immediately

Battery may overheat, explode or ignite. Contact the nearest **J-Phone Shop** or **the Service Center** (page 14-34) for repair.

Prohibited

Do not use Mobile Flash close to eyes

It may cause visual disorder.

Compulsory

When damage to or abnormalities such as smoke or foul odors from the handset, battery and charger is detected, do the following immediately

1. When charging, unplug Rapid Charger or In-Car Charger(Option) from the outlet or socket.
2. After confirming that it is cold, turn the handset power off and remove the battery. Continued use (charging) under these conditions may cause the battery to overheat, explode or ignite or the handset to overheat.
   If abnormalities are detected, contact the nearest **J-Phone Shop** or **the Service Center** (page 14-34).

Compulsory

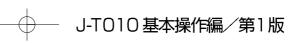
Using the handset near someone with an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, or near electronic medical equipment may cause interference from radio waves

Observe the following guidelines

1. Keep the handset 22 cm or more away from the place where cardiac pacemakers or defibrillators are implanted, when carrying or using it.
2. Individuals with implanted cardiac pacemakers or defibrillators may be near to you in crowded trains and other such places, therefore the handset should be turned off in such places.
   Radio waves may adversely affect the operation of such devices.
3. Follow the following precautions in medical institutions.
   - Do not bring the handset into operating rooms, intensive care units (ICU) or coronary care units (CCU).
   - Turn the handset power off in wards.
   - Turn the handset power off when there is electronic medical equipment installed near even if you are in a lobby.
   - Observe the instructions of medical institutions that may prohibit use, carrying in, etc. of the handsets in certain locations.
   - If Petit Schedule, Action Item, Osirasekun (Reminder) or Alarm is set, cancel the settings before turning the handset power off.
4. When using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemakers and defibrillators outside of medical institutions (such as at home), check with the manufacturer about possible interference by radio waves.

The above information conforms to “The principals on use for mobile phones, etc., to prevent radio wave interference with electronic medical devices.” (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1998) and also refers to the contents of “The investigative research report on the influence of radio waves on medical devices” (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

⚠ Caution

Prohibited

Do not use or leave the handset, battery or memory card in the places where they are exposed to strong direct sunlight or in hot places such as inside of cars under hot sunlight, etc.
It may cause battery to overheat or ignite, or loss of data stored in memory card.

Prohibited

Do not place a battery, charger or memory card within reach of infants
It may result in accidents or injury.
If an infant swallows a memory card erroneously, it may cause suffocation.

Prohibited

Do not allow the battery terminals (metal areas) to short circuit with wires or other metal objects
It may cause overheating and burns.

Prohibited

Do not pull the cord when unplugging Rapid Charger or In-Car Charger(Option) from the outlet or socket
It may damage the cord causing overheating or fire.
Unplug by holding the plug of the cord.

Prohibited

Do not pull, bend, wrap or place objects on Charger cord. Keep the cord away from hot items or heating devices
Damage to the cord may cause overheating, fire or burn.

Wet Hands Prohibited

Do not plug-in/unplug your Rapid Charger with wet hands
It may cause electric shock.

Prohibited

Keep media with magnetic strips away from the handset
Data on cash cards, credit cards, telephone cards or floppy disks etc. may be erased or damaged.

Prohibited

Do not insert metal piece, flammables or other foreign materials ,or pour liquid such as water into the slot of memory card
It may cause fire, electric shock, or fault.

Prohibited

Do not use the handset when it causes effects on electronic devices in your car
It may cause effects on car electronic devices depending on kind of cars in use.
Do not use the handset, otherwise it may cause effects on your safety drive.

Prohibited

Do not leave the handset on unstable surfaces
Falling the handsets may cause injury or damage to the handset itself.
Pay special attention while a vibrator is being set.

Prohibited

Do not dispose of batteries with daily refuse
Dispose of used batteries individually, taping over the terminals beforehand, or take them to the nearest **J-Phone Shop**. If your area collects batteries separately, follow local regulations for their disposal.

Prohibited

Do not touch with wet hands or put into a pocket of clothes wet with sweat
It may cause overheating or failure.

Prohibited

Do not use the handset in crowded places
Antenna may cause injury or discomfort of other person due to unintended hitting with antenna.

Prohibited

Do not use In-Car Charger (Option) while car engine is stopped
It may cause battery of your car worn out.

Compulsory

If the fuse for the In-Car Charger blows out, replace it with a designated fuse
If the fuse is replaced with an undesignated fuse, it may cause overheating or fire.
Refer to the instruction manual of the In-Car Charger for the replacement of fuse.

⚠ Caution

Compulsory

If battery fluid contacts your skin or clothes, wash immediately with clean water

Battery fluid will cause skin irritations or others.

Compulsory

If you experience skin irritation, immediately stop using the handset and consult a dermatologist

The following materials and surface treatments have been used in the handset.
In rare cases, some of these materials may cause itching, rashes, eczema, etc. depending on one's predisposition and physical condition.

Part/Handset Location	Applied Materials, Surface Treatments
Antenna	PC, ABS Resin
	Brass/Chromium Coating (Nickel Undercoat)
	Nylon
	PBT Resin
	Aluminum/Nickel Coating
Hinge Cap, Side Keys	ABS Resin/Chromium Coating (Nickel/Copper Undercoat)
Outer Housing (Earpiece, Keypad)	PC Resin/Ultraviolet Cured Acrylic Coating
Outer Housing (Antenna, Battery Cover, Sub Display)	PPE, PS Resin/Ultraviolet Cured Acrylic Coating
Multi Selector	Chromium Coating (Nickel/Copper Undercoat)/PC, ABS Resin (2 color molding)
Soft Keys	Chromium Coating (Nickel/Copper Undercoat)/ABS Resin
Operation buttons except Multi Selector, Soft Keys, Side Keys	PC Resin
Side Keys	Chromium Coating (Nickel, Copper Undercoat) / ABS Resin (2 color molding)
Display Panel, Sub Display Panel	Acrylic Resin/Ultraviolet Cured Acrylic Ink Surface: Acrylic Resin
Call Alert Lamp	Acrylic Resin
Mobile Camera Panel	Chromium Coating (Nickel/Copper Undercoat) /PC, ABS Resin Ultraviolet Cured Acrylic Coating
Mobile Flash Panel	Acrylic, ABS Resin
Memory Card Slot Cover	Polyester Elastomer Resin
External Interface Connector Cap Earphone Jack Cap	Polyester Elastomer Resin
Battery Charger Connector	Stainless/Gold Coating (Nickel Undercoat)
Screw	Steel/Nickel coating (Copper Undercoat)
Screw Cap	Polyurethane Resin
Screw Cover (above Display)	Acrylic Resin/Ultraviolet Cured Acrylic Ink
Screw Cover (below Display)	PPE, PS Resin/Ultraviolet Cured Acrylic Coating

Compulsory

Before using the handset be sure that no metal objects (such as pins, etc.) are stuck to the speaker area

It may result in accidents such as injury.

Compulsory

Pay attention on call receiving vibrator (vibration) or setting of call receiving volume

It may cause effects on your heart.

Compulsory

Pay attention not to pinch your fingers or materials when closing the handset

It may cause injury or broken the handset such as broken LCD screen.

⚠ Caution

Prohibited

Do not touch the terminals (contact plane) of memory card or make it short-circuited
It may cause loss of data and fault of the memory card due to static electricity.
Wipe the dust or debris on the contacts off with dry and soft cloth.

Prohibited

Do not put memory card in a place close to corrosive chemicals or where corrosive gas is generated
It may cause the loss of data or fault of the memory card.

Prohibited

Do not give vibration or impact to the memory card while writing or reading data
Do not remove the memory card from the handset while writing or reading data
Do not turn the handset power off while writing or reading data
These actions may cause loss of data or fault of the memory card.

Compulsory

Be sure to confirm that there is no necessary information or files left in the memory card when initializing
Otherwise internal data will be lost.

Prohibited

Do not apply excessive force on a memory card when removing
Otherwise your hand or fingers may get injured.

Prohibited

Do not bend a memory card or apply heavy weight on it
It may cause loss of data or fault of the memory card.

Handset Usage Guidelines

Using Your Handset

- The product uses radio waves. Signals may be disrupted, even within its service areas, if you are indoors, underground, inside a tunnel or moving.
  When you move to the places where its transmission is poor during a call, it may be abruptly terminated.
- Please be careful not to cause inconvenience of other people when using the handset in public places.
- The handsets are radios under the Wireless Telegraphy Act.
  By law, the handsets are subject to inspection.
- Using the handset near fixed line phones, TV or radio may affect their sound and image quality.
- The handset employs a digital system to maintain a high level of communication quality down to the limit of weak signals, however, calls may be terminated abruptly when signal strength becomes lower than this limit.
- The digital system has a high level of privacy, however there is a possibility of eavesdropping due to use of radio waves.
- The handsets are designed for domestic use and cannot be used outside Japan.
  This product is exclusively for use in Japan.
- Recorded data may be changed or lost under the following occasions.
  The recorded data may be changed or lost in the following occasions, we cannot be held liable for changed or lost data.
  When used in a wrong way.
  When exposed to dielectric or electric noise.
  When unplugged while operating.
  When battery charge is depleted or completely exhausted.
  When becomes out of order or repaired.

Inside Vehicles

- Using the handset while driving is prohibited by law.
- Do not park your car in prohibited areas to use the handset.

Onboard Aircraft

- Do not use the handset onboard an aircraft.
  Turn the handset power off (Cancel Petit Schedule, Action Item , Osirasekun (Reminder) and Alarm functions before turning off the power).

Handset Basics

- Do not use the handset in extreme temperatures, direct sunlight or dusty places.
- Do not drop the handset or subject it to physical shock.
- To clean, wipe with a dry, soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents.
  They may cause discoloration and remove printed characters.
- Take care not to expose the handset to rain, snow or high humidity.
- The handset is a precision wireless communication device.
  Do not attempt to disassemble or modify.
- Do not sit down with the handset in your pants pocket.
- If the battery is removed for a long time or the handset was left too long without enough remaining charges in the battery, registered data and settings may be erased or altered.
  J-Phone and Toshiba cannot be held liable for any damages or loss from such an occurrence.
- The screen of the handset may have some display elements missing or remaining lit due to its characteristics.
  This is not a defect or malfunction.
  When it displays the same picture for a long period, an afterimage may be permanently burned into it.

- Be sure that the earphone microphone is securely plugged into its terminal. If not, it may generate noise to your recipient during calls.
- Do not close the handset with the hand strap inside. This may cause malfunction or damage.
- In general, the sensitivity is reduced if you touch the antenna of the handset. Be sure not to touch the antenna during use.

Mobile Camera

- Do not leave the camera lens exposed to direct sunlight. Concentrating sunlight function of lens may cause the handset to malfunction.

Mobile Flash

- Do not use the flash in the environment with rich moisture.
- Mobile flash has life. Repeated flashing decreases luminous energy of the flash to give dark picture.
- Use of mobile flash in a hot or cold environment could cause short lifetime of the flash.

Memory Card

- Use only the memory card specified by the manufacturer of the handset. Otherwise it may cause the fault of the handset.
- Memory card includes non-volatile semiconductor memory (NAND type flash EEP-ROM). The data in the memory is not erased in an ordinary use, however, erroneous use of the memory card could cause the loss or change of the data.
- Memory card is equipped with security function to protect copyright. To use this security function, compatible equipment and software are needed. Refer to the manual of the equipment and software.
- Memory card is a storage media in conformity with Secure Digital Music Initiative (SDMI) standard that protects the copyright of authors. The memory card uses a part of its storage area for the system area. This makes the available memory capacity smaller than indicated.
- Please refer to the instruction manual of the equipment to use the memory card for the installing and removing.
- Be sure to format the memory card with J-T010, for example formatting it with PC. Otherwise, the memory card will be unserviceable.
- Keep the handset in an attached soft case dedicated for the handset to protect it from physical damages when carrying or in storage.
- It is not a fault even if a memory card removed from the handset may be warm after long use.
- Do not use or store the handset in an environment with strong static electricity or electric noise.

Copyrights

- Music, images, computer programs, databases and others are copyrighted materials and respective copyright holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted material is permitted only for use by the individual or household.
  Exceeding these restrictions when making copies (including data conversion), modifications, transferring or distributing copies on networks without proper authorization constitutes Literary Piracy and Copyright Infringement.
  Criminal punishment or claims for reparations may be filed.
  If you make copies using this product, observe copyright laws.
  Moreover, recording materials using the camera function is also subject to the same restrictions.

Right of Portrait

- Right of Portrait is the right to claim not to be photographed without permission, or his or her photograph taken not to be publicized or utilized without permission. Right of Portrait is composed of personal right that is admitted to every one and property right (publicity right) focused on economical profit of entertainers, actors/actresses, and so on.
  Please be careful not to violate the law by photographing and publicizing the photo of other persons, entertainers or actors/actresses without permission when using photographing function of the handset.

Handset Parts and Functions

The handset display is covered with a protective film at the time of purchase. Be sure to remove this film before using your new handset.

Earpiece

Menu Key
Opens Multi Menu, etc.

Multi Selector
Opens Function menu and Phone Book. Also, acts as a camera shutter-release, etc.

ʃ/ Key
Accesses J-Sky Services (Mail, Web, Station, Java™ applications), camera, etc.

Start Key
Makes and answers calls.

Schedule/Text/ Lowercase Key
Opens Entry Menu. Use to change text input mode, check Schedule, etc.

⁎/Symbol/ Key
Enters ⁎, accesses symbols, toggles between Display and Sub Display for camera image, etc.

Microphone

Display
Displays current status, messages, etc.

/ Key
Accesses mail and Video.

Power/End Key
Turns power on/off, ends calls, ends operations, returns to Standby Display, and places calls on hold. (This key protrudes less than others to prevent it being pressed unintentionally.)

Clear Key
Deletes phone numbers, text, etc. and returns to the previous screen.

Shortcut
Accesses Shortcut Menu.

Key Pad
Enters phone numbers, text, etc.

#/ /Manner Mode Key
Enters #, sets Manner Mode, etc.

External Connector
Accepts Rapid Charger and other equipment.

Abridged English Manual

14

Call Alert Lamp
Flashes red for incoming calls, illuminates red during charging, and turns off when charging is complete.

Sub Display
Displays images and notifies of incoming call, mail, Web, and Station information.

Mobile Flash
Used for indoor and night photography, and functions as a penlight in Standby.

Mobile Camera
Captures images.

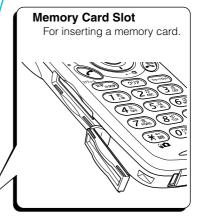
Strap Attachment Eyelet

Rear Speaker

Charger Contacts
For charging handset in Desktop Holder.

Illumination
Flashes for missed calls, unread mail, during camera use, etc.

Antenna

Memory Card Slot
For inserting a memory card.

Earphone Jack
Accepts earphone/micro-phone headset with switch (optional).

Upper Side Key
Operates video zoom, sets Voice Recorder, plays messages, etc.

Lower Side Key
Operates shutter-release or Mobile Flash, and can be set to activate camera, video, etc.

Attaching Hand Strap
Thread the small loop through the attachment eyelet on the handset and pass the other end of the strap through the loop, as shown in the picture.

Display Indicators

The following indicators appear on the Display.

Signal Strength
: Strong : Moderate
: Weak : Faint

Offline Mode
Offline Mode is set.

Out-of-Range
No connection for calls, mail, etc. can be established.

Silent Mode
Manner Mode is on and set to Silent Mode.

Alarm Clock Mode
Manner mode is on and set to Alarm Clock Mode.

Original Manner Mode
Manner Mode is on and set to Original Manner Mode.

Vibration/Silent Mode
Appear when Original Manner Mode is on and Original Manner Mode is set as follows:

- Vibration for incoming calls is not set to ***Off***.
- The volume level for incoming call ring tone is set to ***Silent***.

Alarm
Alarm Clock is set. appears when snooze is set.

Voice Mail
You have Voice Mail at Voice Mail Center.

Battery Level

: Full : Moderate : Low : Very Low : Charge Immediately

Flashes during charging.

Call-in-Progress

Displayed during a call.

Java™

Appears when a Java™ application is active. appears when a Java™ application is paused.

Memory Card

Appears when a memory card is inserted. Flashes when the memory card is being accessed.

Lock

Secret mode is selected.

Web

You have unread Web information.

Mini Clock

Mini Clock is set.
AM or PM appears when the 12-hour system is set.

Station

You have unread Station information or Main List is being updated.

Mail/Delivery Report

You have unread Sky Mail or Greeting message(s).
You have unread Delivery Report(s).
You have unread Sky Mail/Greeting message(s) and unread Delivery Report(s).
appears when there is insufficient memory to receive messages.

Long Mail

You have unread Long Mail message(s).

▷ **Weather**

Appear if Weather is set.

Side Key Lock

Side Key lock is set.

Schedule

You have scheduled events today.

Missed Call

Incoming call(s) were unanswered.

Voice Recorder

Voice Recorder is set. appears when there are unchecked message(s) and appears when there is insufficient memory to record a message.

Sub Display Indicators

The following indicators appear on the Sub Display. Confirm information and settings without opening the handset.

In Standby Mode			
● Standby Display	9/ 1MON. 12:30	● Standby Display when there are missed calls, etc.	1 2 UnreadMSG

Receiving a Call					
● Caller's number is not saved in Phone Book	03123XXXX1	● Caller's number is saved in Phone Book	Smith	● Handset's number display is Off	Call
● No Caller ID	User Unset	● Call from payphone	Pay Phone	● Caller ID is not supported	Not Supported

Abridged English Manual

14

Multi Selector

Use Multi Selector to perform various tasks.

<table>
<tr><th colspan="2">Function</th><th colspan="3">Notation used in this manual</th></tr>
<tr><td></td><td>● Opens Functions menu
● Scrolls or moves cursor right
● Selects and implements selected operations</td><td>Press right button</td><td rowspan="2">Press left or right button</td><td rowspan="4">Press up, down, left, or right button</td></tr>
<tr><td></td><td>● Opens Phone Book
● Scrolls or moves cursor left
● Redisplays the previous screen</td><td>Press left button</td></tr>
<tr><td></td><td>● Displays Received Calls
● Scrolls or moves cursor up
● Increases volume</td><td>Press up button</td><td rowspan="2">Press up or down button</td></tr>
<tr><td></td><td>● Displays Redial
● Scrolls or moves cursor down
● Decreases volume</td><td>Press down button</td></tr>
<tr><td></td><td>● Selects and implements selected operations
● Used to capture images, record videos and record sound.</td><td colspan="3">Press center button</td></tr>
</table>

Cursor

The cursor appears as or when text can be entered, or as in the Functions menu.

Codes

The handset requires a PIN or Center Access Code for some functions.

PIN

PIN is either 9999 or the four-digit number that you selected when you signed your contract.

Do not forget or reveal your PIN to others.

Change PIN on your handset.

Center Access Code

Center Access Code is the four-digit number that you wrote on your subscription form.

- Do not forget your Center Access Code. If you do forget your Center Access Code, contact the Service Center (☞ page 14-34).
- Do not reveal your Center Access Code to others. J-Phone will not in any way be held responsible for any damage caused as a result of a third party's knowledge of your Center Access Code.

Using Rapid Charger

1 Connect Rapid Charger to the handset

Ensure that the print on Rapid Charger connector is facing upwards.

2 Insert Rapid Charger plug into a 100 V AC outlet

Illumination lights for approximately 2 seconds after the plug is inserted.
Battery Level indicator flashes and Call Alert Lamp lights red during charging.

3 After Call Alert Lamp goes out, remove Rapid Charger plug from the outlet

Charging takes approximately 110 minutes.

4 Remove Rapid Charger connector from the handset

Press the lock buttons on both sides of the connector when removing it.

Basic Handset Operations

Turning Power On

Press for 2+ seconds

Standby Display appears.

Turning Power Off

Press for 1+ seconds in Standby mode

Changing Display Language to English

1 **Press 3 5 and use to select *English***
2 **Press**

The display language changes to English and Standby Display returns.

Select 日本語 in Step 2 to return the display language to Japanese.

Displaying Handset Number

Press

Setting Time & Date

1 **Press 5 9**
2 **Press**
3 **Enter year, month, day, and time**

Enter just the last two digits for the year.

4 **Press**

Making a Call

1 **Confirm that the power is on**
2 **Dial a phone number**
3 **Press**
4 **To end the call, press**

Making an International Call

ex. Calling Britain

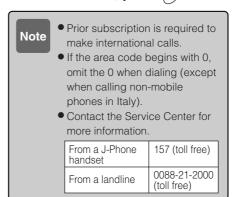
1 **Press 4 4 (country code)**
2 **Dial a phone number**
3 **Press Global**

International Short Code (0046010) is added automatically.

4 **Press**
5 **To end the call, press**

Note

- Prior subscription is required to make international calls.
- If the area code begins with 0, omit the 0 when dialing (except when calling non-mobile phones in Italy).
- Contact the Service Center for more information.

From a J-Phone handset	157 (toll free)
From a landline	0088-21-2000 (toll free)

Redialing a Number

1 **Press and use to select the number**
2 **Press**
3 **To end the call, press**

Abridged English Manual

14

Answering a Call

1 A call arrives

The handset rings/vibrates and Call Alert Lamp flashes.

2 Press to answer the call

3 To end the call, press

Confirming Total Call Charge

1 Press
Note

The displayed charge serves as a reference and may differ from the actual charge billed.

Confirming Total Call Time

1 Press
Note

The displayed time serves as a reference and may differ from the actual call time.

Placing a Call on Hold

1 A call arrives

The handset rings/vibrates and Call Alert Lamp flashes.

2 Press to place the call on hold

A message announces that you are unable to answer the call at the moment in Japanese.

3 Press to establish a connection

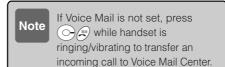
4 To end the call, press

Missed Calls

When unable to answer a call, the caller can leave a message in the handset (Voice Recorder) or at Voice Mail Center (Voice Mail), or the call can be forwarded to a designated number (Call Forwarding).

Function/Service	To Set	To Cancel
Voice Recorder	Press Upper Side Key for 1+ seconds.	Press Upper Side Key for 1+ seconds.
Voice Mail	Press 7 2 ●.	Press 7 3 ●.
Call Forwarding	Press 7 1 ●, enter a phone number, and press ●.	

Note

If Voice Mail is not set, press while handset is ringing/vibrating to transfer an incoming call to Voice Mail Center.

Confirming Received Calls

1 Press to display the phone numbers of the two most recent calls

2 Press to display the phone number of a preceding call

Calling a Number in Received Calls

1 Press and use to select a phone number

2 Press to place the call

Abridged English Manual

14

Manner Mode

Select from among the following three modes.

Silent mode	All sounds except shutter release sound are turned off.
Alarm mode	All sounds except Alarm Clock and shutter release sounds are turned off.
Original Manner mode	Customize your own Manner Mode.

Setting/Canceling Manner Mode

1 Press # for 1+ seconds

Selecting Manner Mode

ex. Setting to Alarm mode.

1 Press ○- 1 6 and use ◯ to select *Alarm*

2 Press

Entering Characters

From a character input window, perform the following steps to enter characters.

Changing to English Input Mode

1 Press 文字/小文字 and use ◎ to select ⓐ for lowercase letters and Ⓐ for uppercase letters

2 Press ●

Entering Text

ex. Entering the word "dog"

1 Select Lowercase mode

See "Changing to English Input Mode" (above).

2 Press 3 ◎ to enter "d"

3 Press 6 three times, then ◎ to enter "o"

4 Press 4 ◎ to enter "g"

Note

To enter a symbol, press ＊ and use ◎ to select. Then press ●.

Symbols										
、	。		，	．	・	：	；	？	！	゛
゜	´	＾	～	＿	ー	／	｜	’	”	（
）	［	］	｛	｝	「	」	＋	－	＝	<
>	￥	＄	％	＃	＆	＊	＠			

Key Assignment

Key	Press once	Press twice	Press three times	Press four times	Press five times
1	.	@	-	_	1
2	a	b	c	2	
3	d	e	f	3	
4	g	h	i	4	
5	j	k	l	5	
6	m	n	o	6	
7	p	q	r	s	7
8	t	u	v	8	
9	w	x	y	z	9
0	~	/	?	!	0

Abridged English Manual

14

Phone Book

Enter the following in each Phone Book entry.

Name and reading	Memo
Two e-mail addresses	Street address
Two phone numbers	Birthday

Select a picture and group, and set various options to customize each Phone Book entry.

Creating & Modifying a Phone Book Entry

Creating a Phone Book Entry from a Name

1 Press

PH Book (Name) is highlighted.

2 Press ● and enter a name

See "Entering Text" (☞ page 14-23).

3 Press ● and use to select *Phone No.*

4 Press Edit and enter a phone number

5 Press ● and use to select *E-mail Address*

6 Press Edit and enter an address

7 Press ● COMP

Editing a Phone Book Entry

1 Press Mode and use to select *List*

2 Press ● and use to select an entry

3 Press ● and use to select a field

4 Press Edit

5 Edit the field

6 Press ● COMP

Creating a Phone Book Entry from Received Calls

1 Press and use to select a phone number

2 Press MENU Menu to open Sub Menu

New PH Book is highlighted.

3 Press ●

4 Press Edit and enter a name

See "Entering Text" (☞ page 14-23).

5 Press ● and use to select *E-mail Address*

6 Press Edit and enter an address

7 Press ● COMP

Calling from Phone Book

Searching from List

1 Press

2 Press Mode and use to select *List*

3 Press ● and use to select an entry

4 Press

Searching by Name

1 Press

2 Press Mode and use to select *Readings*

3 Press ● and enter a name

See "Entering Text" (☞ page 14-23).

4 Press ● to search for a matching entry

5 Press

Abridged English Manual

14

Camera & Video

Before Using Camera
- Images are saved in JPEG format.
- Any handset movement while capturing images may result in blurred images. Hold the handset as steady as possible or place it on a firm surface and use the timer.
- Fingerprints, grease, dust, etc. on the lens will affect focusing. Wipe the glass with a soft cloth before use.
- Avoid blocking the lens with such things as a finger, hand strap, or antenna.
- Under certain conditions, the captured images may be too bright or dark.
- Use Mobile Flash for capturing images in dark locations.

Capturing Images

Capture and save still images with the built-in camera. The following two modes are available.

Sha-mail Mode Use this mode to set captured images as Wallpaper or send as attachments.
Camera Mode Use this high-resolution mode to output images to external devices such as computers.

ex. Shooting in Sha-mail Mode

1 Press MENU and use ⊕ to select *Camera/Video*

2 Press ●

She-mail is highlighted.

3 Press ●

Frame the subject.

4 Press the lower Side Key

The shutter clicks and the image is captured.

5 Press Entry

The image is saved to Picture folder in Data Folder. The date and time of recording are entered as the file name. (ex. A picture taken at 15:30 on September 1st, 2003, is saved as “03-09-01_15-30”.)

Shooting Videos

The following two modes are available for capturing and saving video using the built-in camera.

Video Mode (Handy Video Mode) Use this mode to record up to 4 minutes and 8 seconds (when saving to the handset) of video. Edit recorded videos by adding an opening title, sound effects, music, etc.
Sub LCD Mode Use videos recorded in this mode as an incoming-call video on Sub LCD etc. Record up to 10 seconds of video.

ex. Shooting in Handy Video Mode

1 Press MENU and use ⊕ to select *Camera/Video*

2 Press ● and use ⊕ to select *Video*

3 Press ●

Position handset to frame the subject.

4 Press the lower Side Key

A tone sounds and recording starts.

5 Press Stop

A tone sounds and recording stops.

6 Press Entry

The video is saved to Video folder in Data Folder. The date and time of recording are entered as the file name.

Abridged English Manual

14

Using Memory Cards

Save images, videos, downloaded information, Data Folder files and other data to memory cards. Export Phone Book entries, Owner Info and other data/settings to memory cards.

The memory card included with the handset contains Data Folder, Camera Folder, and Dictionary by default.

Default Folders	Description	File Format	Extension
Camera Folder	Images captured in Camera Mode are saved to this folder.	JPEG file	jpg
Data Folder	Save images and videos captured with the handset, downloaded information, Data Folder files and other data.* The following folders are included by default: Picture, Melody, Animation, Video, Recorder, Database and Etc	JPEG file	jpg, jpe, jpeg
		PNG file	png
		Melody file	smd
		SMAF file/40-chord SMAF file	mmf
		Video file	tom, tor
		Voice file	tvv, tvs
		Database file	pdb
		Text file	txt

* Original ring tone, data downloaded from J-T ClubSite and some data downloaded from the Web cannot be exported to memory cards.

Using Dictionary

Dictionary contains a Japanese dictionary, English to Japanese dictionary, Japanese to English dictionary and word games (available in Japanese only).

ex. Accessing English to Japanese Dictionary

1 Press MENU and use ◎ to select *Dictionary*

2 Press ● and use ◎ to select *E-J Dictionary*

3 Press ● and enter a word

4 Press ● and use ◎ to select a word

5 Press ●

Tip

- The handset may not be able to write or read data to/from the memory card when battery power is low.
- Do not remove the memory card or battery while writing or reading data to/from the memory card.
- The handset cannot make/receive calls or send/receive mail while writing or reading data to/from the memory card.
- To access data on other memory card compatible J-Phone handsets or computers, save files in JPEG format (DCF standard).

Exporting & Importing Data

Exporting Data

ex. Exporting Phone Book Entries

1 Press MENU and use to select *Memory Card*

2 Press and use to select *Move*

3 Press

PIN input window appears.

4 Enter PIN

Export is highlighted.

5 Press

Choice is highlighted.

6 Press

Phone Book is highlighted.

7 Press Check

A checkmark is added to *Phone Book*.
・To backup multiple items at once, checkmark the item(s).

8 Press **COMP**

A message appears informing that a File Code will be required.
・File Code is required each time data is exported. Set any 4-digit number. This Code is required when importing the data.

9 Press

10 Enter File Code

A caution message appears.

11 Use to scroll down

12 Press

Backup data name appears when data export is completed.
・The date and time are used as the data name.

Importing Data

1 Press MENU and use to select *Memory Card*

2 Press and use to select *Move*

3 Press

PIN input window appears.

4 Enter PIN

5 Use to select *Import* and press

Backup data appear in thumbnail view.

6 Use select a data file and press

File Code input window appears

7 Enter the File Code used when the data was exported

A caution message appears.

8 Use to scroll down

9 Press

Importing data is completed.

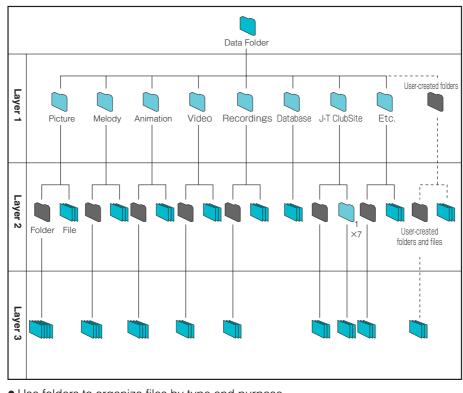
10 Turn the handset power off then on

> **Tip**
> **The following data/settings can be exported to memory cards:**
> Phone Book entries, Schedule entries, Action Item entries, Manner Mode settings, User Dictionry entries, Owner Info, Alarm Clock settings, Short Memo entries (with fixed text), Reject List, Address History (URLs).
> **The following data/settings cannot be exported to memory cards:**
> Incoming illumination setting, Incoming ring tone setting, Incoming Display setting, Incoming Sub Display setting, Mail links, Alarm tones setting, Time-up image setting, Private Mode settings, Java™ Library data and mail settings.

Data Folder

By default, there are eight folders inside Data Folder: Picture, Melody, Animation, Video, Recordings, Database, J-T ClubSite, and Etc. Create new folders to store data such as images, melodies, and files downloaded from a special J-T010 site. A total of up to 1,000 files and folders with up to 8 MB of data can be stored. Send the stored data as Long Mail attachments.

Configuration of Data Folder

Data Folder has three layers, as shown below.

- Use folders to organize files by type and purpose.
- are default folders.
- are new folders.
- Folders are stored in layers 1 and 2 and files are stored in layers 2 and 3.
- Files can be moved from one folder to another.

[1] There are seven folders at layer 2 in J-T ClubSite folder: Frame 1, Frame 2, Frame 3, Video Frame, Video Title, Video End, and DB Cover.

Files Storable in Data Folder

The following shows the types of files that can be stored in each folder in Data Folder.

Folder (Layer 1)	File Format	Icon	extension	Display/ Playback	Mail Attachment
Picture	JPEG file		.jpg、.jpe、.jpeg	✓	✓
			.jpz	✓	
	PNG file		.png	✓	✓
			.pnz	✓	
Melody	Melody file[1]		.org	✓	✓
			.smd	✓	✓
			.smz、.smx	✓	
	SMAF file		.mmf	✓	✓
	40-chord SMAF file				
Animation	JPEG animation file		—	✓	✓
	PNG animation file		—		
	PNG/JPEG animation file		—		
Video	Video file		.tom、.tor	✓	
Recordings	Vox file		.tvv、.tvs	✓	
Database	Database file		.pdb	✓	
J-T ClubSite[2]	PNG file		.png	✓	✓
Etc. or folders that you create[3]	Text file		.txt	✓	
	Files of unknown type		.bmp, etc.		
			—		

1: A Melody file (: original ring tone) attached to a mail message, is converted to SMAF file ( ) format.
2: Store frames downloaded from a special J-T010 site in J-T ClubSite folder.
3: Files that can be stored in the Picture, Melody, Animation, Video, and Recordings folders can also be stored in the Etc. folder and new folders created in layer 1. A new layer-2 folder created within a layer-1 folder can only contain the same types of data as the layer-1 folder.
For example, only JPEG ( ) and PNG ( ) files can be stored in a folder created in the Picture folder. As files of any type can be stored in the Etc. folder and new layer-1 folders, folders created within these folders can also store files of any type.

Optional Services

Call Forwarding

Forward calls to another phone number when the handset is out of range, Offline Mode is set, you do not have the handset with you etc. The phone number to which calls are forwarded must be set beforehand.

Voice Mail

This service enables callers to leave messages at Voice Mail Center when the handset is out of range, Offline Mode is set, or you are unable to answer calls. (Charges apply for checking messages.)

Drive Mode

Use this service to automatically play a message to inform callers you are unable to answer the call because you are driving. The ring tone does not play when this service is set. If you are subscribed to Voice Mail Service, callers can leave messages.

- This service is currently unavailable to subscribers in Kanto/Koshin, Tokai, and Kansai regions.

Call Waiting

Use this service to put a call on hold and answer another call.

- A monthly subscription fee is required.

Three-way Calling

Switch back and forth between two calls and/or talk to both callers at the same time.

- A monthly subscription fee is required.

Caller ID

This service sends Caller ID to recipient's handset.

- Your handset is set to send Caller ID unless you requested otherwise at time of subscription. For further details, contact the Service Center (☞ page 14-34).

Functions List

Use ◯ to search, confirm, and modify functions.

■Sounds

No.	Function	See Page
F10	Set ring tone	5-3
	Adjust ring tone volume	5-6
	Set Vibration	5-7
F13	Set Power-on tone	5-23
	Set key tone	5-24
	Set opening/closing tone.	5-24
F14	Adjust volume	5-21
F15	Original Ring Tone	5-12
F16	Select Manner Mode	5-8

■Administration

No.	Function	See Page
F20	Set Keypad Lock	6-2
F21	Turn Auto Lock on/off	6-3
F22	Turn Secret Mode on/off	4-30
F23	Turn Phone Book Lock on/off	6-4
	Prohibit Keypad Dial on/off	6-4
	Reject all incoming calls	6-4
F24	Set Offline Mode to prohibit signal reception and transmission	6-5
F25	Reset all settings	6-6
F26	Reject specific incoming calls	6-7
F27	Clear memory	6-11
F28	Change PIN	6-12
F29	Reset all functions to default settings	6-13

■Setup

No.	Function	See Page
F30	Access Guidance	12-24
F31	Confirm memory status	4-15
F32	Set automatic call answering	12-25
F33	Set power saving	12-26
F34	Adjust display (panel) light brightness/set power-off time	7-2
F35	Change display language	7-4
F36	Set open to answer calls	12-28
F37	Change group settings	4-16
F38	Set Quality Alarm to alert of weak signal	12-29
F39	Assign a function to Side Key	12-37

■Sound Recording and Setup

No.	Function	See Page
F40	Confirm number of Voice Recordings and Voice Memos	12-16
F41	Delete all Voice Recordings and Voice Memos	12-19
F42	Set Voice Recorder ring time	12-16
F43	Personal dictionary	12-12
F46	Enter personal data	12-10
F47	Select design for indicators/icons, Multi Menu, etc.	7-21
F49	Select Wallpaper and other images	7-5

■Clock and Alarm

No.	Function	See Page
F52	Set Alarm Clock	11-52
F59	Set Clock	2-3

■Call Times and Charges

No.	Function	See Page
F60	Total call charge	2-11
F61	Call charge for last call	2-11
F62	Total call time	2-12
F63	Call time for last call	2-12

■Optional Services

No.	Function	See Page
F70	Set ring time before calls answered or forwarded [3]	13-12
F71	Forward calls to a different phone	13-3
F72	Set Voice Mail	13-5 13-7 13-9
F73	Cancel Call Transfer and Voice Mail	13-13
F74	Confirm On/Off status of Call Transfer and Voice Mail	13-14
F75	Set/cancel Call Waiting [2, 3]	13-22
F76	Confirm Call Waiting setting [2, 3]	13-23
F77	Change International Short Code	12-23
F78	Start Three-way Calling[1]	13-26
	Break off your connection from Three-way Calling [1, 2, 3]	13-27
F79	Add 184 to switch Caller ID off or 186 to switch Caller ID on	12-30

■Others

No.	Function	See Page
F0	Display handset number	2-13
Extended press of F	Set/cancel Side Key Lock	6-15
F + Clear/ Key	Reject a call [4]	2-8
F + Power/ End Key	Transfer a call to Voice Mail Center [2, 3, 4]	13-6
F +Text/ Lowercase Key	Cancel Snooze	11-52

1: If pressed during a call.
2: Currently unavailable in Hokkaido, Hokuriku and Kyushu/Okinawa service areas.
3: Currently unavailable in Tohoku/Niigata, Chugoku, and Shikoku service areas.
4: If pressed when a call is being received.

Main Specifications

J-T010

Weight	Approx. 109 g (without a memory card)
Continuous talk time	Approx. 120 min
Continuous standby time	Approx. 350 hours (when handset is closed)
Dimensions (W×H×D)	Approx. 48 mm x 95 mm x 26 mm (when handset is closed)
Maximum output	0.8 W

Mobile Camera

F-stop	2.8
Focal distance	2.23 mm
Shutter speed	1/5 to 1/5,000 sec (electronic shutter)
Lens	Fixed focus (minimum 30 cm)

- **The above values were calculated when the battery was attached.**
- **Continuous talk time refers to the average time calculated for how long a signal can be received normally when the phone is in a stationary state, has a new fully charged battery attached, and Power Save (During Call) is set to Off.**
- **Continuous standby time refers to the average time calculated for how long a signal can be received normally when the handset is closed and in a stationary state, has a new fully charged battery attached, and there are no calls made or operations performed. If the phone is in a location outside the service area or where it is difficult to receive a signal (for example, in a building, vehicle, or bag), this time may be reduced by up to half. This time may also be affected by other factors such as the operating environment (battery state, temperature, etc.).**
- **The operating time of the battery was calculated when a stable signal was received constantly. However, this time is reduced by up to half if the handset is used in a location where the signal is weak or the handset is left in Standby mode when it is outside the service area. Repeatedly charging and discharging a battery reduces a battery's lifespan. The battery's lifespan is one year, after which time a new battery should be purchased because operating time becomes too short for practical use.**
- **The continuous talk time and continuous standby time will be shorter if the camera is frequently used with Mobile Flash.**
- **The continuous talk time and continuous standby time may shorten significantly when Java™ applications are running.**
- **If you use the handset with the display frequently illuminated (for J-Sky use, etc.) or animation selected for Wallpaper, the continuous talk time and continuous standby time will be shorter.**
- **Due to the special features of Station service, in which information is automatically received, more battery power is consumed than usual when using these services.**

Customer Service

If you have any questions about a J-Phone handset or service, please call General Information. For service or handset repairs, please call Customer Assistance.

J-Phone Service Centers

From a J-Phone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones

Subscription areas:

Area	Service	Number
Hokkaido	General information	0088-243-157
	Customer Assistance	0088-243-113
Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata	General information	0088-245-157
	Customer Assistance	0088-245-113
Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano	General information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Toyama, Ishikawa, Fukui	General information	0088-227-157
	Customer Assistance	0088-227-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Ooita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

F機能一覧

◯を使って機能を検索し、設定内容の確認、変更などが行えます。

■音

機能No.	項　　目	参照ページ
F10	着信音パターンを変更する	5-3
	着信音量を調節する	5-6
	バイブレータで着信をお知らせする	5-7
F13	ウェイクアップ音を設定する	5-23
	ボタン確認音を設定する	5-24
	オープン音／クローズ音を設定する	5-24
F14	サウンド音量を調節する	5-21
F15	オリジナルの着信音を作る［オリジナル着信音］	5-12
F16	マナーモードの種類を変更する	5-8

■管理

機能No.	項　　目	参照ページ
F20	ダイヤル操作を禁止する［ダイヤル操作禁止］	6-2
F21	簡易ロックをかける	6-3
F22	シークレットモードを設定する	4-30
F23	メモリダイヤルの使用を禁止する［メモリ使用禁止］	6-4
	ダイヤルボタンでの発信を禁止する［ダイヤル禁止］	6-4
	すべての着信を禁止する［着信禁止］	6-4
F24	電波の送受信を禁止する［オフラインモード］	6-5
F25	オールリセットを行う	6-6
F26	特定の着信のみ禁止する［非通知拒否］	6-7
F27	メモリ内容を消去する［メモリオールクリア］	6-11
F28	操作用暗証番号を変更する［暗証番号変更］	6-12
F29	各機能の設定を戻す［設定リセット］	6-13

■設定

機能No.	項　　目	参照ページ
F30	ガイドを利用する	12-24
F31	メモリダイヤルの登録状況を確認する	4-15
F32	自動で電話に応答する［自動着信］	12-25
F33	バッテリーセーブを設定する［ディスプレイ省電力］［通話中節電］	12-26
F34	パネル照明を設定する	7-2
F35	表示言語を選択する	7-4
F36	オープン通話を設定する	12-28
F37	グループの内容を変更する［グループ設定］	4-16
F38	通話品質アラームを設定する	12-29
F39	サイドキーの機能を設定する	12-37

■録音／設定

機能No.	項　　目	参照ページ
F40	簡易留守録・音声メモの録音件数を確認する	12-16
F41	簡易留守録・音声メモの録音内容をすべて消去する	12-19
F42	簡易留守録の応答時間を変更する	12-16
F43	ユーザー辞書を利用する［ユーザー辞書登録］	12-12
F46	オーナー登録を行う	12-10
F47	アイコンを変更する［メニュー設定］	7-21
F49	壁紙／マイキャラクタを表示する	7-5

■時計／アラーム

機能No.	項目	参照ページ
F52	目覚ましを利用する	11-52
F59	日付・時刻を合わせる［時計設定］	2-3

■時間／料金

機能No.	項目	参照ページ
F60	累積通話料金を表示する	2-11
F61	通話料金を表示する	2-11
F62	累積通話時間を表示する	2-12
F63	通話時間を表示する	2-12

■付加サービス

機能No.	項目	参照ページ
F70	転送電話サービス・留守番電話サービスの呼び出し時間を変更する（※3）	13-12
F71	転送電話サービスを利用する	13-3
F72	留守番電話サービスを利用する	13-5 13-7 13-9
F73	転送電話サービス・留守番電話サービスを解除する	13-13
F74	秘書サービスの設定状況を確認する	13-14
F75	割込通話サービスの設定／解除（※2、3）	13-22
F76	割込通話サービスの設定状況を確認する（※2、3）	13-23
F77	国際ショートコードを編集する	12-33
F78	3人で同時に通話する［三者通話］（※1）	13-26
	自分だけが途中から抜ける［通話中転送］（※1、2、3）	13-27
F79	184／186付加を設定する	12-30

■その他

機能No.	項目	参照ページ
F0	自分の電話番号を確認する［自局電話番号表示］	2-13
F長押し	サイドキーの誤動作を防止する	6-15
Fクリア	かかってきた電話を拒否する［着信拒否］（※4）	2-8
F電源	かかってきた電話を留守番電話センターに転送する（※2、3、4）	13-6
F文字	スヌーズ機能を停止する	11-52

※1 通話中に押した場合
※2 北海道／北陸／九州・沖縄地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※3 東北・新潟／中国／四国地域でご契約のお客様は、現在このサービスはご利用いただけません。
※4 着信中に押した場合

故障かな？と思ったら

症　状	確認すること	処　置
電源が入らない	電池パックは正しく取り付けられていますか？ 電池切れになっていませんか？	電池パックを正しく取り付けてください（☞1-14ページ）。 電池パックを充電してください（☞1-13ページ）。
着信ランプが赤く点滅し、充電ができない	充電端子または電池パック端子が汚れていませんか？	乾いた綿棒などで汚れを拭きとってください（☞1-13ページ）。それでも赤く点滅し続ける場合には、お問い合わせ先（☞15-6ページ）までご連絡ください。
ダイヤルしても話中音（プープー…）が聞こえる	「圏外」または「▯」が表示されていませんか？	「圏外」が表示されている場合は、電波の届く場所に移動してかけ直してください。「▯」が表示されている場合には、オフラインモードを解除してください（☞6-5ページ）。
「電池交換充電」と表示され、「ピッピッピッ」と鳴る	電池がほとんどありません。	電池パックを充電してください。
「圏外（圏外）」が表示され、電話がかけられない	サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？	電波の届く場所に移動してかけ直してください。それでも「圏外（圏外）」が消えない場合には、お問い合わせ先（☞15-6ページ）までご連絡ください。
「ダイヤル操作禁止」と表示され、電話がかけられない	ダイヤル操作禁止がかかっています。	ダイヤル操作禁止を解除してください（☞6-2ページ）。

■故障の場合

ディスプレイに「**故障中**」と表示されたときは、すぐに電源を切って、**お問い合わせ先**（☞15-6ページ）までご連絡ください。

付録

15

保証書とアフターサービスについて

■保証

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。
保証書に「お買上げ日」および「取扱店」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。
〈保証期間〉お買上げ日より一年間です。

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■修理

「故障かな？と思ったら」(☞15-4ページ)をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの**J-フォンショップ**または**お問い合わせ先**(☞15-6ページ)までご連絡ください。

- **保証期間中の修理**
  保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- **保証期間経過後の修理**
  修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際にJ-T010に登録したデータ(メモリダイヤルやデータフォルダの内容など)や設定した内容、メモリカードに登録した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

■アフターサービスについてご不明な場合は

最寄りの**J-フォンショップ**または**お問い合わせ先**(☞15-6ページ)までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

J-フォン株式会社
お客さまセンター

総合案内	J-フォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	J-フォン携帯電話から113（無料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

ご契約地域		
北海道	総合案内	0088-243-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-243-113（無料）
青森県･秋田県･岩手県･山形県･宮城県･福島県･新潟県	総合案内	0088-245-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-245-113（無料）
東京都･神奈川県･千葉県･埼玉県･茨城県･栃木県･群馬県･山梨県･長野県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県･岐阜県･三重県･静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
富山県･石川県･福井県	総合案内	0088-227-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-227-113（無料）
大阪府･兵庫県･京都府･奈良県･滋賀県･和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県･岡山県･山口県･鳥取県･島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県･香川県･愛媛県･高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県･佐賀県･長崎県･大分県･熊本県･宮崎県･鹿児島県･沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

索引

あ

か

付録

15

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

付録

15

主な仕様

J-T010

質量	約109g（メモリカード未装着時）
連続通話時間	約120分
連続待受時間	約350時間（折りたたみ時）
サイズ（W×H×D）	約48×約95×約26mm（折りたたみ時）
最大出力	0.8W

モバイルカメラ

F値	2.8
焦点距離	2.23mm
シャッタースピード	1/5〜1/5,000 (S)（電子シャッター）
レンズ	固定焦点（30cm以遠）

- **上記は、電池パック装着時の数値です。**
- **連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、最大パワー送信および通話中節電「OFF」を設定のうえ、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。**
- **連続待受時間とは、J-T010を折りたたんだ状態で充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。**
- **電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。**
  なお、使用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。電池パックの寿命は約1年程度ですので、使用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
- **モバイルフラッシュを使用した状態でのカメラのご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。**
- **Java™アプリを起動させた状態では、著しく通話時間および待受時間が短くなる場合があります。**
- **ディスプレイやサブディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（J-スカイご利用時など）が多い場合や壁紙（☞7-5、7-13ページ）にアニメーションを選択した場合などは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。**
- **ステーションでは、情報を自動的に受信するというサービスの特性上、通常よりも電池を消耗することがあります。**

J-T010　取扱説明書
基本操作編

2003年6月　第1版第1刷発行

J-フォン株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
J-フォン取扱店にご相談ください。

機種名：J-T010
製造元：株式会社東芝

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。